

原田英語の

英熟語・イディオム問題集

Vol.1　基礎編　BASIC

まずはここから。入試で毎年のように出る熟語

選択肢ごとの解説　紛らわしい表現の見分け方　書き込み確認テスト　赤シート対応　索引つき

対象　共通テスト・日東駒専・中堅国公立

レベル　高 1〜高 3 の基礎固め

691 問

FEATURES

この問題集の特長

1 入試に出る熟語を、出る順に全部

原田英語の英熟語・イディオム大全の出る順ランク S（共通テスト・日東駒専・中堅国公立レベル）の熟語 691 個を、分類ごと・出る順に並べました。

2 意味ではなく「使い方」を問う 4 択

入試で本当に問われる前置詞の選択・紛らわしい表現との選び分け・語法の誤りを、すべてオリジナルの問題で。

3 なぜ他の選択肢はダメなのかまで解説

正解の理由だけでなく、ひっかけの選択肢がなぜ入らないかまで。紛らわしい表現との「見分け方」も付けました。

4 同じ熟語を 2 回、違う形で確かめる

各章の最後に、例文の空所に 1 語を書き込む確認テスト。4 択で選べても書けない熟語をなくします。

5 赤シートで何度でも

正解と答えの熟語は赤字。赤シートを重ねればそのまま繰り返し使えます。チェック欄は 3 回分。

691	691	6	S
4 択問題	書き込み問題	章	出る順ランク

シリーズ全 4 巻（レベル別）

Vol.1 基礎編
共通テスト・日東駒専・中堅国公立
この本

Vol.2 標準編
GMARCH・関関同立・国公立
ランク A

Vol.3 難関編
早慶上智・難関国公立
ランク B

Vol.4 発展編
最難関・長文・会話文
ランク C

各熟語の語源・イメージ・会話例・音声は、サイト「原田英語の英熟語・イディオム大全」（haradaeigo.com/eijukugo/）で、索引の熟語名から探せます。問題と例文はすべてオリジナルで、過去問をそのまま載せたものではありません。

HOW TO USE

この本の使い方

ページの左に問題、右に解答と解説があります。右側を赤シートや手で隠して解きましょう。

◂問題（右を隠して解く）

0025 □□□

I'll ＿＿＿＿ at the station at six.

① pick up you　② pick you up
③ pick you　④ pick up

解答・解説▸

② **pick up ~ ～を拾い上げる；～を（車で）迎えに行く**

訳 6 時に駅まで車で迎えに行くよ。

解説 目的語が代名詞 you のときは pick you up と間に挟む（× pick up you）。pick you だけでは「迎えに行く」の意味にならない。pick up だけでは誰を迎えるのかが抜ける。代名詞の位置を問う定番。

区別 **pick up ~ ⇔ pick out ~** pick up は「拾い上げる・手元に取る」、pick out は「（多くの中から）選び出す・見分ける」。選ぶ意味なら pick out。

0001 通し番号（索引から引ける）

赤字 正解・熟語・意味（赤シートで消える）

解説 正解の理由と、他の選択肢がダメな理由

注意 入試での出方（区別がない熟語）

□□□ 解けたら印。3 回分

訳 問題文の日本語訳

区別 紛らわしい表現との意味の違いと見分け方

1 **1 回目：1 章ずつ解く。**迷った問題は、当たっても □ に印を付けずに残す。

2 **解説を読む。**正解の理由より「他の選択肢がダメな理由」を声に出して説明できるかを確かめる。

3 **章の最後の確認テスト。**例文の空所に 1 語を書き込む。書けなかった熟語の番号に戻る。

4 **2 回目・3 回目。**□ に印が付いていない問題だけを解き直す。3 つ全部に印が付けば合格。

学習の目安

1 日のペース	10 問	20 問	30 問
1 周にかかる日数	70 日	35 日	24 日
3 周（2・3 周目は半分の時間）	139 日	70 日	47 日

準拠アプリ

この本と同じ番号の問題を、スマホで解けます（無料）

haradaeigo.com/eijukugo/book/1/　4 択・書き込みテスト・苦手だけの復習・3 回正解で「合格」のチェック表

CONTENTS

目次

1 **句動詞（動詞＋前置詞・副詞）** No.0001〜0102
look after・put off・come up with など、動詞に前置詞や副詞がくっついた熟語。入試の熟語問題の主役です。

2 **動詞が中心の熟語・語法** No.0103〜0329
take part in・make up one's mind・deprive A of B など、動詞を中心にした決まった形。前置詞の選択問題が頻出。

3 **be＋形容詞＋前置詞** No.0330〜0390
be afraid of・be aware of・be likely to など。前置詞の違いで意味が変わるものが狙われます。

4 **前置詞句・副詞句・接続詞的な熟語** No.0391〜0539
in spite of・as a matter of fact・no sooner ~ than など。長文読解と整序問題で効きます。

5 **会話文で出るイディオム** No.0540〜0643
Feel free to ~. / Beats me. / I'm all ears. など、会話文問題で問われる決まり文句。

6 **比喩のイディオムとことわざ** No.0644〜0691
break the ice・a piece of cake・Practice makes perfect. など、字面からは想像しにくい比喩の表現。

＋ **確認テスト（書き込み式）**
各章の最後。例文の空所に 1 語を書き込む

＋ **索引（アルファベット順）**
熟語から問題番号を引く

CHAPTER 1

句動詞（動詞＋前置詞・副詞）

look after・put off・come up with など、動詞に前置詞や副詞がくっついた熟語。入試の熟語問題の主役です。　No.0001〜0102（102 問）

問題

解答・解説（赤シートで隠せます）

0001 □□□

I've been trying to solve this puzzle for an hour, but I'm not going to give ＿＿＿＿.

① it up　② up it
③ up to it　④ it out

① give up　〜をやめる；〜をあきらめる

訳 このパズルを 1 時間解こうとしているが、諦めるつもりはない。

解説 give up の目的語が代名詞のときは give it up のように間に挟む（× give up it）。up to it は give と組んでも「あきらめる」にならない。give it out は「配る」で意味が合わない。代名詞の位置を問う定番の形。

区別 **give up ⇔ give in**　give up は「（自分の行動・望みを）やめる・あきらめる」、give in は「（相手・圧力に）屈する・折れる」。give in は give in to ~ の形で相手を示す。見分け方：屈する相手（to ~）がいれば give in。

0002 □□□

I ＿＿＿＿ in Hokkaido, so I'm used to cold winters.

① brought up　② was brought up
③ was grown up　④ grew up to

② bring up ~　〜を育てる；（話題）を持ち出す

訳 私は北海道で育ったので、寒い冬には慣れている。

解説 「育った」は受け身の was brought up（＝ grew up）。brought up は他動詞なので目的語がないと不可。grow up は自動詞で受け身にできないので was grown up は誤り。grew up to は後ろに動詞の原形が要り、in Hokkaido とつながらない。

区別 **bring up ~ ⇔ grow up**　bring up は「（親が子を）育てる」他動詞、grow up は「（子が）育つ」自動詞。見分け方：目的語があるか、受け身かを見る。I was brought up in Osaka. ＝ I grew up in Osaka.

0003 □□□

We made a detailed plan, and now we have to ＿＿＿＿.

① carry out it　② carry out
③ carry it out　④ carry it

③ carry out ~　〜を実行する；〜を行う

訳 私たちは詳しい計画を立てたので、今度はそれを実行しなければならない。

解説 carry out は他動詞で目的語が必要。目的語が代名詞 it のときは carry it out と間に挟む（× carry out it）。目的語のない carry out は不可、carry it だけでは「運ぶ」になり「実行する」の意味にならない。

区別 **carry out ~ ⇔ carry on (with) ~**　carry out は「（計画などを）最後まで実行する」、carry on (with) は「（していることを）続ける」。out は「やり切る」、on は「継続」。目的語が計画・実験なら out、今している作業なら on。

0004 ☐☐☐

We need someone who can ＿＿＿＿ a better plan by tomorrow.

① catch up with　② put up with
③ come up with　④ keep up with

③ come up with ~ ～を思いつく；～を考え出す

訳 明日までにもっと良い計画を思いつける人が必要だ。

解説 目的語が a better plan（より良い計画）なので「思いつく・考え出す」の come up with。catch up with は「追いつく」、put up with は「我慢する」、keep up with は「遅れずについていく」で、どれも plan を目的語にして意味が通らない。

区別 **come up with ~ ⇔ catch up with ~** come up with は「（考えを）思いつく」、catch up with は「（先を行く人に）追いつく」。目的語が idea / plan なら come up with、人・集団なら catch up with。

0005 ☐☐☐

I'm really looking forward to ＿＿＿＿ you at the reunion next month.

① seeing　② see
③ be seeing　④ have seen

① look forward to ~ ～を楽しみに待つ

訳 来月の同窓会であなたに会えるのを本当に楽しみにしています。

解説 look forward to の to は前置詞なので、後ろは動名詞 seeing。不定詞と思い込んで原形 see を選ぶのが典型的な誤り。be seeing や have seen も前置詞の後ろには置けない。

区別 **look forward to ~ ⇔ expect ~** look forward to は「（うれしいことを）楽しみに待つ」、expect は「（良くも悪くも）予期する」で、to 不定詞や that 節を取る。嫌なことには look forward to を使わない。

0006 ☐☐☐

Our bus ＿＿＿＿ on the highway, so we had to wait for another one.

① broke down　② broke out
③ broke into　④ broke up

① break down 故障する；泣き崩れる

訳 私たちのバスが高速道路で故障したので、別のバスを待たなければならなかった。

解説 主語が bus で「故障した」なので broke down。broke out は戦争・火事などが「起こる」、broke into は「押し入る」で目的語が必要、broke up は「解散した・別れた」で、どれもバスの故障を表さない。

区別 **break down ⇔ break out** break down は「（機械・関係が）壊れる」、break out は「（戦争・火事・病気が）突然起こる」。主語で見分ける：car / talks なら down、war / fire / disease なら out。

0007 ☐☐☐

While cleaning my room, I ＿＿＿＿ a letter my grandfather had written to me.

① came up with　② came about
③ came out　④ came across

④ come across ~ ～に偶然出会う；～を偶然見つける

訳 部屋を掃除していたら、祖父が私に書いてくれた手紙を偶然見つけた。

解説 掃除中に手紙を「偶然見つけた」ので came across。came up with は「思いついた」で手紙には合わない。came about（起こった）、came out（出てきた・出版された）は自動詞で、目的語 a letter を取れない。

区別 **come across ~ ⇔ come up with ~** come across は外にある物に偶然「出会う・見つける」、come up with は頭の中から「思いつく」。目的語が具体物・人なら across、idea / plan なら come up with。

0008 ☐☐☐

The problem was ＿＿＿＿ with quickly by the staff, so the customers were satisfied.

① dealed ② handled
③ solved ④ dealt

④ deal with ~ ～に対処する；～を扱う

訳 その問題はスタッフによって素早く処理されたので、客は満足した。

解説 deal の過去分詞は dealt（不規則変化）なので was dealt with が正しい。dealed という形はない。handle / solve は他動詞で前置詞なしに目的語を取るので、受け身でも with は付かない（was handled / was solved なら可）。受け身でも with を落とさない点も確認。

区別 **deal with ~ ⇔ deal in ~** deal with は問題・人などに「対処する・扱う」。deal in は「（商品）を商う・売買する」で、後ろは品物。見分け方：店や業者が品物を売り買いするなら deal in、問題や相手をどうにかするなら deal with。

0009 ☐☐☐

My sister and her roommate don't get along very well ＿＿＿＿ each other.

① to ② at
③ with ④ for

③ get along with ~
～とうまくやっていく；～と仲良くする

訳 姉とルームメイトはあまり仲が良くない。

解説 「～と仲良くやる」は get along with ~ で、相手は with で示す。to / at / for は get along と結び付かない。相手を示さず They don't get along. と言うこともできる。

区別 **get along with ~ ⇔ go along with ~** get along with は「（人と）仲良くやる」、go along with は「（意見・計画に）同意する・従う」。目的語が人なら get、案・提案なら go。

0010 ☐☐☐

Could you ＿＿＿＿ my dog while I'm away on vacation?

① look into ② look for
③ look up ④ look after

④ look after ~ ～の世話をする；～に気を配る

訳 休暇で留守にする間、犬の世話をしてもらえませんか。

解説 留守の間に犬の「世話をする」ので look after。look into は「調べる」、look for は「探す」、look up は「（辞書などで）調べる・見上げる」で、留守中の頼みごととして意味が合わない。

区別 **look after ~ ⇔ look for ~ / look into ~** look after は「世話をする」、look for は「探す」、look into は「調べる」。after ＝後ろについて見守る、for ＝求めて、into ＝中をのぞく、と前置詞の意味で選ぶ。

0011 ☐☐☐

The Internet has ＿＿＿＿ great changes in the way people communicate.

① come about ② brought up
③ brought about ④ come across

③ bring about ~ ～を引き起こす；～をもたらす

訳 インターネットは人々の意思の伝え方に大きな変化をもたらした。

解説 目的語 great changes を取り「変化を引き起こした」ので brought about。come about は自動詞で目的語を取れない。brought up は「育てた・話題に出した」、come across は「偶然出会う」で意味が合わない。

区別 **bring about ~ ⇔ come about** bring about は「～を引き起こす」他動詞（目的語あり）、come about は「起こる」自動詞（目的語なし）。目的語があれば bring about。

0012 □□□

I want to find ＿＿＿＿ why the train was delayed this morning.

① up　② off
③ out　④ over

③ find out （調べて）知る；～を見つけ出す

訳 今朝、なぜ列車が遅れたのかを知りたい。

解説 why 節（理由という情報）を目的語にして「調べて知る」のは find out。find up / find off / find over という熟語はない。物を見つけるなら find だけ、情報を知るなら find out と区別する。

区別 **find out ⇔ find ～** find は「（物・人を）見つける」、find out は「（事実・情報を）知る」。目的語が具体物なら find、事実・答え・理由（wh 節）なら find out。

0013 □□□

It took her a long time to get ＿＿＿＿ the shock of losing her pet.

① along　② off
③ over　④ up

③ get over ～ ～から回復する；～を克服する

訳 彼女はペットを亡くしたショックから立ち直るのに長い時間がかかった。

解説 ショックから「立ち直る」は get over。get along は「仲良くやる」で目的語に shock は来ない。get off は「降りる」、get up は「起きる」で意味が合わない。目的語が病気・ショックなら get over と覚える。

区別 **get over ～ ⇔ get through ～** get over は「（病気・ショックから）立ち直る」、get through は「（困難な時期・試験・仕事を）切り抜ける・終える」。病気・悲しみなら over、試験・作業なら through が自然。

0014 □□□

After talking about the history of the city, the guide went on ＿＿＿＿ us its famous temples.

① show　② to show
③ showing　④ shown

② go on 続ける；（go on to do）続けて次に～する

訳 市の歴史について話した後、ガイドは続けて有名な寺を案内してくれた。

解説 歴史の話を終えて「続けて次に寺を見せた」ので go on to do の to show。showing だと「（ずっと）見せ続けた」になり、After ～ の流れと合わない。show / shown は went on の後ろに置けない。

区別 **go on ⇔ keep on ~ing** go on ~ing は「中断せず続ける」、keep on ~ing は「繰り返し・しつこく続ける」感じが強い。go on には to do の形（次に～する）があるが、keep on には to do の形がない。

0015 □□□

Lack of sleep can ＿＿＿＿ to serious health problems.

① result　② lead
③ cause　④ bring

② lead to ～ ～につながる；～を引き起こす

訳 睡眠不足は深刻な健康問題につながることがある。

解説 主語が原因（睡眠不足）、to の後ろが結果なので lead to が正しい。result は result in（引き起こす）か result from（から生じる）の形で、result to とは言わない。cause は他動詞で to なしに目的語を取る。bring は bring about（引き起こす）の形にする。

区別 **lead to ～ ⇔ result from ～** lead to / result in は「原因 → 結果」の順（A lead to B＝A が B を引き起こす）。result from は「結果 ← 原因」の順（B result from A＝B は A から生じる）。見分け方：主語が原因なら lead to / result in、主語が結果なら result from。整序や言い換えでよく狙われる。

0016 ☐☐☐

I've been looking for my key all morning, but I still can't ＿＿＿ it.

① look for　② search
③ find　④ seek

③ look for ~ ～を探す；～を求める

訳 午前中ずっと鍵を探しているが、まだ見つからない。

解説 「探しているが、まだ見つけられない」なので結果を表す find。look for / seek は「探す」という過程なので、but の後で「探せない」になり意味が通らない。search it は「鍵の中を探す」になってしまう。

区別 **look for ~ ⇔ search ~ / search for ~** look for ＋ 探す物。search ＋ 探す場所、search for ＋ 探す物。search A for B（B を求めて A を探す）の語順が問われる。search my bag は「かばんの中を探す」。

0017 ☐☐☐

We had to put ＿＿＿ the picnic until next Sunday because of the rain.

① out　② off
③ on　④ up with

② put off ~ ～を延期する；～を先延ばしにする

訳 雨のため、ピクニックを次の日曜日まで延期しなければならなかった。

解説 until next Sunday（次の日曜まで）と延期先があるので「延期する」の put off。put out は「消す」、put on は「着る・上演する」、put up with は「我慢する」で、ピクニックを目的語にして意味が通らない。

区別 **put off ~ ⇔ call off ~** put off は「延期する（後でやる）」、call off は「中止する（やらない）」。until next week など延期先が書いてあれば put off。

0018 ☐☐☐

I can't put up ＿＿＿ his rude behavior any longer.

① on　② off
③ to　④ with

④ put up with ~ ～を我慢する；～に耐える

訳 彼の失礼な態度にはもう我慢できない。

解説 「～を我慢する」は put up with ~ で、with を落とさない。put up on / put up off / put up to ではこの意味にならない。言い換えなら tolerate / stand / bear で、can't stand his rude behavior とも言える。

区別 **put up with ~ ⇔ put up ~** put up は「（掲示を）貼る・（テントを）張る・（人を）泊める」。with が付くと「我慢する」。with の有無で意味が変わるので、目的語が嫌なものなら put up with。

0019 ☐☐☐

We've ＿＿＿ milk, so I'll go and buy some.

① run out of　② run out
③ run short　④ run off

① run out of ~ ～を使い果たす；～がなくなる

訳 牛乳を切らしたので、買いに行ってくるよ。

解説 人（We）が主語で、尽きた物 milk が後ろにあるので run out of。run out は物が主語のときの形で、目的語を直接取れない。run short は of がないと milk とつながらない。run off は「走り去る」。

区別 **run out of ~ ⇔ run out** 物が主語なら run out（Our money ran out.）、人が主語なら run out of 物（We ran out of money.）。主語が使う側か、使われる側かで of の有無を決める。

0020 □□□

The Second World War ＿＿＿＿ in 1939.

① was broken out　② broke out
③ broke down　④ took off

② break out （戦争・火事・病気が）起こる；脱走する

訳 第二次世界大戦は 1939 年に起こった。

解説 戦争が「起こった」は自動詞 break out の過去形 broke out。自動詞なので受け身 was broken out は誤り。broke down は「故障した・決裂した」、took off は「離陸した・人気が出た」で意味が合わない。

区別 **break out ⇔ take place** break out は戦争・火事など予定外の悪い出来事が「突然起こる」、take place は行事・会議など予定されたことが「行われる」。主語が festival / meeting なら take place。

0021 □□□

I was absent for a week, so I have to study hard to catch up ＿＿＿＿ the rest of the class.

① on　② with
③ to　④ for

② catch up with ~ ～に追いつく

訳 1 週間休んだので、クラスのみんなに追いつくために一生懸命勉強しなければならない。

解説 後ろが the rest of the class（ほかの生徒たち）という人の集団なので catch up with。catch up on は宿題・睡眠など遅れた物事に使う。to / for は catch up と結び付かない。

区別 **catch up with ~ ⇔ keep up with ~** catch up with は「遅れた状態から並ぶ」（動き）、keep up with は「並んだ状態を保つ」。休んで遅れたなら catch up with、ついていけないなら keep up with。

0022 □□□

My doctor told me to cut down ＿＿＿＿ sweets.

① in　② off
③ with　④ on

④ cut down on ~ ～を減らす；～を控える

訳 医者に甘い物を減らすように言われた。

解説 甘い物を「減らす」は cut down on ~。on がないと「切り倒す」の意味になり、甘い物には合わない。in / off / with は cut down と組んでこの意味にならない。cut back on sweets とも言える。

区別 **cut down on ~ ⇔ cut down ~** cut down on は「（量を）減らす」、cut down（on なし）は「（木を）切り倒す」。目的語が tree なら cut down、食べ物・出費なら cut down on。

0023 □□□

I read the instructions twice, but I couldn't figure ＿＿＿＿ how to use the machine.

① out　② up
③ on　④ off

① figure out ~
～を理解する；（答え・方法）を見つけ出す

訳 説明書を 2 回読んだが、その機械の使い方が分からなかった。

解説 how to use the machine を目的語にして「考えて理解する」のは figure out。figure up / figure on / figure off ではこの意味にならない。work out how to ~ や understand how to ~ とも言い換えられる。

区別 **figure out ~ ⇔ find out ~** find out は調べたり聞いたりして事実を知る、figure out は自分で考えて理解・解決する。情報を得るなら find out、頭で解くなら figure out。

0024 ☐☐☐

Many people in the town ＿＿＿＿ a difficult time after the flood.

① went over　② went through
③ came across　④ went off

② go through ~
（苦難など）を経験する；～をよく調べる

訳 洪水の後、町の多くの人がつらい時期を経験した。

解説 a difficult time（つらい時期）を「経験した」ので went through。went over は「見直した」、came across は「偶然出会った」、went off は「鳴った・爆発した」で、つらい時期を目的語にして意味が通らない。

区別 **go through ~ ⇔ go over ~** go over は「（もう一度）見直す・復習する」、go through は「（隅々まで）調べる・つらいことを経験する」。苦難が目的語なら go through だけ。

0025 ☐☐☐

I'll ＿＿＿＿ at the station at six.

① pick up you　② pick you up
③ pick you　④ pick up

② pick up ~ ～を拾い上げる；～を（車で）迎えに行く

訳 6 時に駅まで車で迎えに行くよ。

解説 目的語が代名詞 you のときは pick you up と間に挟む（× pick up you）。pick you だけでは「迎えに行く」の意味にならない。pick up だけでは誰を迎えるのかが抜ける。代名詞の位置を問う定番。

区別 **pick up ~ ⇔ pick out ~** pick up は「拾い上げる・手元に取る」、pick out は「（多くの中から）選び出す・見分ける」。選ぶ意味なら pick out。

0026 ☐☐☐

The baseball game was ＿＿＿＿ because of the typhoon, and it will not be played this season.

① put off　② called on
③ called off　④ put on

③ call off ~ ～を中止する；～を取りやめる

訳 野球の試合は台風のために中止になり、今シーズンは行われない。

解説 「今シーズンは行われない」とあるので、延期ではなく中止の called off。put off は「延期された」で、後で行う含みがあり合わない。called on は「訪問された・指名された」、put on は「上演された」。

区別 **call off ~ ⇔ put off ~** call off は中止（もうやらない）、put off は延期（後でやる）。until ~ / to ~ と延期先が書いてあれば put off、もう行われないなら call off。

0027 ☐☐☐

It's not easy to keep ＿＿＿＿ with the latest fashion.

① on　② up
③ out　④ down

② keep up with ~
～に遅れずについていく；（情報・流行など）に通じている

訳 最新の流行についていくのは簡単ではない。

解説 流行に「遅れずについていく」は keep up with ~。keep on は「続ける」で with の目的語に流行は来ない。keep out は「中に入れない」、keep down は「抑える」で意味が合わない。

区別 **keep up with ~ ⇔ catch up with ~** catch up with は「遅れた状態から追いつく」（並ぶまでの動き）、keep up with は「並んだ状態を保ち続ける」。休んで遅れた後なら catch up、ペースについていけるかなら keep up。

0028 ☐☐☐

My teacher pointed ＿＿＿＿ that I had made several spelling mistakes.

① at　② to
③ on　④ out

④ point out ~ ～を指摘する

訳 先生は私がつづりの間違いをいくつかしていることを指摘した。

解説 後ろに that 節があり「～と指摘した」なので pointed out。point at / point to は「指さす」で、後ろは名詞であり that 節は取らない。point on という形もない。

区別 **point out ~ ⇔ point at ~ / point to ~** point at / point to は「（指で）～を指さす・示す」で、後ろは名詞。point out は「（問題などを）指摘する」で that 節も取れる。後ろに that 節があれば point out。

0029 ☐☐☐

The company was ＿＿＿＿ in 1985 by two young engineers.

① set up　② set off
③ set out　④ set about

① set up ~ ～を設立する；～を準備する・組み立てる

訳 その会社は 1985 年に 2 人の若い技術者によって設立された。

解説 会社が「設立された」なので受け身の was set up。set off / set out は「出発する」で、会社を主語にした受け身にならない。set about は「～に取りかかる」で意味が合わない。

区別 **set up ~ ⇔ set off / set out** set off / set out は「出発する」（set off は「（警報を）鳴らす・引き起こす」も）、set up は「立ち上げる・組み立てる」。会社・テント・機械が目的語なら set up。

0030 ☐☐☐

She was offered a job in Tokyo, but she turned it ＿＿＿＿ because she didn't want to leave her family.

① up　② down
③ out　④ off

② turn down ~ ～を断る；（音量など）を下げる

訳 彼女は東京での仕事を勧められたが、家族と離れたくなかったので断った。

解説 仕事の申し出を「断った」ので turned it down。代名詞 it は間に挟む。turn up は「上げる・現れる」、turn out は「判明する」、turn off は「（電気などを）消す」で、申し出に対して意味が通らない。

区別 **turn down ~ ⇔ turn up ~** 音量では turn down（下げる）と turn up（上げる）が反対。turn up は自動詞で「現れる・見つかる」の意味もある。断るの意味があるのは down だけ。

0031 ☐☐☐

We planned to go hiking, but because of the rain we ended up ＿＿＿＿ at home all day.

① stay　② to stay
③ stayed　④ staying

④ end up 結局～になる；最後には～に行き着く

訳 ハイキングに行く予定だったが、雨のせいで結局一日中家にいることになった。

解説 end up の後ろは動名詞（~ing）で「結局～することになる」なので staying。to stay は end up の後ろには置けない。原形 stay や過去形 stayed も ended up に直接続かない。

区別 **end up ⇔ turn out** turn out to be ~ は「（後で）～だと判明する」、end up ~ing は「（成り行きで）最後に～することになる」。形は to be と ~ing で違う。

0032 ☐☐☐

The shy little girl grew up ＿＿＿＿ a famous scientist.

① to be　② being
③ be　④ as being

① grow up 育つ；大人になる

訳 その内気な少女は成長して有名な科学者になった。

解説 「成長して（その結果）～になった」は結果を表す不定詞の grow up to be ~。being / be は grew up の後ろに置けない。as being という形もない。grow up to be は「育って～になる」の定番の形。

区別 **grow up ⇔ grow ~** grow は「（植物を）育てる・栽培する」他動詞にもなるが、子どもを育てるには bring up / raise を使う。grow up は人が「育つ」自動詞。

0033 ☐☐☐

Please hand ＿＿＿＿ your reports by Friday.

① out　② in
③ up　④ down

② hand in ~ ～を提出する

訳 金曜日までにレポートを提出してください。

解説 締め切り（by Friday）までにレポートを「提出する」ので hand in。hand out は「配る」で、生徒がレポートを配ることになり合わない。hand down は「（次の世代に）伝える」、hand up は普通使わない。

区別 **hand in ~ ⇔ hand out ~** hand in は「（先生・上司に）提出する」、hand out は「（大勢に）配る」。in ＝相手の手の中へ、out ＝外へばらまく、と方向で区別する。

0034 ☐☐☐

Many young players look up ＿＿＿＿ him as a role model.

① on　② for
③ at　④ to

④ look up to ~ ～を尊敬する

訳 多くの若い選手が彼を手本として尊敬している。

解説 「～を尊敬する」は look up to ~ なので to。look up on / look up for は熟語にならない。look up at は「（物理的に）見上げる」で、as a role model（手本として）と合わない。

区別 **look up to ~ ⇔ look up ~** look up は「（辞書などで）調べる・見上げる」、look up to は「尊敬する」。to の有無で意味が変わる。目的語が単語なら look up、人なら look up to。

0035 ☐☐☐

I worked late every night to make up ＿＿＿＿ the time I had lost.

① with　② for
③ to　④ on

② make up for ~ ～の埋め合わせをする；～を補う

訳 私は失った時間を埋め合わせるために毎晩遅くまで働いた。

解説 失った時間を「埋め合わせる」は make up for ~。make up with ~ は「～と仲直りする」で後ろは人。to / on は make up と組んでこの意味にならない。

区別 **make up for ~ ⇔ make up ~** make up は「でっち上げる・構成する・化粧する・仲直りする（with）」、for が付くと「埋め合わせる」。前置詞で意味が大きく変わる。

0036 ☐☐☐

Tom _____ his father; they both have a great sense of humor.

① is taking after　② takes over
③ takes after　④ takes off

③ take after ~ （親など）に似ている

訳 トムは父親に似ていて、二人ともユーモアのセンスが抜群だ。

解説 性格が「似ている」は take after で、状態を表すので進行形にしない。よって takes after。is taking after は進行形で不可。takes over は「引き継ぐ」、takes off は「脱ぐ・離陸する」で意味が合わない。

区別 **take after ~ ⇔ take over ~** take after は「（親に）似ている」、take over は「（仕事・会社を）引き継ぐ」。家業を継ぐなら take over、性格・外見が似ているなら take after。

0037 ☐☐☐

Please _____ your shoes before you come in.

① turn off　② take off
③ put off　④ get off

② take off (~) （～を）脱ぐ；（飛行機が）離陸する

訳 中に入る前に靴を脱いでください。

解説 靴を「脱ぐ」は take off。turn off は「（電気などを）消す」、put off は「延期する」、get off は「（乗り物から）降りる」で、靴を目的語にして意味が通らない。反対の「履く」は put on。

区別 **take off (~) ⇔ turn off ~** turn off は「（電気・機械を）消す・止める」、take off は「（身につけた物を）脱ぐ・外す」。目的語が light / TV なら turn off、shoes / coat なら take off。

0038 ☐☐☐

The rumor _____ to be false.

① turned up　② turned down
③ turned into　④ turned out

④ turn out ～だと判明する；（結果的に）～になる

訳 そのうわさは結局うそだと分かった。

解説 後ろに to be false があり「うそだと判明した」なので turned out。turned up は「現れた」、turned down は「断った」、turned into は「～に変わった」で、to be とつながらない。＝ proved (to be) false。

区別 **turn out ⇔ turn up** turn up は「現れる・（なくした物が）見つかる」、turn out は「判明する・結果的に～になる」。to be ~ が続けば turn out。

0039 ☐☐☐

You shouldn't look down _____ people just because they are poor.

① to　② on
③ for　④ with

② look down on ~ ～を見下す；～を軽蔑する

訳 貧しいというだけで人を見下してはいけない。

解説 「～を見下す」は look down on ~。to を使うと反対の look up to（尊敬する）との混同。for / with は look down と組んでこの意味にならない。受け身でも be looked down on と on が残る。

区別 **look down on ~ ⇔ look down** look down（on なし）は「下を見る」だけ。on が付くと「見下す・軽蔑する」。目的語が人で軽蔑の意味なら on を付ける。

0040 ☐☐☐

The total cost of the trip added up ＿＿＿ more than 200,000 yen.

① with　② to
③ for　④ on

② add up to ~ 合計～になる；結局～ということになる

訳 旅行の費用は合計で 20 万円以上になった。

解説 「合計～になる」は add up to ~ で、合計額は to で示す。with / for / on は add up と組んでこの意味にならない。amount to 200,000 yen と言い換えられる。

区別 **add up to ~ ⇔ add to ~** add to ~ は「～を増やす・～に加わる」（add to the problem）、add up to ~ は「合計～になる」。up があるかどうかで意味が変わる。

0041 ☐☐☐

This job ＿＿＿ a lot of patience.

① calls on　② calls off
③ calls for　④ calls at

③ call for ~ ～を要求する；～を必要とする

訳 この仕事にはかなりの忍耐が必要だ。

解説 物事（This job）が主語で「忍耐を必要とする」なので calls for。calls on は「（人を）訪問する」、calls at は「（場所に）立ち寄る」、calls off は「中止する」で、patience を目的語にして意味が通らない。

区別 **call for ~ ⇔ call on ~** call on ＋人 は「訪問する・（人に）頼む」、call for ＋物事 は「要求する・必要とする」。後ろが人なら on、patience / action など物事なら for。

0042 ☐☐☐

A: Where do you ＿＿＿ from? B: I'm from Canada.

① came　② coming
③ come　④ comes

③ come from ~ ～の出身である；～に由来する

訳 A：ご出身はどちらですか。　B：カナダです。

解説 疑問文の do の後ろは原形なので come。出身は変わらない事実なので現在形で表す。came は過去形で do と組めず、coming / comes も do の後ろには置けない。Where are you from? と同じ意味。

注意 出身は現在形 I come from Japan.（came にしない）。＝originate in ~ / derive from ~。result from ~（～から生じる）と同義の用法も。

0043 ☐☐☐

Many schools have done away ＿＿＿ the rule that students must wear uniforms.

① from　② of
③ without　④ with

④ do away with ~ ～を廃止する；～を取り除く

訳 多くの学校が、生徒は制服を着なければならないという規則を廃止した。

解説 「（規則を）廃止する」は do away with ~。with を落としたり from / of にしたりする誤りが多い。without を使うと do without（なしで済ませる）との混同になり、away とは組まない。

区別 **do away with ~ ⇔ do without ~** do without は「～なしで済ませる」、do away with は「（制度などを）廃止する」。目的語が rule / system なら do away with、我慢してなしでいるなら do without。

0044 □□□

After hours of arguing, he finally gave ＿＿＿ to his daughter's request.

① up　② in
③ out　④ off

② give in　屈する；降参する

訳 何時間も言い争った末、彼はついに娘の頼みに折れた。

解説 「娘の頼みに折れた」で、相手を to で示しているので gave in（give in to ~）。give up は「あきらめる」で to ~ を続けない。give out は「配る・尽きる」、give off は「（においなどを）出す」。

区別 **give in ⇔ give up** give in は「（相手に）屈する」で give in to ~ の形、give up は「（自分で）やめる・あきらめる」で目的語を取れる。相手が to で示されていれば give in。

0045 □□□

The police are looking ＿＿＿ the cause of the fire.

① into　② after
③ up　④ on

① look into ~　~を調べる；~を調査する

訳 警察は火事の原因を調べている。

解説 火事の原因を「調査している」ので looking into。look after は「世話をする」、look up は「（辞書などで）調べる・見上げる」で事件の原因には合わない。look on は「傍観する」。

区別 **look into ~ ⇔ look up ~ / look over ~** look into は「（原因などを）詳しく調べる」、look up は「（辞書・ネットで単語・情報を）調べる」、look over は「ざっと目を通す」。調べる対象と深さで選ぶ。

0046 □□□

The committee is made up ＿＿＿ ten members.

① from　② with
③ by　④ of

④ make up ~　~をでっち上げる；~を構成する

訳 その委員会は 10 人の委員で構成されている。

解説 「~から成る」は be made up of ~（＝ consist of ~）。from / with / by はこの形では使わない。consist of と同じ of と覚えると迷わない。

区別 **make up ~ ⇔ consist of ~** be made up of は受け身の形、consist of は能動で受け身にしない（× be consisted of）。意味はどちらも「~から成る」。

0047 □□□

He ＿＿＿ his jacket quickly and ran out of the house.

① wore　② put on
③ took on　④ dressed

② put on ~　~を身につける；（体重）が増える

訳 彼は急いで上着を着て、家を飛び出した。

解説 quickly（素早く）と一緒で、着る「動作」なので put on。wore は「着ていた」状態で quickly と合わない。took on は「引き受けた」、dressed は人を目的語にして「服を着せる」ので jacket を目的語にできない。

区別 **put on ~ ⇔ wear ~** put on は「着る」動作（一瞬）、wear は「着ている」状態。quickly などの動作を表す語と一緒なら put on、いつも・今の状態なら wear。

0048 □□□

I _____ my old teacher at the station yesterday.

① ran out　② ran away
③ ran into　④ ran over

③ run into ~ ～に偶然出会う；～にぶつかる

訳 昨日、駅で昔の先生にばったり会った。

解説 駅で恩師に「偶然会った」ので ran into。ran out は「尽きた」、ran away は「逃げた」で目的語を直接取れない。ran over は「（車で）ひいた」で意味が合わない。

区別 **run into ~ ⇔ run over ~** run over は「（車が人・動物を）ひく」、run into は「ぶつかる・偶然会う」。人を目的語にすると run over は事故、run into は偶然の出会い。

0049 □□□

What does "NHK" stand _____?

① up　② by
③ out　④ for

④ stand for ~ ～を表す；～の略である

訳 「NHK」は何の略ですか。

解説 略語が何を「表す」かは stand for ~。stand up は「立ち上がる」、stand by は「味方する・待機する」、stand out は「目立つ」で、略語の意味を尋ねる文にならない。

区別 **stand for ~ ⇔ stand by ~ / stand out** stand by は「（人を）支持する・味方する／待機する」、stand out は「目立つ」。略語・記号が主語なら stand for。

0050 □□□

Don't worry. I'm sure everything will work _____ in the end.

① on　② out
③ off　④ up

② work out (~) （問題）を解決する；（計画）を練る

訳 心配しないで。最後にはきっとすべてうまくいくよ。

解説 自動詞で「うまくいく」は work out。work on は「取り組む」で目的語が必要。work off は「（ストレスなどを）発散する」、work up は「（感情を）かき立てる」で意味が合わない。

区別 **work out (~) ⇔ work on ~** work on は「～に取り組む（作業中）」、work out は「解決する（結果が出る）・うまくいく」。進行中なら on、結果が出るなら out。

0051 □□□

After a short break, the students carried on _____ their discussion.

① out　② with
③ off　④ at

② carry on with ~ ～を続ける

訳 短い休憩の後、生徒たちは話し合いを続けた。

解説 休憩の後、話し合いを「続けた」ので carry on with ~。carry on の後ろに out / off / at を付けた形はない。carry on their discussion と with なしでも言える。

区別 **carry on with ~ ⇔ carry out ~** carry on with は「（していることを）続ける」、carry out は「（計画などを）実行する」。on は継続、out はやり切る。

0052 ☐☐☐

A: Where should we have lunch? B: I don't mind. It's ＿＿＿＿ to you.

① up　② down
③ out　④ on

① be up to ~　～次第だ；～をたくらんでいる

訳 A：お昼はどこで食べようか。　B：どこでもいいよ。あなたに任せる。

解説 「あなた次第だ」は It's up to you.。down to you は「（責任が）あなたにある」の意味で使うことがあるが、どこで食べるか決めてもらう返事には up。out / on はこの形にならない。

注意 It's up to you. ＝ It depends on you. が頻出。What are you up to?（何してるの）は会話。be up to the job（その仕事をこなせる）も。

0053 ☐☐☐

I'll call ＿＿＿＿ my uncle when I go to Osaka.

① on　② at
③ for　④ off

① call on ~　（人）を訪問する；（人）に頼む・求める

訳 大阪に行ったら、おじを訪ねるつもりだ。

解説 後ろが人（my uncle）で「訪問する」なので call on。call at は場所に使う。call for は「要求する・迎えに行く」、call off は「中止する」で、訪問の意味にならない。

区別 **call on ~ ⇔ call at ~**　人を訪ねるなら call on、場所（家・店・港）に立ち寄るなら call at。後ろが人か場所かで選ぶ。drop in on 人 / drop in at 場所 も同じ使い分け。

0054 ☐☐☐

I can't do ＿＿＿＿ my smartphone; I use it for everything.

① with　② without
③ away with　④ over

② do without ~　～なしで済ませる

訳 スマートフォンなしでは済ませられない。何にでも使っているからだ。

解説 「何にでも使うので、スマホなしではやっていけない」なので do without。do away with は「廃止する」で文脈に合わない。do with は「～で済ませる・～を処理する」、do over は「やり直す」。

区別 **do without ~ ⇔ do away with ~**　do without は「～なしで済ませる」、do away with は「（制度を）廃止する」。can't と組んで必要性を言うなら do without。

0055 ☐☐☐

Please fill ＿＿＿＿ this form and give it to the receptionist.

① up　② on
③ off　④ in

④ fill in ~　（書類・空所）に記入する；～を埋める

訳 この用紙に記入して、受付の人に渡してください。

解説 用紙に「記入する」は fill in（＝ fill out）。fill up は「（容器を）いっぱいにする」で用紙には使わない。fill on / fill off という形はない。

区別 **fill in ~ ⇔ fill up ~**　fill up は「（容器・タンクを）満たす」（Fill it up, please.）、fill in は「（用紙・空所に）記入する」。書類なら in / out、ガソリン・コップなら up。

0056 □□□

Let's go ＿＿＿＿ the answers together before the test.

① off　② over
③ out　④ by

② go over ~ ～をよく調べる；～を見直す

訳 テストの前に、一緒に答えを見直そう。

解説 試験前に答えを「見直す」は go over。go off は「鳴る・爆発する」、go out は「出かける・（火が）消える」、go by は「過ぎる」で、答えを目的語にして意味が通らない。

区別 **go over ~ ⇔ overlook ~** overlook は 1 語で「見落とす・見渡す」で、go over（見直す）とは意味がほぼ逆。over が前に付くか後ろに付くかで意味が変わる。

0057 □□□

A: May I speak to Mr. Brown? B: Hold ＿＿＿＿, please. I'll get him.

① up　② off
③ on　④ out

③ hold on （電話を）切らずに待つ；しっかりつかまる

訳 A：ブラウンさんをお願いできますか。 B：少々お待ちください。呼んできます。

解説 電話で「切らずにお待ちください」は Hold on, please.。hold up は「持ち上げる・遅らせる」、hold off は「延期する」、hold out は「持ちこたえる・差し出す」で、電話の取り次ぎには使わない。

区別 **hold on ⇔ hang up** hang up は「電話を切る」、hold on / hang on は「切らずに待つ」。電話の会話問題で対になって出る。

0058 □□□

Even after the teacher told him to stop, he kept on ＿＿＿＿.

① talk　② to talk
③ talking　④ talked

③ keep on ~ing ～し続ける；しつこく～する

訳 先生にやめるように言われた後も、彼はしゃべり続けた。

解説 keep on の後ろは動名詞なので talking。to talk は keep on の後ろに置けない。原形 talk や過去形 talked も続かない。先生に止められても「しつこく話し続けた」という響き。

区別 **keep on ~ing ⇔ go on to do** keep on には to do の形がなく、いつも ~ing。go on は go on ~ing（続ける）と go on to do（次に～する）の両方がある。to do が続けば go on。

0059 □□□

The movie didn't live up ＿＿＿＿ my expectations.

① with　② for
③ on　④ to

④ live up to ~
（期待など）に添う；～に恥じない行動をする

訳 その映画は私の期待に応えるものではなかった。

解説 「期待に添う」は live up to ~ で、to を落とさない。live up with / for / on ではこの意味にならない。didn't live up to my expectations は「期待外れだった」の定番の言い方。

注意 live up to one's expectations が定番。＝ meet one's expectations / come up to ~。反対の意味は fall short of ~ / let down ~。

0060 ☐☐☐

If you don't know the word, look ＿＿＿ in the dictionary.

① up it　② it up
③ it into　④ up to it

② look up ~ （辞書などで）~を調べる；見上げる

訳 その単語が分からなければ、辞書で調べなさい。

解説 目的語が代名詞 it のときは look it up と間に挟む（× look up it）。look it into という形はない。look up to it は「それを尊敬する」になり意味が合わない。

区別 **look up ~ ⇔ look up to ~** look up は「調べる・見上げる」、look up to は「尊敬する」。to が付き、目的語が人なら尊敬の意味。

0061 ☐☐☐

Her grandfather ＿＿＿ last year at the age of 95.

① passed out　② was passed away
③ passed away　④ passed by

③ pass away 亡くなる

訳 彼女の祖父は昨年、95 歳で亡くなった。

解説 「亡くなった」は passed away。自動詞なので受け身 was passed away は誤り。passed out は「気絶した」、passed by は「通り過ぎた」で、at the age of 95 と合わない。

区別 **pass away ⇔ pass out / pass by** pass out は「気絶する」、pass by は「通り過ぎる」。away が付くと「亡くなる」。会話で並べられる。

0062 ☐☐☐

The firefighters ＿＿＿ the fire in an hour.

① put off　② went out
③ put on　④ put out

④ put out ~ （火・明かり）を消す；~を外に出す

訳 消防士たちは 1 時間で火を消した。

解説 目的語 the fire を取って「消した」ので他動詞 put out。went out は自動詞で目的語を取れない（The fire went out. なら可）。put off は「延期した」、put on は「着た・上演した」。

区別 **put out ~ ⇔ go out** go out は自動詞「（火・明かりが）消える」、put out は他動詞「（火を）消す」。目的語があれば put out。

0063 ☐☐☐

We waited for an hour, but he never showed ＿＿＿.

① off　② out
③ in　④ up

④ show up 現れる；姿を見せる

訳 私たちは 1 時間待ったが、彼はとうとう現れなかった。

解説 待っていたのに「現れなかった」ので show up。show off は「見せびらかす」、show in は「（客を）中へ通す」で目的語が必要。show out も「（客を）送り出す」で意味が合わない。

区別 **show up ⇔ show off** show off は「見せびらかす・自慢する」。show up（現れる）と形が似ている。人前で目立とうとするなら off。

0064 □□□

With her bright yellow dress, she stood _____ from everyone else at the party.

① for ② by
③ out ④ up

③ stand out 目立つ；際立っている

訳 明るい黄色のドレスを着た彼女は、パーティーでほかの誰よりも目立っていた。

解説 「ほかの人の中で目立った」は stand out from ~。stand for は「表す」、stand by は「味方する」、stand up は「立ち上がる」で、from everyone else とつながらない。

区別 **stand out ⇔ stand for ~** stand for は「（略語が）表す・支持する」で目的語が必要。stand out は自動詞で「目立つ」。from ~ が続けば stand out。

0065 □□□

When his father retired, Ken took _____ the family restaurant.

① after ② over
③ off ④ in

② take over (~)
（~を）引き継ぐ；（~を）支配する・乗っ取る

訳 父親が引退すると、ケンが家族のレストランを引き継いだ。

解説 父の引退に合わせて店を「引き継いだ」ので took over。take after は「（親に）似ている」で店を目的語にしない。take off は「脱ぐ・離陸する」、take in は「理解する・だます」。

区別 **take over (~) ⇔ take after ~** take over は「引き継ぐ」、take after は「（親に）似ている」。目的語が business / job なら over、家族で性格・外見の話なら after。

0066 □□□

This sofa takes _____ too much space in my small room.

① on ② over
③ up ④ in

③ take up ~ （趣味など）を始める；（時間・場所）をとる

訳 このソファーは私の狭い部屋でかなり場所を取る。

解説 場所を「取る・占める」は take up。take on は「引き受ける」、take over は「引き継ぐ」、take in は「取り込む・理解する」で、space を目的語にして「場所を取る」の意味にならない。

区別 **take up ~ ⇔ take on ~** take on は「（仕事・責任を）引き受ける・（人を）雇う」、take up は「（趣味を）始める・（時間・場所を）取る」。目的語が space / time なら up。

0067 □□□

This bag is old, but don't throw _____. You can still use it.

① away it ② it away
③ it off ④ off it

② throw away ~ ~を捨てる；（機会など）を無駄にする

訳 このかばんは古いけれど、捨てないで。まだ使えるから。

解説 目的語が代名詞 it のときは throw it away と間に挟む（× throw away it）。throw it off は「振り払う」で意味が違う。off it という語順もない。

区別 **throw away ~ ⇔ give away ~** give away は「（ただで）人にあげる・（秘密を）漏らす」、throw away は「捨てる」。相手がいて受け取るなら give away。

0068 ☐☐☐

My lost key _____ in my coat pocket.

① turned down ② turned into
③ turned up ④ turned off

③ turn up (~) 現れる；（なくした物が）見つかる

訳 なくした鍵がコートのポケットから見つかった。

解説 なくした鍵がポケットから「見つかった」ので turned up。turned down は「断った・下げた」、turned into は「～に変わった」、turned off は「消した」で、なくし物が出てくる意味にならない。

区別 **turn up (~) ⇔ turn down ~** 音量では turn up（上げる）と turn down（下げる）が反対。turn down には「断る」、turn up には「現れる・見つかる」の意味がある。

0069 ☐☐☐

Let's wait _____ the rain to stop before we leave.

① to ② for
③ until ④ on

② wait for ~ ～を待つ

訳 出発する前に、雨がやむのを待とう。

解説 wait for A to do で「A が…するのを待つ」。the rain が to stop の意味上の主語。until は後ろに S V を取る（until the rain stops）ので、to stop とは組めない。to / on は wait と組んでこの意味にならない（wait on は「給仕する」）。

区別 **wait for ~ ⇔ await ~** wait は自動詞で for が必要、await は他動詞で前置詞なし。見分け方：空所の後ろに for があれば wait、目的語が直接続けば await。await for とは言わない。

0070 ☐☐☐

Kenji looked sad, so we tried to cheer _____ up.

① he ② him
③ his ④ himself

② cheer up 元気を出す；～を元気づける

訳 ケンジが悲しそうだったので、私たちは彼を元気づけようとした。

解説 cheer A up の A は目的語なので目的格 him。主格 he、所有格 his は目的語にならない。himself は主語（we）と同じ人でないので使えない。代名詞は cheer と up の間に入れる。

区別 **cheer up ⇔ cheer on ~** cheer on は「（試合などで）声援を送る」、cheer up は「（落ち込んだ人を）元気づける」。試合・選手なら on、落ち込んだ人なら up。

0071 ☐☐☐

Nobody knows how the change _____.

① brought about ② came about
③ was come about ④ came across

② come about 起こる；生じる

訳 その変化がどのようにして起こったのか、誰も知らない。

解説 目的語がなく「変化がどのように起こったか」なので自動詞 came about。brought about は他動詞で目的語が必要。自動詞は受け身にできないので was come about は誤り。came across は「偶然出会った」で目的語が要る。

区別 **come about ⇔ bring about ~** come about は「起こる」自動詞、bring about は「～を引き起こす」他動詞。目的語がなければ come about、あれば bring about。

0072 □□□

I promised my parents I would pass the exam. I can't let ＿＿＿＿ .

① down them　② them off
③ off them　④ them down

④ let down ~ ～を失望させる；～の期待を裏切る

訳 両親に試験に合格すると約束した。彼らをがっかりさせるわけにはいかない。

解説 「（両親を）がっかりさせる」は let A down で、代名詞は間に挟むので let them down。down them は語順の誤り。let them off は「（罰を）免除する」で意味が違い、off them という語順もない。

注意 ＝ disappoint ~。名詞 letdown（期待外れ）。feel let down（裏切られた気分になる）も出る。

0073 □□□

When she heard the sad news, she broke ＿＿＿＿ tears.

① into　② out
③ down　④ up

① break into ~ ～に押し入る；急に～し出す

訳 悲しい知らせを聞いて、彼女はわっと泣き出した。

解説 「急に泣き出す」は break into tears（＝ burst into tears）。後ろに tears が直接続くので into。out / down / up はこの形で tears を続けられない。

区別 **break into ~ ⇔ break in** break in は自動詞で目的語を取らない（Someone broke in last night.）。場所を目的語にするなら break into。

0074 □□□

She broke up ＿＿＿＿ her boyfriend last month.

① to　② with
③ from　④ of

② break up 解散する；別れる

訳 彼女は先月、彼氏と別れた。

解説 「（人と）別れる」は break up with ~。日本語の「～から」につられて from を選ぶ誤りが多い。to / of も break up と組まない。

区別 **break up ⇔ break down / break out** break down は「故障する」、break out は「（戦争などが）起こる」、break up は「別れる・解散する」。主語が人・バンドなら up。

0075 □□□

The baby was crying, so I held her to calm ＿＿＿＿ down.

① her　② she
③ hers　④ herself

① calm down 落ち着く；～を落ち着かせる

訳 赤ちゃんが泣いていたので、抱っこして落ち着かせた。

解説 calm A down の A は目的語なので目的格 her。主格 she、所有代名詞 hers は目的語にならない。herself は主語（I）と同じ人ではないので使えない。代名詞は calm と down の間に入れる。

注意 ＝ settle down / relax。他動詞 calm A down（A を落ち着かせる）も。会話の命令文で頻出。

0076 ☐☐☐

The village was cut ＿＿＿＿ from the rest of the world by the heavy snow.

① off　② out
③ down　④ up

① cut off ~ ～を切り離す；（供給）を止める

訳 大雪のため、その村は外の世界から孤立した。

解説 大雪で外の世界から「孤立した」は be cut off from ~。cut out は「切り抜く・やめる」、cut down は「切り倒す・減らす」、cut up は「細かく切る」で、from ~ とつながらない。

区別 **cut off ~ ⇔ cut down ~** cut down は「（木を）切り倒す・（量を）減らす」、cut off は「切り離す・（供給を）止める」。孤立・供給停止なら off。

0077 ☐☐☐

I'll drop in ＿＿＿＿ my grandparents on my way home.

① at　② to
③ by　④ on

④ drop in on ~ （人）のところにちょっと立ち寄る

訳 帰り道に祖父母の家にちょっと寄るつもりだ。

解説 後ろが人（my grandparents）なので drop in on ~。at は場所に使う（drop in at their house）。to / by は drop in と組んで人を訪ねる意味にならない。

区別 **drop in on ~ ⇔ drop out of ~** drop out of は「（学校を）中退する・脱落する」。drop in（立ち寄る）と in / out で意味が逆方向になる。

0078 ☐☐☐

If you miss classes, you'll fall ＿＿＿＿ in your studies.

① behind　② back on
③ off　④ down

① fall behind 遅れる；（支払いが）滞る

訳 授業を休むと、勉強が遅れるよ。

解説 授業を休むと勉強が「遅れる」ので fall behind。fall back on は「（いざというとき）～に頼る」、fall off は「落ちる・減る」、fall down は「倒れる」で、in your studies とつながらない。

区別 **fall behind ⇔ catch up with ~** fall behind は「遅れる（遅れが生じる）」、catch up with は「（遅れた後で）追いつく」。遅れが出たら fall behind、取り戻すなら catch up。

0079 ☐☐☐

I woke up at six, but I didn't ＿＿＿＿ until seven.

① get up　② wake up
③ stand by　④ sleep in

① get up 起きる；立ち上がる

訳 6 時に目が覚めたが、7 時まで起き上がらなかった。

解説 6 時に目は覚めたが、7 時まで「起き上がらなかった」ので get up。wake up は前半で済んでいるので矛盾する。stand by は「待機する・味方する」、sleep in は「寝坊する」で not ~ until と合わない。

区別 **get up ⇔ wake up** wake up は「目が覚める」、get up は「（寝床から）起き上がる」。目が覚めてもすぐ起き上がるとは限らない。

0080 ☐☐☐

Hurry up, ———— you'll be late for school.

① and　② but
③ so　④ or

④ hurry up 急ぐ；～を急がせる

訳 急ぎなさい、さもないと学校に遅れるよ。

解説 後ろが「遅刻する」という悪い結果なので、命令文, or ～（さもないと）の or。and だと「急げば遅刻する」になり意味が逆。but / so は命令文の後ろでこの働きをしない。

区別 **hurry up ⇔ 命令文, and ～** 命令文, and ～ は「そうすれば～」、命令文, or ～ は「さもないと～」。後ろが良い結果なら and、悪い結果なら or。

0081 ☐☐☐

Nobody talked to her at the party, so she felt left ———— .

① away　② out
③ off　④ over

② leave out ～ ～を省く；～を除外する

訳 パーティーで誰も彼女に話しかけなかったので、彼女は仲間外れにされたと感じた。

解説 誰も話しかけてくれず「仲間外れにされた気分」なので feel left out。left over は「残り物の」、left off は「中断した」で意味が合わない。left away という形もない。

区別 **leave out ～ ⇔ leave behind ～** leave behind は「置き忘れる・置き去りにする」、leave out は「（入れるべき物を）省く・入れない」。物を忘れて来たなら behind、リストや仲間に入れないなら out。

0082 ☐☐☐

When I look back ———— my high school days, I remember my good friends.

① for　② after
③ on　④ into

③ look back on ～ ～を振り返る；～を回想する

訳 高校時代を振り返ると、仲の良い友達を思い出す。

解説 過去を「振り返る」は look back on ～。for / after / into は look back と組んでこの意味にならない。on の代わりに to や at を使うこともある。

区別 **look back on ～ ⇔ look forward to ～** look back on は過去を振り返る、look forward to は未来を楽しみに待つ。前置詞も on / to で違う。

0083 ☐☐☐

———— out! There's a car coming!

① Look　② See
③ Watch for　④ Pay

① look out (for ～)
（～に）気をつける；（～を）警戒する

訳 気をつけて！　車が来るよ！

解説 「危ない！」は Look out!（＝ Watch out!）。See out は「（客を）見送る」で命令の警告にならない。Watch for の後ろに out は付かず、Pay out は「支払う」。

区別 **look out (for ～) ⇔ look out of ～** look out of は「（窓などから）外を見る」で後ろに場所。look out for は「～に気をつける」。後ろが window なら of、危険なら for。

0084 ☐☐☐

The sign was so far away that I couldn't make _____ what it said.

① up ② out
③ for ④ off

② make out ~ ～を理解する；～を判読する・見分ける

訳 その標識はあまりに遠くて、何と書いてあるか分からなかった。

解説 遠くて看板の字が「読み取れなかった」ので make out。make up は「でっち上げる」、make for は「～へ向かう」、make off は「逃げ去る」で、what it said を目的語にして意味が通らない。

区別 **make out ~ ⇔ make up ~** make up は「でっち上げる・構成する・化粧する」、make out は「判読する・理解する」。読めない字・聞き取れない声なら make out。

0085 ☐☐☐

Our food _____ after three days in the mountains.

① ran out of ② ran short of
③ ran out ④ used up

③ run out （物が）尽きる；なくなる

訳 山に入って 3 日後、食料が尽きた。

解説 物（Our food）が主語なので自動詞 ran out。ran out of / ran short of は人が主語で後ろに物を置く形。used up は他動詞で目的語が必要。

区別 **run out ⇔ run out of ~** 物が主語なら run out（Our money ran out.）、人が主語なら run out of 物（We ran out of money.）。目的語を直接置けるのは of 付きだけ。

0086 ☐☐☐

The soldier died _____ the wounds he received in the battle.

① from ② with
③ by ④ for

① die from ~ ～（けが・不注意など）がもとで死ぬ

訳 その兵士は、戦いで受けた傷がもとで死んだ。

解説 戦いで受けた傷（wounds）は死の間接的な原因なので die from ~。by は行為者や手段を表し、傷を死因として示す前置詞ではない。with / for も死因を表さない。病気・飢えなど直接の原因なら die of ~ と区別する。

区別 **die from ~ ⇔ die of ~** die of は病気・飢え・老齢など体の内側からの直接の原因、die from はけが・不注意・過労など外からの間接的な原因（伝統的な区別）。見分け方：cancer・hunger・old age なら of、injury・wound・overwork なら from。事故そのものは be killed in an accident。

0087 ☐☐☐

Dinosaurs _____ about 66 million years ago.

① died down ② died out
③ died of ④ were died out

② die out 絶滅する；（習慣などが）廃れる

訳 恐竜は約 6600 万年前に絶滅した。

解説 恐竜が「絶滅した」ので died out。died down は「（風などが）弱まった」、died of は「（病気など）で死んだ」で後ろに原因が必要。自動詞なので受け身 were died out は誤り。

区別 **die out ⇔ die down** die down は「（風・音・騒ぎが）弱まる・静まる」、die out は「完全になくなる・絶滅する」。主語が wind / noise なら down、species / custom なら out。

0088 ☐☐☐

He dropped out ＿＿＿＿ college to start his own company.

① at　② in
③ of　④ to

③ drop out of ~ ～を中退する；～から脱落する

訳 彼は自分の会社を始めるために大学を中退した。

解説 「～を中退する」は drop out of ~ で、out of（～の外へ）の of を落とさない。at / in / to は drop out の後ろでこの意味にならない。

区別 **drop out of ~ ⇔ drop in on ~** drop in on は「（人の所に）ちょっと立ち寄る」、drop out of は「中退する・脱落する」。in / out で逆方向になる。

0089 ☐☐☐

Please fill ＿＿＿＿ this application form in black ink.

① out　② up
③ over　④ down

① fill out ~ （書類）に記入する

訳 この申込書に黒いインクで記入してください。

解説 用紙に「記入する」は fill out（＝ fill in）。fill up は「（容器を）満たす」で用紙には使わない。fill over / fill down という熟語はない。

区別 **fill out ~ ⇔ fill in ~** 書類の記入ではほぼ同じ。fill in は「（空所を）埋める」「（人に）詳しく教える（fill A in on B）」など使い方が広い。

0090 ☐☐☐

These flowers give ＿＿＿＿ a sweet smell.

① away　② in
③ up　④ off

④ give off ~ （におい・熱・光・ガス）を発する

訳 これらの花は甘い香りを放つ。

解説 花が甘い香りを「放つ」ので give off。give away は「（人に）あげる」、give in は「屈する・提出する」、give up は「あきらめる」で、smell を目的語にして意味が通らない。

区別 **give off ~ ⇔ give away ~** give away は「（ただで）人にあげる・（秘密を）漏らす」。give off は物がにおい・熱などを「発する」。目的語が smell / heat なら off。

0091 ☐☐☐

My alarm clock didn't ＿＿＿＿ this morning, so I was late.

① go on　② go out
③ go off　④ go away

③ go off （警報・目覚ましが）鳴る；爆発する

訳 今朝は目覚まし時計が鳴らなかったので、遅刻した。

解説 目覚まし時計が「鳴る」は go off。go on は「（明かりが）つく・続く」、go out は「出かける・（火が）消える」、go away は「立ち去る」で、目覚ましが鳴らなかった意味にならない。

区別 **go off ⇔ go on** 明かりについては go on（つく）と go off（消える）が反対。go on には「続ける」の意味もある。目覚ましが鳴るのは go off。

0092 ☐☐☐

The teacher handed ＿＿＿＿ the test papers to the students.

① in　② out
③ up　④ down

② hand out ~ ～を配る

訳 先生は生徒たちに試験用紙を配った。

解説 先生が生徒に試験用紙を「配った」ので handed out。hand in は「提出する」で、先生が生徒に渡す向きと逆。hand up は普通使わず、hand down は「（次の世代に）伝える」。

区別 **hand out ~ ⇔ hand in ~** hand out は「（大勢に）配る」、hand in は「（先生・上司に）提出する」。配る側が先生なら out、提出する側が生徒なら in。

0093 ☐☐☐

I ＿＿＿＿ my umbrella on the train this morning.

① forgot　② missed
③ lost to　④ left

④ leave behind ~ ～を置き忘れる；～を置き去りにする

訳 今朝、電車に傘を置き忘れた。

解説 on the train と置き忘れた場所があるので left（leave の過去形）。forget は場所の語句と一緒に使えないので forgot は不可。missed は「乗り遅れた・恋しく思った」、lost to は「～に負けた」。

区別 **leave behind ~ ⇔ forget ~** forget は場所の語句と一緒に使えない（× I forgot my bag on the bus）。場所があるなら leave。forget は「持ってくるのを忘れた」と場所なしで使う。

0094 ☐☐☐

Could you look ＿＿＿＿ my essay before I hand it in?

① after　② for
③ over　④ up to

③ look over ~ ～にざっと目を通す；～を点検する

訳 提出する前に、私の作文に目を通してもらえませんか。

解説 提出前に作文に「目を通す」は look over。look after は「世話をする」、look for は「探す」、look up to は「尊敬する」で、作文を目的語にして意味が通らない。

区別 **look over ~ ⇔ overlook ~** overlook は「見落とす・見渡す」、look over は「目を通す」。over の位置で意味がほぼ逆になる点が頻出のひっかけ。

0095 ☐☐☐

All his hard work finally paid ＿＿＿＿ when he won the championship.

① off　② for
③ back　④ out

① pay off (~) 報われる；うまくいく

訳 選手権で優勝したとき、彼の努力はついに報われた。

解説 努力が「報われた」は自動詞 pay off。pay for は後ろに名詞が必要。pay back は「（お金を）返す・仕返しする」、pay out は「（大金を）支払う」で、努力が主語の文に合わない。

区別 **pay off (~) ⇔ pay for ~** pay for は「～の代金を払う・～の報いを受ける」で後ろに名詞が必要。pay off は自動詞で「報われる」と使える。

0096 □□□

We went to the airport to see _____.

① off him　② him out
③ out him　④ him off

④ see off ~ ～を見送る

訳 私たちは彼を見送りに空港へ行った。

解説 空港で「見送る」は see A off で、代名詞は間に挟むので see him off。off him は語順の誤り。see him out は「玄関まで見送る」で、空港には合わない。out him も語順の誤り。

区別 **see off ~ ⇔ see out ~** see out は「（客を）玄関まで見送る」、see off は「（旅立つ人を）駅・空港で見送る」。場所が airport / station なら see off。

0097 □□□

We set _____ for the mountains early in the morning.

① up　② off
③ in　④ down

② set off (~) 出発する；～を引き起こす

訳 私たちは朝早く山へ向けて出発した。

解説 for the mountains（山へ向けて）と目的地があり「出発した」ので set off。set up は「設立する」、set in は「（季節などが）始まる」、set down は「下に置く」で、for ~ とつながらない。

区別 **set off (~) ⇔ set up ~** set up は「（会社を）設立する・（テントを）組み立てる」、set off は「出発する・（警報を）鳴らす」。for ＋目的地が続けば set off。

0098 □□□

The man said he was a doctor, and many people were taken _____ by his lies.

① in　② on
③ up　④ off

① take in ~ ～を理解する；～をだます

訳 その男は医者だと言い、多くの人が彼のうそにだまされた。

解説 うそに「だまされた」は be taken in。take on は「引き受ける」、take up は「始める・取る」、take off は「脱ぐ」で、受け身にして by his lies と組んでも「だまされる」にならない。

注意 「理解する」＝ understand ~ / absorb ~、「だます」は be taken in（だまされる）＝ be deceived の受け身で頻出。

0099 □□□

She _____ too much work and became very tired.

① took off　② took in
③ took on　④ took after

③ take on ~ （仕事など）を引き受ける；（人）を雇う

訳 彼女は仕事を引き受けすぎて、とても疲れてしまった。

解説 仕事を「引き受けすぎて」疲れたので took on。took off は「脱いだ・離陸した」、took in は「理解した・だました」、took after は「似ていた」で、work を目的語にして意味が通らない。

区別 **take on ~ ⇔ take up ~** take up は「（趣味を）始める・（時間・場所を）取る」、take on は「（仕事・責任を）引き受ける」。目的語が work / responsibility なら on。

0100 □□□

In the story, the frog ———— a prince.

① turned out　② turned up
③ turned into　④ turned to

③ turn into ~ ～に変わる；～になる

訳 その物語では、カエルが王子に変わった。

解説 カエルが王子に「変わった」ので turned into。turned out は to be が必要で「判明した」の意味、turned up は「現れた」、turned to は「～の方を向いた・頼った」で、変身を表さない。

区別 **turn into ~ ⇔ turn out** turn out to be は「（結果として）～だと判明する」、turn into は「（性質・形が）～に変わる」。本当の姿が分かるなら turn out、姿が変わるなら turn into。

0101 □□□

When I have a problem, I always turn ———— my older sister for advice.

① into　② up
③ out　④ to

④ turn to ~ ～に頼る；～の方を向く

訳 困ったことがあると、私はいつも姉に助言を求める。

解説 turn to A for B（B を求めて A に頼る）なので to。turn into は「～に変わる」、turn up は「現れる」、turn out は「判明する」で、for advice とつながらない。

区別 **turn to ~ ⇔ turn into ~** turn into は「～に変わる」、turn to は「～に頼る・～の方を向く」。for ~ が続いて助けを求めるなら turn to。

0102 □□□

After working all day, I was completely worn ————.

① off　② away
③ up　④ out

④ wear out (~) （～を）すり減らす；すり切れる

訳 一日中働いて、私はすっかり疲れ果てていた。

解説 一日中働いて「疲れ果てた」は be worn out（＝ be exhausted）。worn off は「（効き目が）切れた」、worn away は「すり減ってなくなった」で、人の疲れには使わない。worn up という形もない。

区別 **wear out (~) ⇔ wear off** wear off は「（薬の効き目・痛みが）だんだん消える」、wear out は「すり切れる・疲れ果てる」。主語が medicine / pain なら off。

確認テスト1　句動詞｜日本語に合うように、空所に1語を書き込もう（答えは赤字）

0001 父は健康のために10年前にたばこをやめた。
My father gave **up** smoking ten years ago for his health.

0002 彼女は小さな町で祖父母に育てられた。
She was brought **up** by her grandparents in a small town.

0003 科学者たちは自分たちの考えを確かめるために実験を行った。
The scientists carried **out** an experiment to test their idea.

0004 彼女は文化祭のためのすばらしいアイデアを思いついた。
She came up **with** a great idea for the school festival.

0005 来年の夏にまた会えるのを楽しみにしています。
I'm looking **forward** to seeing you again next summer.

0006 空港へ行く途中で車が故障した。
My car broke **down** on the way to the airport.

0007 引き出しの中で両親の古い写真を偶然見つけた。
I came **across** an old photo of my parents in the drawer.

0008 市は深刻になっていく交通問題に対処しなければならない。
The city has to **deal** with the growing traffic problem.

0009 彼女はクラスメート全員とうまくやっている。
She gets **along** well with all of her classmates.

0010 休暇の間、うちの犬の世話をしてくれませんか。
Could you look **after** my dog while I'm on vacation?

0011 インターネットは私たちの生活様式に大きな変化をもたらした。
The internet has brought **about** huge changes in the way we live.

0012 終電が何時に出るのか調べないといけない。
I need to find **out** what time the last train leaves.

0013 彼が愛犬を失った悲しみから立ち直るには長い時間がかかった。
It took him a long time to get **over** the loss of his dog.

0014 ベルが鳴った後も彼女は話し続けた。
She went **on** talking even after the bell rang.

0015 砂糖を取りすぎると深刻な健康問題につながることがある。
Eating too much sugar can **lead** to serious health problems.

0016 学校の近くでアルバイトを探している。
I'm looking **for** a part-time job near my school.

0017 大雨のため試合を延期しなければならなかった。
We had to put **off** the game because of the heavy rain.

0018 もうこの騒音には我慢できない。
I can't put up **with** this noise any longer.

0019 牛乳を切らしたから買ってくるね。
We've run out **of** milk, so I'll buy some.

0020 昨夜遅くに台所から火事が起きた。
A fire broke **out** in the kitchen late last night.

0021 先に行って。後で追いつくから。
Go ahead, and I'll catch up **with** you later.

0022 医者に砂糖と塩を控えるように言われた。
My doctor told me to cut down **on** sugar and salt.

0023 この新しいアプリの使い方が分からない。
I can't figure **out** how to use this new app.

0024 彼女は若いころ多くの苦難を経験した。
She went **through** a lot of hardships when she was young.

0025 6時に駅まで迎えに来てくれない？
Could you pick me **up** at the station at six?

0026 野外コンサートは嵐のため中止された。
The outdoor concert was called **off** because of the storm.

0027 他のランナーについていくのは私には大変だった。
It was hard for me to keep **up** with the other runners.

0028 先生が私の作文の間違いをいくつか指摘してくれた。
My teacher pointed **out** a few mistakes in my essay.

0029 おじは30歳のときに自分の会社を立ち上げた。
My uncle set **up** his own company when he was thirty.

0030 給料が低すぎたので、彼女はその仕事の申し出を断った。
She turned **down** the job offer because the pay was too low.

0031 私たちは道に迷って、結局3時間も歩くことになった。
We got lost and ended **up** walking for three hours.

0032 私は海辺の小さな町で育った。
I grew **up** in a small town by the sea.

0033 レポートは来週の金曜日までに提出してください。
Please hand **in** your reports by next Friday.

0034 多くの若い選手が彼を偉大なリーダーとして尊敬している。
Many young players look **up** to him as a great leader.

0035 失った時間を取り戻すため、遅くまで働いた。
I worked late to make up **for** the time I had lost.

0036 リサは母親似で、二人とも音楽が大好きだ。
Lisa takes **after** her mother; they both love music.

0037 霧のため、私たちの飛行機は30分遅れて離陸した。
Our plane took **off** thirty minutes late because of the fog.

0038 新任の先生についてのうわさはうそだと分かった。
The rumor about the new teacher turned **out** to be false.

0039 貧しいからといって人を見下してはいけない。
You should never look **down** on people because they are poor.

0040 修学旅行の費用は合計で500ドルを超えた。
The cost of the school trip added **up** to more than 500 dollars.

0041 その状況は政府の早急な対応を必要としている。
The situation calls **for** immediate action from the government.

0042 多くの英単語はラテン語とフランス語に由来する。
Many English words come **from** Latin and French.

0043 多くの学校が制服を廃止した。
Many schools have done **away** with school uniforms.

0044 政府はテロリストの要求に屈することを拒んだ。
The government refused to give **in** to the terrorists' demands.

0045 警察は事故の原因を調べている。
The police are looking **into** the cause of the accident.

0046 このクラブの会員の半分以上は女性だ。
Women make **up** more than half of the members of this club.

0047 出かける前にコートを着なさい。すごく寒いよ。
Put **on** your coat before you go out. It's freezing.

0048 昨日、本屋で昔の友人に偶然会った。
I ran **into** an old friend at the bookstore yesterday.

0049 UN という文字は国際連合を表している。
The letters 'UN' stand **for** the United Nations.

0050 心配しないで。最後には全部うまくいくよ。
Don't worry. Everything will work **out** in the end.

0051 私が電話をしている間、仕事を続けてください。
Please carry **on** with your work while I make a call.

0052 今夜外食するかどうかは君次第だよ。
It's **up** to you whether we eat out tonight or not.

0053 明日病院にいるおじを見舞うつもりだ。
I'll call **on** my uncle in the hospital tomorrow.

0054 1日たりともスマートフォンなしでは過ごせない。
I can't do **without** my smartphone even for a day.

0055 この用紙に記入して受付に渡してください。
Please fill **in** this form and give it to the receptionist.

0056 今日の授業の要点をもう一度復習しよう。
Let's go **over** the main points of today's lesson again.

0057 そのままお待ちください。支配人におつなぎします。
Hold **on**, please. I'll put you through to the manager.

0058 ベルが鳴った後も、生徒たちはしゃべり続けた。
Even after the bell rang, the students kept **on** talking.

0059 その映画は私の期待ほどではなかった。
The movie did not live **up** to my expectations.

0060 知らない単語があれば辞書で調べなさい。
If you don't know a word, look it **up** in the dictionary.

0061 彼女の祖父は90歳で安らかに亡くなった。
Her grandfather passed **away** peacefully at the age of ninety.

0062 消防士たちは1時間もしないうちに火を消した。
The firefighters put **out** the fire in less than an hour.

0063 彼は来ると約束したのに、結局現れなかった。
He promised to come, but he never showed **up**.

0064 赤いコートのおかげで、彼女は人ごみの中で目立った。
Her red coat made her stand **out** in the crowd.

0065 父親が引退したとき、彼女はパン屋を継いだ。
She took **over** her father's bakery when he retired.

0066 祖父は退職後に絵を始めた。
My grandfather took **up** painting after he retired.

0067 ペットボトルは捨てずにリサイクルしなさい。
Don't throw **away** plastic bottles; recycle them instead.

0068 会議に来たのはたった10人だった。
Only ten people turned **up** for the meeting.

0069 私は雨の中、バスがやっと来るまで待った。
I waited **for** the bus in the rain until it finally came.

0070 手術の後、彼女を元気づけるために花を贈った。
I sent her flowers to cheer her **up** after the surgery.

0071 その事故がどのようにして起きたのか説明してもらえますか。
Can you explain how the accident came **about**?

0072 両親をがっかりさせたくなかったので、一生懸命勉強した。
I studied hard because I didn't want to let my parents **down** .

0073 休暇で留守の間に誰かが家に押し入った。
Someone broke **into** our house while we were on vacation.

0074 会議は9時ごろにお開きになった。
The meeting broke **up** at around nine o'clock.

0075 落ち着いて、何があったのか正確に話して。
Calm **down** and tell me exactly what happened.

0076 地震の後、数時間水道が止まった。
The water supply was cut **off** for several hours after the earthquake.

0077 京都に来たときはいつでも気軽に寄ってください。
Please drop **in** on us whenever you visit Kyoto.

0078 授業を休むと、クラスのほかの人たちに後れを取るよ。
If you miss classes, you'll fall **behind** the rest of the class.

0079 私は普段6時に起きて、学校の前にランニングをする。
I usually get **up** at six to go running before school.

0080 急いで、じゃないと映画に遅れるよ！
Hurry **up** , or we'll be late for the movie!

0081 報告書を書くときは、大事な細部を一つも省かないように。
Don't leave **out** any important details when you write your report.

0082 高校時代を振り返ると、幸せな気持ちになる。
When I look **back** on my high school days, I feel happy.

0083 この交通量の多い通りを渡るときは車に気をつけて。
Look **out** for cars when you cross this busy street.

0084 騒音のせいで、彼が何を言っているのか分からなかった。
I couldn't make **out** what he was saying because of the noise.

0085 時間がなくなってきているので、早くテストを終えてください。
Time is running **out** , so please finish the test quickly.

0086 悲しいことに、その運転手は事故の1週間後に、けががもとで亡くなった。
Sadly, the driver **died** from his injuries a week after the accident.

0087 多くの古い習慣が農村部で廃れつつある。
Many old customs are dying **out** in rural areas.

0088 彼は自分の会社を始めるために大学を中退した。
He dropped **out** of college to start his own company.

0089 クラブに入るには申込書に記入する必要がある。
You need to fill **out** an application form to join the club.

0090 この花は夜になると甘い香りを放つ。
These flowers give **off** a sweet smell at night.

0091 今朝は目覚まし時計が鳴らなかったので遅刻した。
My alarm clock didn't go **off** this morning, so I was late.

0092 ボランティアが走者に無料の水を配った。
Volunteers handed **out** free water to the runners.

0093 今朝、電車に傘を置き忘れた。
I left my umbrella **behind** on the train this morning.

0094 テストを提出する前に答えを見直してください。
Please look **over** your answers before you hand in the test.

0095 試験に合格して、彼の努力はついに報われた。
All his hard work finally paid **off** when he passed the exam.

0096 私たちはおじを見送りに空港へ行った。
We went to the airport to see our uncle **off** .

0097 渋滞を避けるため、私たちは朝早く出発した。
We set **off** early in the morning to avoid traffic.

0098 情報が多すぎて、すべてを理解することはできなかった。
There was so much information that I couldn't take it all **in** .

0099 彼女は仕事を引き受けすぎて体を壊した。
She took **on** too much work and got sick.

0100 その小さな町はにぎやかな都市に変わった。
The small town has turned **into** a busy city.

0101 困ったとき、私はいつも姉に助言を求める。
When I have a problem, I always turn **to** my sister for advice.

0102 長いハイキングの後、私たちはくたくたに疲れていた。
After the long hike, we were completely worn **out** .

CHAPTER 2

動詞が中心の熟語・語法

take part in・make up one's mind・deprive A of B など、動詞を中心にした決まった形。前置詞の選択問題が頻出。　No.0103〜0329（227 問）

問題

0103 □□□

A: Are you going to walk to the station tomorrow? B: It ＿＿＿＿. If it rains, I'll take a taxi.

① depends　② counts
③ relies　④ decides

解答・解説（赤シートで隠せます）

① depend on ~　〜に頼る；〜次第である

訳 A：明日は駅まで歩いていくの？　B：状況次第だね。雨が降ったらタクシーに乗るよ。

解説 「場合による（天気次第）」は It depends.。rely / count は「頼る」の意味しかなく、目的語なしで It relies. / It counts.（それは重要だ）としても「場合による」にならない。decides も主語 It と合わない。後ろの If it rains ~ が「次第」の中身になっている。

区別 **depend on ~ ⇔ be independent of ~**　形容詞にすると「頼っている」は be dependent on（on のまま）だが、反対の「独立している」は be independent of と of に変わる。見分け方：independent を見たら of。dependent / independent の前置詞の違いを問う問題が定番。

0104 □□□

The heavy snow prevented the train ＿＿＿＿ on time.

① to arrive　② from arriving
③ for arriving　④ of arriving

② prevent A from ~ing
A が〜するのを妨げる；A に〜させない

訳 大雪のせいで、列車は時間どおりに着けなかった。

解説 prevent A from ~ing で「A が〜するのを妨げる」。to arrive は allow / enable など「させる」系の形で、prevent には使えない。of / for も prevent とは組まない。無生物主語なので「大雪のせいで電車が時間どおりに着けなかった」と訳す。

区別 **prevent A from ~ing ⇔ keep A ~ing**　keep A from ~ing は prevent と同じ「A に〜させない」だが、from を落とした keep A ~ing は「A に〜させ続ける」で正反対の意味になる。見分け方：from があるかどうか。

0105 □□□

This hotel provides every guest ＿＿＿＿ a free breakfast.

① for　② to
③ with　④ of

③ provide A with B　A に B を与える；A に B を供給する

訳 このホテルは宿泊客全員に無料の朝食を提供している。

解説 provide の直後が人（every guest）なので provide A with B の形で with。for / to は provide a free breakfast for every guest のように物が先に来るときに使う。of は deprive A of B（奪う）の前置詞で、意味が逆になる。

区別 **provide A with B ⇔ provide B for A**　人が先なら provide A with B、物が先なら provide B for（to）A。見分け方：provide の直後が人なら with、物なら for / to。書き換え問題の最頻出。

0106 ☐☐☐

More than 300 students ———— in the speech contest last year.

① joined ② attended
③ took place ④ took part

④ take part in ~ ～に参加する

訳 昨年は 300 人以上の生徒がスピーチコンテストに参加した。

解説 後ろに in があるので took part（in）。joined と attended は他動詞で、in を挟まず the contest を直接目的語にする。took place は「行われた」で主語が行事のときに使い、生徒が主語の文には合わない。

区別 **take part in ~ ⇔ join** join は他動詞で前置詞が要らない（join the club）。take part in / participate in は in が必要。見分け方：空所の後ろに名詞が直接続けば join、in が続けば take part / participate。

0107 ☐☐☐

The Olympic Games ———— in Paris in 2024.

① were happened ② were taken place
③ held ④ took place

④ take place
（行事などが）行われる；（出来事が）起こる

訳 オリンピックは 2024 年にパリで開催された。

解説 take place は自動詞なので能動態の took place。were taken place、were happened のように自動詞を受け身にするのは誤り。held は「開催した」で、Games が開催する側になってしまう（were held なら正しい）。

区別 **take place ⇔ happen / occur** happen / occur は主に偶然の出来事で、予定された行事には使いにくい。take place は予定行事にも使える。3 つとも自動詞で受け身不可。見分け方：計画された行事（式・大会）なら take place。

0108 ☐☐☐

You should pay more attention ———— what your teacher says.

① on ② to
③ at ④ for

② pay attention to ~ ～に注意を払う

訳 先生の言うことにもっと注意を払うべきだ。

解説 pay attention to ~ で「～に注意を払う」。to は前置詞なので後ろに what 節が来てもよい。focus on / concentrate on は on を使うので on と混同しやすいが、attention と組むのは to。at / for もこの熟語では使わない。

区別 **pay attention to ~ ⇔ draw attention to ~** pay attention to は「（自分が）注意を向ける」、draw / call attention to は「（他人の）注意を～に向けさせる」。見分け方：主語が他人に気づかせる立場（記事・発表）なら draw / call。

0109 ☐☐☐

The children were well taken care ———— while their parents were away.

① of ② by
③ for ④ with

① take care of ~ ～の世話をする；～を処理する

訳 両親の留守中、子どもたちはしっかり面倒を見てもらった。

解説 take care of ~ の受動態は be taken care of で、of を残す。by は行為者を表すときに of の後ろへ付ける（taken care of by their aunt）。for / with はこの熟語の前置詞ではない。群動詞の受け身で前置詞を落とさない定番問題。

区別 **take care of ~ ⇔ care about ~** take care of は実際に面倒を見る・処理する行動。care about は「気にかける・関心がある」という心の状態。見分け方：行動なら take care of、気持ちなら care about。

0110 ☐☐☐

It took him years to get rid ＿＿＿ his habit of biting his nails.

① off　② from
③ of　④ out

③ get rid of ~ ～を取り除く；～を処分する

訳 彼は爪をかむ癖を直すのに何年もかかった。

解説 get rid of ~ で「～を取り除く」。of は「分離」を表し、rob A of B / deprive A of B の of と同じ。off（get off は降りる）や out、from と取り違えやすいので注意。目的語が習慣（habit）でも使えるのがこの熟語の特徴。

区別 **get rid of ~ ⇔ throw away** throw away は物を「捨てる」。get rid of は物以外（習慣・悩み・風邪・不安）にも使える。見分け方：目的語が抽象的なもの（habit / fear / cold）なら get rid of。

0111 ☐☐☐

Many people ＿＿＿ this novel the author's best work.

① consider　② regard
③ look on　④ think of

① regard A as B A を B と見なす；A を B と考える

訳 多くの人がこの小説をその作家の最高傑作だと考えている。

解説 空所の後ろが this novel / the author's best work と as なしで並んでいるので、as を省ける consider。regard / look on / think of はどれも A as B の形が必要で、as を落とせない。as の有無で動詞を選ぶ定番の問題。

区別 **regard A as B ⇔ consider A (as) B** consider は as を省いた consider A B や consider A to be B も可。regard は as が必須。見分け方：空所の後ろが A B と並んで as がないなら consider。

0112 ☐☐☐

Every time I hear this song, it ＿＿＿ me of my grandmother.

① remembers　② reminds
③ recalls　④ memorizes

② remind A of B
A に B を思い出させる；A に B のことを気づかせる

訳 この歌を聞くたびに、私は祖母を思い出す。

解説 「（歌が）私に祖母を思い出させる」は remind A of B。remember / recall は「（人が）思い出す」で、後ろに me of ~ の形を取らない。memorizes は「暗記する」。主語が物で、直後に思い出す人が来ていることが決め手。

区別 **remind A of B ⇔ remember** remember は「（自分が）思い出す・覚えている」で思い出す人が主語。remind は「（人に）思い出させる」で後ろに人が来る。見分け方：動詞の直後に思い出す人がいれば remind。

0113 ☐☐☐

The heavy rain resulted ＿＿＿ a flood that damaged many houses.

① in　② from
③ to　④ of

① result in ~ ～という結果になる；～に終わる

訳 大雨の結果、洪水が起こり、多くの家が被害を受けた。

解説 主語の大雨が原因、洪水が結果なので result in。result from にすると「大雨が洪水から生じた」と向きが逆になる。to / of は result とこの意味では組まない。主語が原因か結果かで前置詞を決める。

区別 **result in ~ ⇔ result from ~** result in は「原因→結果」、result from は「結果←原因」。見分け方：主語が原因（不注意・大雨）なら in、主語が結果（事故・病気）なら from。

0114 □□□

You should take full _____ of this chance to study abroad.

① use ② advantage
③ advantages ④ benefit

② take advantage of ~
～を利用する；（人の弱み・好意）につけ込む

訳 この留学の機会を十分に活用すべきだ。

解説 take full advantage of ~ で「～を最大限に利用する」。advantage は単数で使い、advantages と複数にしない。use なら make full use of で動詞は make、benefit は benefit from ~ の形で使い、take ~ of とは組まない。

区別 **take advantage of ~ ⇔ make use of ~** どちらも「利用する」だが、make use of には「（人に）つけ込む」の意味がない。見分け方：人の好意・親切を悪用する文脈なら take advantage of。

0115 □□□

There _____ a big cherry tree in front of the station, but it was cut down last year.

① was used to being ② would be
③ is used to be ④ used to be

④ used to do 以前はよく～した；以前は～だった

訳 駅の前には以前大きな桜の木があったが、昨年切り倒された。

解説 「以前は～があった（今はない）」という過去の状態なので used to be。would は過去の動作の習慣にしか使えず、There would be ~ では状態を表せない。was used to being は「慣れていた」、is used to be は形が誤り。

区別 **used to do ⇔ be used to ~ing** used to do は過去の習慣で後ろは原形、be used to ~ing は「～に慣れている」で to は前置詞。見分け方：be 動詞や get が前にあれば「慣れ」、なければ過去の習慣。

0116 □□□

I've lived in Hokkaido for ten years, so I'm used to _____ in the snow.

① driving ② drive
③ have driven ④ be driving

① be used to ~ing ～するのに慣れている

訳 北海道に 10 年住んでいるので、雪の中の運転には慣れている。

解説 be used to ~ing で「～するのに慣れている」。この to は前置詞なので後ろは動名詞 driving。drive にすると be used to do（～するのに使われる）の形になり、主語 I と意味が合わない。have driven / be driving も前置詞の後ろに置けない。

区別 **be used to ~ing ⇔ used to do** used to do は「以前はよく～した」で原形、be used to ~ing は慣れで動名詞。見分け方：be 動詞があれば慣れ。

0117 □□□

The movie was so sad that I couldn't help _____.

① but crying ② to cry
③ cry ④ crying

④ cannot help ~ing ～せずにはいられない

訳 その映画はとても悲しくて、泣かずにはいられなかった。

解説 cannot help ~ing で「～せずにはいられない」なので crying。to cry は help の後ろに置けず、cry だけでもこの意味にならない。but を使うなら cannot help but cry と原形で、but crying は形が混ざった誤り。

区別 **cannot help ~ing ⇔ cannot help but do** 同じ意味だが後ろは原形。見分け方：but があれば原形、なければ ~ing。混ぜた × cannot help but laughing は誤り。

0118 ☐☐☐

He hasn't made up his mind ＿＿＿ to go to college or start working.

① that ② whether
③ which ④ what

② make up one's mind 決心する

訳 彼は大学に進むか働き始めるか、まだ決心がついていない。

解説 「大学に行くか働くか」の 2 択を決めるので whether to do（～すべきかどうか）。後ろに or があるのも手がかり。that は to 不定詞を続けられず、which / what は後ろに名詞が欠けていないと使えない。make up one's mind は whether / wh 節を後ろに取れる。

区別 **make up one's mind ⇔ change one's mind** make up one's mind は「決める」、change one's mind は「（一度決めたことを）変える・気が変わる」。見分け方：前に決めていた内容があり、それが変わるなら change。

0119 ☐☐☐

Japan relies on other countries ＿＿＿ most of its oil.

① from ② by
③ for ④ with

③ rely on ～ ～に頼る；～を当てにする

訳 日本は石油の大部分を他国に頼っている。

解説 rely on A for B で「B を A に頼る」なので for。for は「～を求めて」の意味。石油が他国から来るので from を選びやすいが、rely on の後ろの形は for。by / with も合わない。depend on A for B も同じ形。

区別 **rely on ～ ⇔ depend on ～** rely on は「頼る・信頼する」だけで、「～次第である」の意味はない。depend on は両方ある。見分け方：主語が物事で結果が左右される（It depends on the weather）なら depend。

0120 ☐☐☐

We often take clean water ＿＿＿, but many people in the world cannot get it easily.

① as granted ② for granted
③ for granting ④ to grant

② take ～ for granted ～を当然のことと思う

訳 私たちはきれいな水を当たり前だと思いがちだが、世界には簡単に手に入れられない人が大勢いる。

解説 take ～ for granted で「～を当然と思う」。granted は過去分詞で「認められたもの」、for は「～として」。as granted や for granting、to grant は決まった形ではない。後半の「簡単に手に入らない人も多い」が「当然と思う」と対比になっている。

区別 **take ～ for granted ⇔ take it for granted that S V** 目的語が名詞なら take A for granted、文なら it を置いて take it for granted that S V。見分け方：granted の後ろに that 節があれば it が必要。

0121 ☐☐☐

Students from abroad account ＿＿＿ about 20 percent of the university's population.

① of ② with
③ to ④ for

④ account for ～ ～を説明する；～の割合を占める

訳 留学生がその大学の学生数の約 20%を占めている。

解説 割合を表す account for ～（～を占める）。グラフや統計の英文で最頻出の使い方。of / to / with は account と組んでこの意味にならない。make up を使うなら前置詞なしで make up about 20 percent となる。

区別 **account for ～ ⇔ explain** explain は他動詞で前置詞が要らない（× explain about は入試では誤り）。account for は for が必要。見分け方：空所の後ろに for があれば account。

0122 ☐☐☐

The committee ＿＿＿＿ ten members, including two students.

① is consisted of　② is consisting of
③ consists in　④ consists of

④ consist of ~ ～から成り立つ

訳 その委員会は生徒 2 人を含む 10 人の委員で構成されている。

解説 consist は自動詞なので受け身の is consisted of は誤り。状態を表す動詞なので進行形 is consisting of も不可。consists in は「～にある（本質）」で、委員の人数には使わない。構成要素を言う consists of が正解。

区別 **consist of ~ ⇔ consist in ~** of は構成要素（部品・メンバー）、in は本質・核心（Happiness consists in contentment.）。見分け方：後ろが具体的な部分なら of、抽象的な核心なら in。

0123 ☐☐☐

Many foreign tourists have difficulty ＿＿＿＿ their way around Tokyo Station.

① find　② to find
③ finding　④ found

③ have difficulty (in) ~ing ～するのに苦労する

訳 多くの外国人観光客が東京駅で道に迷って苦労している。

解説 have difficulty (in) ~ing で「～するのに苦労する」なので finding。to find は It is difficult to find ~ のように形容詞 difficult の後ろで使う形。find / found は形が合わない。in が省かれていても ~ing が続く。

区別 **have difficulty (in) ~ing ⇔ It is difficult (for A) to do** 形容詞 difficult は to do を取り、名詞 difficulty は ~ing を取る。見分け方：difficulty（名詞）なら ~ing、difficult（形容詞）なら to do。

0124 ☐☐☐

Could you help ＿＿＿＿ this heavy suitcase?

① with me　② me with
③ my　④ me for

② help A with B A の B を手伝う

訳 この重いスーツケースを運ぶのを手伝ってもらえませんか。

解説 help A with B で「A の B を手伝う」なので me with。help の後ろには先に人を置く。with me は語順が逆、my では「私のスーツケースを手伝う」の形にならない。for は help とこの意味では組まない。

区別 **help A with B ⇔ help A (to) do** 手伝う仕事が名詞なら with、動詞なら原形か to do。見分け方：空所の後ろが名詞（homework / the dishes）なら with。

0125 ☐☐☐

It ＿＿＿＿ to leave early because the roads will be crowded later.

① makes sense of　② has sense
③ takes sense　④ makes sense

④ make sense 意味をなす；理にかなう

訳 後で道路が混むから、早めに出発するのは理にかなっている。

解説 It makes sense to do で「～するのは理にかなっている」。makes sense of は人が主語で「～を理解する」の形なので、形式主語 It の文には合わない。has sense / takes sense は決まった表現ではない。

区別 **make sense ⇔ make sense of ~** make sense の主語は物事（筋が通る）、make sense of の主語は人（理解する）。見分け方：of の後ろに理解する対象があれば人が主語。

0126 ☐☐☐

Bees play ＿＿＿ role in helping plants grow.

① important　② an important
③ the importance　④ importantly

② play a role in ~ ～で役割を果たす

訳 ミツバチは植物の成長を助けるのに重要な役割を果たしている。

解説 play a role in ~ の a role に形容詞が入ると an important role。role は数えられる名詞なので冠詞なしの important role は不可。the importance / importantly は名詞・副詞で role を修飾できない。

区別 **play a role in ~ ⇔ take part in ~** take part in は「参加する」、play a part / role in は「役割を果たす」。見分け方：play があれば役割、take なら参加。

0127 ☐☐☐

I prefer staying at home ＿＿＿ going out on rainy days.

① than　② from
③ to　④ rather

③ prefer A to B B より A を好む

訳 雨の日は出かけるより家にいるほうが好きだ。

解説 prefer A to B で「B より A を好む」なので to。than は would rather A than B や比較級で使い、prefer A than B は誤り。rather を使うなら prefer to stay at home rather than go out の形になる。from は合わない。

区別 **prefer A to B ⇔ would rather A than B** would rather は原形を取り than で比べる（I'd rather walk than drive）。prefer は to で比べる。見分け方：than があれば would rather（または prefer to do rather than）。

0128 ☐☐☐

Many people tend ＿＿＿ more sweets when they are under stress.

① eating　② eat
③ eaten　④ to eat

④ tend to do ～しがちである；～する傾向がある

訳 多くの人は、ストレスがあると甘い物をたくさん食べがちだ。

解説 tend は不定詞を取り、tend to do で「～しがちである」。よって to eat。eating（動名詞）/ eat（原形）/ eaten（過去分詞）は tend の後ろに置けない。ストレスがあると甘い物を食べがちという一般的な傾向なので、現在形の tend とも合う。

区別 **tend to do ⇔ be likely to do** tend to do は「（普段から）～しがちだ」と繰り返し見られる傾向。be likely to do は「（今回）～しそうだ」と 1 回の出来事の見込みにも使う。見分け方：習慣・一般的な性質なら tend to、明日の天気のような個別の予測なら be likely to。

0129 ☐☐☐

Thank you ＿＿＿ me with the move last weekend.

① to help　② helping
③ for helping　④ for help

③ thank A for B B のことで A に感謝する

訳 先週末は引っ越しを手伝ってくれてありがとう。

解説 thank A for B の B に動名詞を置いて for helping。for help にすると help が名詞になり、後ろの me を目的語に取れない。to help / helping は thank you の後ろに直接置けない。感謝の理由は for で示す。

区別 **thank A for B ⇔ appreciate** appreciate の目的語は物事（help / kindness）、thank の目的語は人。見分け方：直後が人なら thank、物事なら appreciate。

0130 ☐☐☐

I don't know anything about the broken window. I had _____ to do with it.

① nothing ② something
③ anything ④ much

① have nothing to do with ~ ～と何の関係もない

訳 割れた窓のことは何も知りません。私はそれと何の関係もありません。

解説 窓のことは何も知らないと言っているので「全く関係ない」の nothing。anything は否定文（didn't have anything）でないと使えない。something / much は「関係がある」になり、前の文と矛盾する。

区別 **have nothing to do with ~ ⇔ have something to do with ~** nothing は無関係、something は何らかの関係、a lot / much は大いに関係、little はほとんど無関係。同じ型の差し替え。見分け方：文脈で関係の量を決める。

0131 ☐☐☐

The doctor insisted that my mother _____ in bed for a few more days.

① stays ② staying
③ to stay ④ stay

④ insist on ~ ～を主張する；～を強く要求する

訳 医者は母にもう数日寝ているようにと強く言った。

解説 「寝ているべきだ」と要求しているので、insist that S (should) 原形 の形で stay。主語が my mother でも stays にしない（should が省かれた原形）。staying / to stay は that 節の動詞の形として誤り。suggest / demand / require も同じ形。

区別 **insist on ~ ⇔ insist that S V（事実の主張）** 要求（～すべきだ）なら that S (should) 原形、事実の主張（～だと言い張る）なら普通の時制。見分け方：「～しろ」と求めているか「～だ」と言い張っているか。

0132 ☐☐☐

Although the test was very hard, I managed _____ all the questions before time ran out.

① to answer ② answering
③ answer ④ answered

① manage to do 何とか～する；どうにか～をやり遂げる

訳 テストはとても難しかったが、何とか時間内に全部の問題に答えた。

解説 manage は不定詞を目的語に取り、manage to do で「何とか～する」。よって to answer。manage は動名詞を取らないので answering は誤り。answer（原形）/ answered（過去形）も manage の後ろに直接置けない。

区別 **manage to do ⇔ succeed in ~ing** manage to do は「苦労して何とか～する」と困難を乗り越えた響き、succeed in ~ing は「～することに成功する」とやや改まった言い方。形も違い、manage は to do、succeed は in ~ing。見分け方：動詞ごとに後ろの形を覚える。

0133 ☐☐☐

When choosing a university, you should take _____ account the cost of living in the city.

① in ② into
③ for ④ on

② take ~ into account ～を考慮に入れる

訳 大学を選ぶときは、その都市の生活費を考慮に入れるべきだ。

解説 take ~ into account の目的語（the cost of living ~）が長いので、take into account ~ の語順になっている。前置詞は into で、in / on / for は使わない。account for だと「説明する」になり、take と組まない。

区別 **take ~ into account ⇔ account for ~** account for は「説明する・（割合を）占める」、take ~ into account は「考慮する」。見分け方：take と into があれば考慮。

0134 ☐☐☐

The man was accused ＿＿＿＿ stealing a car.

① of　② for
③ with　④ about

① accuse A of B

A を B のことで非難する；A を B の罪で訴える

訳 その男は車を盗んだ罪で告発された。

解説 accuse A of B の受動態で be accused of ~。blame / criticize は for を使うので for と混同しやすい。with は charge A with B（告発する）の前置詞。about は accuse と組まない。

区別 **accuse A of B ⇔ blame A for B / criticize A for B** 非難系でも blame / criticize / scold は for、accuse は of。見分け方：accuse を見たら of。

0135 ☐☐☐

This movie is based ＿＿＿＿ a true story that happened in the 1960s.

① in　② on
③ at　④ by

② base A on B

A の根拠を B に置く；B に基づいて A を作る

訳 この映画は 1960 年代に起きた実話に基づいている。

解説 「実話に基づいている」は be based on ~。based in は「（場所）に本拠を置く」で、後ろが都市・国のとき。at / by もこの意味では使わない。後ろが story（話）なので根拠を表す on。

区別 **base A on B ⇔ be based in ~** in は場所で「~に本拠を置く」（The company is based in Osaka）。on は根拠。見分け方：後ろが都市・国なら in、話・事実・データなら on。

0136 ☐☐☐

The old temple is said ＿＿＿＿ built more than a thousand years ago.

① to be　② that it was
③ having been　④ to have been

④ be said to do …すると言われている

訳 その古い寺は 1000 年以上前に建てられたと言われている。

解説 建てられたのは「言われている」今より前（a thousand years ago）なので、完了不定詞の to have been。to be だと今の状態を表し ago と合わない。having been は is said の後ろに置けない。that it was は It is said that ~ の形でなければ使えない。

区別 **be said to do ⇔ It is said that S V** 意味は同じで、主語と動詞の形が違う。It is said that he lives here. ＝ He is said to live here. that 節の動詞が is said より前の時なら to have done（It is said that he lived here. ＝ He is said to have lived here.）。見分け方：主語が It なら that 節、人・物なら to 不定詞。

0137 ☐☐☐

Don't blame yourself. You are not ＿＿＿＿ blame for what happened.

① for　② on
③ of　④ to

④ blame A for B

B のことで A を責める；B を A のせいにする

訳 自分を責めないで。起きたことはあなたのせいではない。

解説 be to blame for ~ で「~の責任がある」。「責められるべき」という受け身の意味でも to blame と原形を使う決まった形。for / on / of は be の後ろでこの形を作れない。blame A for B と一緒に覚える。

区別 **blame A for B ⇔ blame B on A** 人が先なら blame A for B（理由の for）、事柄が先なら blame B on A（責任を乗せる on）と、語順と前置詞がセットで入れ替わる。見分け方：blame の直後が人か事柄か。

0138 □□□

Ken's dream of becoming a pilot finally ＿＿＿＿.

① came true　② was come true
③ realized　④ became truly

① come true　（夢などが）実現する

訳 パイロットになるというケンの夢がついに実現した。

解説 主語が夢なので自動詞の came true。realize は他動詞で「（人が）実現させる」なので目的語がない realized は誤り（was realized なら可）。come true は受け身にしない。became truly は副詞で補語になれない。

区別 **come true ⇔ realize**　realize は他動詞で「実現させる・悟る」、主語は人。come true は夢・願いが主語。見分け方：主語が夢なら come true、人なら realize。

0139 □□□

＿＿＿＿ with last year, this summer has been much cooler.

① Comparing　② Compare
③ Compared　④ To compare

③ compare A with B　A を B と比べる

訳 去年と比べると、今年の夏はずっと涼しい。

解説 「今年の夏は（去年と）比べられると」という受け身の関係なので過去分詞の Compared。Comparing だと主語の this summer が比べる側になってしまう。Compare は命令文、To compare は目的の意味になり文が成り立たない。

区別 **compare A with B ⇔ compare A to B**　to は比較にも使うが、「例える」（Life is often compared to a journey.）は to だけ。見分け方：似ていない物に見立てるなら to。

0140 □□□

Her research has contributed greatly to ＿＿＿＿ the disease.

① understand
② understood
③ be understood
④ understanding

④ contribute to ~　～に貢献する；～の一因となる

訳 彼女の研究はその病気の理解に大きく貢献した。

解説 contribute to の to は前置詞なので、後ろは動名詞 understanding。understand / be understood は to 不定詞と取り違えた形で誤り。understood も前置詞の後ろに置けない。look forward to ~ing と同じ「to ~ing」の型。

区別 **contribute to ~ ⇔ lead to ~**　lead to は「～（という結果）につながる」、contribute to は「（複数ある原因のうちの）一因となる・貢献する」。どちらも to は前置詞。見分け方：寄与の度合い・役立ちを言うなら contribute。

0141 □□□

I don't feel like ＿＿＿＿ out tonight. Let's stay home.

① to go　② go
③ going　④ to going

③ feel like ~ing　～したい気がする

訳 今夜は出かける気がしない。家にいよう。

解説 feel like の like は前置詞なので後ろは動名詞 going。to go は would like to do の形と混ざった誤り。go / to going も形が合わない。否定の don't feel like ~ing（～する気になれない）は会話で最も多い使い方。

区別 **feel like ~ing ⇔ feel like ＋名詞・S V**（～のように感じる）　feel like ~ing / 飲食物は欲求、feel like a fool / feel like I'm dreaming は「～のように感じる」。見分け方：~ing や飲み物なら欲求、人物・状態なら「～のような感じ」。

0142 □□□

It took me a few months to get used to _____ on the left side of the road.

① driving　② be driving
③ drive　④ have driven

① get used to ~ing　～するのに慣れる

訳 道路の左側を運転するのに慣れるまで数か月かかった。

解説 get used to ~ing で「～するのに慣れる」。to は前置詞なので動名詞 driving。drive を選ぶと used to do（以前は～した）と混同した形になる。be driving / have driven も前置詞の後ろには置けない。

区別 **get used to ~ing ⇔ be used to ~ing**　be は慣れている状態、get は慣れていく変化。見分け方：soon / gradually / will など変化を示す語があれば get。

0143 □□□

You'd better _____ late for the interview.

① not to be　② not be
③ don't be　④ be not

② had better do　～したほうがよい；～しないとまずい

訳 面接には遅れないほうがいいよ。

解説 had better の否定は had better not ＋原形なので not be。had better は助動詞のかたまりなので to は付けない（not to be は誤り）。don't be は命令文の形、be not は語順が誤り。

区別 **had better do ⇔ should**　should は穏やかな助言、had better は「さもないと困ったことになる」という強い警告。見分け方：or / otherwise（さもないと）が続く文なら had better が自然。

0144 □□□

I'll have the hotel staff _____ your bags to your room.

① carried　② to carry
③ for carrying　④ carry

④ have A do　Aに～してもらう；Aに～させる

訳 ホテルの係員にあなたの荷物を部屋まで運ばせます。

解説 have A do で「A に～してもらう」。係員（the hotel staff）が荷物を運ぶという能動の関係なので原形 carry。to carry は get A to do の形で使い、have の後ろには置かない。carried は「A が運ばれる」となり意味が合わない。for carrying も不可。

区別 **have A do ⇔ get A to do**　get A to do は「（説得して）A に～してもらう」で、to が必要。have A do は原形で、頼めば当然してくれる相手に使う。見分け方：get なら to、have なら原形。

0145 □□□

Please keep _____ mind that the museum is closed on Mondays.

① on　② in
③ at　④ into

② keep ~ in mind　～を心にとめておく；～を覚えておく

訳 その博物館は月曜日が休館であることを覚えておいてください。

解説 keep ~ in mind で「～を心にとめておく」。目的語が that 節で長いので keep in mind that ~ の語順になっている。on / at / into は mind と組んでこの意味にならない。bear in mind that ~ でも同じ。

区別 **keep ~ in mind ⇔ come to mind**　come to mind は「（考えが）心に浮かぶ」で主語は考え。keep ~ in mind は人が主語で「覚えておく」。見分け方：主語が人か考えか。

0146 ☐☐☐

The heavy rain kept us ＿＿＿＿ the game.

① from finishing　② finishing
③ to finish　④ for finishing

① keep A from ~ing

A に～させない；A が～しないようにする

訳 大雨のせいで、私たちは試合を最後までできなかった。

解説 「大雨のせいで試合を終えられなかった」なので keep A from ~ing。from のない keep us finishing は「終え続けさせた」で意味が通らない。to finish / for finishing は keep と組んでこの形にならない。

区別 **keep A from ~ing ⇔ keep A ~ing** from を落とした keep A ~ing は「A に～させ続ける」で正反対の意味（keep you waiting＝待たせる）。見分け方：from の有無で「させない／させ続ける」が逆になる。

0147 ☐☐☐

Please make sure ＿＿＿＿ the lights off when you leave the room.

① turning　② to turn
③ turned　④ for turning

② make sure (that) S V

必ず～するようにする；～を確かめる

訳 部屋を出るときは、必ず電気を消してください。

解説 make sure to do で「必ず～する」なので to turn。make sure の後ろに動名詞や過去分詞を直接置く形はない。for turning も誤り。that 節を使うなら make sure (that) you turn the lights off と現在形になる。

区別 **make sure (that) S V ⇔ be sure to do** S is sure to do は「（話し手から見て）S はきっと～する」という確信。make sure は確実にするために行動する・確認する。命令文の Be sure to do は「必ず～して」で make sure とほぼ同じ。見分け方：主語の人が確認・手配するなら make sure。

0148 ☐☐☐

You should make good ＿＿＿＿ of your free time during the summer vacation.

① using　② usage
③ used　④ use

④ make use of ~ ～を利用する

訳 夏休みの自由な時間を有効に使うべきだ。

解説 make good use of ~ で「～を有効に利用する」。good が形容詞なので後ろは名詞の use。using / used は名詞ではなく、usage は「（言葉の）用法・使用量」でこの熟語には使わない。

区別 **make use of ~ ⇔ take advantage of ~** どちらも「利用する」だが、take advantage of には「（人の好意に）つけ込む」という悪い意味もある。make use of は中立。見分け方：人の弱み・親切を悪用するなら take advantage of。

0149 ☐☐☐

In his speech, the president did not ＿＿＿＿ to the economic problems at all.

① refer　② discuss
③ mention　④ tell

① refer to ~ ～に言及する；～を参照する

訳 大統領は演説で、経済問題について全く触れなかった。

解説 空所の後ろに to があるので refer（to）。mention / discuss は他動詞で、to を挟まず the economic problems を直接目的語にする。tell は tell A about B の形で使い、to とは組まない。

区別 **refer to ~ ⇔ mention** mention は他動詞で前置詞が要らない（× mention about / mention to）。refer は to が必要。見分け方：空所の後ろに to があれば refer、目的語が直接続けば mention。

0150 □□□

Most traffic accidents result ＿＿＿ careless driving.

① in　② from
③ to　④ by

② result from ~ ～から生じる；～が原因である

訳 交通事故の大部分は不注意な運転から生じる。

解説 主語の交通事故が結果、不注意な運転が原因なので result from。result in にすると「事故が不注意な運転を引き起こす」と向きが逆になる。to / by は result とこの意味では組まない。

区別 **result from ~ ⇔ result in ~** result from の後ろは原因、result in の後ろは結果。見分け方：主語が結果（事故・病気）なら from、原因（不注意・大雨）なら in。

0151 □□□

I ＿＿＿ of my wallet on the crowded train yesterday.

① was stolen　② stole
③ was robbed　④ robbed

③ rob A of B A から B を奪う；A から B を強奪する

訳 昨日、混んだ電車で財布を奪われた。

解説 主語が人（I）で of my wallet が続くので was robbed（rob A of B の受け身）。was stolen は物が主語のときの形（My wallet was stolen）。stole / robbed の能動態だと「私が奪った」になり意味が合わない。

区別 **rob A of B ⇔ steal** steal は物が目的語で steal B (from A)、受け身は物が主語（My bag was stolen）。rob は人・場所が目的語で、受け身は人が主語（I was robbed of my bag）。見分け方：主語・目的語が人なら rob、物なら steal。

0152 □□□

She spends most of her money ＿＿＿ clothes and shoes.

① for　② in
③ to　④ on

④ spend A on B A（お金・時間）を B に使う

訳 彼女はお金の大部分を服と靴に使う。

解説 spend A on B で「A を B に使う」。後ろが clothes and shoes（名詞）なので on。for は「～のために」と考えて選びやすいが、spend と組むのは on。in は spend time (in) ~ing の形で動名詞の前に使う。

区別 **spend A on B ⇔ spend A (in) ~ing** B が名詞なら on、動作なら ~ing（in は省略可）。見分け方：後ろが名詞なら on、動名詞なら前置詞なし。

0153 □□□

He finally succeeded ＿＿＿ the entrance exam for medical school.

① in passing　② passing
③ to pass　④ to passing

① succeed in ~ ～に成功する

訳 彼はついに医学部の入試に合格することに成功した。

解説 succeed in ~ing で「～に成功する」なので in passing。to pass は fail to do と混同した形で誤り。succeed to ~ は「継ぐ」なので to passing も合わない。passing だけでは前置詞が足りない。

区別 **succeed in ~ ⇔ succeed to ~** succeed to ~ は「（地位・財産を）継ぐ」。succeed A で「A の後を継ぐ」。見分け方：in なら成功、to や直接の目的語なら継承。

0154 ☐☐☐

Many people in the area are suffering ＿＿＿ a lack of clean water.

① of　② by
③ for　④ from

④ suffer from ~ （病気など）に苦しむ；～を患う

訳 その地域の多くの人々がきれいな水の不足に苦しんでいる。

解説 suffer from ~ で「～に苦しむ」。苦しみの原因（きれいな水の不足）を from で示す。of / by / for は suffer とこの意味では組まない。継続中の苦しみなので進行形になっている点も典型。

区別 **suffer from ~ ⇔ suffer ~（他動詞）** suffer damage / a loss / injuries のように損害を「被る」なら from なし。病気・継続的な問題に苦しむなら from。見分け方：目的語が損害・痛みそのものなら前置詞なし。

0155 ☐☐☐

The old school building was turned ＿＿＿ a museum.

① to　② for
③ into　④ at

③ turn A into B A を B に変える

訳 古い校舎は博物館に変えられた。

解説 turn A into B（A を B に変える）の受動態なので into。to は turn to ~（頼る・向く）で変化を表さない。for / at も turn とこの意味では組まない。校舎が博物館に「なった」という変化を into で表す。

区別 **turn A into B ⇔ turn to ~** turn to ~ は「～に頼る・～の方を向く・（ページ）を開く」。into は変化。見分け方：変化した後の姿・物が続けば into。

0156 ☐☐☐

My father objected to my ＿＿＿ abroad alone.

① travel　② traveling
③ travels　④ have traveled

② object to ~ ～に反対する

訳 父は私が一人で海外旅行することに反対した。

解説 object to の to は前置詞なので後ろは動名詞 traveling。my は動名詞の意味上の主語（私が旅行すること）。travel / have traveled は to 不定詞と取り違えた形、travels は動詞の 3 単現で前置詞の後ろに置けない。

区別 **object to ~ ⇔ oppose** oppose は他動詞で前置詞が要らない（oppose the plan）。object と be opposed は to が必要。見分け方：空所の後ろに目的語が直接続けば oppose。

0157 ☐☐☐

I can't agree ＿＿＿ you on this point.

① to　② for
③ on　④ with

④ agree with ~
（人・意見）に賛成する；（食べ物・気候が）合う

訳 この点については、あなたに賛成できない。

解説 後ろが人（you）なので agree with。agree to は提案・条件を受け入れるときで、人には使わない。on は話し合って決める話題の前に置き、この文では on this point がすでにある。for は agree と組まない。

区別 **agree with ~ ⇔ agree to ~** agree to は提案・計画・条件を受け入れる（agree to the plan）で、人には使わない。見分け方：後ろが人なら with、申し出・条件なら to。

0158 ☐☐☐

She applied ＿＿＿＿ a part-time job at the bookstore.

① to　② for
③ in　④ with

② apply for ~ ～に申し込む；～に応募する

訳 彼女は書店のアルバイトに応募した。

解説 「仕事に応募する」は欲しい物を求めるので apply for。to は申込先（会社・大学）や「当てはまる」の意味で使い、a part-time job（仕事そのもの）の前には置かない。in / with も apply とこの意味では組まない。

区別 **apply for ~ ⇔ apply to ~** to は申込先（apply to a university）か「～に当てはまる」（This rule applies to everyone）。for は欲しい物。見分け方：仕事・奨学金・ビザなら for、会社・大学・対象者なら to。

0159 ☐☐☐

This bike ＿＿＿＿ to my brother.

① belongs　② is belonging
③ belonged by　④ is belonged

① belong to ~ ～に所属する；～のものである

訳 この自転車は兄のものだ。

解説 belong は状態動詞なので進行形 is belonging は不可。自動詞なので受け身の is belonged / belonged by も誤り。現在の所有の状態を表す belongs to が正しい。

区別 **belong to ~ ⇔ own** own は持ち主が主語（I own this car）、belong to は物が主語（This car belongs to me）。見分け方：主語が物なら belong to、人なら own。

0160 ☐☐☐

We ＿＿＿＿ Mika on winning first prize in the contest.

① celebrated
② thanked
③ praised
④ congratulated

④ congratulate A on B B のことで A を祝う

訳 私たちはミカがコンテストで優勝したことを祝った。

解説 人（Mika）を目的語にして on ~ で理由を添えられるのは congratulate。celebrate は目的語が誕生日・出来事で、人を直接取らない。praise / thank は理由を for で示すので on とは組まない。

区別 **congratulate A on B ⇔ celebrate** celebrate は誕生日・記念日・出来事を「祝う（祝賀する）」で目的語は事柄。congratulate は目的語が人。見分け方：直後が人なら congratulate、行事・日なら celebrate。

0161 ☐☐☐

Many young people find it hard to cope ＿＿＿＿ stress at work.

① for　② about
③ with　④ to

③ cope with ~ ～にうまく対処する

訳 多くの若者が職場でのストレスにうまく対処するのは難しいと感じている。

解説 cope with ~ で「～にうまく対処する」。with を落としたり、for / about / to に変えたりしない。find it hard to do（～するのは難しいと思う）の it は形式目的語で、文全体は「ストレスへの対処が難しい」。

区別 **cope with ~ ⇔ deal with ~** deal with は「（問題を）処理する」のほか「（本・話が）～を扱う」の意味がある。cope with は困難限定。見分け方：本や講義が主語で内容を言うなら deal with。

0162 ☐☐☐

The noise from the construction site deprived us _____ sleep.

① from ② with
③ for ④ of

④ deprive A of B A から B を奪う

訳 工事現場の騒音で、私たちは眠れなかった。

解説 deprive A of B で「A から B を奪う」なので of。「～から」の日本語につられて from を選ばない。with は provide A with B（与える）の前置詞で意味が逆になる。for も合わない。

区別 **deprive A of B ⇔ rob A of B** rob は金品を力ずくで奪う、deprive は権利・機会・眠りなどを取り上げる。どちらも of。見分け方：自由・権利・睡眠なら deprive、お金・財布なら rob。

0163 ☐☐☐

I'll _____ my best to finish the report by Friday.

① do ② take
③ make ④ have

① do one's best 最善を尽くす

訳 金曜日までにレポートを仕上げられるよう、全力を尽くします。

解説 「最善を尽くす」は do one's best。make は make an effort（努力する）や make the best of ~（何とか切り抜ける）で使い、make my best とは言わない。take / have も best と組んでこの意味にならない。

区別 **do one's best ⇔ make the best of ~** make the best of ~ は「（不利な状況を）何とか切り抜ける」。do one's best は「全力を尽くす」。見分け方：of ＋状況があれば make the best of。

0164 ☐☐☐

Turn off your phone so that you can focus _____ your studies.

① to ② on
③ at ④ in

② focus on ~ ～に焦点を当てる；～に集中する

訳 勉強に集中できるように、携帯電話の電源を切りなさい。

解説 focus on ~ で「～に集中する」。pay attention to と混ぜて to を選びやすいが、focus / concentrate は on。at / in もこの意味では使わない。so that S can ~ は「～できるように」。

区別 **focus on ~ ⇔ pay attention to ~** 「注意を払う」は pay attention to で前置詞は to。focus / concentrate は on。見分け方：focus / concentrate なら on、attention なら to。

0165 ☐☐☐

I _____ to bring my lunch today, so I had to buy a sandwich at the store.

① remembered ② avoided
③ stopped ④ forgot

④ forget to do
～し忘れる；（これから）～することを忘れる

訳 今日はお弁当を持ってくるのを忘れたので、店でサンドイッチを買わなければならなかった。

解説 弁当を持ってこなかったのでサンドイッチを買った、という流れなので「...し忘れた」の forgot to do。remembered to bring は「忘れずに持ってきた」で後半と合わない。stopped to bring は「持ってくるために立ち止まった」で意味が通らない。avoid は to 不定詞を取らない。

区別 **forget to do ⇔ forget ~ing** forget to do は「...するのを忘れる（実際にはしていない）」、forget ~ing は「...したことを忘れる（実際にはした）」。見分け方：その行為をしたかどうか。していないなら to do、したのに覚えていないなら ~ing（will never forget ~ing の形が多い）。

0166 □□□

I couldn't get my little brother _____ his room, so I did it myself.

① clean　② to clean
③ cleaned　④ for cleaning

② get A to do　Aに～してもらう；Aを説得して～させる

訳 弟に部屋を掃除させることができなかったので、自分でやった。

解説 get A to do で「A に～してもらう」。get は使役でも to 不定詞を取るので to clean。原形 clean は have / make / let の後ろで使う形。cleaned だと「弟が掃除される」となり意味が通らない。for cleaning も不可。

区別 **get A to do ⇔ make A do**　make A do は「（無理やり）A に～させる」と強制。get A to do は「頼んだり説得したりして～してもらう」。make は原形、get は to do と形も違う。

0167 □□□

If you have any questions, please get _____ touch with our office.

① on　② at
③ in　④ to

③ get in touch with ~　～と連絡を取る

訳 何か質問があれば、私どもの事務所にご連絡ください。

解説 get in touch with ~ で「～と連絡を取る」。touch の前は in で、on / at / to は使わない。keep in touch / lose touch など touch を使う表現は前置詞 in（lose touch は前置詞なし）と合わせて覚える。

区別 **get in touch with ~ ⇔ keep in touch with ~**　get は「取る（始める）」、keep は「保つ（続ける）」。見分け方：これから一度連絡するなら get、今後もずっとなら keep。

0168 □□□

Excuse me. Do you happen _____ where the nearest station is?

① to know　② knowing
③ know　④ known

① happen to do　偶然～する；たまたま～する

訳 すみません。ひょっとして、一番近い駅がどこかご存じですか。

解説 happen は不定詞を取り、happen to do で「たまたま～する」。疑問文 Do you happen to know ~? は「ひょっとして～をご存じですか」という丁寧な尋ね方。knowing / know / known は happen の後ろに置けない。

区別 **happen to do ⇔ by chance**　happen to do は動詞の形で「たまたま～する」、by chance は副詞句で「偶然に」。意味は近いが、Do you happen to know ~? のような丁寧な尋ね方は happen to にしかない。見分け方：動詞の位置なら happen to、文に付け足すなら by chance。

0169 □□□

Lack of sleep can have a negative _____ on your health.

① affect　② effective
③ effect　④ affection

③ have an effect on ~　～に影響を与える

訳 睡眠不足は健康に悪い影響を及ぼすことがある。

解説 a negative の後ろは名詞の位置なので effect。affect は動詞（Lack of sleep can affect your health.）で名詞の位置には置けない。effective は形容詞、affection は「愛情」で意味が違う。

区別 **have an effect on ~ ⇔ affect**　affect は動詞（affect our health）、effect は名詞（have an effect on）。見分け方：空所が動詞の位置なら affect、冠詞・形容詞の後ろの名詞の位置なら effect。

0170 ☐☐☐

My brother helped me ＿＿＿＿ the heavy desk upstairs.

① carrying　② carried
③ carry　④ with carry

③ help A (to) do　A が～するのを手伝う

訳 兄は、私が重い机を 2 階へ運ぶのを手伝ってくれた。

解説 help A (to) do で「A が…するのを手伝う」。help は to を省いた原形も取れるので carry。carrying / carried は help A の後ろに置けない。with は名詞を続ける形（help me with the desk）で、動詞の carry とは組めない。

区別 **help A (to) do ⇔ help A with B**　help A (to) do は後ろに動詞、help A with B は後ろに名詞。help の目的語は人で、宿題などの物は with の後ろに置く。見分け方：手伝う内容が動詞なら (to) do、名詞なら with。

0171 ☐☐☐

It is no use ＿＿＿＿ about the past. Let's think about what to do next.

① worry　② worried
③ for worrying　④ worrying

④ It is no use ~ing　～しても無駄だ

訳 過去のことを心配しても仕方がない。次に何をするかを考えよう。

解説 It is no use ~ing で「～しても無駄だ」なので worrying。worry / worried は形が合わず、for worrying も誤り。It is useless to worry と形容詞を使う形と取り違えないこと。

区別 **It is no use ~ing ⇔ It is useless to do**　形容詞 useless は to do、名詞 use を使う no use は ~ing。見分け方：no use なら ~ing、useless なら to do。

0172 ☐☐☐

We've kept ＿＿＿＿ touch with each other since we graduated from high school.

① in　② at
③ on　④ with

① keep in touch (with ~)　（～と）連絡を保つ

訳 私たちは高校を卒業してからずっと連絡を取り合っている。

解説 keep in touch with ~ で「～と連絡を保つ」。touch の前は in。since ~（～以来）と現在完了で「卒業以来ずっと」と継続を表している。on / at / with は touch の前に置かない。

区別 **keep in touch (with ~) ⇔ get in touch with ~**　keep は続ける、get は始める。見分け方：卒業後もずっとなら keep、一度連絡するなら get。

0173 ☐☐☐

My father finally ＿＿＿＿ me go on a trip abroad with my friends.

① allowed　② permitted
③ got　④ let

④ let A do　Aに…させる；Aが…するのを許す

訳 父はついに、私が友達と海外旅行に行くのを許してくれた。

解説 空所の後ろが me go と原形なので、原形不定詞を取る let。allowed / permitted / got は「A に to do」の形を取るので、me to go でなければならない。「やっと行かせてくれた」は本人の望みを許した場面で、let の意味とも合う。

区別 **let A do ⇔ make A do**　どちらも原形不定詞を取るが、let は「（A の望みどおり）…させてあげる」と許可、make は「（嫌でも）…させる」と強制。見分け方：本人がしたがっているなら let、嫌がっているのに無理にさせるなら make。

0174 ☐☐☐

It makes no ＿＿＿＿ to me whether we go by bus or by train.

① difference ② differ
③ different ④ differently

① make a difference 違いが生じる；重要である

訳 バスで行こうが電車で行こうが、私にはどうでもいい。

解説 make no difference で「どうでもよい・違いはない」。no の後ろは名詞なので difference。different（形容詞）、differ（動詞）、differently（副詞）は no の後ろに置けない。to me は「私にとって」。

区別 **make a difference ⇔ make no difference** no を入れると「違いを生まない」＝どうでもよい・影響しない。見分け方：a か no かを見落とさない。

0175 ☐☐☐

He was often made fun ＿＿＿＿ by his classmates because of his accent.

① at ② with
③ by ④ of

④ make fun of ~ ～をからかう

訳 彼はなまりのせいで、よくクラスメイトにからかわれた。

解説 make fun of ~ の受動態は be made fun of で、of を残したうえで by ~ を続ける。at は laugh at（受け身 be laughed at）の前置詞と混同した形。by / with は of の代わりにならない。

区別 **make fun of ~ ⇔ have fun** have fun は「楽しむ」で、からかう意味はない。見分け方：of ＋人があれば「からかう」。

0176 ☐☐☐

People often mistake me ＿＿＿＿ my twin sister.

① with ② by
③ for ④ to

③ mistake A for B A を B と間違える

訳 私はよく双子の姉と間違えられる。

解説 mistake A for B で「A を B と間違える」なので for。with は confuse A with B（混同する）の前置詞で、mistake とは組まない。by / to も使わない。受動態 I am often mistaken for my sister. も頻出。

区別 **mistake A for B ⇔ confuse A with B** confuse A with B は「A と B を混同する」で with。mistake は for。見分け方：mistake なら for、confuse なら with。

0177 ☐☐☐

Her eyes are red. She ＿＿＿＿ have been crying.

① should ② cannot
③ ought ④ must

④ must have done ～したに違いない

訳 彼女の目が赤い。泣いていたに違いない。

解説 目が赤いという今の状況を根拠に、過去のことを「泣いていたに違いない」と推量しているので must have done。cannot have been crying（泣いていたはずがない）は根拠と矛盾する。should have は「～すべきだった」で意味が合わない。ought は ought to have の形で使い、to が必要。

区別 **must have done ⇔ can't have done** can't have done は「～したはずがない」と過去のことを強く否定的に推量する。must have done は「～したに違いない」と肯定的に推量する。根拠が「した」方を示すか「していない」方を示すかで選ぶ。

0178 ☐☐☐

Everyone is welcome to participate _____ the discussion.

① to ② at
③ in ④ with

③ participate in ~ ～に参加する

訳 どなたでも自由に討論に参加してください。

解説 participate in ~ で「～に参加する」なので in。be welcome to do（自由に～してよい）の to と混同して to を選ばない。at / with も participate とは組まない。take part in と同じ in。

区別 **participate in ~ ⇔ join / attend** join / attend は他動詞で前置詞が要らない。participate は in が必要。見分け方：空所の後ろに in があれば participate、名詞が直接続けば join / attend。

0179 ☐☐☐

The city provides free lunches _____ elderly people living alone.

① for ② of
③ with ④ by

① provide B for A

A に B を与える；A のために B を用意する

訳 市は一人暮らしのお年寄りに無料の昼食を提供している。

解説 provide の直後が物（free lunches）なので、受け取る人の前は for。with は provide elderly people with free lunches のように人が先のときに使う。of / by もこの形では使わない。

区別 **provide B for A ⇔ provide A with B** 人が先なら with、物が先なら for / to。見分け方：provide の直後が物なら for。

0180 ☐☐☐

I clearly remember _____ this song at my grandmother's house when I was little.

① hearing ② to hear
③ hear ④ heard

① remember ~ing （過去に）～したことを覚えている

訳 小さいころ祖母の家でこの歌を聞いたことを、はっきり覚えている。

解説 when I was little（小さかったころ）とあり、過去に聞いたことを覚えている文なので動名詞の hearing。to hear だと「忘れずに聞く」というこれからの行動になり、過去の時と合わない。hear（原形）・heard（過去形）は remember の目的語にならない。

区別 **remember ~ing ⇔ remember to do** ~ing は過去にしたことの記憶、to do はこれからすべきことを覚えている。見分け方：when I was little や last year など過去の時を表す語があれば ~ing、命令文や未来の予定なら to do。

0181 ☐☐☐

We need to replace this old printer _____ a new one.

① for ② with
③ to ④ from

② replace A with B

A を B と取り替える；A の代わりに B を使う

訳 この古いプリンターを新しいものに取り替える必要がある。

解説 replace A with B で「A を B と取り替える」。古いプリンターが先、新しい物が with の後ろ。for は substitute A for B の前置詞で、replace とは組まない。to / from もこの意味では使わない。

区別 **replace A with B ⇔ substitute A for B** substitute A for B は「B の代わりに A（新しい物）を使う」で、新しい物が先。replace A with B は古い物が先。見分け方：前置詞が with なら古い物が先、for なら新しい物が先。

0182 □□□

I failed the math test. I _____ have studied harder.

① should ② must
③ can't ④ will

① should [ought to] have done
～すべきだったのに（しなかった）；～したはずだ

訳 数学の試験に落ちた。もっと一生懸命勉強すべきだった。

解説 試験に落ちたことへの後悔なので「もっと勉強すべきだった」の should have done。must have studied は「勉強したに違いない」、can't have studied は「勉強したはずがない」で後悔の意味にならない。will have studied は未来完了で過去への後悔を表さない。

区別 **should [ought to] have done ⇔ must have done** must have done は「～したに違いない」と推量。should have done は「～すべきだったのに」と後悔。見分け方：後悔・非難の気持ちがあれば should、根拠から判断しているなら must。

0183 □□□

Nothing could stop him _____ his dream of becoming an actor.

① to follow ② follow
③ from following ④ for following

③ stop A from ~ing
A が～するのをやめさせる；A に～させない

訳 彼が俳優になるという夢を追うのを、何も止めることはできなかった。

解説 stop A from ~ing で「A が～するのをやめさせる」なので from following。to follow にすると「～するために立ち止まる」の形になり、him の後ろでは意味が通らない。follow / for following も誤り。

区別 **stop A from ~ing ⇔ stop ~ing / stop to do** stop ~ing は「～するのをやめる」、stop to do は「～するために立ち止まる」、stop A from ~ing は「A にやめさせる・させない」。見分け方：stop の直後に人と from があれば「させない」。

0184 □□□

The twins look so alike that I can't tell one _____ the other.

① to ② from
③ between ④ with

② tell A from B A を B と区別する；A と B を見分ける

訳 その双子はとてもよく似ているので、私には見分けがつかない。

解説 tell A from B で「A を B と区別する」なので from。between は tell the difference between A and B の形で使い、tell one between the other とは言わない。to / with も tell とこの意味では組まない。

区別 **tell A from B ⇔ tell A B / tell A to do** tell A B は「A に B を話す」、tell A to do は「A に～するよう言う」。from が付くと「見分ける」。見分け方：from があれば区別。

0185 ☐☐☐

I tried _____ the heavy box, but I couldn't even move it.

① lift　② lifted
③ for lifting　④ to lift

④ try to do / try ~ing

～しようとする（try to do）；試しに～してみる（try ~ing）

訳 その重い箱を持ち上げようとしたが、動かすことさえできなかった。

解説 持ち上げようとしたができなかった、という努力を表すので try to do の to lift。try の後ろに原形 lift や過去形 lifted は置けない。for lifting も try の後ろでは使わない。試しにやってみたことを言うなら try ～ing だが、ここは努力が実らなかった場面。

区別 **try to do / try ~ing ⇔ remember to do / remember ~ing** remember to do は「（これから）忘れずに～する」、remember ～ing は「（過去に）～したことを覚えている」。try と同じく、不定詞は「これからの・まだ実現していない」、動名詞は「実際にした」ことを表す傾向がある。

0186 ☐☐☐

I would rather stay home _____ go out in this rain.

① to　② from
③ rather　④ than

④ would rather do (than do)

（...するより）むしろ～したい

訳 こんな雨の中出かけるくらいなら、家にいたほうがいい。

解説 would rather A than B で「B するより A したい」。比べる相手は than ＋原形（go）。to は prefer A to B の前置詞で、would rather とは組まない。from / rather も合わない。

区別 **would rather do (than do) ⇔ prefer A to B** prefer は to で比べ、A・B は名詞・動名詞。would rather は than で比べ、原形。見分け方：than と原形なら would rather、to と ~ing なら prefer。

0187 ☐☐☐

If you _____ to pass the entrance exam, you must study much harder.

① will　② are
③ do　④ would

② be to do　～する予定だ；～すべきだ

訳 入試に合格したいなら、もっとずっと一生懸命勉強しなければならない。

解説 if 節の中の be to do は「～するつもりなら（そのためには）」という意図を表す。よって are to pass。will / would は助動詞で後ろに to を取らない。do to pass という形もない。主節の must（～しなければならない）と組み合わせる典型的な形。

区別 **be to do ⇔ be going to do** be to do は公式な予定・義務などを表す硬い言い方。be going to do は話し手の意図や、兆候から予測する未来。if 節の中では、be to do は「～するつもりなら（そのためには）」と目的を表す。見分け方：If S are to do, S must ~ の形は「～したいなら」。

0188 ☐☐☐

Please remember ＿＿＿ the lights when you leave the room.

① turning off　② turn off
③ turned off　④ to turn off

④ remember to do

忘れずに～する；～することを覚えておく

訳 部屋を出るときは、忘れずに電気を消してください。

解説 when you leave（部屋を出るとき）はこれからのことで、「忘れずに消す」という未来の行動なので to turn off。turning off だと「消したことを覚えている」という過去の記憶になり合わない。turn off（原形）・turned off は remember の目的語にならない。

区別 **remember to do ⇔ remember ~ing** to do は「これからすべきことを忘れずに行う」、~ing は「過去にしたことを覚えている」。見分け方：まだしていない行動なら to do。Remember to ~. の命令文、when you leave（出るとき）など未来の場面が続けば to do。

0189 ☐☐☐

If you don't understand, you should ask your teacher ＿＿＿ help.

① to　② of
③ for　④ with

③ ask A for B　A に B を求める；A に B を頼む

訳 分からなければ、先生に助けを求めるべきだ。

解説 ask A for B で「A に B を求める」。後ろが名詞の help なので for。to は ask A to do（動詞が続く）の形。of / with もこの意味では使わない。「先生に助けを求める」が文の意味。

区別 **ask A for B ⇔ ask A to do** 欲しい物（名詞）なら for、してほしい動作なら to do。見分け方：後ろが名詞なら for、動詞なら to do。

0190 ☐☐☐

Many people associate the color white ＿＿＿ purity and peace.

① to　② with
③ for　④ as

② associate A with B

A で B を連想する；A を B と結びつけて考える

訳 多くの人は白という色から純粋さと平和を連想する。

解説 associate A with B で「A で B を連想する」。with は「～と一緒に」で 2 つを結びつける。to / for は associate と組まない。as は regard A as B（見なす）の形で、「連想する」の意味にならない。

区別 **associate A with B ⇔ remind A of B** remind は物が主語で「（人に）思い出させる」。associate は人が主語で「頭の中で結びつける」。見分け方：主語が人なら associate、物なら remind。

0191 ☐☐☐

She attributes her good health ＿＿＿ daily exercise.

① to　② for
③ with　④ on

① attribute A to B

A を B のせいにする；A を B のおかげだと考える

訳 彼女は自分が健康なのは毎日の運動のおかげだと考えている。

解説 attribute A to B で「A を B のおかげだと考える」なので to。健康（結果）を毎日の運動（原因）に帰している。for / with / on は attribute と組まない。受動態 Her health is attributed to exercise. も頻出。

区別 **attribute A to B ⇔ contribute to ~** contribute to は物事が主語で「～の一因となる」。attribute A to B は人が主語で「A の原因は B だと考える」。見分け方：目的語 A があり、原因をどこに帰すかを言うなら attribute。

0192 □□□

Do you believe ＿＿＿＿ ghosts? I've never seen one.

① on　② at
③ of　④ in

④ believe in ~ ～の存在を信じる；～の価値を信じる

訳 幽霊の存在を信じる？　私は一度も見たことがないよ。

解説 「幽霊の存在を信じるか」なので believe in ~。in は存在・価値を信じるときに使う。on / at / of は believe と組まない。believe ghosts では「幽霊の言うことを信じる」になってしまう。

区別 **believe in ~ ⇔ believe ~** believe him は「彼の言うことを信じる」（その発言が本当だと思う）、believe in him は「彼の人柄・能力を信頼する」。見分け方：発言の真偽なら believe、存在・価値・人柄なら believe in。

0193 □□□

A sudden power failure caused the train ＿＿＿＿ for nearly an hour.

① stop　② to stopping
③ stopped　④ to stop

④ cause A to do Aに…させる；Aが…する原因となる

訳 突然の停電で、電車は 1 時間近く止まった。

解説 cause A to do で「A に…させる（A が…する原因になる）」なので to stop。原形 stop は make A do の形で使う。stopped は cause A の後ろに置けず、to stopping は不定詞の to に ~ing を続けられないので誤り。無生物主語なので「停電で電車が止まった」と訳すと自然。

区別 **cause A to do ⇔ make A do** どちらも「A に…させる」だが、make は原形不定詞、cause は to 不定詞。見分け方：空所の前の動詞を見て、make / let / have なら原形、cause / get / allow / force なら to do。

0194 □□□

I was going to study abroad, but I ＿＿＿＿ my mind and decided to stay in Japan.

① made　② changed
③ took　④ turned

② change one's mind 考えを変える；気が変わる

訳 留学するつもりだったが、気が変わって日本に残ることにした。

解説 留学するつもりだったが日本に残ると決めたので、考えを変える changed my mind。made は make up my mind の形でないと「決心する」にならず、up がない。took / turned も mind と組んでこの意味にならない。

区別 **change one's mind ⇔ make up one's mind** make up one's mind は「決める」、change one's mind は「（一度決めたことを）変える」。見分け方：前に決めた内容があり、それをやめるなら change。

0195 □□□

The long war finally came ＿＿＿＿ an end in 1945.

① at　② in
③ to　④ by

③ come to an end 終わる

訳 長い戦争は 1945 年にようやく終わった。

解説 come to an end で「終わる」。at an end は be at an end（終わっている）の形で come とは組まない。in the end は「結局」で別の表現。by も合わない。主語が戦争自体なので put ではなく come。

区別 **come to an end ⇔ put an end to ~** come to an end は主語自体が「終わる」、put an end to ~ は主語が何かを「終わらせる」。見分け方：主語が行事・期間なら come、主語が人・法律で目的語があるなら put。

0196 ☐☐☐

After living in Kyoto for a year, I _____ to love the city.

① became ② made
③ came ④ turned

③ come to do ～するようになる

訳 京都に 1 年住んで、その街が大好きになった。

解説 「～するようになる」は come to do で came。become は to do を取れないので became to love は誤り。made / turned も to do を続けてこの意味にならない。love のような気持ちの変化は come to do の典型。

区別 **come to do ⇔ learn to do** learn to do は努力して技能を身につける（learn to swim）。come to do は気持ち・考えが自然に変わる。見分け方：泳ぐ・運転するなど技能なら learn。

0197 ☐☐☐

I can't concentrate _____ my homework with the TV on.

① to ② on
③ at ④ in

② concentrate on ～ ～に集中する

訳 テレビがついていると宿題に集中できない。

解説 concentrate on ～ で「～に集中する」なので on。to は pay attention to と混同した形。at / in もこの意味では使わない。with the TV on は「テレビがついたままで」という付帯状況。

区別 **concentrate on ～ ⇔ pay attention to ～** pay attention to は「注意を払う」で to。concentrate / focus は on。見分け方：concentrate なら on。

0198 ☐☐☐

She devoted her life to _____ children in poor countries.

① help ② be helped
③ helped ④ helping

④ devote A to B A を B にささげる；A を B に充てる

訳 彼女は貧しい国の子どもたちを助けることに生涯をささげた。

解説 devote A to B の to は前置詞なので後ろは動名詞 helping。help / be helped は to 不定詞と取り違えた形。helped も前置詞の後ろに置けない。look forward to ~ing / object to ~ing と同じ「to ~ing」の型。

区別 **devote A to B ⇔ spend A on B / (in) ~ing** spend は on ＋名詞か ~ing、devote は to ＋名詞・動名詞。見分け方：devote なら to。

0199 ☐☐☐

Young children sometimes cannot distinguish _____ right and wrong.

① from ② between
③ with ④ among

② distinguish A from B A を B と区別する

訳 幼い子どもは善悪の区別がつかないことがある。

解説 後ろが right and wrong と and で 2 つを並べているので distinguish between A and B。from を使うなら distinguish right from wrong の形になる。among は 3 つ以上、with はこの意味で使わない。

区別 **distinguish A from B ⇔ distinguish between A and B** from は A from B、between は A and B。混ぜた × distinguish between A from B は誤り。見分け方：between があれば and。

0200 □□□

The scholarship enabled her _____ abroad for a year.

① to study ② studying
③ study ④ for studying

① enable A to do

Aが～できるようにする；Aに～を可能にする

訳 奨学金のおかげで、彼女は1年間留学することができた。

解説 enable A to do で「A が～できるようにする」。A（her）の後ろは to 不定詞なので to study。study（原形）・studying（動名詞）・for studying は enable A の後ろに置けない。「奨学金のおかげで彼女は留学できた」と訳すと自然。

区別 **enable A to do ⇔ allow A to do** allow A to do は「A が～するのを許す・可能にする」で、許可の意味を含む。enable は「能力・手段を与えて～できるようにする」。どちらも A to do の形を取るので、形ではなく意味で区別する。

0201 □□□

I'd like to exchange this shirt _____ a larger size.

① for ② to
③ with ④ by

① exchange A for B　A を B と交換する

訳 このシャツを大きいサイズのものと交換したいのですが。

解説 手放すシャツと受け取る大きいサイズを引き換えるので exchange A for B の for。with は交換相手の人を示すとき（exchange seats with him）。to / by は exchange とこの意味では組まない。

区別 **exchange A for B ⇔ exchange A with B** with の後ろは交換相手の人、for の後ろは受け取る物。見分け方：後ろが人なら with、物なら for。

0202 □□□

Could you explain _____ how this machine works?

① me ② at me
③ to me ④ me about

③ explain A to B　B に A を説明する

訳 この機械がどう動くのか、私に説明してもらえませんか。

解説 explain は人を直接目的語にできないので to me。目的語（how 節）が長いので explain to me how ~ の語順になっている。explain me は誤りで、me about も about が不要。at me は前置詞が違う。

区別 **explain A to B ⇔ tell B A** tell は人を直接目的語にでき tell me the rule。explain は to ＋人。見分け方：直後に人を前置詞なしで置けるのは tell。

0203 □□□

I will never forget _____ the sunrise from the top of Mt. Fuji.

① to see ② seeing
③ to have seen ④ see

② forget ~ing　（過去に）～したことを忘れる

訳 富士山の頂上から日の出を見たことを、私は決して忘れないだろう。

解説 will never forget の後ろで、山頂から日の出を見た過去の思い出を言うので、動名詞の seeing（...したことを忘れない）。to see は「これから見ることを忘れる」でこの文脈に合わない。to have seen は forget の後ろでは使わない。see は原形で forget の後ろに置けない。

区別 **forget ~ing ⇔ forget to do** forget ~ing は過去にした出来事を忘れる、forget to do はこれからすべきことを忘れる。見分け方：never forget で過去の思い出を言うなら ~ing、Don't forget や「し忘れた」なら to do。

0204 ☐☐☐

The new law gave ———— to a heated debate.

① rise　② arise
③ risen　④ raise

① give rise to ~ ～を引き起こす；～を生じさせる

訳 その新しい法律は激しい論争を引き起こした。

解説 give rise to ~ で「～を引き起こす」。give の目的語なので名詞の rise。raise は他動詞、arise は自動詞「生じる」で、名詞の位置に置けない。risen は rise の過去分詞で形が合わない。

区別 **give rise to ~ ⇔ raise / arise** raise は他動詞「上げる」、arise は自動詞「生じる」（Problems arose）。give rise to の rise は名詞「発生」。見分け方：give の後ろの名詞なら rise。

0205 ☐☐☐

The last train had left, so we had no choice but ———— a taxi.

① take　② to take
③ took　④ taking

② have no choice but to do ～するしかない

訳 終電が出てしまっていたので、私たちはタクシーに乗るしかなかった。

解説 have no choice but to do で「～するしかない」なので to take。cannot help but do（原形）と混同して take を選ばない。taking / took も形が合わない。最終電車が出たのでタクシーに乗るしかなかった、という文。

区別 **have no choice but to do ⇔ cannot help but do** cannot help but の後ろは原形、have no choice but の後ろは to do。見分け方：choice / alternative なら to、help なら原形。

0206 ☐☐☐

I had a lot of trouble ———— a parking space.

① find　② to find
③ finding　④ found

③ have trouble (in) ~ing ～するのに苦労する

訳 駐車スペースを見つけるのにかなり苦労した。

解説 have trouble (in) ~ing で「～するのに苦労する」なので finding。to find は It was hard to find ~ のような形容詞の後ろで使う。find / found も形が合わない。trouble は不可算なので a lot of と組んでいる。

区別 **have trouble (in) ~ing ⇔ be in trouble** be in trouble は「困っている・まずいことになっている」。have trouble ~ing は「～するのに苦労する」。見分け方：~ing が続けば苦労。

0207 ☐☐☐

I'm looking forward to hearing ———— you soon. Please write back.

① of　② about
③ from　④ to

③ hear from ~ ～から便り・連絡がある

訳 近いうちにお便りをいただけるのを楽しみにしています。お返事をください。

解説 「お返事を待っています」なので、本人からの連絡を表す hear from。of / about は「～のこと（うわさ）を聞く」で、Please write back.（返事をください）とつながらない。to は hear と組まない。

区別 **hear from ~ ⇔ hear of ~** hear of は「～のこと（存在・うわさ）を聞く」（I've never heard of the town）。見分け方：本人から連絡が来るなら from、存在やうわさを耳にするなら of。

0208 □□□

Please inform us ＿＿＿ any change in your address.

① to　② for
③ of　④ with

③ inform A of B　A に B を知らせる

訳 住所に変更があれば、お知らせください。

解説 inform A of B で「A に B を知らせる」なので of。to / for は inform と組まない。with は provide A with B（与える）の前置詞。住所の変更（内容）を of で添える、伝達系の基本形。

区別 **inform A of B ⇔ tell A B**　tell は tell him the news と二重目的語にできるが、inform は内容を of / about か that 節で示し、× inform him the news。見分け方：inform の後ろに人と内容が前置詞なしで並んだら誤り。

0209 □□□

It goes without ＿＿＿ that health is more important than money.

① to say　② say
③ said　④ saying

④ It goes without saying that S V
～は言うまでもない

訳 健康がお金より大切なのは言うまでもない。

解説 without は前置詞なので後ろは動名詞 saying。to say / say / said は前置詞の後ろに置けない。It goes without saying that ~ で「～は言うまでもない」の決まった形。Needless to say, ~ と言い換えられる。

区別 **It goes without saying that S V ⇔ not to mention ~ / to say nothing of ~**　not to mention / to say nothing of は「～は言うまでもなく」で後ろは名詞。It goes without saying の後ろは that 節（文）。見分け方：後ろが文なら It goes without saying、名詞なら not to mention。

0210 □□□

Could you keep an eye ＿＿＿ my bag while I go to the restroom?

① at　② on
③ for　④ to

② keep an eye on ~　～から目を離さない；～を見張る

訳 トイレに行っている間、かばんを見ていてもらえませんか。

解説 keep an eye on ~ で「～から目を離さない」。視線を対象に置き続けるので on。look at（見る）と混同して at を選ばない。to / for もこの表現では使わない。

区別 **keep an eye on ~ ⇔ look after ~**　look after は食事や身の回りまで含めて「世話をする」。keep an eye on は見張る・注意して見ておくだけ。見分け方：ちょっとの間、目を離さないでいてほしいなら keep an eye on。

0211 □□□

We should make ＿＿＿ of the sunny weather and go hiking.

① most　② the more
③ much　④ the most

④ make the most of ~　～を最大限に利用する

訳 晴れた天気を最大限に生かして、ハイキングに行こう。

解説 make the most of ~ で「～を最大限に利用する」。the を落とした most では熟語にならない。the more は比較級で比べる相手がない。much は make much of（重んじる）で意味が違う。晴れ（よい条件）なので most。

区別 **make the most of ~ ⇔ make the best of ~**　make the most of はよい条件を最大限に生かす、make the best of は不利な条件で何とかうまくやる。見分け方：機会・才能なら most、悪天候・狭い部屋など不利な状況なら best。

0212 ☐☐☐

The students are studying hard to prepare _____ the entrance exam.

① for ② of
③ with ④ to

① prepare for ~ ～の準備をする；～に備える

訳 生徒たちは入試に備えて一生懸命勉強している。

解説 生徒が試験に備えるので prepare for ~。for がないと prepare the entrance exam で「入試問題を作る」になり、生徒の行動として合わない。to / of / with は prepare と組まない。

区別 **prepare for ~ ⇔ prepare ~（他動詞）** 目的語は準備して作る物そのもの（prepare a report）。prepare for はこれから来る出来事に備える。見分け方：試験・災害なら for、料理・書類なら for なし。prepare the exam は「試験問題を作る」。

0213 ☐☐☐

It took him three months to recover _____ the injury.

① of ② from
③ by ④ to

② recover from ~ ～から回復する；～から立ち直る

訳 彼がけがから回復するのに 3 か月かかった。

解説 recover from ~ で「～から回復する」なので from。of / to / by は recover と組まない。前置詞なしの recover the injury では「けがを取り戻す」となり意味が通らない。get over the injury と言い換えられる。

区別 **recover from ~ ⇔ recover ~（他動詞）** from があれば「回復する」、目的語が直接続けば「取り戻す」。見分け方：後ろが病気・けがなら from、失った物なら前置詞なし。

0214 ☐☐☐

The company has not yet _____ to my complaint.

① responded ② replied to
③ said ④ answered

① respond to ~ ～に答える；～に反応する

訳 その会社は私の苦情にまだ対応していない。

解説 空所の後ろに to があるので responded（to）。answered は他動詞で to を取らない。replied to を入れると to が 2 つ重なる。said は人に「答える」の意味で to ＋物を取らない。

区別 **respond to ~ ⇔ answer** answer は他動詞で前置詞が要らない（answer the question）。respond / reply は to が必要。見分け方：空所の後ろに to があれば respond / reply、目的語が直接続けば answer。

0215 ☐☐☐

I spent the whole weekend _____ my room.

① clean ② to clean
③ cleaning ④ cleaned

③ spend A ~ing ～して A（時間）を過ごす

訳 私は週末を丸ごと部屋の掃除に費やした。

解説 spend A (in) ~ing で「～して A を過ごす」なので cleaning。to clean は It takes ~ to do の形と混同した誤り。clean / cleaned も形が合わない。in が省かれても ~ing が続く。

区別 **spend A ~ing ⇔ It takes A to do** It takes ~ to do は It が主語で「～するのに時間がかかる」、spend A ~ing は人が主語で「～して時間を過ごす」。見分け方：主語が人なら spend ~ing、It なら takes ~ to do。

0216 ☐☐☐

The dam supplies the whole city _____ water and electricity.

① to ② with
③ of ④ for

② supply A with B　A に B を供給する

訳 そのダムは市全体に水と電気を供給している。

解説 supply の直後が受け取る側（the whole city）なので supply A with B の with。to は supply water to the city のように物が先のときに使う。for / of もこの形では使わない。

区別 **supply A with B ⇔ supply B to A**　人・場所が先なら with、物が先なら to。見分け方：supply の直後が受け取る側なら with。

0217 ☐☐☐

She takes great pride _____ her work as a nurse.

① of ② on
③ for ④ in

④ take pride in ~　～を誇りに思う

訳 彼女は看護師としての仕事に大きな誇りを持っている。

解説 take pride in ~ で「～を誇りに思う」なので in。of は be proud of、on は pride oneself on の前置詞で、take pride とは組まない。for も使わない。書き換えの 3 形を前置詞で区別する。

区別 **take pride in ~ ⇔ be proud of ~ / pride oneself on ~**　take pride は in、be proud は of、pride oneself は on。見分け方：形ごとの前置詞をセットで覚える。書き換え問題の定番。

0218 ☐☐☐

He is thought _____ as one of the best players on the team.

① to ② about
③ of ④ for

③ think of A as B　A を B と見なす；A を B だと思う

訳 彼はチームで最高の選手の一人だと見なされている。

解説 think of A as B の受動態は A is thought of as B で、of を残す。to を選ぶと is thought to be ~ と混ざった形になり、as と合わない。about / for も think A as B の形を作らない。

区別 **think of A as B ⇔ think of ~**（思いつく）　as B がなければ think of は「～を思いつく・～のことを考える」（think of a good idea）。見分け方：as B が続けば「見なす」。

0219 ☐☐☐

This novel has been translated _____ more than thirty languages.

① to ② for
③ in ④ into

④ translate A into B
A を B に翻訳する；A を B に変える

訳 この小説は 30 以上の言語に翻訳されている。

解説 translate A into B で「A を B（言語）に翻訳する」なので into。into は変化した後の形を示す。to / for は translate と組まない。in English（英語で）の in と混同しやすいが、翻訳先は into。

区別 **translate A into B ⇔ turn A into B**　turn A into B は形や性質を変える一般的な表現、translate は言語を移す（比喩で「考えを行動に移す」）。どちらも into。見分け方：言語の話なら translate。

0220 □□□

There ＿＿＿＿ be a big tree in front of the station, but it was cut down last year.

① would　② used to
③ would often　④ was used to

② would (often) do　よく～したものだ（過去の習慣）

訳 以前は駅の前に大きな木があったが、去年切り倒された。

解説 There used to be ～で「以前は～があった」。there be は状態を表すので、過去の習慣の would / would often は使えない。was used to は「～に慣れていた」で、後ろは名詞・動名詞。後半の「去年切り倒された」が「今はない」という対比を示している。

区別 **would (often) do ⇔ used to do**　used to は過去の習慣にも状態にも使え、「以前は～だった（今は違う）」という対比が強い。would は動作の習慣だけで、状態には使えない。見分け方：be / live / there is などの状態なら used to。

0221 □□□

Because of the heavy snow, the train was forced ＿＿＿＿ stop between two stations.

① to　② for
③ into　④ from

① be forced to do　やむなく～する；～せざるを得ない

訳 大雪のため、電車は駅と駅の間で停車せざるを得なかった。

解説 be forced to do で「やむなく～する」。後ろに動詞の原形 stop があるので不定詞の to が必要。into は force A into ~ing の形で動名詞を取るので、原形の stop とは組めない。for / from も原形の前に置けない。

区別 **be forced to do ⇔ have no choice but to do**　be forced to do は「（外からの力で）～させられる」と受け身の形。have no choice but to do は「～するしかない」と選択肢がない状態を述べる。意味は近く書き換えに出る。見分け方：be forced の後ろは to do、but の後ろも to do。

0222 □□□

Many students will benefit ＿＿＿＿ the new scholarship program.

① to　② for
③ from　④ on

③ benefit from ~　～から利益を得る；～の恩恵を受ける

訳 多くの学生が新しい奨学金制度の恩恵を受けるだろう。

解説 主語の学生が恩恵を受ける側なので benefit from ~。to / for / on は benefit と組まない。他動詞で言うなら The new program will benefit many students. と主語が入れ替わる。

区別 **benefit from ~ ⇔ benefit ~（他動詞）**　他動詞 benefit は主語が恩恵を与える側（The law benefits workers）。benefit from は主語が受ける側（Workers benefit from the law）。見分け方：主語が受ける側なら from。

0223 □□□

The human heart is often compared ＿＿＿＿ a pump.

① to　② for
③ by　④ as

① compare A to B　A を B に例える；A を B と比べる

訳 人間の心臓はよくポンプにたとえられる。

解説 心臓をポンプに「例える」ので compare A to B の to。比喩には to を使う。as は regard A as B（見なす）の形で compare とは組まない。for / by も合わない。

区別 **compare A to B ⇔ compare A with B**　with は並べて比べるだけ。似ていない物に見立てて「例える」のは to。見分け方：比喩なら to。

0224 ☐☐☐

His bad mood probably has ———— to do with the argument with his boss; he was cheerful before it.

① anything ② any
③ nothing ④ something

④ have something to do with ~ ～と何か関係がある

訳 彼の機嫌が悪いのは、たぶん上司との口論と関係がある。その前は明るかったからだ。

解説 口論の前は機嫌がよかったので、不機嫌は口論と「何か関係がある」＝ something。肯定文なので anything は使えず、any は to do の前に置く名詞として不自然。nothing は後半の内容と矛盾する。

区別 **have something to do with ~ ⇔ have nothing to do with ~** something は何らかの関係、nothing は全く無関係。同じ型の差し替え。見分け方：文脈で関係があるかないかを判断する。

0225 ☐☐☐

Ken has made great ———— in his English since he started using this app.

① progress ② a progress
③ progresses ④ progressing

① make progress 進歩する；前進する

訳 ケンはこのアプリを使い始めてから、英語が大きく上達した。

解説 progress は不可算名詞なので great の後ろでも冠詞・複数形を付けず progress。a progress / progresses は誤り。progressing は動名詞で make の目的語として熟語にならない。

区別 **make progress ⇔ make an effort** effort は可算で an effort、progress は不可算で冠詞なし。動詞はどちらも make。見分け方：progress の前に a / an があれば誤り。

0226 ☐☐☐

The weather was terrible, but we had to make the best ———— a bad situation.

① for ② in
③ of ④ with

③ make the best of ~
（不利な状況）を何とか切り抜ける；～を最大限に生かす

訳 天気はひどかったが、悪い状況の中でできるだけのことをするしかなかった。

解説 make the best of ~ で「（不利な状況）を何とか切り抜ける」。of の後ろに状況を置く。for / in / with は使わない。天気がひどい（不利な状況）ので best を使う典型の文。

区別 **make the best of ~ ⇔ make the most of ~** make the most of はよい条件（機会・才能）を最大限に生かす、make the best of は不利な状況で何とかうまくやる。見分け方：状況がよいか悪いか。

0227 ☐☐☐

Luck played a big ———— in his success.

① piece ② point
③ place ④ part

④ play a part in ~ ～で役割を果たす；～に関与する

訳 彼の成功には運が大きな役割を果たした。

解説 play a part in ~ で「～で役割を果たす」。part は「役」。piece / place / point は play と組んでこの意味にならない。take place（行われる）と混同して place を選ばないこと。

区別 **play a part in ~ ⇔ take part in ~** take part in は「参加する」、play a part in は「役割を果たす」。見分け方：play があれば役割、take なら参加。

0228 □□□

When the teacher asked who had broken the window, Tom pretended ＿＿＿ nothing about it.

① knowing　② know
③ to knowing　④ to know

④ pretend to do …するふりをする

訳 誰が窓を割ったのかと先生が尋ねたとき、トムはそのことについて何も知らないふりをした。

解説 pretend の後ろは to 不定詞で「…するふりをする」なので to know。knowing のような動名詞は取らない。to knowing は不定詞の to に ~ing を続けられないので誤り。know は原形で pretend の後ろに直接置けない。

区別 **pretend to do ⇔ pretend to have done** pretend to do は「（その時）…するふり・…であるふり」、pretend to have done は「（それより前に）…したふり」。見分け方：ふりをしている時より前のことなら完了不定詞を使う。

0229 □□□

Students are prohibited ＿＿＿ their phones during exams.

① from using　② to use
③ using　④ for using

① prohibit A from ~ing
（法律・規則で）A が～するのを禁じる

訳 生徒は試験中に携帯電話を使うことを禁止されている。

解説 prohibit A from ~ing の受動態で be prohibited from ~ing。to use は forbid や allow の形と混同した誤り。using だけでは from が足りず、for using も使わない。

区別 **prohibit A from ~ing ⇔ forbid A to do** forbid は forbid him to go / forbid him from going の両方が可。prohibit は from ~ing が基本。見分け方：prohibit なら from ~ing。

0230 □□□

Kyoto is often referred ＿＿＿ as the heart of Japanese culture.

① for　② to
③ as　④ by

② refer to A as B A を B と呼ぶ

訳 京都はよく日本文化の中心と呼ばれる。

解説 refer to A as B の受動態は A is referred to as B で、to を残す。to を落として referred as にはしない。for / by も refer とこの形を作らない。as は後ろにすでにあるので重ならない。

区別 **refer to A as B ⇔ call A B** call は call him Ken と前置詞なしで A B を並べる。refer は to A as B。見分け方：to と as があれば refer。

0231 □□□

Through the window, I saw a man ＿＿＿ into the house next door.

① to climb　② climbed
③ climbing　④ was climbing

③ see [watch] A ~ing Aが～しているのを見る

訳 窓越しに、男が隣の家に入り込もうとしているところを見た。

解説 知覚動詞 see ＋O＋～ing で「O が～しているところを見る」。能動の関係（男がよじ登る）なので climbing。to climb は能動態の see O の後ろには置けない（受け身なら to do）。climbed（過去分詞）だと「男がよじ登られる」になり意味が通らない。was climbing は O の後ろに置けない。

区別 **see [watch] A ~ing ⇔ see A do** see A do（原形）は動作の全体を見届けた、see A ～ing は動作の途中を見た。見分け方：「～しているところ」なら ing、「～するのを（始めから終わりまで）」なら原形。

0232 ☐☐☐

If you don't have any sugar, you can substitute honey ＿＿＿ it.

① with　② to
③ for　④ by

③ substitute A for B　B の代わりに A を使う

訳 砂糖がなければ、代わりに蜂蜜を使ってもよい。

解説 砂糖（it）がないので、砂糖の代わりに蜂蜜を使う＝substitute A for B の for。with を使うと「蜂蜜を砂糖に替える」の向きになり、砂糖がないという前半と矛盾する。to / by は使わない。

区別 **substitute A for B ⇔ replace A with B**　replace は元の物が先で with の後ろが新しい物。substitute は新しい物が先で for の後ろが元の物。見分け方：for なら後ろが元の物。

0233 ☐☐☐

Nothing can ＿＿＿ the place of a mother's love.

① make　② have
③ give　④ take

④ take the place of ~
～の代わりをする；～に取って代わる

訳 母親の愛に代わるものは何もない。

解説 take the place of ~ で「～の代わりをする」。「母親の愛の代わりになるものはない」という文。make / give / have は the place of と組んでこの意味にならない。

区別 **take the place of ~ ⇔ take place**　the と of がなければ「行われる」。take the place of ~ は「代わりをする」。見分け方：the と of があるか。

0234 ☐☐☐

My sister talked me ＿＿＿ buying a new dress, and now I regret it.

① to　② into
③ for　④ with

② talk A into ~ing　A を説得して～させる

訳 姉に説得されて新しいドレスを買ったが、今は後悔している。

解説 talk A into ~ing で「A を説得して～させる」。後ろが動名詞なので to は使えない（persuade me to buy なら可）。for / with も talk とこの形を作らない。買ったことを後悔しているので「やめさせる」out of ではない。

区別 **talk A into ~ing ⇔ talk A out of ~ing**　talk A out of ~ing は「説得して～をやめさせる」で、into（中へ引き込む）と out of（外へ引き出す）で意味が逆。見分け方：前置詞の向き。

0235 ☐☐☐

Add a little sugar ＿＿＿ the sauce and stir well.

① with　② for
③ to　④ at

③ add A to B　A を B に加える

訳 ソースに砂糖を少し加えて、よくかき混ぜてください。

解説 add A to B で「A を B に加える」なので to。with は「～と一緒に」で、add とこの形は作らない。for / at も使わない。砂糖（加える物）が先、ソース（元の物）が to の後ろ。

区別 **add A to B ⇔ add to ~（自動詞）**　add の直後に加える物がなく、add to ~ だけなら「～を増やす・強める」。見分け方：加える物 A があれば A to B。

0236 □□□

I apologized ＿＿＿＿ her for being late.

① to　② for
③ with　④ at

① apologize to A for B　A に B のことで謝る

訳 私は遅刻したことを彼女に謝った。

解説 apologize は自動詞なので、謝る相手の前に to が必要。for は理由（for being late）の前に置く前置詞で、すでに後ろにある。with / at も apologize と組まない。

区別 **apologize to A for B ⇔ thank A for B**　thank は他動詞で人を直接目的語にする（thank him）。apologize は to ＋人。どちらも理由は for。見分け方：apologize の直後に人を置かない。

0237 □□□

My parents don't approve ＿＿＿＿ my plan to travel alone.

① of　② to
③ for　④ with

① approve of ~　~に賛成する；~をよいと認める

訳 両親は私が一人で旅行する計画に賛成していない。

解説 approve of ~ で「~に賛成する・よいと認める」。親が個人的に計画をよいと思わない、という文なので of。to / for / with は approve と組まない。

区別 **approve of ~ ⇔ approve ~（他動詞）**　他動詞 approve は議会・委員会などが「正式に承認する」。approve of は個人がよいと認める。見分け方：主語が組織で正式な手続きなら他動詞。

0238 □□□

May I ＿＿＿＿ your bathroom?

① borrow　② use
③ lend　④ rent

② borrow A from B　B から A を借りる

訳 お手洗いをお借りしてもいいですか。

解説 トイレは持ち出せないので、その場で使う use。borrow は持って行って後で返す物に使う。lend は「貸す」で主語が逆、rent はお金を払って借りる。

区別 **borrow A from B ⇔ lend A to B**　borrow は「借りる」（主語が借りる人）、lend は「貸す」（主語が貸す人）。見分け方：主語がどちらの立場か。

0239 □□□

I can't stand ＿＿＿＿ in long lines.

① wait　② waited
③ waiting　④ for waiting

③ can't stand ~　~に我慢できない

訳 長い行列に並んで待つのは我慢できない。

解説 can't stand の後ろは動名詞（または to 不定詞）なので waiting。原形 wait や過去形 waited は置けず、for waiting も誤り。stand は「耐える」の意味で、否定で「我慢できない」になる。

区別 **can't stand ~ ⇔ put up with ~**　put up with は肯定文でも「我慢する」と使える。stand / bear は否定文が普通。見分け方：肯定文で「我慢する」なら put up with。

0240 ☐☐☐

We can't afford ＿＿＿＿ a new car this year.

① buying　② for buying
③ buy　④ to buy

④ cannot afford to do ～する余裕がない

訳 今年は新しい車を買う余裕がない。

解説 afford の後ろに動詞を置くときは to 不定詞なので to buy。buying（動名詞）や原形 buy は afford の後ろに置けない。for buying も誤り。名詞なら can't afford a new car。

区別 **cannot afford to do ⇔ afford ~**（名詞） 後ろが名詞ならそのまま（can't afford a car）、動詞なら to do（can't afford to buy a car）。~ing は取らない。見分け方：動詞が続けば to do。

0241 ☐☐☐

When I heard the funny story, I couldn't help but ＿＿＿＿.

① laughing　② laugh
③ to laugh　④ laughed

② cannot help but do ～せずにはいられない

訳 その面白い話を聞いて、笑わずにはいられなかった。

解説 cannot help but do の後ろは原形なので laugh。laughing は but のない cannot help ~ing の形と混ざった誤り。to laugh は have no choice but to do の形。laughed も原形ではない。

区別 **cannot help but do ⇔ cannot help ~ing** but がなければ ~ing、but があれば原形。見分け方：but の有無で後ろの形を決める。

0242 ☐☐☐

I caught ＿＿＿＿ of an old friend in the crowd.

① sight　② sights
③ a sight　④ the sight

① catch sight of ~ ～を見つける；～がちらっと目に入る

訳 人混みの中に昔の友達の姿を見つけた。

解説 catch sight of ~ で「～を見つける」。sight は冠詞も複数形も付けない決まった形。a sight / the sight / sights は誤り。at the sight of ~（～を見て）では the が付くので混同しないこと。

区別 **catch sight of ~ ⇔ lose sight of ~** catch は見つける、lose は見失う。見分け方：見えるようになるなら catch、見えなくなるなら lose。

0243 ☐☐☐

She complained ＿＿＿＿ the manager about the noise.

① at　② for
③ to　④ with

③ complain about ~
～について不平を言う；～の苦情を言う

訳 彼女は騒音について支配人に苦情を言った。

解説 complain は自動詞で、苦情を言う相手の前は to。内容は about the noise ですでに示されている。at / for / with は complain の相手を示す前置詞ではない。

区別 **complain about ~ ⇔ complain to ~** to の後ろは苦情を言う相手（人）、about の後ろは内容。見分け方：後ろが人なら to。

0244 □□□

I'm convinced ＿＿＿ his honesty.

① to　② in
③ with　④ of

④ convince A of B

A に B を確信させる；A に B を納得させる

訳 私は彼の誠実さを確信している。

解説 be convinced of ~ で「~を確信している」。convince A of B の受動態。to は convince A to do（行動させる）の形で、後ろが名詞の honesty なので合わない。with / in も使わない。

区別 **convince A of B ⇔ persuade A to do** persuade は説得して「行動」させる、convince of / that は「考え・確信」を持たせる。見分け方：of / that なら確信、to do なら行動させる。

0245 □□□

After retiring, he devoted himself to ＿＿＿ the piano.

① play　② be playing
③ playing　④ played

③ devote oneself to ~　~に専念する；~に身をささげる

訳 退職後、彼はピアノを弾くことに打ち込んだ。

解説 devote oneself to の to は前置詞なので後ろは動名詞 playing。play / be playing は to 不定詞と取り違えた形。played も前置詞の後ろに置けない。

区別 **devote oneself to ~ ⇔ devote A to B** devote A to B は A に時間・人生・お金を置く。devote oneself to は自分自身をささげる＝専念する。どちらも to＋名詞・動名詞。

0246 □□□

Japanese culture ＿＿＿ from American culture in many ways.

① differs　② is differ
③ is differing　④ different

① differ from ~　~と異なる

訳 日本の文化は多くの点でアメリカの文化と異なる。

解説 differ は動詞なので be を付けず differs。is differ は be 動詞と動詞が並ぶ誤り。状態動詞なので進行形 is differing も不可。different は形容詞なので is different from なら正しい。

区別 **differ from ~ ⇔ be different from ~** different は形容詞なので be が要る、differ は動詞なので be は要らない。見分け方：be があれば different。

0247 □□□

The teacher divided the students ＿＿＿ four groups.

① to　② into
③ for　④ by

② divide A into B　A を B に分ける

訳 先生は生徒を四つのグループに分けた。

解説 divide A into B で「A を B に分ける」。分けた後のグループを into で示す。to / for / by は divide とこの意味では組まない。受動態 The students were divided into four groups. も頻出。

区別 **divide A into B ⇔ divide A between / among B** into の後ろは分けた結果の形・数、between / among の後ろは受け取る人。見分け方：グループ・部分なら into、分けてもらう人なら among。

0248 □□□

A short walk after dinner will do you ＿＿＿＿.

① well　② goodness
③ better　④ good

④ do ~ good ～のためになる；～に効く

訳 夕食後に少し散歩すると体に良いよ。

解説 do A good で「A のためになる」。good は名詞「利益」。well は副詞で do well（うまくいく）になり、you を挟んだこの形では使わない。better は比較の相手がなく、goodness は「善良さ」。

区別 **do ~ good ⇔ do ~ harm** do A harm は「A に害を与える」で、good（利益）と harm（害）を入れ替えた同じ型。do more harm than good（益より害が大きい）も頻出。見分け方：文脈で利益か害か。

0249 □□□

Too much sun can do ＿＿＿＿ to your skin.

① harmful　② harmless
③ harms　④ harm

④ do ~ harm ～に害を与える

訳 日光を浴びすぎると肌を傷めることがある。

解説 do harm to A で「A に害を与える」。do の目的語なので名詞 harm。harmful / harmless は形容詞で目的語になれない。harm はこの意味では不可算なので harms とは言わない。

区別 **do ~ harm ⇔ do ~ good** harm は「害」、good は「利益」で正反対の同じ型。do A harm は do harm to A と書き換えられ、good も do good to A と言える。見分け方：文脈で害か利益かを判断する。

0250 □□□

He is always ＿＿＿＿ fault with others, so nobody likes working with him.

① making　② finding
③ taking　④ looking

② find fault with ~ ～のあら探しをする；～を非難する

訳 彼はいつも他人のあら探しばかりしているので、誰も彼と一緒に働きたがらない。

解説 find fault with ~ で「～のあら探しをする」。always ＋進行形でいつもの文句を表している。make / take / look は fault と組んでこの意味にならない。fault は無冠詞で使う。

区別 **find fault with ~ ⇔ be at fault** be at fault は「（～に）責任がある・悪い」。find fault with は「あら探しをする」。見分け方：find があれば探す、be at なら責任。

0251 □□□

Old customs are gradually giving ＿＿＿＿ to new ones.

① way　② rise
③ off　④ up

① give way to ~ ～に屈する；～に取って代わられる

訳 古い習慣は徐々に新しい習慣に取って代わられつつある。

解説 古い習慣が新しい習慣に「取って代わられる」ので give way to。give rise to は「引き起こす」で意味が合わない。give off は「（においを）出す」、give up to はこの形にならない。

区別 **give way to ~ ⇔ give rise to ~** give rise to は「引き起こす」。give way to は「譲る・屈する・取って代わられる」。見分け方：way なら譲る、rise なら引き起こす。

0252 ☐☐☐

My brother graduated ＿＿＿＿ college last year.

① from　② at
③ in　④ at

① graduate from ~ ～を卒業する

訳 兄は昨年大学を卒業した。

解説 graduate from ~ で「～を卒業する」なので from。in は専攻を表す（graduate in history）ときに使う。at / of は graduate と組まない。from を落として graduated college とするのも入試では誤り。

区別 **graduate from ~ ⇔ graduate in ~** from の後ろは学校、in の後ろは専攻（学科）。見分け方：大学名なら from、economics など学問なら in。

0253 ☐☐☐

Although they are sisters, they have very little ＿＿＿＿ common.

① at　② on
③ in　④ with

③ have ~ in common (with ...) （...と）～を共通に持つ

訳 彼女たちは姉妹なのに、共通点がほとんどない。

解説 have ~ in common で「～を共通に持つ」。very little が目的語で「共通点がほとんどない」。in common は決まった形で、at / on / with は使わない。with を使うなら in common with her と in の後ろ。

区別 **have ~ in common (with ...) ⇔ be common to ~** be common to の主語は共通している物事（This problem is common to all schools）。have ~ in common の主語は人・物どうし。見分け方：主語が共通点そのものなら be common to。

0254 ☐☐☐

I had a hard time ＿＿＿＿ to the new school.

① get used　② getting used
③ to get used　④ got used

② have a hard time ~ing ～するのに苦労する；つらい目にあう

訳 新しい学校に慣れるのに苦労した。

解説 have a hard time ~ing で「～するのに苦労する」なので getting used。to get used は It was hard to ~ の形と混同した誤り。get used / got used も形が合わない。get used to ~ は「～に慣れる」。

区別 **have a hard time ~ing ⇔ have a good time** good なら「楽しい時を過ごす」、hard なら「つらい時を過ごす」。同じ型で ~ing を続けられる。見分け方：形容詞で意味が決まる。

0255 ☐☐☐

His father had a strong influence ＿＿＿＿ his decision to become a doctor.

① to　② at
③ for　④ on

④ have an influence on ~ ～に影響を及ぼす

訳 父親は、彼が医者になる決心をするのに強い影響を与えた。

解説 have an influence on ~ で「～に影響を及ぼす」なので on。to / for / at は influence とこの意味で組まない。have an effect on / an impact on も同じ on。

区別 **have an influence on ~ ⇔ influence（動詞）** 名詞 influence は on と組み、動詞 influence は直接目的語を取る（× influence on）。見分け方：have an があれば名詞で on。

0256 □□□

Let me introduce you ＿＿＿＿ my parents.

① with　② for
③ to　④ at

③ introduce A to B

A を B に紹介する；A を B に初めて伝える

訳 あなたを私の両親に紹介させてください。

解説 introduce A to B で「A を B に紹介する」なので to。with は「～と一緒に」で、紹介する相手は示せない。for / at も introduce と組まない。you が紹介される人、my parents が紹介される相手。

区別 **introduce A to B ⇔ explain A to B** explain も introduce も「人に」を to で表し、二重目的語にできない点が共通。見分け方：introduce / explain / suggest の直後に人を置いたら誤り。

0257 □□□

He was involved ＿＿＿＿ a traffic accident on his way home.

① on　② at
③ to　④ in

④ involve A in B　A を B に巻き込む；A を B に関わらせる

訳 彼は帰宅途中に交通事故に巻き込まれた。

解説 be involved in ~ で「～に巻き込まれる」なので in。事故の「中に巻き込まれる」イメージ。on / to / at は involve と組まない。involve A in B の受動態で、in を残す。

区別 **involve A in B ⇔ involve ~ing** in があれば「関わらせる・巻き込む」、~ing が直接続けば「伴う・必要とする」。見分け方：in の有無。

0258 □□□

It ＿＿＿＿ me 3,000 yen to have my hair cut yesterday.

① took　② spent
③ costed　④ cost

④ It costs A ~ to do　A が…するのに～（金額）かかる

訳 昨日、髪を切ってもらうのに3,000円かかった。

解説 金額を言うので It costs A ～ to do の形。過去形は cost（cost-cost-cost）なので costed は誤り。take は時間に使い、金額には使わない。spend は人を主語にする動詞（I spent 3,000 yen on ～）なので It の後ろには置けない。

区別 **It costs A ~ to do ⇔ It takes A ~ to do** take は時間・労力、cost は金額（や犠牲）。見分け方：後ろが yen / dollars なら cost、hours / minutes なら take。人が主語なら spend を使う。

0259 □□□

Could you ＿＿＿＿ me your dictionary for a moment?

① borrow　② rent
③ lend　④ use

③ lend A to B　B に A を貸す

訳 ちょっと辞書を貸してもらえませんか。

解説 me（人）と your dictionary（物）を前置詞なしで並べられるのは lend（lend B A）。borrow は二重目的語を取れず、Could I borrow ~? の形になる。rent は有料、use は me を目的語に取れない。

区別 **lend A to B ⇔ borrow A from B** lend は「貸す」で二重目的語も可、borrow は「借りる」で二重目的語は不可（× borrow me）。見分け方：直後に人を置けるのは lend。

0260 □□□

Many people look on him ———— a hero.

① for ② by
③ to ④ as

④ look on A as B A を B と見なす

訳 多くの人が彼を英雄と見なしている。

解説 look on A as B で「A を B と見なす」なので as。for は take A for B（A を B だと思い込む）の前置詞で、look on とは組まない。to / by も使わない。regard / see A as B と同じ型。

区別 **look on A as B ⇔ look on**（傍観する） as B が続かない自動詞 look on は「（手を出さずに）見物する・傍観する」（onlooker＝見物人）。見分け方：as B が続くか。

0261 □□□

Don't lose ———— of your goal, even when things get difficult.

① sights ② sight
③ the sight ④ a sight

② lose sight of ~ ～を見失う；～を忘れる

訳 物事が難しくなっても、目標を見失ってはいけない。

解説 lose sight of ~ で「～を見失う」。sight は冠詞も複数形も付けない決まった形。目標を見失うという比喩の使い方。a sight / the sight / sights は誤り。

区別 **lose sight of ~ ⇔ catch sight of ~** catch sight of ~ は「～を見つける」で、lose（見失う）と正反対。どちらも sight は無冠詞。見分け方：見えなくなるなら lose、見えるようになるなら catch。

0262 □□□

She makes a living ———— selling handmade jewelry online.

① by ② with
③ for ④ in

① make a living 生計を立てる

訳 彼女は手作りのアクセサリーをネットで売って生計を立てている。

解説 make a living の手段は by ~ing（～することによって）。後ろが動名詞 selling なので by。with は道具（with a pen）、for / in は手段を表さない。職業なら as a jeweler の形になる。

区別 **make a living ⇔ live a ~ life** live a happy life は「幸せな生活を送る」で暮らし方。make a living はお金を稼いで暮らしを立てる。見分け方：収入の話なら make a living。

0263 □□□

You should ———— an effort to speak English in class.

① do ② have
③ take ④ make

④ make an effort 努力する

訳 授業中は英語を話すよう努力すべきだ。

解説 「努力する」は make an effort。do は do one's best（最善を尽くす）で使い、do an effort とは言わない。take / have も effort と組んでこの意味にならない。to speak は努力の中身。

区別 **make an effort ⇔ do one's best** effort は make、best は do と、名詞によって組む動詞が違う。make one's best / do an effort は誤り。見分け方：名詞を見て動詞を決める。

0264 □□□

I make ＿＿＿＿ a rule to go jogging every morning.

① this　② it
③ that　④ myself

② make it a rule to do ～することにしている

訳 私は毎朝ジョギングをすることにしている。

解説 make it a rule to do の it は形式目的語で、後ろの to go jogging を指す。this / that は形式目的語にならない。myself では「自分を規則にする」となり意味が通らない。

区別 **make it a rule to do ⇔ make a point of ~ing** make it a rule は to do、make a point of は ~ing。見分け方：rule なら it と to do、point なら of ~ing。

0265 □□□

I couldn't make myself ＿＿＿＿ in French.

① understood
② understand
③ understanding
④ to understand

① make oneself understood
自分の言うことを分かってもらう

訳 私のフランス語は通じなかった。

解説 make O ＋補語で、myself と understand は「自分が理解される」という受け身の関係なので過去分詞 understood。原形 understand だと「自分が理解する」になる。understanding / to understand も形が合わない。

区別 **make oneself understood ⇔ make oneself heard** heard は「声が届く」、understood は「意味が通じる」。どちらも O と過去分詞が受け身の関係。見分け方：騒がしくて声が届かないなら heard。

0266 □□□

Could you move over a little and make ＿＿＿＿ for me?

① a room　② rooms
③ room　④ the room

③ make room for ~ ～のために場所を空ける

訳 少し詰めて、私が座る場所を空けてもらえませんか。

解説 make room for ~ で「～のために場所を空ける」。room は「空間」の意味では不可算なので冠詞なし。a room / rooms は「部屋」になり、「詰めて場所を空けて」という場面に合わない。the room も決まった形ではない。

区別 **make room for ~ ⇔ a room（部屋）** a room / rooms と冠詞や複数形が付けば「部屋」、無冠詞の room は「空間・余地」（no room for doubt）。見分け方：冠詞・複数形の有無。

0267 ☐☐☐

I can't find my umbrella anywhere. I _____ it on the train, but I'm not sure.

① must have left　② may have left
③ should have left　④ can't have left

② may have + 過去分詞 ～したかもしれない

訳 傘がどこにも見つからない。電車に置き忘れたかもしれないが、確かではない。

解説 「でも確かではない」とあるので、確信のない推量「置き忘れたかもしれない」の may have left。must have left は「置き忘れたに違いない」と強い確信で、not sure と合わない。should have left は「置いてくるべきだった」で意味が通らない。can't have left は「置き忘れたはずがない」と強い否定で、これも not sure と合わない。

区別 **may have + 過去分詞 ⇔ must have + 過去分詞** may have done は「したかもしれない」（確信のない推量）、must have done は「したに違いない」（強い確信）。見分け方：根拠がはっきりしていて確信があるなら must、可能性があるだけなら may。can't have done は「したはずがない」。

0268 ☐☐☐

The ship was named _____ Queen Victoria, who had died long before it was built.

① by　② with
③ as　④ after

④ name A after B B にちなんで A に名前を付ける

訳 その船は、建造されるずっと前に亡くなったビクトリア女王にちなんで名付けられた。

解説 船が造られるずっと前に亡くなった女王なので、名付けた人ではなく名前の由来。「B にちなんで名付ける」の受け身 be named after B。by だと女王が名付けたことになり、亡くなっていた事実と合わない。with / as は name と組んで由来を表さない。

区別 **name A after B ⇔ name A B** name A B は「A を B と名付ける」で名前そのものを言う。name A after B は「B にちなんで A を名付ける」で由来を言う。見分け方：名前そのものなら after なし、由来の人・物なら after。

0269 ☐☐☐

You _____ so much food. Only three people came to the party, and half of it is left.

① should have cooked
② cannot have cooked
③ need not have cooked
④ had better cook

③ need not have done
…する必要はなかったのに（実際はした）

訳 そんなにたくさん料理を作る必要はなかったのに。パーティーに来たのは 3 人だけで、半分が残っている。

解説 3 人しか来ず料理が半分余ったので、「そんなに作る必要はなかったのに（実際は作った）」の need not have cooked。should have cooked は「作るべきだったのに」で逆の意味。cannot have cooked は「作ったはずがない」で、余っている事実と合わない。had better cook は今・これからの助言で過去の話に合わない。

区別 **need not have done ⇔ didn't need to do** need not have done は「必要なかったのに実際にした」、didn't need to do は「必要がなかった（だからしなかった、が多い）」。見分け方：実際にしたことが分かる文脈（でも結局～だった）なら need not have done。

0270 □□□

I owe my success ＿＿＿＿ my teacher's support.

① for　② from
③ with　④ to

④ owe A to B

A は B のおかげである；B に A（借り）がある

訳 私が成功したのは先生の支えのおかげだ。

解説 owe A to B で「A は B のおかげだ」なので to。to の後ろは借り（恩）を返す相手。for / with / from は owe と組まない。成功（A）が先、恩のある先（B）が to の後ろ。

区別 **owe A to B ⇔ owing to ~** owing to は because of と同じ前置詞句で、文の述語にはならない。owe A to B は述語。見分け方：文の動詞の位置なら owe。

0271 □□□

Wear sunglasses to protect your eyes ＿＿＿＿ the strong sunlight.

① of　② from
③ with　④ by

② protect A from B　A を B から守る

訳 強い日差しから目を守るためにサングラスをかけなさい。

解説 protect A from B で「A を B から守る」なので from（against も可）。of は rob / deprive A of B（奪う）の前置詞で意味が逆。with / by も守る対象の危険を示せない。

区別 **protect A from B ⇔ prevent A from ~ing** prevent は from の後ろが行動（~ing）で「～させない」、protect は from の後ろが危険（名詞）で「守る」。見分け方：from の後ろが ~ing の行動か危険を表す名詞か。

0272 □□□

The government is trying to put an end ＿＿＿＿ child labor.

① for　② at
③ to　④ on

③ put an end to ~　～を終わらせる；～をやめさせる

訳 政府は児童労働をなくそうとしている。

解説 put an end to ~ で「～を終わらせる」なので to。for / at / on は使わない。主語の政府が児童労働を終わらせる、と目的語があるので put。

区別 **put an end to ~ ⇔ come to an end** put は主語が何かを終わらせる、come は主語自体が終わる。見分け方：目的語（to ~）があれば put。

0273 □□□

Many people see him ＿＿＿＿ a future leader of the country.

① for　② to
③ as　④ by

③ see A as B　A を B と見なす；A を B と考える

訳 多くの人が彼をこの国の将来の指導者と見ている。

解説 see A as B で「A を B と見なす」なので as。for は take A for B（A を B だと思い込む）の形。to / by も see とこの形を作らない。regard / look on A as B と同じ型。

区別 **see A as B ⇔ consider A (as) B** consider だけは as を省いて consider A B と言える。see / regard / look on / think of は as が必須。見分け方：as がなく A B が並べば consider。

0274 ☐☐☐

The president shook ＿＿＿＿ with each of the players.

① hands　② hand
③ his hand　④ a hand

① shake hands (with ~)　（～と）握手する

訳 大統領は選手一人一人と握手した。

解説 shake hands with ~ で「～と握手する」。2 人の手が関わるので必ず hands。hand / a hand は単数で誤り。his hand は所有格の形で、with ~ とはつながらない（shook each player's hand なら可）。

区別 **shake hands (with ~) ⇔ shake one's hand**　所有格が付くと「～の手を握る」で hand は単数。with を使う形では hands。見分け方：所有格なら hand、with なら hands。

0275 ☐☐☐

I share a room ＿＿＿＿ my younger brother.

① to　② by
③ for　④ with

④ share A with B　A を B と分け合う；A を B に話す

訳 私は弟と部屋を共有している。

解説 share A with B で「A を B と分け合う」なので with。部屋を弟と一緒に使っている。to / for / by は share と組まない。考えを伝える share an idea with ~ も同じ with。

区別 **share A with B ⇔ divide A among B**　divide は分けてそれぞれに配る、share は一緒に使う・共有する。見分け方：同じ物を一緒に使うなら share。

0276 ☐☐☐

Many people take ＿＿＿＿ for granted that they can get clean water anytime.

① this　② it
③ that　④ them

② take it for granted that S V
S が V するのは当然だと思う

訳 多くの人は、きれいな水がいつでも手に入るのを当然だと思っている。

解説 that 節を目的語にするので、形式目的語 it を置いて take it for granted that ~。this / that は形式目的語にならず、them は複数の物を指す代名詞で that 節を受けられない。

区別 **take it for granted that S V ⇔ take ~ for granted**　目的語が名詞なら take A for granted で it は不要。that 節なら it を置く。見分け方：granted の後ろに that 節があれば it。

0277 ☐☐☐

What do you say to ＿＿＿＿ a walk after lunch?

① have taken　② take
③ took　④ taking

④ What do you say to ~ing?　～するのはどうですか

訳 昼食の後に散歩するのはどう？

解説 What do you say to の to は前置詞なので後ろは動名詞 taking。to 不定詞と取り違えて原形 take や have taken を選ばない。took も前置詞の後ろに置けない。How about taking ~? と同じ。

区別 **What do you say to ~ing? ⇔ Why don't we ~?**　Why don't we の後ろは原形、What do you say to の後ろは ~ing。見分け方：to があれば ~ing。

0278 ☐☐☐

Don't _____ about the test. You'll do fine.

① worry ② worried
③ be worry ④ worrying

① worry about ~ ～のことを心配する

訳 テストのことは心配しないで。きっとうまくいくよ。

解説 Don't の後ろは原形なので worry。worried を使うなら Don't be worried と be が必要。be worry は誤り、worrying も Don't の直後に置けない。Don't worry about ~ は励ましの決まり文句。

区別 **worry about ~ ⇔ be worried about ~** be worried は「心配している」状態、worry は「心配する」。be が付けば worried。見分け方：be があれば過去分詞、なければ動詞 worry。

0279 ☐☐☐

All you have to do is _____ this button, and the machine will start.

① press ② pressed
③ pressing ④ presses

① All one has to do is (to) do ～しさえすればよい

訳 このボタンを押しさえすれば、機械が動き出します。

解説 All one has to do is (to) do で「～しさえすればよい」。is の後ろは原形不定詞（to が省略されることが多い）なので press。pressing / pressed / presses はこの形の補語にならない。to press も正しいが選択肢にはない。

区別 **All one has to do is (to) do ⇔ have only to do** All you have to do is (to) do は「すべきことは～だけ」と主語を all にした形。You have only to do は助動詞のように have only to を使った形。意味は同じ。見分け方：All で始まれば is の後ろに原形、You で始まれば have only to do。

0280 ☐☐☐

After a long discussion, we finally arrived _____ a conclusion.

① in ② at
③ to ④ on

② arrive at ~ （結論など）に達する；（場所）に着く

訳 長い話し合いの末、私たちはようやく結論に達した。

解説 arrive at a conclusion で「結論に達する」。結論は地点と考えて at。in は都市・国など広い場所に着くとき。to は come to a conclusion の形で arrive とは組まない。on も使わない。

区別 **arrive at ~ ⇔ arrive in ~** at は地点（駅・空港・家）、in は広い場所（都市・国）。見分け方：後ろが都市・国なら in。

0281 ☐☐☐

Please bear in _____ that the deadline is next Friday.

① head ② heart
③ mind ④ memory

③ bear ~ in mind ～を心にとめておく

訳 締め切りは来週の金曜日だということを覚えておいてください。

解説 bear ~ in mind で「～を心にとめておく」。目的語の that 節が長いので bear in mind that ~ の語順。heart / head / memory は in と組んでもこの熟語にならない。keep in mind that ~ も同じ。

区別 **bear ~ in mind ⇔ can't bear ~** can't bear ~ の bear は「耐える」で「～に我慢できない」。bear ~ in mind は「持つ」の意味。見分け方：in mind が続けば「覚えておく」。

0282 □□□

He blamed his failure ———— bad luck.

① with ② for
③ to ④ on

④ blame B on A　B を A のせいにする

訳 彼は自分の失敗を不運のせいにした。

解説 blame の直後が事柄（his failure）なので blame B on A の on。for は blame bad luck for his failure のように原因を先に置くときに使う。to / with は blame と組まない。

区別 **blame B on A ⇔ blame A for B**　人が先なら blame A for B（理由の for）、事柄が先なら blame B on A（責任を乗せる on）と、語順と前置詞がセットで入れ替わる。見分け方：blame の直後が事柄なら on。

0283 □□□

He didn't even bother ———— goodbye before he left the party.

① say ② said
③ to say ④ of saying

③ bother to do　わざわざ～する

訳 彼はパーティーを去る前に、さよならさえ言わなかった。

解説 bother to do で「わざわざ～する」、否定文 didn't even bother to do は「～しようともしなかった」。よって to say。say（原形）/ said は bother の後ろに直接置けない。bother saying も可だが、of saying は前置詞 of が不要で誤り。

区別 **bother to do ⇔ take the trouble to do**　どちらも「わざわざ～する」だが、take the trouble to do は手間をかけた親切などに肯定文で使うことが多い。bother to do は否定文で「～しようともしない」と不満を表すのが典型。見分け方：not even bother to do の形が出たら「～さえしない」と訳す。

0284 □□□

You cannot be ———— careful when you drive at night.

① so ② very
③ too ④ much

③ cannot ~ too ...　いくら～してもしすぎることはない

訳 夜に運転するときは、どんなに注意してもしすぎることはない。

解説 cannot be too ~ で「いくら～してもしすぎることはない」。very / so では「とても注意深くはなれない」となり意味が逆になる。much は形容詞 careful を直接修飾できない。

区別 **cannot ~ too ... ⇔ too ... to do**　too ... to do は「...すぎて～できない」。cannot ＋ too で to do がなければ「しすぎることはない」。見分け方：後ろに to do があるか。

0285 □□□

After hours of discussion, we finally ———— to a conclusion.

① made ② reached
③ arrived ④ came

④ come to a conclusion　結論に達する

訳 何時間も話し合った後、私たちはようやく結論に達した。

解説 後ろに to があるので came（come to a conclusion）。reached は他動詞で to を取らない。arrived は at を使い arrived to とは言わない。made は make a decision の動詞で conclusion には to と組まない。

区別 **come to a conclusion ⇔ reach / arrive at a conclusion**　come は to、arrive は at、reach は前置詞なし。見分け方：動詞ごとに前置詞を決める（× reach to / arrive to）。

0286 □□□

People often confuse Austria ＿＿＿ Australia.

① to　② for
③ with　④ from

③ confuse A with B　A を B と混同する

訳 人々はよくオーストリアをオーストラリアと混同する。

解説 confuse A with B で「A を B と混同する」なので with。for は mistake A for B の前置詞で confuse とは組まない。to / from も使わない。名前が似ている 2 つが混ざるので with。

区別 **confuse A with B ⇔ mistake A for B**　mistake A for B も「A を B と間違える」だが前置詞は for。confuse は with（混ぜる）、mistake は for（取り違える）。見分け方：動詞で前置詞を決める。

0287 □□□

We consider ＿＿＿ the best candidate for the job.

① him　② him to
③ him for　④ his

① consider A (as) B　A を B と見なす；A を B だと考える

訳 私たちは彼がその仕事に最適の候補者だと考えている。

解説 consider A B（as の省略形）なので him の後ろに直接 the best candidate を置ける。him to は to be が必要（him to be なら可）。him for / his は consider A B の形にならない。

区別 **consider A (as) B ⇔ regard A as B**　regard / see / look on / think of は as が必須。consider だけ as を省ける。見分け方：A B が as なしで並んでいれば consider。

0288 □□□

The minister was criticized ＿＿＿ making careless remarks.

① about　② of
③ with　④ for

④ criticize A for B　B のことで A を批判する

訳 その大臣は不用意な発言をしたことで批判された。

解説 criticize A for B の受動態なので for。of は accuse A of B の前置詞で、criticize とは組まない。with / about も使わない。批判の理由を for で示す。

区別 **criticize A for B ⇔ accuse A of B**　criticize は for、accuse は of。見分け方：accuse を見たら of、それ以外の非難（blame / criticize / scold）は for。

0289 □□□

The doctor cured him ＿＿＿ his illness.

① from　② of
③ for　④ with

② cure A of B　A（人）の B（病気・悪癖）を治す

訳 医者は彼の病気を治した。

解説 cure A of B で「A の B を治す」なので of（分離の of）。「～から」の日本語につられて from を選ばない。for は treat A for B（治療する）の前置詞。with も使わない。

区別 **cure A of B ⇔ treat / heal**　treat は治療する行為、cure は完全に治す結果、heal は傷が癒える。見分け方：人＋ of ＋病気の形なら cure。

0290 ☐☐☐

My parents discouraged me _____ studying abroad.

① for ② to
③ of ④ from

④ discourage A from ~ing
A に～するのを思いとどまらせる

訳 両親は私に留学を思いとどまらせようとした。

解説 discourage A from ~ing で「A に～するのを思いとどまらせる」なので from。to は encourage A to do の形で、後ろが動名詞の studying とも合わない。of / for も使わない。

区別 **discourage A from ~ing ⇔ encourage A to do** encourage は to do、discourage は from ~ing と形まで反対。見分け方：dis が付けば from ~ing。

0291 ☐☐☐

He did _____ a big favor by driving me to the airport.

① to me ② for me
③ me ④ my

③ do A a favor A の頼みを聞く

訳 彼は私を空港まで車で送ってくれるという大きな親切をしてくれた。

解説 do A a favor は第 4 文型で、人を前置詞なしで置くので me。for me / to me は前置詞が不要。my は所有格で目的語にならない。空港まで送ってくれたという親切の内容が by ~ で示されている。

区別 **do A a favor ⇔ ask a favor of A** do は親切をする側（頼まれる人）、ask は頼む側。見分け方：主語が頼みを聞くなら do、頼むなら ask。

0292 ☐☐☐

He did nothing but _____ video games all weekend.

① play ② played
③ playing ④ to play

① do nothing but do ～してばかりいる

訳 彼は週末中ずっとテレビゲームばかりしていた。

解説 do nothing but do の後ろは原形なので play。did に合わせて played にしない。playing / to play も誤り（to play は have no choice but to do の形）。

区別 **do nothing but do ⇔ have no choice but to do** do nothing but は原形、have no choice but は to do。見分け方：do nothing なら原形。

0293 ☐☐☐

Did you enjoy _____ at the party last night?

① you ② yourself
③ it yourself ④ to yourself

② enjoy oneself 楽しむ；楽しい時を過ごす

訳 昨夜のパーティーは楽しかった？

解説 enjoy は他動詞なので目的語が必要。何を楽しんだかを言わないので再帰代名詞 yourself。you は主語と同じ人なので再帰代名詞にする。it yourself / to yourself は形が誤り。

区別 **enjoy oneself ⇔ have fun / have a good time** have fun / have a good time は目的語なしで使える。enjoy は目的語が必要なので oneself を置く。見分け方：enjoy の後ろに目的語がなければ誤り。

0294 ☐☐☐

She got married _____ a doctor last year.

① to　② with
③ for　④ by

① get married (to ~)　（～と）結婚する

訳 彼女は昨年、医者と結婚した。

解説 get married の相手は to で示す。日本語の「～と結婚」につられて with を選ぶのは典型的な誤り。for / by も使わない。marry を使うなら She married a doctor. と前置詞なし。

区別 **get married (to ~) ⇔ marry ~**　marry は他動詞で相手を直接目的語にする。get married は to ＋相手。見分け方：married の後ろなら to、marry の後ろなら前置詞なし。

0295 ☐☐☐

I got _____ know her better during the school trip.

① for　② to
③ in　④ on

② get to do　～するようになる；～する機会を得る

訳 修学旅行の間に、彼女のことをもっとよく知るようになった。

解説 get to do で「～するようになる」なので to（know は原形）。for / in / on の後ろに原形は置けない。「修学旅行中に彼女をよく知るようになった」という変化を表している。

区別 **get to do ⇔ get to ＋場所**　to の後ろが名詞（場所）なら「～に着く」、動詞の原形なら「～するようになる・する機会を得る」。見分け方：to の後ろの品詞。

0296 ☐☐☐

Could you give me a hand _____ these boxes?

① to　② for
③ with　④ on

③ give A a hand　A に手を貸す

訳 この箱を運ぶのを手伝ってもらえませんか。

解説 give A a hand with B で「A の B を手伝う」。手伝う仕事は with で示し、help A with B と同じ。for / to / on は手伝う内容を示す前置詞ではない。

区別 **give A a hand ⇔ give A a big hand**　big が付いた give A a big hand は「A に盛大な拍手を送る」で、手伝う意味はない。見分け方：発表・演奏の後で聴衆に呼びかけるなら拍手。

0297 ☐☐☐

She gave _____ to a healthy baby girl last week.

① birthday　② born
③ bear　④ birth

④ give birth to ~　～を産む；～を生み出す

訳 彼女は先週、元気な女の子を出産した。

解説 give birth to ~ で「～を産む」。give の目的語なので名詞の birth。born は過去分詞、bear は動詞で名詞の位置に置けない。birthday は「誕生日」で意味が違う。

区別 **give birth to ~ ⇔ be born**　be born は子どもが主語で「生まれる」、give birth to は母親が主語で「産む」。見分け方：主語が子どもか母親か。

0298 ☐☐☐

She went out of her ＿＿＿＿ to help me find a place to live.

① path　② road
③ way　④ time

③ go out of one's way to do　わざわざ～する

訳 彼女はわざわざ私が住む場所を探すのを手伝ってくれた。

解説 go out of one's way to do で「わざわざ～する」。決まった名詞は way で、road / path / time では熟語にならない。家探しを手伝うために手間を惜しまなかった、という親切を表す。

区別 **go out of one's way to do ⇔ on one's way**　on one's way は「途中で・向かっている」。out of one's way は「わざわざ」。見分け方：out of があれば「わざわざ」。

0299 ☐☐☐

You have only ＿＿＿＿ this button to start the machine.

① pressed　② press
③ pressing　④ to press

④ have only to do　～しさえすればよい

訳 このボタンを押しさえすれば、機械が動き出す。

解説 have only to do で「～しさえすればよい」なので to press。have to の to を落とした press は誤り。pressing / pressed も形が合わない。All you have to do is press ~ と言い換えられる。

区別 **have only to do ⇔ All you have to do is do**　同じ意味の書き換え。All you have to do is の後ろは原形（to も可）。見分け方：主語が All で始まれば is の後ろに原形。

0300 ☐☐☐

The cause of the accident has ＿＿＿＿ to be discovered.

① still　② yet
③ already　④ ever

② have yet to do　まだ～していない

訳 その事故の原因はまだ分かっていない。

解説 have yet to do で「まだ～していない」なので yet。still / already / ever は have と to の間に入れてもこの意味にならない。「事故の原因はまだ分かっていない」という文。

区別 **have yet to do ⇔ have to do**　have to do は「～しなければならない」。yet が入ると「まだ～していない」。見分け方：have と to の間に yet があるか。

0301 ☐☐☐

How come ＿＿＿＿ so early today?

① you got up　② did you get up
③ do you get up　④ got you up

① How come S V?　どうして～なのか

訳 どうして今日はそんなに早く起きたの？

解説 How come の後ろは平叙文の語順なので you got up。did you get up / do you get up は Why の後ろで使う疑問文の語順。got you up は語順が誤り。

区別 **How come S V? ⇔ Why ~?**　Why は疑問文の語順（Why did you ~?）、How come は平叙文の語順（How come you ~?）。見分け方：後ろの語順。

0302 □□□

Don't let your part-time job interfere ＿＿＿ your studies.

① in　② with
③ to　④ on

② interfere with ~ ～を妨げる；～の邪魔をする

訳 アルバイトのせいで勉強に支障が出ないようにしなさい。

解説 アルバイトが勉強の進行を妨げる、という意味なので interfere with。in は他人のことに口を出す（干渉する）ときに使う。to / on は interfere と組まない。

区別 **interfere with ~ ⇔ interfere in ~** with は物事の進行を妨げる、in は他人の問題に口を出す。見分け方：勉強・睡眠など活動なら with、他人の私生活・内政なら in。

0303 □□□

It's high time you ＿＿＿ your homework.

① have started　② start
③ will start　④ started

④ It is (high) time S + 過去形 もう～してもよいころだ

訳 もうとっくに宿題を始めている時間だよ。

解説 It is high time S ＋過去形で「もう～してもよいころだ」なので started（仮定法過去）。現在形 start や will start、現在完了 have started は使わない。まだ始めていないことへの促しを表す。

区別 **It is (high) time S + 過去形 ⇔ It is time (for A) to do** to do の形は単に「～する時間だ」。S ＋過去形は「とっくに～すべきなのにしていない」という不満・促し。見分け方：後ろが S ＋過去形なら仮定法。

0304 □□□

It suddenly occurred ＿＿＿ me that I had left my phone on the train.

① for　② to
③ at　④ with

② It occurs to A that S V A に～という考えが浮かぶ

訳 電車に携帯電話を置き忘れたことに、突然気がついた。

解説 occur to A で「A の心に浮かぶ」なので to。考えが人のところへやって来るイメージ。for / at / with は occur と組まない。It は that 節を指す形式主語。

区別 **It occurs to A that S V ⇔ occur**（起こる） to ＋人がなければ occur は「（出来事が）起こる」（The accident occurred at night）。見分け方：to ＋人があれば「思い浮かぶ」。

0305 □□□

It ＿＿＿ me two hours to finish the report.

① cost　② spent
③ took　④ needed

③ It takes (A) 時間 to do （A が）～するのに…かかる

訳 レポートを書き終えるのに 2 時間かかった。

解説 It が主語で時間を言うので took。spent は人が主語（I spent two hours finishing ~）。cost はお金に使う。needed は It を主語にして me と時間を並べる形を作らない。

区別 **It takes (A) 時間 to do ⇔ It costs (A) 金額 to do** 時間は take、お金は cost。見分け方：後ろが時間なら take、金額なら cost。

0306 ☐☐☐

I'm sorry to have kept you ＿＿＿＿ so long.

① to wait　② wait
③ waiting　④ waited

③ keep A waiting　A を待たせる

訳 長い間お待たせしてすみません。

解説 keep O ~ing で「O を～している状態にしておく」。you が待っている状態なので現在分詞 waiting。原形 wait や to wait は keep の補語にならない。waited では「あなたが待たれる」になる。

区別 **keep A waiting ⇔ keep A from ~ing**　keep A from ~ing は from が入って「A に～させない」で逆の意味（The rain kept us from going out）。見分け方：from の有無。

0307 ☐☐☐

He promised to help me, and he kept his ＿＿＿＿.

① word　② words
③ promises　④ wordings

① keep one's word　約束を守る

訳 彼は私を手伝うと約束し、その約束を守った。

解説 keep one's word で「約束を守る」。word は「約束」の意味では単数で使う。words は「言葉・発言」になる。promises は複数で、1 つの約束（promised to help）に合わない。wordings は「言い回し」。

区別 **keep one's word ⇔ break one's word**　keep one's word は「約束を守る」、break one's word は「約束を破る」。word は同じ単数で、動詞を入れ替えるだけで正反対になる。見分け方：守ったか破ったかを文脈で判断する。

0308 ☐☐☐

He lost his ＿＿＿＿ and started shouting at everyone.

① temperature　② temper
③ heart　④ face

② lose one's temper　かっとなる；怒る

訳 彼はかっとなって、みんなに怒鳴り始めた。

解説 lose one's temper で「かっとなる」。叫び始めたという後半と合う。temperature は「温度・体温」。lose one's heart は「恋をする」、lose face は「面目を失う」で his は付けない。

区別 **lose one's temper ⇔ keep one's temper**　lose は平静を失う＝怒る、keep は平静を保つ＝怒らない。見分け方：動詞で反対の意味。

0309 ☐☐☐

We need to ＿＿＿＿ a decision by tomorrow.

① give　② do
③ make　④ get

③ make a decision　決定する；決心する

訳 明日までに決断しなければならない。

解説 「決定する」は make a decision。do / give / get は decision と組んで「決定する」の意味にならない。make を使う名詞（mistake / effort / progress）と一緒に覚える。

区別 **make a decision ⇔ make a mistake**　decision も mistake も make と組む名詞。do a decision / do a mistake は誤り。見分け方：make を使う名詞のグループ（decision / mistake / effort / progress）。

0310 ☐☐☐

Don't be afraid of ———— mistakes when you speak English.

① having ② doing
③ taking ④ making

④ make a mistake 間違える

訳 英語を話すときは、間違えることを恐れてはいけない。

解説 「間違える」は make a mistake なので、of の後ろで動名詞 making。do / take / have は mistake と組まない。前置詞 of の後ろなので ~ing になっている点も確認。

区別 **make a mistake ⇔ mistake A for B** mistake は動詞にもなり、mistake A for B で「A を B と間違える」。名詞なら make a mistake。見分け方：make の後ろなら名詞。

0311 ☐☐☐

She makes a point ———— exercising every day.

① of ② to
③ for ④ in

① make a point of ~ing 必ず～することにしている

訳 彼女は毎日欠かさず運動するようにしている。

解説 make a point of ~ing で「必ず～することにしている」なので of。後ろが動名詞の exercising なので to は合わない（make it a rule to exercise なら可）。for / in も使わない。

区別 **make a point of ~ing ⇔ make it a rule to do** make a point は of ~ing、make it a rule は to do。見分け方：point なら of ~ing、rule なら it と to do。

0312 ☐☐☐

I made ———— with a girl from Canada.

① friend ② friends
③ a friend ④ my friend

② make friends (with ~) （～と）友達になる

訳 私はカナダ出身の女の子と友達になった。

解説 make friends with ~ で「～と友達になる」。友達関係は 2 人で成り立つので複数 friends。friend / a friend / my friend は単数で、with ~ とつながらない。

区別 **make friends (with ~) ⇔ make a friend** make a friend は「友達を 1 人作る」で、with は取らない。with ＋相手が続けば必ず friends。見分け方：with があれば複数。

0313 ☐☐☐

I couldn't make sense ———— his handwriting.

① with ② for
③ of ④ to

③ make sense of ~ ～を理解する

訳 彼の手書きの字は判読できなかった。

解説 make sense of ~ で「～を理解する」なので of。主語が人（I）で、理解する対象が of の後ろ。for / with / to は使わない。of がない make sense は物事が主語のとき。

区別 **make sense of ~ ⇔ make sense** make sense は物事が主語で「筋が通る」、make sense of は人が主語で「理解する」。見分け方：of ＋対象があれば人が主語。

0314 □□□

He may ＿＿＿＿ be angry. You broke his favorite camera.

① as well　② well
③ good　④ better

② may well do
～するのももっともだ；たぶん～するだろう

訳 彼が怒るのも無理はない。あなたは彼のお気に入りのカメラを壊したのだから。

解説 お気に入りのカメラを壊されたのだから「怒るのももっともだ」＝ may well。may as well は「～した方がいい」で意味が合わない。good / better は may と原形の間に置いてこの意味にならない。

区別 **may well do ⇔ may as well do** may as well do は as が入って「（ほかによい手もないので）～した方がいい・～しても同じだ」。may well は「～するのももっとも・たぶん～する」。見分け方：as の有無。

0315 □□□

The garden hasn't been taken care of for months. It really needs ＿＿＿＿.

① to weed　② weeding
③ being weeded　④ weeded

② need ~ing …される必要がある

訳 その庭は何か月も手入れされていない。本当に草取りが必要だ。

解説 主語が庭（物）で「草取りされる必要がある」なので need ~ing（＝ need to be weeded）。to weed だと庭が自分で草を取ることになる。weeded は need の後ろに直接置けない。being weeded は need の後ろでは使わず、~ing だけで受け身の意味になる。

区別 **need ~ing ⇔ need to do** need ~ing は主語が「…される」側（受け身の意味）、need to do は主語が自分で「…する」。同じ受け身の意味を need to be done でも言える。見分け方：主語が物でされる側なら ~ing か to be done、人が自分でするなら to do。

0316 □□□

A good idea suddenly ＿＿＿＿ to me.

① occurred　② thought
③ hit on　④ came up

① occur to ～ （考えが）～の心に浮かぶ

訳 良い考えが突然思い浮かんだ。

解説 主語が考え（A good idea）で to me が続くので occurred。thought / hit on は人が主語の動詞。came up は「（話題が）出る」で、came up to me だと「私に近づいた」になる。

区別 **occur to ～ ⇔ think of ～ / hit on ～** think of / hit on は人が主語で「思いつく」（I thought of a good idea）。occur to は考えが主語。見分け方：主語が人か考えか。

0317 □□□

The teacher praised Ken ＿＿＿＿ his hard work.

① with　② of
③ on　④ for

④ praise A for B B のことで A を褒める

訳 先生はケンの努力を褒めた。

解説 praise A for B で「B のことで A を褒める」なので for。of は accuse A of B、on は congratulate A on B の前置詞で、praise とは組まない。with も使わない。

区別 **praise A for B ⇔ blame A for B** praise は「褒める」、blame は「責める」で意味は正反対だが、どちらも人を目的語にして理由を for で示す同じ型。見分け方：前置詞では区別できないので、文脈のよい・悪いで選ぶ。

0318 □□□

It's easy to make a plan, but difficult to _____ it into practice.

① put　② make
③ take　④ do

① put ~ into practice ～を実行する；～を実践する

訳 計画を立てるのは簡単だが、それを実行に移すのは難しい。

解説 put ~ into practice で「～を実行する」なので put。make / take / do は into practice と組んでこの意味にならない。前半の make a plan と対比されている。

区別 **put ~ into practice ⇔ in practice** in practice は「実際には（理論と違って）」という修飾語。put ~ into practice は述語。見分け方：put があれば実行する。

0319 □□□

Please refrain _____ using your phone during the concert.

① to　② from
③ of　④ with

② refrain from ~ ～を控える；～を慎む

訳 コンサート中は携帯電話のご使用をお控えください。

解説 refrain from ~ing で「～を控える」なので from。to を選ぶと to 不定詞と取り違えた形で、後ろの using とも合わない。of / with も使わない。

区別 **refrain from ~ ⇔ avoid ~ing** avoid は他動詞で from が要らない（avoid smoking）。refrain は from が必要。見分け方：空所の後ろに from があれば refrain。

0320 □□□

We regret _____ you that the flight has been canceled because of the typhoon.

① to inform　② informing
③ inform　④ informed

① regret ~ing / regret to do
（regret ~ing）～したことを後悔する；（regret to do）残念ながら～する

訳 残念ながら、台風のためその便は欠航になったことをお知らせします。

解説 regret to do で「残念ながら～する」。これから悪い知らせを伝える場面なので to inform。informing だと「知らせたことを後悔している」という意味になり、案内の文として合わない。inform / informed は regret の直後に置けない。

区別 **regret ~ing / regret to do ⇔ forget to do / forget ~ing** forget to do は「（これから）～するのを忘れる」、forget ～ing は「（過去に）～したことを忘れる」。regret と同じく、不定詞はこれからのこと、動名詞は過去にしたことを表す。

0321 □□□

I haven't _____ to her email yet.

① said　② answered
③ replied　④ told

③ reply to ~ ～に返事をする；～に答える

訳 彼女のメールにまだ返信していない。

解説 後ろに to があるので replied（to）。answered は他動詞で to を取らない。said / told は「（言葉を）言う・伝える」で、メールに返事をする意味にならない。

区別 **reply to ~ ⇔ answer** answer は他動詞で answer the email、reply は reply to the email。見分け方：後ろに to があれば reply。

0322 ☐☐☐

If you don't study, you run the _____ of failing the exam.

① fear ② danger
③ chance ④ risk

④ run the risk of ~ing

～する危険を冒す；～するおそれがある

訳 勉強しなければ、試験に落ちる危険を冒すことになる。

解説 run the risk of ~ing で「～するおそれがある」。決まった名詞は risk。danger / fear は run と組まず、chance は「（よい）機会・可能性」で、run the chance of とは言わない。

区別 **run the risk of ~ing ⇔ take a risk** take a risk はあえて危険なことをする積極的な行動。run the risk of ~ing は悪い結果になるおそれがある状態。見分け方：of ~ing で悪い結果が続けば run the risk of。

0323 ☐☐☐

He suggested _____ that we leave early to avoid the traffic.

① for me ② me
③ to me ④ me to

③ suggest A to B　B に A を提案する

訳 渋滞を避けるために早く出発しようと、彼は私に提案した。

解説 suggest は人を直接目的語にできないので、提案した相手は to me。me / me to は二重目的語や suggest A to do の形と混同した誤り。for me も使わない。that 節の leave が原形になっている点も確認。

区別 **suggest A to B ⇔ suggest that S (should) do** that 節では (should) ＋原形（He suggested that we leave early）。insist / demand と同じ形。見分け方：that 節の動詞は主語にかかわらず原形。

0324 ☐☐☐

The police suspected him _____ the crime.

① about ② for
③ with ④ of

④ suspect A of B

A に B の嫌疑をかける；A が B したのではないかと疑う

訳 警察は彼にその犯罪の疑いをかけた。

解説 suspect A of B で「A に B の嫌疑をかける」なので of。accuse A of B と同じ「罪を問う of」。for / with / about は suspect と組まない。

区別 **suspect A of B ⇔ doubt** suspect that ~ は「～だろうと思う」、doubt that ~ は「～ではないだろうと思う」で推測の向きが逆。見分け方：怪しいと思うなら suspect、本当かどうか疑うなら doubt。

0325 ☐☐☐

There's no hurry. You can take _____ time.

① your ② the
③ a ④ much

① take one's time　ゆっくりやる；時間をかける

訳 急がなくていいよ。ゆっくりやっていいから。

解説 take one's time で「ゆっくりやる」なので所有格 your。take the time は「（わざわざ）時間を割く」、a time / much time ではこの決まった意味にならない。前の There's no hurry. ともつながる。

区別 **take one's time ⇔ take time** It takes time. は「時間がかかる」。one's が入る take one's time は「（自分のペースで）ゆっくりやる」。見分け方：所有格の有無。

0326 ☐☐☐

My brother and I take ———— washing the dishes.

① turn　② turns
③ a turn　④ the turn

② take turns (~ing)　交代で（～）する

訳 兄と私は交代で皿洗いをしている。

解説 take turns ~ing で「交代で～する」。順番を交互に取るので複数 turns。turn / a turn / the turn は単数で、この熟語にならない。shake hands / make friends と同じ複数の理屈。

区別 **take turns (~ing) ⇔ in turn**　in turn は「順番に・今度は」という修飾語。take turns は述語。見分け方：動詞として使うなら take turns。

0327 ☐☐☐

There is no ———— what she will say.

① to tell　② tell
③ telling　④ told

③ There is no ~ing　～することはできない

訳 彼女が何を言い出すかは分からない。

解説 There is no ~ing で「～することはできない」なので telling。no の後ろは名詞の働きをする動名詞。tell / to tell / told は no の後ろに置けない。It is impossible to tell ~ と言い換えられる。

区別 **There is no ~ing ⇔ There is no point in ~ing**　point in が入ると「～しても無駄だ」。no ~ing だけなら「～できない」。見分け方：point in があるか。

0328 ☐☐☐

There is no point ———— arguing with him.

① in　② to
③ for　④ at

① There is no point in ~ing　～しても無駄だ

訳 彼と言い争っても無駄だ。

解説 There is no point in ~ing で「～しても無駄だ」なので in。後ろが動名詞の arguing なので to は合わない。for / at も使わない。It is no use arguing with him. と言い換えられる。

区別 **There is no point in ~ing ⇔ There is no ~ing**　point in がなければ「～できない」。point in があれば「～しても無駄」。見分け方：point の有無。

0329 ☐☐☐

———— is your new teacher like?

① Which　② How
③ Who　④ What

④ What is ~ like?　～はどのようなものか

訳 新しい先生はどんな人ですか。

解説 like は前置詞で目的語が必要なので、その目的語になる What。How は副詞なので like の目的語になれず、How is ~ like? は誤り。Who / Which は人や選択を聞く疑問詞で、like と組んでこの意味にならない。

区別 **What is ~ like? ⇔ What does ~ look like?**　look like は外見だけを聞く（背が高い・髪が長い）。What is ~ like? は性格・特徴全体。見分け方：答えが見た目なら look like。

確認テスト2　動詞の熟語｜日本語に合うように、空所に1語を書き込もう（答えは赤字）

0103 明日キャンプに行くかどうかは天気次第だ。
Whether we go camping depends **on** the weather tomorrow.

0104 大雪のせいで外出できなかった。
The heavy snow **prevented** us from going out.

0105 その学校は生徒に無料で昼食を出している。
The school **provides** students with free lunches.

0106 今年は50人以上の生徒がスピーチコンテストに参加した。
More than fifty students took **part** in the speech contest this year.

0107 文化祭は11月の最初の週末に行われる。
The school festival will take **place** on the first weekend of November.

0108 画面の指示に注意してください。
Please pay **attention** to the instructions on the screen.

0109 私たちの留守中は祖母が犬の世話をしてくれる。
My grandmother takes **care** of our dog while we are away.

0110 古い服をいくつか処分しなければならない。
I need to get **rid** of some old clothes.

0111 多くの人が彼を日本一の選手だと見なしている。
Many people **regard** him as the best player in Japan.

0112 この歌を聞くといつも高校時代を思い出す。
This song always **reminds** me of my high school days.

0113 大雨で試合が中止になった。
The heavy rain resulted **in** the cancellation of the game.

0114 夏休みを利用してもっと本を読むべきだ。
You should take **advantage** of the summer vacation to read more books.

0115 以前、学校の前に大きな木があった。
There **used** to be a big tree in front of our school.

0116 パン屋で働いているので、彼女は早起きに慣れている。
She is **used** to getting up early because she works at a bakery.

0117 彼のおかしな顔を見て、笑わずにはいられなかった。
I couldn't **help** laughing when I saw his funny face.

0118 彼女はついにカナダに留学する決心をした。
She finally made up her **mind** to study abroad in Canada.

0119 多くの生徒が電車の時刻を調べるのにスマホに頼っている。
Many students **rely** on their smartphones to check the train schedule.

0120 私たちはきれいな水を当たり前と思いがちだが、手に入らない人も多い。
We often take clean water for **granted**, but many people cannot get it.

0121 若者がその町の人口の約 40%を占めている。
Young people **account** for about forty percent of the town's population.

0122 その委員会は生徒 10 人と先生 2 人で構成されている。
The committee consists **of** ten students and two teachers.

0123 多くの生徒は最初、話される英語を聞き取るのに苦労する。
Many students have **difficulty** understanding spoken English at first.

0124 宿題を手伝ってくれない？
Could you help me **with** my homework?

0125 彼の説明は部屋の誰にも意味が分からなかった。
His explanation didn't make **sense** to anyone in the room.

0126 睡眠は学習と記憶において重要な役割を果たす。
Sleep plays an important **role** in learning and memory.

0127 私はコーヒーより紅茶が好きだ。
I **prefer** tea to coffee.

0128 人はお腹が空いているときに買い物をすると、お金を使いすぎる傾向がある。
People **tend** to spend more money when they shop while hungry.

0129 いろいろ手伝ってくれてありがとう。
I want to thank you **for** all your help.

0130 彼の成功は運とは何の関係もない。彼はとても努力したのだ。
His success has **nothing** to do with luck; he worked very hard.

0131 父は夕食代を自分が払うと言って聞かなかった。
My father insisted **on** paying for dinner.

0132 試験は難しかったが、何とか時間内に終えることができた。
Although the exam was hard, I **managed** to finish it on time.

0133 旅行を計画するときは、天気を考慮に入れなさい。
When you plan the trip, take the weather into **account**.

0134 彼女は弟が自分の日記を読んだと責めた。
She **accused** her brother of reading her diary.

0135 その映画は実話に基づいている。
The movie is **based** on a true story.

0136 この寺は千年以上前に建てられたと言われている。
This temple is **said** to have been built more than a thousand years ago.

0137 事故のことで自分を責めないで。
Don't **blame** yourself for the accident.

0138 医者になるという彼女の夢はついに実現した。
Her dream of becoming a doctor finally came **true** .

0139 自分の答えをペアの人の答えと比べなさい。
Compare your answers with your partner's.

0140 定期的な運動は健康に役立つ。
Regular exercise **contributes** to good health.

0141 今夜は出かける気分じゃない。疲れすぎている。
I don't **feel** like going out tonight; I'm too tired.

0142 寮生活に慣れるのに 1 か月かかった。
It took me a month to get **used** to living in the dorm.

0143 痛みが続くなら医者に診てもらったほうがいい。
You had **better** see a doctor if the pain continues.

0144 昨日、兄に自転車を直してもらった。
I **had** my older brother fix my bike yesterday.

0145 図書館は 5 時に閉まることを覚えておいてね。
Keep in **mind** that the library closes at five.

0146 騒音のせいで寝つけなかった。
The noise **kept** me from falling asleep.

0147 出かけるときは必ずドアに鍵をかけるようにしなさい。
Make **sure** that you lock the door when you leave.

0148 試験期間中は図書館をうまく利用すべきだ。
We should make good **use** of the library during the exam period.

0149 講演者は自分の海外経験に何度も触れた。
The speaker often **referred** to her own experience abroad.

0150 交通事故の多くは不注意な運転が原因で起こる。
Many traffic accidents result **from** careless driving.

0151 2 人の男が老婦人からバッグを奪った。
Two men **robbed** the old woman of her bag.

0152 彼はお金の大半を漫画に使っている。
He spends most of his money **on** comic books.

0153 彼はついに運転免許試験に合格した。
He finally **succeeded** in passing the driving test.

0154 毎年春になると何百万人もの人が花粉症に苦しむ。
Millions of people suffer **from** hay fever every spring.

0155 古い工場は美しい美術館に生まれ変わった。
The old factory was **turned** into a beautiful art museum.

0156 多くの住民が新空港を建てる計画に反対した。
Many residents **objected** to the plan to build a new airport.

0157 公園をもっと増やす必要があるという点で君に賛成だ。
I agree **with** you about the need for more parks.

0158 彼女は本屋のアルバイトに応募した。
She applied **for** a part-time job at the bookstore.

0159 この古いギターは祖父のものだった。
This old guitar belonged **to** my grandfather.

0160 私たちは彼女の入試合格を祝った。
We **congratulated** her on passing the entrance exam.

0161 彼女は新しい仕事のストレスにうまく対処するのが難しいと感じた。
She found it hard to **cope** with the stress of her new job.

0162 戦争は多くの子どもから学校へ行く機会を奪った。
The war **deprived** many children of their chance to go to school.

0163 コンテストで勝てるよう最善を尽くします。
I'll do my **best** to win the contest.

0164 今日の授業は冠詞の使い方に焦点を当てる。
Today's lesson will **focus** on the use of articles.

0165 家を出るときにドアに鍵をかけるのを忘れないで。
Don't forget **to** lock the door when you leave the house.

0166 やっと父を説得して新しい携帯を買ってもらった。
I finally **got** my father to buy me a new phone.

0167 質問があれば私に連絡してください。
Please get in **touch** with me if you have any questions.

0168 昨日、駅で昔のクラスメートに偶然会った。
I **happened** to meet my old classmate at the station yesterday.

0169 睡眠不足は記憶力に悪い影響を与える。
Lack of sleep has a bad **effect** on your memory.

0170 兄が重い箱を新しい部屋に運ぶのを手伝ってくれた。
My brother **helped** me carry the heavy boxes to my new room.

0171 こぼれたミルクを嘆いても無駄だ（覆水盆に返らず）。
It is no **use** crying over spilt milk.

0172 卒業後もお互いに連絡を取り合おうね。
Let's keep in **touch** with each other after graduation.

0173 両親は週末に車を使わせてくれる。
My parents **let** me use the car on weekends.

0174 少額の寄付でも、困っている子どもたちには大きな効果がある。
Even a small donation can make a **difference** to children in need.

0175 間違えた人をからかうのはよくない。
It is not nice to make **fun** of people who make mistakes.

0176 その男性をおじさんと見間違えた。
I **mistook** the man for my uncle.

0177 地面がぬれているので、昨夜雨が降ったに違いない。
The ground is wet, so it **must** have rained last night.

0178 300 人以上のランナーがマラソンに参加した。
More than 300 runners **participated** in the marathon.

0179 市は観光客に無料の Wi-Fi を提供している。
The city provides free Wi-Fi **for** tourists.

0180 以前どこかであの男の人を見た覚えがある。
I **remember** seeing that man somewhere before.

0181 古いじゅうたんを新しい木の床に替えた。
We **replaced** the old carpet with a new wooden floor.

0182 テストのことをもっと早く教えてくれればよかったのに。
You **should** have told me about the test earlier.

0183 何も彼女が偉大な歌手になるのを止められない。
Nothing can **stop** her from becoming a great singer.

0184 その双子を見分けるのは難しい。
It's hard to **tell** the twins from each other.

0185 眠れないなら、温かい牛乳を 1 杯飲んでみたら。
If you can't sleep, **try** drinking a glass of warm milk.

0186 この雨の中を出かけるより、むしろ家にいたい。
I would **rather** stay home than go out in this rain.

0187 首相は来月フランスを訪問する予定だ。
The prime minister **is** to visit France next month.

0188 出かけるときは忘れずにドアに鍵をかけてね。
Please **remember** to lock the door when you leave.

0189 彼は先生に助言を求めた。
He **asked** his teacher for some advice.

0190 たいていの人は夏といえば海辺を連想する。
Most people **associate** summer with the beach.

0191 彼は自分の成功を努力と幸運のおかげだと考えている。
He **attributes** his success to hard work and good luck.

0192 幽霊の存在を信じる？
Do you believe **in** ghosts?

0193 大雪のせいで、電車が数時間止まった。
The heavy snow **caused** the trains to stop for several hours.

0194 家にいるつもりだったが、気が変わって出かけた。
I was going to stay home, but I **changed** my mind and went out.

0195 長い夏休みが終わった。
The long summer vacation came to an **end** .

0196 時がたつうちに、私は田舎暮らしが大好きになった。
Over time, I **came** to love living in the countryside.

0197 テレビがついていると宿題に集中できない。
I can't **concentrate** on my homework with the TV on.

0198 彼女は貧しい子どもたちを助けることに生涯をささげた。
She **devoted** her life to helping poor children.

0199 本物のダイヤモンドと偽物を見分けられる？
Can you **distinguish** real diamonds from fake ones?

0200 新しい橋のおかげで、人々は 5 分で川を渡れるようになった。
The new bridge **enables** people to cross the river in five minutes.

0201 このシャツを大きいサイズと交換できますか。
Can I **exchange** this shirt for a larger size?

0202 この単語を説明していただけますか。
Could you **explain** this word to me?

0203 空港で大好きな歌手に会ったことを私は決して忘れないだろう。
I will never forget **meeting** my favorite singer at the airport.

0204 新しい政策は多くの批判を引き起こした。
The new policy gave **rise** to a lot of criticism.

0205 電車が止まったので、歩いて帰るしかなかった。
The trains stopped, so we had no **choice** but to walk home.

0206 駅の近くで駐車場所を見つけるのに苦労した。
I had **trouble** finding a parking space near the station.

0207 昔のクラスメートがカナダに引っ越してから連絡がない。
I haven't heard **from** my old classmate since she moved to Canada.

0208 住所が変わったら、お知らせください。
Please **inform** us of any change in your address.

0209 健康がお金より大事なのは言うまでもない。
It goes without **saying** that health is more important than money.

0210 飲み物を買う間、私のかばんを見ていてもらえますか。
Could you keep an **eye** on my bag while I buy a drink?

0211 高校時代を最大限に活用しなさい。あっという間に過ぎるから。
Make the **most** of your time in high school; it passes quickly.

0212 生徒たちは期末試験の準備で忙しい。
The students are busy preparing **for** the final exams.

0213 その町が地震から立ち直るには何年もかかった。
It took the town many years to recover **from** the earthquake.

0214 その会社は客の苦情にすぐ対応した。
The company quickly responded **to** customers' complaints.

0215 部屋の掃除で週末を丸ごと費やした。
I **spent** the whole weekend cleaning my room.

0216 その農場は町に新鮮な野菜を供給している。
The farm **supplies** the town with fresh vegetables.

0217 選手たちは学校の長い野球の歴史を大いに誇りに思っている。
The players take great **pride** in their school's long baseball history.

0218 僕はトムを親友だと思っている。
I **think** of Tom as my best friend.

0219 彼女の小説は 20 以上の言語に翻訳されている。
Her novels have been **translated** into more than twenty languages.

0220 子どものころ、祖母はよく昔話をしてくれたものだ。
When I was a child, my grandmother **would** often tell me old stories.

0221 大雪のため、私たちは空港に留まらざるを得なかった。
Because of the heavy snow, we were **forced** to stay at the airport.

0222 生徒は留学から多くの点で恩恵を受けられる。
Students can benefit **from** studying abroad in many ways.

0223 人生はよく旅に例えられる。
Life is often **compared** to a journey.

0224 彼の機嫌が悪いのはテストの結果と何か関係があると思う。
I think his bad mood has **something** to do with the test results.

0225 今年はピアノがとても上達したね。
You have made great **progress** in your piano playing this year.

0226 ホテルの部屋は狭かったが、私たちはそれで何とかやった。
Our hotel room was small, but we made the **best** of it.

0227 決勝戦での私たちの勝利には運も一役買った。
Luck played a **part** in our victory in the final game.

0228 母親が部屋に入ってきたとき、トムは眠っているふりをした。
Tom **pretended** to be asleep when his mother came into the room.

0229 新しい規則は生徒が授業中にスマホを使うことを禁じている。
The new rule **prohibits** students from using smartphones in class.

0230 京都は日本文化の中心と呼ばれることが多い。
People often **refer** to Kyoto as the heart of Japanese culture.

0231 私たちは昼食後、子どもたちが公園でサッカーをしているのを見ていた。
We **watched** the children playing soccer in the park after lunch.

0232 このレシピでは砂糖の代わりにはちみつを使ってもいい。
You can **substitute** honey for sugar in this recipe.

0233 オンライン授業は本物の教室に完全に取って代わることはできない。
Online lessons cannot completely take the **place** of real classrooms.

0234 友だちに説得されて演劇部に入った。
My friends talked me **into** joining the drama club.

0235 スープに塩を少し加えなさい。
Add a little salt to the soup.

0236 遅刻したことを先生に謝った。
I **apologized** to my teacher for being late.

0237 両親は私が夜更かしするのをよく思っていない。
My parents don't **approve** of my staying up late.

0238 ペンを借りてもいい？
Can I **borrow** a pen from you?

0239 電車で大声で話す人には我慢できない。
I can't **stand** people who talk loudly on the train.

0240 今年は新車を買う余裕がない。
We cannot **afford** to buy a new car this year.

0241 一人暮らしの祖母のことを心配せずにはいられない。
I cannot help **but** worry about my grandmother living alone.

0242 人混みの中に旧友の姿を見つけた。
I caught **sight** of my old friend in the crowd.

0243 パーティーの騒音について近所の人が苦情を言った。
Some neighbors **complained** about the noise from the party.

0244 弁護士は陪審員に依頼人の無実を確信させた。
The lawyer **convinced** the jury of his client's innocence.

0245 退職後、彼女はボランティア活動に打ち込んだ。
After retiring, she devoted **herself** to volunteer work.

0246 日本文化は多くの点でアメリカ文化と異なる。
Japanese culture differs **from** American culture in many ways.

0247 先生はクラスを 5 つのグループに分けた。
The teacher **divided** the class into five groups.

0248 新鮮な空気の中を散歩すると体にいいよ。
A walk in the fresh air will do you **good** .

0249 画面を見すぎると目に悪い。
Too much screen time can do your eyes **harm** .

0250 上司はよくできているときでも、いつも私の報告書にけちをつける。
My boss always finds **fault** with my reports, even when they are good.

0251 古い習慣は次第に新しい習慣に取って代わられた。
The old customs gradually gave **way** to new ones.

0252 兄は去年の 3 月に高校を卒業した。
My brother graduated **from** high school last March.

0253 親友と私には共通点がたくさんある。
My best friend and I have a lot in **common** .

0254 そのコンサートのチケットを取るのに苦労した。
We had a **hard** time getting tickets for the concert.

0255 親は子どもの習慣に大きな影響を及ぼす。
Parents have a great **influence** on their children's habits.

0256 友だちを紹介させてください。
Let me **introduce** my friend to you.

0257 君たちの口論に私を巻き込まないで。
Don't **involve** me in your argument.

0258 自転車を修理してもらうのに 50 ドルかかった。
It **cost** me fifty dollars to have my bike repaired.

0259 ノートを貸してくれない？
Could you **lend** your notebook to me?

0260 彼女は先生を第二の母と思っている。
She **looks** on her teacher as a second mother.

0261 大変なときでも目標を見失ってはいけない。
Don't lose **sight** of your goal, even when things get hard.

0262 彼は子どもにギターを教えて生計を立てている。
He makes a **living** by teaching guitar to children.

0263 ミカは毎日英語を話すよう努力した。
Mika made an **effort** to speak English every day.

0264 私は午前 0 時より前に寝ることにしている。
I make it a **rule** to go to bed before midnight.

0265 駅では私のフランス語が通じなかった。
I couldn't make myself **understood** in French at the station.

0266 新しい乗客のために、荷物をどけて場所を空けてください。
Please move your bags to make **room** for the new passenger.

0267 鍵が見つからない。学校に置いてきたかもしれない。
I can't find my key. I **may** have left it at school.

0268 彼らは祖母にちなんで娘に名前を付けた。
They named their daughter **after** her grandmother.

0269 プレゼントを買ってくれる必要はなかったのに、本当にありがとう。
You **need** not have bought me a present, but thank you so much.

0270 私が成功したのは両親のおかげだ。
I **owe** my success to my parents.

0271 日焼け止めは強い日差しから肌を守る。
Sunscreen **protects** your skin from strong sunlight.

0272 政府は児童労働を終わらせなければならない。
The government must put an **end** to child labor.

0273 失敗を学ぶ機会だと考える人もいる。
Some people **see** failure as a chance to learn.

0274 2 人の指導者はカメラの前で握手した。
The two leaders shook **hands** in front of the cameras.

0275 僕は弟と部屋を共有している。
I **share** a room with my younger brother.

0276 多くの若者はどこでもインターネットが使えるのは当然だと思っている。
Many young people take it for **granted** that they can use the internet anywhere.

0277 今度の日曜にピクニックに行くのはどう？
What do you **say** to going on a picnic this Sunday?

0278 僕のことは心配しないで。大丈夫だから。
Don't **worry** about me. I'll be fine.

0279 機械を動かすには、このボタンを押しさえすればよい。
All you have to do is press this button to start the machine.

0280 長い議論の末、私たちは結論に達した。
After a long discussion, we **arrived** at a conclusion.

0281 試験は 9 時ちょうどに始まることを覚えておきなさい。
Bear in mind that the exam starts at nine sharp.

0282 彼は事故を悪天候のせいにした。
He **blamed** the accident on the bad weather.

0283 彼はパーティーを出る前に、さよならを言おうともしなかった。
He didn't even **bother** to say goodbye before he left the party.

0284 交通量の多い道を渡るときは、いくら注意してもしすぎることはない。
You cannot be **too** careful when you cross a busy street.

0285 長い議論の末、その計画は費用がかかりすぎるという結論に達した。
After a long discussion, we came to the **conclusion** that the plan was too costly.

0286 私はよく双子の姉と間違えられる。
People often **confuse** me with my twin sister.

0287 部の誰もが彼女を生まれながらのリーダーだと思っている。
Everyone in the club **considers** her a natural leader.

0288 新聞は対応の遅さを理由に政府を批判した。
The newspaper **criticized** the government for its slow response.

0289 医者は数週間で彼の病気を治した。
The doctor **cured** him of his illness in a few weeks.

0290 両親は彼女に夜一人で出かけないよう言い聞かせた。
Her parents **discouraged** her from going out alone at night.

0291 お願いがあるのですが、窓を閉めてもらえますか。
Could you do me a **favor** and close the window?

0292 彼は旅行中、文句ばかり言っていた。
He did **nothing** but complain during the trip.

0293 昨夜のパーティーは楽しかった？
Did you enjoy **yourself** at the party last night?

0294 姉は昨年、大学時代の友人と結婚した。
My sister got **married** to her college friend last year.

0295 ボランティア活動を通じて多くの人と知り合った。
I **got** to know many people through volunteer work.

0296 この重い箱を運ぶのを手伝ってもらえますか。
Could you give me a **hand** with these heavy boxes?

0297 彼女は昨夜、元気な女の子を出産した。
She gave **birth** to a healthy baby girl last night.

0298 ホテルの従業員はわざわざ私たちを助けてくれた。
The hotel staff went out of their **way** to help us.

0299 この機械を動かすにはこのボタンを押しさえすればよい。
You have **only** to press this button to start the machine.

0300 科学者たちはまだその病気の治療法を見つけていない。
The scientists have **yet** to find a cure for the disease.

0301 どうして昨夜電話してくれなかったの？
How **come** you didn't call me last night?

0302 夜遅くのゲームは睡眠の妨げになることがある。
Playing games late at night can **interfere** with your sleep.

0303 もう寝る時間だよ。もう 11 時だ。
It's time you **went** to bed; it's already eleven.

0304 電車に携帯を置き忘れたことにふと気がついた。
It suddenly **occurred** to me that I had left my phone on the train.

0305 私はその報告書を終えるのに 3 時間かかった。
It **took** me three hours to finish the report.

0306 長い間お待たせしてすみません。
I'm sorry to have kept you **waiting** so long.

0307 彼はいつも約束を守るので、信頼していい。
He always keeps his **word**, so you can trust him.

0308 彼はかっとなって弟を怒鳴った。
He lost his **temper** and shouted at his brother.

0309 そろそろ将来について決断する必要がある。
You need to make a **decision** about your future soon.

0310 英語を話すとき、間違えることを恐れてはいけない。
Don't be afraid of making a **mistake** when you speak English.

0311 父は毎朝 30 分歩くことにしている。
My father makes a **point** of walking for thirty minutes every morning.

0312 レオは新しいクラスメートとすぐに友達になれた。
It was easy for Leo to make **friends** with his new classmates.

0313 新しいプリンターの説明書が理解できなかった。
I couldn't make sense **of** the instructions for the new printer.

0314 あんなことを言われたのだから、君が彼に怒るのも当然だ。
You may **well** be angry with him after what he said.

0315 窓が汚れているので、客が来る前に掃除する必要がある。
The windows are dirty and **need** cleaning before the guests arrive.

0316 彼女が寂しいかもしれないなんて、思いもしなかった。
It never **occurred** to me that she might be lonely.

0317 先生はユイのすばらしいスピーチを褒めた。
The teacher **praised** Yui for her excellent speech.

0318 計画を実行に移す時だ。
It is time to put our plan into **practice**.

0319 演奏会の間は携帯電話の使用をお控えください。
Please **refrain** from using your phone during the concert.

0320 高校のときにもっと勉強しなかったことを本当に後悔している。
I really **regret** not studying harder when I was in high school.

0321 メールの返信が遅れてごめんなさい。
Sorry for not **replying** to your email sooner.

0322 ファイルのバックアップを取らないと、なくしてしまうおそれがある。
If you don't back up your files, you run the **risk** of losing them.

0323 彼女は部員たちに新しいアイデアを提案した。
She **suggested** a new idea to the club members.

0324 警察は彼が車を盗んだのではないかと疑っている。
The police **suspect** him of stealing the car.

0325 急ぐ必要はないので、ゆっくり答えを見直しなさい。
There is no need to hurry, so take your **time** and check your answers.

0326 兄と私は交代で夕食後の皿洗いをする。
My brother and I take **turns** washing the dishes after dinner.

0327 将来何が起こるかは分からない。
There is no **telling** what will happen in the future.

0328 変えられないことを心配しても仕方がない。
There is no **point** in worrying about things you cannot change.

0329 先週の北海道の天気はどうだった？
What was the weather **like** in Hokkaido last week?

CHAPTER 3

be＋形容詞＋前置詞

be afraid of・be aware of・be likely to など。前置詞の違いで意味が変わるものが狙われます。 No.0330〜0390（61 問）

問題

0330 □□□

Are you interested in ＿＿＿＿ our volunteer club?

① join　② to join
③ joining　④ joined

解答・解説（赤シートで隠せます）

③ be interested in ~ 〜に興味がある

訳 私たちのボランティアクラブに入ることに興味はありますか。

解説 in は前置詞なので後ろは動名詞 joining。原形 join や過去分詞 joined は前置詞の後ろに置けない。to join も前置詞の後ろには来ない（be interested to do の形なら in は付かない）。クラブへの参加を誘う文なので in ~ing の形が正しい。

区別 **be interested in ~ ⇔ be interested to do** in ~ing は「〜することに関心がある（やってみたい）」、to do は「〜して（知って）興味を覚えた」で、hear / learn / see など知覚・認識の動詞が続くことが多い。見分け方：これからの行動なら in ~ing、聞いた・知った反応なら to do。

0331 □□□

Ken didn't ride the roller coaster because he was afraid of ＿＿＿＿ sick.

① get　② to get
③ got　④ getting

④ be afraid of ~ 〜を恐れる；〜を心配する

訳 ケンは気分が悪くなるのが怖くて、ジェットコースターに乗らなかった。

解説 of は前置詞なので後ろは動名詞 getting。「気分が悪くなってしまうのでは」という望まない事態への心配なので be afraid of ~ing の形が合う。get / got は前置詞の後ろに置けず、to get も of の直後には来ない。

区別 **be afraid of ~ ⇔ be afraid to do** be afraid of falling は「落ちてしまうのではと心配」（勝手に起こる事態）、be afraid to jump は「怖くて跳べない」（自分の意志でする行動をためらう）。見分け方：自分で選ぶ行動なら to do、起きてしまう出来事なら of ~ing。

0332 □□□

My uncle is good ＿＿＿＿ his hands; he made this wooden chair himself.

① with　② at
③ for　④ to

① be good at ~ 〜が上手である；〜が得意である

訳 おじは手先が器用で、このいすも自分で作った。

解説 「手先が器用だ」は be good with one's hands。with は道具や体の部分など「扱うもの」を示す。be good at は科目・活動に使い、his hands は合わない。be good for は「〜のためになる」、be good to は「〜に親切だ」で意味が通らない。

区別 **be good at ~ ⇔ be good for ~** at は「得意分野（教科・活動）」、for は「〜のためになる・効く」。主語が人で能力の話なら at、主語が物事で効果の話なら for。

0333 □□□

Most people are not ＿＿＿＿ the dangers of using a smartphone while walking.

① aware that　② aware of
③ aware　④ aware to

② be aware of ~ ～に気づいている；～を知っている

訳 ほとんどの人は、歩きながらスマートフォンを使う危険に気づいていない。

解説 空所の後ろは名詞句 the dangers なので、前置詞 of を付けた aware of。aware that は後ろに S V が必要。aware だけでは名詞をつなげず、aware to という形はない。

区別 **be aware of ~ ⇔ be aware that S V** of の後ろは名詞・動名詞、節（S V）なら of を落として that を使う（× be aware of that S V）。見分け方：空所の後ろに文があれば that、名詞なら of。

0334 □□□

It is likely that the meeting will be canceled. = The meeting is likely ＿＿＿＿ canceled.

① to be　② being
③ that it is　④ to being

① be likely to do ～しそうである；たぶん～するだろう

訳 会議は中止になりそうだ。

解説 S is likely to do の形に書き換えるので to 不定詞。中止「される」ので受け身 to be canceled。being は likely の後ろに置けず、that it is は形が合わない。to being は to が前置詞ではないので不可。

区別 **be likely to do ⇔ be probable** 意味は近いが probable は It is probable that ~ の形だけで、S is probable to do は不可。likely は両方の形が取れる。人を主語にした書き換えなら likely を選ぶ。

0335 □□□

Scientists say that human activity is largely responsible ＿＿＿＿ the rise in global temperatures.

① to　② of
③ for　④ with

③ be responsible for ~
～に責任がある；～の原因である

訳 科学者によると、世界の気温の上昇の主な原因は人間の活動だという。

解説 物事（human activity）が主語で「～の原因である」は be responsible for。to は「（人・組織）に対して責任を負う」で、後ろに出来事は来ない。of / with はこの形容詞とは結び付かない。

区別 **be responsible for ~ ⇔ be responsible to ~** for ＋ 仕事・結果（何について責任があるか）、to ＋ 人・組織（誰に対して責任を負うか）。見分け方：後ろが人・組織なら to、仕事や出来事なら for。

0336 □□□

My opinion on this matter is quite different ＿＿＿＿ yours.

① with　② of
③ from　④ at

③ be different from ~ ～と違う

訳 この件についての私の意見は、あなたの意見とはかなり違う。

解説 「～と違う」は be different from ~。with / of / at は different と結び付かない。日本語の「～と」につられて with を選ぶ誤りが多い。似ている場合は be similar to と前置詞が変わる点もあわせて確認する。

区別 **be different from ~ ⇔ be indifferent to ~** indifferent は「違わない」ではなく「無関心な」で、前置詞は to。in- が付くと意味が大きく変わる点が引っかけ。be different from（違う）とは前置詞も違う。

0337 □□□

Shizuoka is famous ＿＿＿＿ its green tea.

① as ② of
③ by ④ for

④ be famous for ~ ～で有名である

訳 静岡は緑茶で有名だ。

解説 静岡は緑茶「で」有名＝有名な理由なので for。as を使うと「静岡＝緑茶」の関係になり不自然。of / by は famous と結び付かない。主語と後ろの名詞がイコールかどうかで for と as を区別する。

区別 **be famous for ~ ⇔ be famous as ~** for ＋ 理由（何で有名か）、as ＋ 立場（何として有名か）。主語＝ as の後ろの名詞 が成り立てば as。Kyoto ＝ an old capital なので as、Kyoto ≠ temples なので for。

0338 □□□

The essay was full ＿＿＿＿ spelling mistakes.

① of ② with
③ by ④ in

① be full of ~ ～でいっぱいである；～に満ちている

訳 その作文はつづりの間違いだらけだった。

解説 形容詞 full は of を取り、be full of ~ で「～でいっぱい」。with を使うのは過去分詞 filled（be filled with）のとき。by / in は full と結び付かない。full と filled で前置詞が変わる点が正誤問題の定番。

区別 **be full of ~ ⇔ be filled with ~** 意味は同じだが full は形容詞で of、filled は fill（満たす）の過去分詞で with。「fill A with B」の受け身だから with、と理由で覚える。

0339 □□□

You ＿＿＿＿ to use your phone during the exam. Please put it away.

① don't suppose ② aren't supposing
③ aren't supposed ④ didn't suppose

③ be supposed to do
～することになっている；～するはずである

訳 試験中は携帯電話を使ってはいけないことになっています。しまってください。

解説 「（規則で）使ってはいけないことになっている」は受け身の be not supposed to do なので aren't supposed。don't suppose / didn't suppose は「（自分が）思わない」で to use とつながらない。aren't supposing は能動の進行形で意味が通らない。

注意 規則・予定・期待を表す。否定 be not supposed to do は「～してはいけない」。＝ be expected to do / should。

0340 □□□

Hurry up! The movie ＿＿＿＿ start.

① is about
② is on the point to
③ is about to
④ is going

③ be about to do まさに～しようとしている

訳 急いで！ 映画がもうすぐ始まるよ。

解説 「今にも始まる」は be about to do なので is about to。is about だけでは原形 start とつながらない。be on the point of ~ing の形なので is on the point to は誤り。is going は to がなく start につながらない。

区別 **be about to do ⇔ be going to do** be going to は予定・意図で tomorrow などと使える。be about to は「まさに今」で、未来の時の語句を付けない。見分け方：時の語句があれば be going to。

0341 □□□

He is proud of his son. = He takes pride ＿＿＿ his son.

① in　② of
③ on　④ at

① be proud of ~　~を誇りに思う

訳 彼は息子を誇りに思っている。

解説 名詞 pride を使った take pride in ~ が be proud of ~ の言い換え。of は形容詞 proud のとき、on は動詞 pride oneself on ~ のときの前置詞。at は使わない。品詞によって前置詞が変わる点が書き換えの急所。

区別 **be proud of ~ ⇔ take pride in ~ / pride oneself on ~**　意味は同じだが、形容詞 proud は of、名詞 pride は take pride in、動詞 pride は oneself on。品詞ごとに前置詞が変わるので、書き換え問題では品詞を確認して選ぶ。

0342 □□□

The manager was not satisfied ＿＿＿ the results of the survey.

① with　② at
③ of　④ to

① be satisfied with ~　~に満足している

訳 部長はその調査の結果に満足していなかった。

解説 「~に満足する」は be satisfied with ~。日本語の「~に」につられて at / to を選ぶ誤りが多い。of も satisfied とは結び付かない。be pleased with / be content with も同じ with と覚える。

区別 **be satisfied with ~ ⇔ be content with ~**　satisfied は期待や要求が満たされた満足、content は「（十分でなくても）それ以上は望まない」控えめな満足で、be content to do の形もある。前置詞はどちらも with。

0343 □□□

Your idea is very similar ＿＿＿ mine.

① as　② to
③ with　④ from

② be similar to ~　~に似ている

訳 あなたの考えは私の考えとよく似ている。

解説 「~に似ている」は be similar to ~。as を使うのは the same as ~。日本語の「~と」につられて with を選ぶ誤りが多い。from は be different from ~ の前置詞で、反対の意味の形と混同しないこと。

区別 **be similar to ~ ⇔ resemble ~**　resemble は他動詞なので前置詞なし（× resemble to）で、進行形にしない。be similar to は形容詞なので to が必要。書き換えでは前置詞の有無が問われる。

0344 □□□

I was surprised ＿＿＿ that he had quit his job.

① hear　② to hear
③ hearing　④ heard

② be surprised at ~　~に驚く

訳 彼が仕事を辞めたと聞いて驚いた。

解説 感情の原因を不定詞で表す be surprised to do（~して驚く）なので to hear。原形 hear や過去形 heard は surprised の後ろに置けない。動名詞なら at hearing のように前置詞が必要なので hearing だけでは不可。

注意 感情の受け身は by 以外の前置詞を取ることが多い（surprised at / by どちらも可）。surprising（驚くべき）との区別、be surprised to do の形も頻出。

0345 ☐☐☐

My grandfather is very fond ＿＿＿ fishing in the river.

① of　② in
③ with　④ at

① be fond of ~　～が好きである

訳 祖父は川で釣りをするのが大好きだ。

解説 「～が好きだ」は be fond of ~ で、後ろは動名詞 fishing。in / with / at は fond と結び付かない。be keen on fishing や like fishing とも言い換えられる。

注意 of の後ろは名詞か動名詞（be fond of ~ing）。＝ like ~ / be keen on ~。名詞を修飾する fond memories（懐かしい思い出）も出る。

0346 ☐☐☐

This museum is worth ＿＿＿ at least once.

① visiting it　② visiting
③ to visit　④ being visited

② be worth ~ing　～する価値がある

訳 この博物館は少なくとも一度は訪れる価値がある。

解説 be worth ~ing は能動形の動名詞で受け身の意味を表すので visiting。主語 this museum が visiting の目的語に当たるので it は付けない。to visit は worth の後ろに置けず、being visited は worthy of の後ろで使う形。

区別 **be worth ~ing ⇔ be worthy of ~**　worthy は of を取り、名詞か受け身の動名詞を続ける（be worthy of praise / be worthy of being read）。worth は直接 ~ing の能動形。worth と worthy で形が変わる。

0347 ☐☐☐

This movie is based ＿＿＿ a true story that happened in the 1960s.

① from　② by
③ on　④ in

③ be based on ~　～に基づいている

訳 この映画は 1960 年代に起きた実話に基づいている。

解説 「～に基づいている」は be based on ~。日本語の「～から作られた」につられて from を選ぶ誤りが多い。by は行為者、in は拠点の場所（be based in Osaka）を表すので、原作・事実には on。

区別 **be based on ~ ⇔ be based in ~**　be based in ＋ 場所 は「～に拠点を置く」（The company is based in Osaka.）。be based on ＋ 根拠・原作 は「～に基づく」。後ろが場所なら in。

0348 ☐☐☐

This song is familiar ＿＿＿ many Japanese people.

① with　② for
③ of　④ to

④ be familiar with ~　～をよく知っている；～に詳しい

訳 この歌は多くの日本人によく知られている。

解説 主語が物事（This song）で、後ろが人なので be familiar to ~（～によく知られている）。人が主語なら with を使う。for / of は familiar と結び付かない。主語が人か物かで前置詞を決める。

区別 **be familiar with ~ ⇔ be familiar to ~**　人 is familiar with 物 ＝ 物 is familiar to 人。主語が人なら with、物事なら to。主語を入れ替える書き換えが最頻出。

0349 ☐☐☐

When she heard the news, her heart was filled ＿＿＿ joy.

① of　② by
③ at　④ with

④ be filled with ~
～で満たされている；～でいっぱいである

訳 その知らせを聞いて、彼女の心は喜びでいっぱいになった。

解説 過去分詞 filled は with を取り、be filled with ~ で「～で満たされる」。of を使うのは形容詞 full（be full of）のとき。by / at は filled と結び付かない。感情でも物でも前置詞は同じ with。

区別 **be filled with ~ ⇔ be full of ~** 意味は同じだが、形容詞 full は of、過去分詞 filled は with。動詞 fill A with B の受け身だから with、と理由で覚える。

0350 ☐☐☐

Tokyo was once known ＿＿＿ Edo.

① for　② to
③ as　④ with

③ be known as ~ ～として知られている

訳 東京はかつて江戸として知られていた。

解説 Tokyo ＝ Edo（昔の呼び名）というイコールの関係なので as。for は有名な理由、to は知っている相手を示す前置詞で、呼び名には使わない。with は known と結び付かない。

区別 **be known as ~ ⇔ be known for ~** as ＋ 主語とイコールの名詞（呼び名・立場）、for ＋ 理由（何で有名か）。主語＝後ろの名詞なら as。Kyoto ＝ the old capital なので as、Kyoto ≠ temples なので for。

0351 ☐☐☐

This town is known ＿＿＿ its beautiful cherry blossoms.

① for　② as
③ to　④ with

① be known for ~ ～で知られている

訳 この町は美しい桜で知られている。

解説 桜「で」有名＝有名な理由なので for。as は「町＝桜」になりおかしい。to は知っている相手（人）を示すので、桜は来ない。with は known と結び付かない。理由か、イコールか、相手かで選ぶ。

区別 **be known for ~ ⇔ be known by ~** by は「判断の手がかり」で「～によって（人柄などが）分かる」。A man is known by the company he keeps.（人は付き合う友を見れば分かる）。有名な理由は for。

0352 ☐☐☐

The singer's name is known ＿＿＿ almost every teenager in Japan.

① for　② as
③ to　④ with

③ be known to ~ ～に知られている

訳 その歌手の名前は日本のほとんどすべての 10 代に知られている。

解説 後ろが almost every teenager（知っている人）なので be known to ~（～に知られている）。for は有名な理由、as は呼び名・立場を示し、人の集団は来ない。with は known と結び付かない。

区別 **be known to ~ ⇔ be known for ~** to ＋ 知っている人、for ＋ 有名な理由。後ろが人（everyone / young people）なら to、特徴・名産なら for。

0353 □□□

I was _____ the meeting because of heavy traffic.

① ten minutes late for
② late ten minutes for
③ late for ten minutes
④ ten late minutes for

① be late for ~ ～に遅れる；～に遅刻する

訳 ひどい渋滞のせいで、会議に 10 分遅刻した。

解説 遅れた時間は late の前に置き、遅れた対象は for で示すので ten minutes late for。late ten minutes の語順は誤り。late for ten minutes は「10 分間遅れていた」となり会議とつながらない。ten late minutes という形もない。

区別 **be late for ~ ⇔ lately** late は「遅れて・遅く」（形容詞・副詞）、lately は「最近」（副詞）で、現在完了と使うことが多い。-ly が付くと意味が変わる。

0354 □□□

This old bridge is made _____ stone, and you can still see each stone clearly.

① into ② by
③ with ④ of

④ be made of ~ ～でできている（材料が見て分かる）

訳 この古い橋は石でできていて、今でも一つ一つの石がはっきり見える。

解説 石が見て分かる（each stone can be seen）材料なので be made of。into は主語が材料のとき（Stone is made into a bridge.）に使う。by は作った人、with は「～を使って」の道具・追加材料で、主な材料を示す形ではない。

区別 **be made of ~ ⇔ be made from ~** 見て材料が分かる（木の机）なら of、化学変化などで元の形が分からない（ぶどう→ワイン）なら from。見分け方：製品を見て材料が言い当てられるかどうか。

0355 □□□

Many scientists believe that lack of sleep is closely related _____ poor performance at school.

① for ② to
③ of ④ at

② be related to ~ ～と関係がある；～と親戚である

訳 多くの科学者は、睡眠不足が学校での成績不振と密接に関係していると考えている。

解説 「～と関係がある」は be related to ~。relate A to B の受け身なので to。日本語の「～と」につられて with にしたくなるが、with を使うのは be connected with ~。for / of / at は related と結び付かない。

注意 = be connected with ~ / have something to do with ~。「親戚である」の意味もある（Are you related to him?）。名詞 relation / relationship も頻出。

0356 □□□

I'm tired _____ eating the same food every day. I want something different.

① from ② at
③ of ④ for

③ be tired of ~ ～に飽きている；～にうんざりしている

訳 毎日同じ物を食べるのには飽きた。何か違う物が食べたい。

解説 「毎日同じ物を食べるのに飽きた」で、何か違う物が欲しいと続くので be tired of ~。from は「～で（体が）疲れた」の原因で、食事に飽きた気持ちには合わない。at / for は tired と結び付かない。

区別 **be tired of ~ ⇔ be tired from ~** of は「飽きた・うんざりした（精神的）」、from は「～で疲れた（身体的）」。疲れの原因の活動（walking / work）なら from、繰り返しにうんざりする対象なら of。

0357 □□□

A: Can anyone help me move these desks? B: Sure, I'm willing ＿＿＿＿ you.

① help　② to help
③ helping　④ for helping

② be willing to do ～するのをいとわない；進んで～する

訳 A：誰かこの机を動かすのを手伝ってくれない？　B：いいよ、喜んで手伝うよ。

解説 be willing の後ろは to 不定詞なので to help。原形 help、動名詞 helping は willing の後ろに直接置けない。for helping も形が違う。be eager to do / be ready to do と同じく to do を取る。

区別 **be willing to do ⇔ be eager to do** willing は「いとわない（してもよい）」、eager は「しきりにしたがる」。熱意の強さが違う。頼まれて引き受けるなら willing、自分から待ち切れないなら eager。

0358 □□□

My mother is always worried ＿＿＿＿ my health.

① of　② with
③ about　④ at

③ be worried about ～ ～を心配している

訳 母はいつも私の健康を心配している。

解説 「～を心配する」は be worried about ～。of / with / at は worried と結び付かない。be anxious about / be concerned about も同じ about を取るので、心配の対象は about とまとめて覚える。

注意 ＝ be anxious about ～ / be concerned about ～。worry about ～（能動態）と be worried about ～（受け身）の両方が正しい点も問われる。

0359 □□□

Ken was absent ＿＿＿＿ school yesterday because he had a cold.

① at　② from
③ in　④ of

② be absent from ～ ～を欠席している；～にいない

訳 ケンは昨日、風邪をひいて学校を休んだ。

解説 「～を欠席する」は be absent from ～。at を使うのは反対の be present at ～（出席している）。in / of は absent と結び付かない。日本語の「～を」につられて前置詞を落とす誤りにも注意。

区別 **be absent from ～ ⇔ be present at ～** 欠席は absent from、出席は present at。前置詞まで反対になる。present は名詞の前では「現在の」の意味になる点にも注意（the present situation）。

0360 □□□

My mother is busy ＿＿＿＿ dinner now.

① cook　② to cook
③ for cooking　④ cooking

④ be busy ~ing ～するのに忙しい

訳 母は今、夕食を作るのに忙しい。

解説 be busy の後ろには動名詞を直接置くので cooking。to cook は不可で、原形 cook も置けない。for cooking という形も使わない。名詞を続けるなら be busy with dinner となる。

区別 **be busy ~ing ⇔ be busy with ～** 後ろが名詞なら with（busy with homework）、動作なら ~ing（busy doing homework）。to do はどちらでも不可。

0361 ☐☐☐

This new car is capable ＿＿＿＿ 200 kilometers per hour.

① to go　② of going
③ going　④ for going

② be capable of ~ ～する能力がある；～しかねない

訳 この新しい車は時速 200 キロで走ることができる。

解説 be capable の後ろは of ~ing なので of going。to go は be able のときの形で、capable には使わない。going だけでは前置詞が抜けている。for going という形もない。

区別 **be capable of ~ ⇔ be able to do** able は to 不定詞、capable は of ~ing。意味は近いが形が違うので書き換えで問われる。be able of / be capable to は誤り。

0362 ☐☐☐

The top of the mountain was covered ＿＿＿＿ snow.

① with　② of
③ at　④ to

① be covered with ~ ～で覆われている

訳 山頂は雪で覆われていた。

解説 「～で覆われている」は be covered with ~。cover A with B の受け身なので with が残る。of / at / to は covered と結び付かない。be covered in snow も可。

区別 **be covered with ~ ⇔ be filled with ~** covered は「表面を覆う」、filled は「中を満たす」。山頂の雪・机のほこりなら covered、箱・部屋の中身なら filled。どちらも with。

0363 ☐☐☐

Japan is highly dependent ＿＿＿＿ other countries for oil.

① of　② from
③ with　④ on

④ be dependent on ~ ～に頼っている；～次第である

訳 日本は石油を他国に大きく依存している。

解説 「～に頼っている」は be dependent on ~ で、be dependent on A for B（B を A に頼る）の形。of は反対語 independent のときの前置詞。from / with は dependent と結び付かない。

区別 **be dependent on ~ ⇔ be independent of ~** 頼る＝dependent on、頼らない＝independent of。反対語なのに前置詞が違うのが最大のひっかけ。

0364 ☐☐☐

Butter is made ＿＿＿＿ milk.

① into　② from
③ by　④ with

② be made from ~ ～から作られる（原料の形が変わる）

訳 バターは牛乳から作られる。

解説 牛乳はバターになると元の形が分からないので、原料を示す be made from。into は主語が材料のとき（Milk is made into butter.）に使う。by は作る人、with は道具・追加材料で、原料には使わない。

区別 **be made from ~ ⇔ be made into ~** be made into の主語は材料（Grapes are made into wine.）、be made from の主語は製品（Wine is made from grapes.）。主語と前置詞の後ろが逆になる。

0365 ☐☐☐

We are ready ＿＿＿＿ now. Let's go.

① leave　② leaving
③ for leaving　④ to leave

④ be ready to do ～する準備ができている；喜んで～する

訳 出発の準備ができた。行こう。

解説 be ready の後ろに動作を続けるときは to 不定詞なので to leave。原形 leave や動名詞 leaving は ready の後ろに直接置けない。for leaving も普通の形ではない。名詞なら be ready for ~。

区別 **be ready to do ⇔ be ready for ~** 後ろが動作なら to do、名詞なら for。ready for the exam / ready to take the exam。空所の後ろの形で選ぶ。

0366 ☐☐☐

He is sure to pass the exam. = ＿＿＿＿ sure that he will pass the exam.

① He is　② I am
③ It is　④ There is

② be sure to do きっと～する；必ず～する

訳 彼はきっと試験に合格する。

解説 S is sure to do は話し手の確信を表すので、I am sure that S will do に書き換える。He is sure that ~ にすると彼自身の確信になり、He is sure of passing と同じ意味になってしまう。It is / There is では形にならない。

区別 **be sure to do ⇔ be sure of ~ing** He is sure to win. は「（私は）彼がきっと勝つと思う」、He is sure of winning. は「彼（本人）が勝つと確信している」。確信しているのが話し手か主語かで形が変わる。

0367 ☐☐☐

I'm not accustomed to ＿＿＿＿ in front of many people.

① speak　② spoke
③ be speaking　④ speaking

④ be accustomed to ~ ～に慣れている

訳 私は大勢の人の前で話すことに慣れていない。

解説 be accustomed to の to は前置詞なので、後ろは動名詞 speaking。不定詞と思い込んで原形 speak を選ぶ誤りが多い。spoke / be speaking も前置詞の後ろには置けない。

区別 **be accustomed to ~ ⇔ used to do** used to do は「以前は～したものだ」で後ろは原形。be accustomed to / be used to は「慣れている」で後ろは ~ing。be の有無と後ろの形で区別する。

0368 ☐☐☐

The station was crowded ＿＿＿＿ tourists.

① by　② of
③ for　④ with

④ be crowded with ~ ～で混雑している

訳 駅は観光客で混雑していた。

解説 「～で混雑している」は be crowded with ~。受け身だからと by を選ぶ誤りが多い。of は full のときの前置詞（be full of）。for は crowded と結び付かない。

注意 ＝ be packed with ~ / be full of ~。主語は場所で、人は主語にならない点に注意。

0369 ☐☐☐

The students were eager ＿＿＿＿ the results of the test.

① knowing　② for knowing
③ to know　④ know

③ be eager to do　しきりに～したがる

訳 生徒たちはテストの結果をしきりに知りたがっていた。

解説 be eager の後ろに動作を続けるときは to 不定詞なので to know。動名詞 knowing や原形 know は eager の後ろに直接置けない。for の後ろは名詞（be eager for the results）が普通。

区別 **be eager to do ⇔ be willing to do**　eager は「しきりにしたがる（熱望）」、willing は「（頼まれれば）いとわない」。自分から待ちきれないなら eager。

0370 ☐☐☐

This video game is very popular ＿＿＿＿ teenagers.

① by　② from
③ at　④ with

④ be popular with ~　～に人気がある

訳 このテレビゲームは 10 代にとても人気がある。

解説 「～に人気がある」は be popular with [among] ~。popular は形容詞で受け身ではないので by は使わない。from / at も popular と結び付かない。

注意 be popular with [among] ~ の前置詞を問う問題が頻出。by ではない点に注意。

0371 ☐☐☐

Is everything ready ＿＿＿＿ the party tonight?

① for　② to
③ of　④ with

① be ready for ~　～の準備ができている

訳 今夜のパーティーの準備はすべてできていますか。

解説 後ろが名詞 the party なので be ready for ~。to を使うのは後ろに動詞の原形が来るとき（ready to start）。of / with は ready と結び付かない。

区別 **be ready for ~ ⇔ be ready to do**　後ろが名詞なら for、動作なら to do。ready for the test / ready to take the test。空所の後ろの形で選ぶ。

0372 ☐☐☐

She is sure of passing the exam. = She is sure that ＿＿＿＿ will pass the exam.

① I　② she
③ it　④ you

② be sure of ~　～を確信している

訳 彼女は試験に合格することを確信している。

解説 be sure of ~ing は主語自身の確信なので、that 節の主語も she になる。I を入れると「彼女は私が受かると確信している」で別の意味。話し手の確信を表すのは She is sure to pass（= I'm sure that she will pass）。

区別 **be sure of ~ ⇔ be sure to do**　be sure of ~ing は主語の確信、be sure to do は話し手の確信。She is sure of passing. = She is sure that she will pass. / She is sure to pass. = I'm sure that she will pass.

0373 ☐☐☐

She is anxious _____ her son's health.

① for ② to
③ about ④ of

③ be anxious about ~ ～を心配している

訳 彼女は息子の健康を心配している。

解説 息子の健康を「心配している」ので be anxious about ~。for を使うと「～を切望する」の意味になり、健康を心配する文脈では about が自然。to は後ろに動詞の原形が必要、of は anxious と結び付かない。

区別 **be anxious about ~ ⇔ be anxious for ~ / be anxious to do** about は「心配」、for ＋名詞・to do は「切望」。後ろが about なら不安、for / to do なら熱望と、前置詞と形で意味を判断する。

0374 ☐☐☐

My mother was angry _____ me for coming home late.

① about ② of
③ to ④ with

④ be angry with ~ ～（人）に腹を立てている

訳 母は私が遅く帰宅したことで私に腹を立てていた。

解説 後ろが人（me）なので be angry with ~。about は物事に怒るときの前置詞。of / to は angry と結び付かない。理由は for coming home late のように for で続ける。

区別 **be angry with ~ ⇔ be angry about ~** with ＋人、about ＋物事。後ろが人なら with（または at）、出来事・行為なら about。

0375 ☐☐☐

This report is mainly concerned _____ the history of the city.

① about ② with
③ for ④ of

② be concerned about ~ ～を心配している

訳 この報告書は主に市の歴史を扱っている。

解説 主語が報告書で「（内容が）～を扱っている・～に関係している」なので be concerned with。about / for を使うと「心配している」の意味になり、報告書には合わない。of は concerned と結び付かない。

区別 **be concerned about ~ ⇔ be concerned with ~** about / for は「心配している」、with は「関係している・扱っている」。主語が本・報告書で内容を表すなら with。

0376 ☐☐☐

The accident was due _____ the driver's carelessness.

① for ② to
③ of ④ by

② be due to ~ ～が原因である；～のためである

訳 その事故は運転手の不注意によるものだった。

解説 「～が原因である」は be due to ~。日本語の「～のせいで」につられて for や by を選ぶ誤りが多い。of も due と結び付かない。due to ＝ because of と言い換えられる。

区別 **be due to ~ ⇔ be due to do** to の後ろが名詞なら「原因」、動詞の原形なら「予定」。The flight was due to the storm.（嵐のせい）/ The flight is due to leave at 9.（9 時出発予定）。

0377 □□□

I'm very grateful ＿＿＿＿ you for your kindness.

① for　② with
③ at　④ to

④ be grateful to A for B　B のことで A に感謝している

訳 ご親切に心から感謝しています。

解説 感謝する相手（人）は to で示すので grateful to you。for は理由（your kindness）の前に使う。with / at は grateful と結び付かない。人に to、物事に for と分ける。

区別 **be grateful to A for B ⇔ appreciate ~** appreciate は他動詞で物事が目的語（I appreciate your help.）。grateful は形容詞で、人に to、物事に for が必要。

0378 □□□

Ms. Kato is ＿＿＿＿ charge of the school festival this year.

① on　② at
③ in　④ for

③ be in charge of ~

～を担当している；～の責任者である

訳 今年は加藤先生が学園祭の担当だ。

解説 「～を担当している」は be in charge of ~ で、前置詞は in。on / at / for は charge of と組んでこの意味にならない。be responsible for the school festival とも言い換えられる。

区別 **be in charge of ~ ⇔ be in the charge of ~** 人 is in charge of 物事 ＝ 物事 is in the charge of 人。the があると of の後ろが担当者になる。

0379 □□□

He was involved ＿＿＿＿ a car accident on his way home.

① to　② at
③ of　④ in

④ be involved in ~

～に関わっている；～に巻き込まれている

訳 彼は帰宅途中に自動車事故に巻き込まれた。

解説 事故に「巻き込まれた」は be involved in ~。to / at / of は involved と結び付かない。with を使うと人・団体との関係を表すので、事故には in を使う。

区別 **be involved in ~ ⇔ be involved with ~** with ＋人・団体（～と関係をもつ・付き合う）、in ＋活動・出来事（関わる・巻き込まれる）。後ろが accident / project なら in。

0380 □□□

The teacher was very pleased ＿＿＿＿ our presentation.

① with　② of
③ to　④ at

① be pleased with ~

～に満足している；～が気に入っている

訳 先生は私たちの発表にとても満足していた。

解説 後ろが名詞 our presentation で「～に満足した」なので be pleased with ~。to は後ろに動詞の原形が来るとき（pleased to hear）。of は pleased と結び付かず、at は驚きなどの瞬間的な感情に使う形。

区別 **be pleased with ~ ⇔ be pleased to do** with ＋名詞（～に満足している）、to do（～してうれしい・喜んで～する）。後ろが名詞か動詞かで形を選ぶ。

0381 □□□

He was reluctant _____ his old car, but finally he sold it.

① selling ② to sell
③ sell ④ for selling

② be reluctant to do
～したがらない；～するのに気が進まない

訳 彼は古い車を売るのに気が進まなかったが、結局売った。

解説 be reluctant の後ろは to 不定詞なので to sell。動名詞 selling や原形 sell は reluctant の後ろに直接置けない。for selling という形も使わない。「気が進まなかったが結局売った」と but の流れも合う。

区別 **be reluctant to do ⇔ be willing to do** reluctant は「気が進まない」、willing は「いとわない」で正反対。空所補充では but などの接続語から気持ちの向きを判断する。

0382 □□□

This new model is far superior _____ the old one.

① than ② from
③ over ④ to

④ be superior to ～ ～より優れている

訳 この新しい型は古い型よりはるかに優れている。

解説 superior は than ではなく to を取るので superior to。比較の意味から than を選ぶのが最頻出の誤り。from / over も superior とは結び付かない。far は superior を強める語として正しい。

区別 **be superior to ～ ⇔ be better than ～** better は -er の比較級なので than。superior は元から比較の意味を含む語で to を取る。書き換えでは前置詞を必ず変える。

0383 □□□

He was so absorbed _____ the game that he didn't hear me.

① with ② at
③ to ④ in

④ be absorbed in ～
～に夢中になっている；～に没頭している

訳 彼はゲームに夢中になっていて、私の声が聞こえなかった。

解説 「～に夢中になる」は be absorbed in ～。with / at / to は absorbed と結び付かない。be lost in / be immersed in も同じ in を取る。

注意 ＝ be lost in ～ / be immersed in ～ / be crazy about ～。so ～ that 構文と一緒に出やすい。absorb（吸収する）の受け身の形。

0384 □□□

The children can't wait. They are anxious _____ their presents.

① about opening ② to open
③ for open ④ of opening

② be anxious to do
～したがっている；～することを切望している

訳 子どもたちは待ちきれない。プレゼントを開けたくてたまらないのだ。

解説 「待ちきれない」とあるので「しきりに開けたがっている」＝ be anxious to do の to open。about opening は「開けることを心配している」で文脈に合わない。for open / of opening は形が誤り。

区別 **be anxious to do ⇔ be anxious about ～** to do / for は「切望」、about は「心配」。後ろの形で意味が反対に近くなる。

0385 □□□

You've studied so hard. You're bound _____ the exam.

① passing　② for passing
③ to pass　④ pass

③ be bound to do　きっと～する；～する義務がある

訳 あれだけ一生懸命勉強したんだ。きっと試験に合格するよ。

解説 「きっと合格する」は be bound to do なので to pass。passing / pass は bound の後ろに直接置けない。for を使うのは「～行き」（be bound for Osaka）で、後ろは場所。

区別 **be bound to do ⇔ be bound for ～** to do は「きっと～する・～する義務がある」、for ＋場所は「～行きである」。後ろが動詞か場所かで判断する。

0386 □□□

Children who are exposed _____ English from an early age often learn it quickly.

① with　② by
③ to　④ in

③ be exposed to ～　～にさらされている；～に触れる

訳 幼いころから英語に触れている子どもは、英語を身につけるのが早いことが多い。

解説 「～に触れる・さらされる」は be exposed to ～。expose A to B の受け身なので to が残る。受け身だからと by を選ぶ誤りが多い。with / in も exposed と結び付かない。

注意 危険にさらされる（be exposed to danger）と、文化や言語に触れる（be exposed to English）の両方で頻出。名詞 exposure も重要。

0387 □□□

She found a job and became independent _____ her parents.

① on　② with
③ of　④ to

③ be independent of ～
～から独立している；～に頼らない

訳 彼女は仕事を見つけ、親から独立した。

解説 「～から独立した」は be [become] independent of ～。on は反対語 dependent のときの前置詞で、つられて選ぶ誤りが多い。with / to は independent と結び付かない。

区別 **be independent of ～ ⇔ be dependent on ～** independent of（頼らない）と dependent on（頼る）。反対語なのに前置詞が違うのが最頻出のひっかけ。

0388 □□□

This copy is inferior _____ the original in quality.

① than　② from
③ with　④ to

④ be inferior to ～　～より劣っている

訳 この複製は質の点で原本に劣る。

解説 inferior は than ではなく to を取るので inferior to。比較の意味から than を選ぶのが最頻出の誤り。from / with も inferior とは結び付かない。superior to と同じ形。

区別 **be inferior to ～ ⇔ be worse than ～** worse は比較級なので than、inferior は元から比較の意味を含む語なので to。書き換えでは前置詞を必ず変える。

0389 □□□

Many residents are opposed to _____ a new airport near the town.

① build　② be built
③ have built　④ building

④ be opposed to ~ ～に反対している

訳 多くの住民が町の近くに新しい空港を建設することに反対している。

解説 be opposed to の to は前置詞なので、後ろは動名詞 building。不定詞と思い込んで原形 build を選ぶ誤りが多い。be built / have built も前置詞の後ろには置けない。

区別 **be opposed to ~ ⇔ oppose ~** oppose は他動詞で前置詞なし（oppose the plan）。be opposed to / object to は to が必要。形と前置詞の有無が正誤問題で問われる。

0390 □□□

She is very honest. She is the last person _____ a lie.

① telling　② to tell
③ told　④ tells

② the last person to do

最も～しそうにない人；決して～しない人

訳 彼女はとても正直だ。うそなど決してつかない人だ。

解説 the last person to do の形で「決してうそをつかない人」なので to tell。前の文 very honest とも合う。telling / told / tells はこの形では使わない。

注意 「最後に～した人」と直訳させるひっかけが頻出。the last thing I want（一番したくないこと）のような形もある。＝ would never do。

確認テスト 3　形容詞の熟語｜日本語に合うように、空所に 1 語を書き込もう（答えは赤字）

0330 兄は子どものころから宇宙に興味がある。
My brother has been interested **in** space since he was a child.

0331 弟は大きな犬が怖くて、見ると逃げ出す。
My little brother is afraid **of** big dogs and runs away from them.

0332 姉はピアノを弾くのが上手だ。
My sister is good **at** playing the piano.

0333 町でその危険に気づいている人はほとんどいなかった。
Few people in the town were aware **of** the danger.

0334 午後は雨が降りそうだから、傘を持っていきなさい。
It is **likely** to rain this afternoon, so take an umbrella.

0335 生徒は一人一人、週に1回教室を掃除する責任がある。
Each student is responsible **for** cleaning the classroom once a week.

0336 都会の生活は田舎の生活とは大きく違う。
Life in the city is very different **from** life in the country.

0337 京都は古い寺と美しい庭園で有名だ。
Kyoto is famous **for** its old temples and beautiful gardens.

0338 駅は祭りの後で家に帰る人々でいっぱいだった。
The station was full **of** people going home after the festival.

0339 平日は制服を着ることになっている。
We are **supposed** to wear school uniforms on weekdays.

0340 家を出ようとしていたちょうどそのとき、電話が鳴った。
I was **about** to leave the house when the phone rang.

0341 両親は弁論大会での彼女の成功をとても誇りに思っている。
Her parents are very proud **of** her success in the speech contest.

0342 先生はテストの結果に満足していた。
The teacher was satisfied **with** the results of the test.

0343 この問題についての私の意見はあなたの意見とよく似ている。
My opinion on this problem is quite similar **to** yours.

0344 彼の突然の引退の知らせにみんなが驚いた。
Everyone was surprised **at** the news of his sudden retirement.

0345 祖父は子どものころの話をするのが好きだ。
My grandfather is fond **of** telling stories about his childhood.

0346 この本は一度ならず読む価値がある。
This book is **worth** reading more than once.

0347 この映画は1960年代の実話に基づいている。
This movie is based **on** a true story from the 1960s.

0348 町のこのあたりには詳しいですか。
Are you familiar **with** this part of the city?

0349 その知らせを聞いて、彼女の心は喜びでいっぱいになった。
Her heart was filled **with** joy when she heard the news.

0350 富士山は日本の象徴として知られている。
Mt. Fuji is known **as** a symbol of Japan.

0351 この町はおいしいリンゴで知られている。
This town is known **for** its delicious apples.

0352 彼の名前は村のみんなに知られている。
His name is known **to** everyone in the village.

0353 急がないと、学校に遅刻するよ。
Hurry up, or you'll be late **for** school.

0354 この古い橋は石と木でできている。
This old bridge is made **of** stone and wood.

0355 ストレスは多くの健康問題と密接な関係がある。
Stress is closely related **to** many health problems.

0356 毎日インスタントラーメンを食べるのにはうんざりだ。
I'm tired **of** eating instant noodles every day.

0357 彼はいつも喜んで同級生に数学を教える。
He is always **willing** to help his classmates with math.

0358 祖母が先週転んでから、私は祖母の健康が心配だ。
I'm worried **about** my grandmother's health since she fell last week.

0359 ケンは昨日、風邪で学校を休んだ。
Ken was absent **from** school yesterday because of a cold.

0360 私が帰宅したとき、母は夕食を作るのに忙しかった。
My mother was **busy** cooking dinner when I came home.

0361 この新しいロボットは、自分だけで家全体を掃除することができる。
This new robot is capable **of** cleaning the whole house by itself.

0362 朝、町全体が雪で覆われていた。
In the morning, the whole town was covered **with** snow.

0363 日本は食料を他国に大きく依存している。
Japan is heavily dependent ___on___ other countries for food.

0364 このチーズは山に住むヤギの乳から作られている。
This cheese is made ___from___ the milk of goats in the mountains.

0365 ご注文はお決まりですか、それともももう少しお時間が必要ですか。
Are you ___ready___ to order, or do you need more time?

0366 彼女は一生懸命勉強したので、きっと試験に合格する。
She studied very hard, so she is ___sure___ to pass the exam.

0367 彼女はすぐに北海道の寒い気候に慣れた。
She soon became accustomed ___to___ the cold weather in Hokkaido.

0368 日曜日、浜辺は若者で混雑していた。
The beach was crowded ___with___ young people on Sunday.

0369 生徒たちはコンテストの結果をとても聞きたがっていた。
The students were ___eager___ to hear the results of the contest.

0370 この歌は高校生にとても人気がある。
This song is very popular ___with___ high school students.

0371 英語の授業での明日の発表の準備はできている？
Are you ready ___for___ tomorrow's presentation in English class?

0372 彼は一度も私にうそをついたことがないので、彼の正直さを確信している。
I am sure ___of___ his honesty because he has never lied to me.

0373 彼女は新しい学校での初日を心配している。
She is anxious ___about___ her first day at the new school.

0374 彼女はカメラを壊した弟に腹を立てていた。
She was angry ___with___ her brother for breaking her camera.

0375 多くの親が、子どもがインターネットに費やす時間を心配している。
Many parents are concerned ___about___ how much time their children spend online.

0376 電車の遅れは大雪のためだった。
The delay of the train was due ___to___ heavy snow.

0377 ホストファミリーの親切にとても感謝している。
I'm very grateful to my host family ___for___ their kindness.

0378 田中先生は学校図書館の担当だ。
Ms. Tanaka is in ___charge___ of the school library.

0379 50人以上のボランティアがその計画に関わった。
More than fifty volunteers were involved ___in___ the project.

0380 母は私があげた誕生日プレゼントを気に入ってくれた。
My mother was pleased **with** the birthday present I gave her.

0381 多くの人は自分の悩みを話したがらない。
Many people are **reluctant** to talk about their problems.

0382 この新しい型は多くの点で古い型より優れている。
This new model is superior **to** the old one in many ways.

0383 彼女は小説に夢中になって、夕食のことを忘れてしまった。
She was so absorbed **in** the novel that she forgot about dinner.

0384 彼女はカナダのホストファミリーに会うのを心待ちにしている。
She is **anxious** to meet her host family in Canada.

0385 毎日練習を続ければ、きっと上達する。
If you keep practicing every day, you are **bound** to improve.

0386 たくさんの本に触れている子どもは、読書好きになることが多い。
Children who are exposed **to** many books often love reading.

0387 彼女はよい仕事を見つけ、親から独立した。
She found a good job and became independent **of** her parents.

0388 安い製品がいつも高い製品より劣っているとは限らない。
Cheap products are not always inferior **to** expensive ones.

0389 多くの住民が新しい空港の建設に反対している。
Many residents are opposed **to** building a new airport.

0390 彼女は決してうそをつくような人ではない。
She is the **last** person to tell a lie.

CHAPTER 4

前置詞句・副詞句・接続詞的な熟語

in spite of・as a matter of fact・no sooner ~ than など。長文読解と整序問題で効きます。
No.0391〜0539（149 問）

問題

0391 □□□

Many countries have unique table manners. ＿＿＿＿, in some places it is polite to make noise when you eat noodles.

① Such as　② For example
③ Instead　④ In spite of

解答・解説（赤シートで隠せます）

② for example 例えば

訳 多くの国には独特の食事のマナーがある。例えば、麺を食べるときに音を立てるのが礼儀正しいとされる場所もある。

解説 空所の後ろはコンマで区切られた文（S V）で、前の文の具体例を挙げているので For example。Such as は名詞の前に付ける形で、文を続けられない。Instead は「代わりに」、In spite of は名詞が続く前置詞句で、どちらも意味も形も合わない。

区別 **for example ⇔ such as ~** for example は独立した副詞句でコンマで区切り、後ろに文も置ける。such as は例を挙げたい名詞の直後に付き、後ろは名詞（句）だけで S V は続かない。見分け方：空所の後ろが文なら for example、名詞の列挙なら such as。

0392 □□□

＿＿＿＿ the heavy snow, the train arrived on time.

① Although　② Despite of
③ Even though　④ In spite of

④ in spite of ~ ～にもかかわらず

訳 大雪にもかかわらず、列車は時間どおりに着いた。

解説 空所の後ろは名詞 the heavy snow だけなので前置詞の In spite of。Although と Even though は接続詞で S V が必要。Despite は 1 語で of を付けないので Despite of は誤り。

区別 **in spite of ~ ⇔ although** in spite of は前置詞（名詞が続く）、although は接続詞（S V が続く）。見分け方：空所の後ろに動詞を含む文があれば although、名詞だけなら in spite of。

0393 □□□

Please call me as soon as you ＿＿＿＿ at the station.

① will arrive　② arrived
③ arrive　④ would arrive

③ as soon as ~ ～するとすぐに

訳 駅に着いたらすぐに電話してください。

解説 as soon as ~ は時を表す副詞節なので、未来のことでも現在形 arrive を使う。will arrive は副詞節の中では使わない。arrived / would arrive は過去の形で、命令文 Please call me と時制が合わない。

区別 **as soon as ~ ⇔ no sooner ~ than ...** どちらも「～するとすぐに」。as soon as は普通の語順の接続詞、no sooner は had p.p. と than 過去形を組み合わせ、文頭なら倒置（No sooner had S p.p. than S V）。書き換え問題で頻出。

0394 ☐☐☐

The museum is very popular, so you should arrive ＿＿＿＿ thirty minutes before it opens.

① at last　② at most
③ at first　④ at least

④ at least 少なくとも；せめて

訳 その博物館はとても人気があるので、開館の少なくとも 30 分前には着いたほうがいい。

解説 「人気があるので、少なくとも開館 30 分前には着くべき」なので下限を示す at least。at most（多くても）では早く着くべき理由と合わない。at last は「ついに」、at first は「最初は」で数量の前に置けない。

区別 **at least ⇔ at most** at least は下限（それより少なくはない）、at most は上限（それより多くはない）。「最低でも」なら least、「多くても」なら most。

0395 ☐☐☐

The test wasn't difficult at all. ＿＿＿＿, most students finished it in thirty minutes.

① However　② In fact
③ Otherwise　④ Instead

② in fact 実際は；それどころか

訳 テストは全然難しくなかった。実際、ほとんどの生徒は 30 分で解き終えた。

解説 前の文「全く難しくなかった」を、後ろの文「30 分で終えた」が具体的な事実で強めているので In fact。However は逆接で流れが合わない。Otherwise は「さもなければ」、Instead は「代わりに」で意味が通らない。

注意 ＝ actually ＝ as a matter of fact ＝ in reality ＝ in truth。前の内容を強める用法と、逆を述べる用法の両方がある。

0396 ☐☐☐

Why don't you send her an email ＿＿＿＿ calling her so late at night?

① instead　② rather
③ instead of　④ in place

③ instead of ～ ～の代わりに；～しないで

訳 こんな夜遅くに電話をする代わりに、メールを送ったらどう？

解説 後ろが動名詞 calling なので、前置詞句 instead of。副詞 instead は単独で使い、後ろに名詞を続けられない。rather だけ、in place だけでは前置詞の働きをしない（rather than / in place of なら可）。

区別 **instead of ～ ⇔ rather than ～** 意味は近いが、rather than の後ろには A と同じ形（原形・to 不定詞・名詞など）を置ける（rather than take the bus）。instead of の後ろは名詞・動名詞だけ。

0397 ☐☐☐

Not only ＿＿＿＿ the test, but she also got the highest score in her class.

① she passed　② did she pass
③ passed she　④ she did pass

② not only A but also B Aだけでなくもも

訳 彼女はテストに合格しただけでなく、クラスで一番の点も取った。

解説 否定の語 Not only が文頭に出ると、後ろは疑問文と同じ語順の倒置になる。過去の一般動詞なので did she pass。she passed / she did pass は倒置していない。passed she のように動詞だけを前に出す形はない。

区別 **not only A but also B ⇔ both A and B** both A and B は A・B を対等に並べ、主語なら動詞は複数扱い。not only A but also B は B に重点があり、動詞は B に一致する。

0398 □□□

_____ the latest survey, more than half of high school students sleep less than six hours.

① According to　② Because of
③ In my opinion　④ As far as of

① according to ~　～によれば；～に従って

訳 最新の調査によると、高校生の半数以上は睡眠時間が 6 時間未満だという。

解説 調査を情報源として「～によれば」なので According to。Because of は「～のせいで」で、調査が原因で睡眠が短いことになり意味がおかしい。In my opinion of という形はなく、As far as の後ろには S V が必要。

区別 **according to ~ ⇔ in my opinion**　according to は情報源（他人・資料）を示す。自分の考えは in my opinion / I think を使い、according to me は不自然。見分け方：後ろが自分なら in my opinion。

0399 □□□

The game was put off _____ the heavy rain.

① because of　② because
③ although　④ despite of

① because of ~　～のために；～が原因で

訳 大雨のため、試合は延期された。

解説 空所の後ろは名詞句 the heavy rain なので前置詞句 because of。because / although は接続詞で後ろに S V が必要。despite は of を付けず、意味も「～にもかかわらず」で合わない。

区別 **because of ~ ⇔ because**　because は接続詞で S V が続く、because of は前置詞句で名詞が続く。見分け方：空所の後ろに動詞を含む文があれば because。

0400 □□□

A: Would you mind if I sat here? B: _____ Please go ahead.

① Of course.　② Of course not.
③ Yes, I would.　④ Of course I do.

② of course　もちろん；当然

訳 A：ここに座ってもいいですか。　B：もちろん、どうぞ。

解説 Would you mind ~? は「～したら嫌ですか」と聞いているので、承諾は「嫌ではない」＝ Of course not.。Of course. や Yes, I would. は「嫌だ」になり、後ろの Please go ahead.（どうぞ）と矛盾する。Of course I do. も would の文に合わない。

区別 **of course ⇔ Of course not.**　Do you mind ~? / Would you mind ~? には、「いいですよ」は Of course not.（気にしない）で答える。Of course. と答えると「もちろん嫌だ」になる。mind（嫌がる）への返事は否定で承諾、と覚える。

0401 □□□

When it comes to _____, nobody in my family is better than my father.

① cooking　② cooked
③ cook　④ have cooked

① when it comes to ~
～のこととなると；～の話になると

訳 料理のこととなると、家族の中で父の右に出る者はいない。

解説 when it comes to の to は前置詞なので、後ろに動詞を置くときは動名詞にする。よって cooking。cook / have cooked は to を不定詞と取り違えた形。cooked は過去形・過去分詞で前置詞の後ろに置けない。

区別 **when it comes to ~ ⇔ look forward to ~**　どちらも to が前置詞なので後ろは名詞か動名詞。when it comes to は「～のことになると」と話題を示し、look forward to は「～を楽しみに待つ」。見分け方は意味だが、形の上ではどちらも ~ing を取ると押さえれば、to do を選ぶ間違いを防げる。

0402 ☐☐☐

She got up early in order ＿＿＿＿ miss the first train.

① don't　② not to
③ for not　④ not

② in order to ~ ～するために

訳 彼女は始発列車に乗り遅れないように早起きした。

解説 「乗り遅れないように」は目的の否定で in order not to do。not は to の直前に置く。don't は in order の後ろに置けず、for not という形もない。not だけでは to がなく原形 miss とつながらない。

区別 **in order to ~ ⇔ so that S can ~** in order to の後ろは原形、so that の後ろは S ＋ can / will の節。書き換えでは主語と助動詞を補う（in order to pass ＝ so that I can pass）。

0403 ☐☐☐

Living in the city is convenient. ＿＿＿＿, it can be noisy and expensive.

① On the contrary　② As a result
③ For example　④ On the other hand

④ on the other hand 他方では；一方で

訳 都会に住むのは便利だ。その一方で、うるさくてお金もかかることがある。

解説 「便利」と「うるさくて高い」という二つの面を対比しているので On the other hand。On the contrary は前の内容を打ち消すときに使い、便利さを否定していないので合わない。As a result は因果、For example は具体例で流れが合わない。

区別 **on the other hand ⇔ on the contrary** on the contrary は前の内容（多くは否定文）を「とんでもない、逆だ」と打ち消す。on the other hand は両方とも正しい二つの面を並べる。前を否定するなら on the contrary。

0404 ☐☐☐

A number of students ＿＿＿＿ absent from school yesterday because of the flu.

① was　② is
③ were　④ has been

③ a number of ~ いくつかの～；たくさんの～

訳 昨日はインフルエンザのため、たくさんの生徒が学校を休んだ。

解説 a number of ＋ 複数名詞は「たくさんの～」で複数扱いなので、動詞は複数形。yesterday があるので過去形の were が正しい。was / has been は単数扱いの形、is は単数で時制も合わない。the number of students（学生の数）なら単数扱いになる点と区別する。

区別 **a number of ~ ⇔ the number of ~** a number of は「たくさんの～」で、意味の中心は後ろの複数名詞なので複数扱い。the number of は「～の数」で、中心は number なので単数扱い（is / has）。見分け方：冠詞が a なら複数動詞、the なら単数動詞。the number of は increase / decrease や large / small と相性がよい。

0405 □□□

A variety of events _____ held at the school festival every year.

① is ② are
③ has ④ does

② a variety of ~ いろいろな～；さまざまな～

訳 学園祭では毎年いろいろな催しが行われる。

解説 a variety of ＋ 複数名詞は「いろいろな～」で、意味の中心は events なので複数扱い。受け身 be held の be は are になる。is は単数扱いの形（the variety of ~ なら単数）。has / does は be held の形を作れない。

区別 **a variety of ~ ⇔ the variety of ~** a variety of は「いろいろな～」で後ろの複数名詞が意味の中心なので複数扱い。the variety of は「～の多様さ・種類の豊富さ」で variety が中心なので単数扱い。見分け方：a number of / the number of と同じく、冠詞が a なら複数動詞、the なら単数動詞。

0406 □□□

He didn't study at all. _____, he failed the exam.

① As a result ② As a result of
③ On the contrary ④ In spite of

① as a result その結果

訳 彼は全く勉強しなかった。その結果、試験に落ちた。

解説 前の文（勉強しなかった）が原因、後ろの文（落ちた）が結果で、コンマの後ろが文なので As a result。As a result of と In spite of は後ろに名詞が必要。On the contrary は前の内容を打ち消す表現で流れが合わない。

区別 **as a result ⇔ as a result of ~** as a result は単独で使う副詞句（前に原因の文）、as a result of は後ろに原因の名詞を置く前置詞句。空所の後ろに名詞があれば of 付き、コンマと文なら of なし。

0407 □□□

Any book is fine _____ it is written in easy English.

① as soon as ② as far as
③ as well as ④ as long as

④ as long as ~ ～する限り；～さえすれば

訳 やさしい英語で書かれていさえすれば、どんな本でもかまわない。

解説 「易しい英語で書かれていさえすれば（＝書かれているなら）」という条件なので as long as。as far as は範囲（as far as I know など）、as soon as は「～するとすぐ」、as well as は「～だけでなく」で、条件を表せない。

区別 **as long as ~ ⇔ as far as ~** as long as は条件・期間「～する限り（＝～ならば）」、as far as は範囲・程度「～の範囲では」。見分け方：if に置き換えて意味が通れば as long as。as far as I know（私の知る限り）、as far as I'm concerned（私に関する限り）、as far as the eye can see（見渡す限り）は範囲。

0408 □□□

The kids were so excited that they all started talking at _____.

① once ② a time
③ first ④ last

① at once すぐに；同時に

訳 子どもたちはとても興奮していて、みんな一斉に話し始めた。

解説 「みんな一斉に（同時に）話し始めた」なので at once。at a time は one at a time のように数と使う。at first（最初は）、at last（ついに）では they all started talking と意味がつながらない。

区別 **at once ⇔ all at once** at once は「すぐに／同時に」、all at once は「突然（＝ suddenly）」が中心。文頭で All at once, ~ とあれば「突然」。

0409 ☐☐☐

My sister, as well as her friends, _____ going to the concert tonight.

① are ② is
③ were ④ have

② **B as well as A** AだけでなくBも；Aと同様にBも

訳 姉は、友達と同様に、今夜コンサートに行く予定だ。

解説 B as well as A が主語のとき、動詞は前の B（My sister）に一致するので単数の is。直前の her friends につられて are を選ぶ誤りが多い。were は時制が合わず、have は going とつながらない。

区別 **B as well as A ⇔ not only A but also B** 意味は近いが語順が逆。not only A but also B の重点は後ろの B、B as well as A の重点は前の B。書き換えでは A・B の位置を入れ替える。動詞はどちらも重点の B に一致。

0410 ☐☐☐

There are many ways to save energy. For _____, you can turn off the lights when you leave a room.

① instant ② instance
③ example of ④ sample

② **for instance** 例えば

訳 エネルギーを節約する方法はたくさんある。例えば、部屋を出るときに電気を消せばよい。

解説 「例えば」は For instance（＝ For example）。instant は「瞬間・即席の」でつづりが似ているだけ。For example of では of が余分。For sample という言い方もない。

区別 **for instance ⇔ such as ~** for instance はコンマで区切る副詞句で、後ろに文を置ける。such as は名詞の直後に付けて名詞を並べるだけ。空所の後ろが文なら for instance。

0411 ☐☐☐

In addition to _____ English, she can speak French and Chinese.

① speak ② speaking
③ spoken ④ be speaking

② **in addition to ~** ～に加えて

訳 彼女は英語を話すことに加えて、フランス語と中国語も話せる。

解説 in addition to の to は前置詞なので、後ろは動名詞 speaking。不定詞と思い込んで原形 speak を選ぶのが典型的な誤り。spoken / be speaking も前置詞の後ろには置けない。

区別 **in addition to ~ ⇔ in addition** in addition は単独の副詞句（文頭でコンマ）、in addition to は後ろに名詞が必要な前置詞句。空所の後ろに名詞があれば to 付き。

0412 ☐☐☐

Mary is a vegetarian. In other _____, she doesn't eat meat.

① word ② words
③ ways ④ sayings

② **in other words** 言い換えれば；つまり

訳 メアリーは菜食主義者だ。言い換えれば、肉を食べない。

解説 「言い換えれば」は in other words で、other の後ろは複数形 words。単数 word では形が合わない（単数を使うのは in a word）。in other ways は「ほかの点で」で別の意味、in other sayings という言い方はない。

区別 **in other words ⇔ in a word** in a word は「一言で言えば」と短くまとめる（a word は単数）。in other words は「言い換えれば」で長さは問わない。単数か複数かで意味が変わる。

0413 ☐☐☐

It seems ＿＿＿＿ me that the plan is too risky.

① for　② to
③ with　④ at

② It seems [appears] (to A) that ...
（A には）...のように思える；...らしい

訳 私にはその計画は危険すぎるように思える。

解説 It seems to A that ...で「A には...のように思える」。思う人は to で示す。for は It is ～ for A to do の形で使い、seem と組んで思う人を表さない。with / at も使わない。

区別 **It seems [appears] (to A) that ... ⇔ It looks like ...** It looks like ...は口語的で、見た目から判断する響きが強い。It seems that ...は見た目に限らず、情報や印象から判断する。seem の方が書き言葉で広く使える。

0414 ☐☐☐

He moved to Osaka last year, so he ＿＿＿＿ lives in this town.

① not longer　② any longer
③ no long　④ no longer

④ no longer もはや～ない

訳 彼は昨年大阪に引っ越したので、もうこの町には住んでいない。

解説 「もはや～ない」は no longer で、一般動詞 lives の前に置く。not longer という形はなく、any longer は否定語と組んで文末に置く（doesn't live here any longer）。no long では比較級になっていない。

区別 **no longer ⇔ no more** no longer は「以前はそうだったが今はもう～ない」と時間の変化、no more は量（no more money ＝もうお金がない）。not ~ any longer ＝ no longer の書き換えも確認。

0415 ☐☐☐

A: Thank you so much for helping me.
B: Not ＿＿＿＿ all.

① in　② at
③ for　④ of

② not ~ at all 全く～ない

訳 A：手伝ってくれて本当にありがとう。　B：どういたしまして。

解説 お礼への返事「どういたしまして」は Not at all.。not ~ at all（全く～ない）の at all で、「全く（大したことでは）ない」という気持ち。Not in all / Not for all / Not of all という形はない。

区別 **not ~ at all ⇔ not always** not ~ at all は全否定（全く～ない）、not always は部分否定（いつも～とは限らない）。not と一緒になる語で全否定か部分否定かが決まる。

0416 ☐☐☐

Japanese trains are famous for running ＿＿＿＿ time.

① in　② on
③ at　④ by

② on time 時間どおりに

訳 日本の列車は時間どおりに走ることで有名だ。

解説 電車が「定刻どおりに」運行するのは on time。in time は「（何かに）間に合って」で、for ~ などを伴うことが多く、運行の正確さを言うには合わない。at time / by time という熟語はない。

区別 **on time ⇔ in time** on time は「定刻に」、in time は「間に合って」（in time for ~ / in time to do）。予定時刻どおりなら on time、締め切りや開始に間に合うなら in time。for ~ が続けば in time。

0417 □□□

I'll write down the address ＿＿＿＿ you won't forget it.

① in order to　② so as to
③ so that　④ such that

③ so that S can ~ Sが～できるように

訳 あなたが忘れないように住所を書いておくね。

解説 後ろが S V（you won't forget）で「忘れないように」という目的なので so that。in order to / so as to は後ろに動詞の原形が来るので、主語のある節とつながらない。such that は目的を表さない。

区別 **so that S can ~ ⇔ so ~ that ...** so that（続けて書く）は目的「～するように」、so ＋形容詞・副詞＋ that は結果「とても～なので…」。so と that の間に形容詞・副詞があれば結果。

0418 □□□

Emi practiced the piano for hours every day. That is ＿＿＿＿ she won the contest.

① because　② why
③ how come　④ what

② That is why ~ そういうわけで～；だから～

訳 エミは毎日何時間もピアノを練習した。だから彼女はコンテストで優勝した。

解説 前の文（毎日何時間も練習した）が原因で、後ろ（コンテストで優勝した）が結果なので That is why。because だと「優勝したのが原因で練習した」となり因果が逆。how come は「なぜ」と尋ねる口語表現で、That is の後ろに置かない。what は後ろに名詞が欠けた文が必要で、she won the contest は欠けていない。

区別 **That is why ~ ⇔ That is because ~** That is why の後ろは結果、That is because の後ろは原因。見分け方：前の文が原因で後ろが結果なら why、前の文が結果で後ろが理由なら because。

0419 □□□

This box is too heavy for me to ＿＿＿＿.

① carry it　② carrying
③ be carried　④ carry

④ too ~ to ... ...するには～すぎる；～すぎて...できない

訳 この箱は重すぎて私には運べない。

解説 主語 This box が carry の目的語に当たるので、it を繰り返さず carry だけにする。carry it は目的語の重複で誤り。carrying は to の後ろに置けず、be carried は for me（運ぶ人）と合わない。

区別 **too ~ to ... ⇔ so ~ that S cannot ...** 書き換えでは that 節に主語と目的語を補う（too hot to drink ＝ so hot that I cannot drink it）。逆に too の文には it を入れない。

0420 □□□

My teacher gave me two useful ＿＿＿＿ before the interview.

① pieces of advice　② advices
③ piece of advices　④ pieces of advices

① a piece of + 不可算名詞 1つの～；1件の～

訳 先生は面接の前に、役に立つ助言を2つくれた。

解説 advice は不可算名詞なので s を付けられない。数えるときは piece の方を複数形にして two pieces of advice とする。advices / piece of advices / pieces of advices はどれも advice に s が付いているので誤り。

区別 **a piece of + 不可算名詞 ⇔ a lot of ~** a lot of は量や数の多さを表し、可算・不可算どちらにも使える（a lot of advice）。a piece of は不可算名詞を 1 つずつ数えるための形。数を言いたいなら pieces of。

0421 □□□

I thought it would rain, so I took an umbrella, but it was sunny ＿＿＿＿.

① after all　② at last
③ at first　④ at least

① after all 結局；やはり

訳 雨が降ると思って傘を持っていったが、結局晴れだった。

解説 「雨だと思ったが、結局（予想に反して）晴れた」なので after all。at last は待ち望んだ末の「ついに」で、予想が外れた流れに合わない。at first（最初は）、at least（少なくとも）も意味が通らない。

区別 **after all ⇔ at last** at last は「（待ち望んだ末に）ついに」、after all は「（予想や計画に反して）結局」。待っていた良い結果なら at last、予想が外れたなら after all。

0422 □□□

Many houses were destroyed as a result ＿＿＿＿ the earthquake.

① in　② from
③ for　④ of

④ as a result of ~ ～の結果として

訳 地震の結果、多くの家が壊れた。

解説 「～の結果として」は as a result of ~ で、後ろに原因（the earthquake）を置く。in / from は動詞 result の後ろに置く前置詞（result in / result from）で、名詞 a result の後ろには使わない。for も不可。

区別 **as a result of ~ ⇔ result in ~ / result from ~** A result in B ＝ A が原因で B という結果になる、B result from A ＝ B は A から生じる。in の後ろは結果、from の後ろは原因。as a result of の後ろは原因。

0423 □□□

＿＿＿＿ I didn't like natto, but now I eat it every day.

① For the first time
② At first
③ First of all
④ At last

② at first 最初は；初めのうちは

訳 最初は納豆が好きではなかったが、今では毎日食べている。

解説 「最初は嫌いだったが、今は毎日食べる」と変化を対比しているので At first。For the first time は「初めて」、First of all は「まず第一に」と順番を示す、At last は「ついに」で、どれも but now との対比にならない。

区別 **at first ⇔ for the first time** at first は「最初のうちは（後で変わる）」、for the first time は「（経験として）初めて」。後ろに but / later など変化があれば at first。

0424 □□□

After waiting for two hours, the bus came ＿＿＿＿.

① lastly　② at least
③ at first　④ at last

④ at last ついに；やっと

訳 2 時間待って、ようやくバスが来た。

解説 2 時間待った末に「やっと」来たので at last。lastly は列挙の「最後に」、at least は「少なくとも」、at first は「最初は」で、待ちわびた気持ちを表せない。

区別 **at last ⇔ lastly** lastly は列挙の「最後に」（Firstly ..., Lastly ...）、at last は「（待ちわびて）ついに」。順番を並べているなら lastly。

0425 □□□

A: That was a great movie. B: Yes, it was. ＿＿＿＿, have you finished your homework?

① By the way　② By way of
③ In the way　④ On the way

① by the way ところで

訳 A：すごく良い映画だったね。 B：うん、本当に。ところで、宿題は終わった？

解説 映画の話から宿題の話へ話題を変えているので By the way。By way of は後ろに名詞が必要（～経由で）。In the way は「邪魔になって」、On the way は「途中で」で、話題転換の働きはない。

区別 **by the way ⇔ by way of ~** by way of ~ は「～経由で」（by way of Hawaii）、「～として」（by way of example）で後ろに名詞が続く。by the way は単独で話題を変える。the の有無と後ろの名詞で区別する。

0426 □□□

My parents met at college and have known ＿＿＿＿ for thirty years.

① with each other　② each other
③ to each other　④ each other's

② each other お互い（に・を）

訳 私の両親は大学で出会い、30 年来の知り合いだ。

解説 know は他動詞なので、代名詞 each other を前置詞なしで直接目的語にする（know him と同じ）。with / to を付けるのは talk with each other のような自動詞の場合で、know には付けない。each other's は所有格で後ろに名詞が必要。

区別 **each other ⇔ one another** 伝統的には 2 人なら each other、3 人以上なら one another と区別するが、現代英語ではどちらも使える。入試で問われるのはむしろ「代名詞なので動詞によって前置詞が要る・要らない」点。見分け方：動詞が自動詞か他動詞かで判断する。

0427 □□□

Either you or your brother ＿＿＿＿ to clean the room.

① have　② are
③ has　④ were

③ either A or B AかBのどちらか

訳 あなたかお兄さんのどちらかが部屋を掃除しなければならない。

解説 either A or B が主語のとき、動詞は近い方の B（your brother）に一致するので三人称単数の has。you につられて have / are を選ぶのは誤り。were は時制も数も合わない。

区別 **either A or B ⇔ neither A nor B** either A or B は「どちらか一方」、neither A nor B は「どちらも～ない」。動詞はどちらも B に一致。not either A or B ＝ neither A nor B。

0428 □□□

＿＿＿＿ it rains tomorrow, the game will be held.

① Even though　② Even if
③ Despite　④ Because

② even if ~ たとえ～でも

訳 たとえ明日雨が降っても、試合は行われる。

解説 明日雨が降るかどうかはまだ分からない仮定なので Even if。Even though は事実に使い、未来の不確かなことには合わない。Despite は前置詞で S V を続けられず、Because は「～なので」で意味が逆になる。

区別 **even if ~ ⇔ even though ~** even if は仮定（起こるか分からない・事実に反する）、even though は事実（実際にそうだが）。見分け方：後ろの内容が事実として確定していれば even though。

0429 □□□

_____ he had a fever, he went to work.

① In spite of　② Unless
③ Even if　④ Even though

④ even though ~ ～であるけれども；～なのに

訳 彼は熱があったのに、仕事に行った。

解説 「熱があったのに仕事に行った」と、過去の事実を述べる譲歩なので Even though。Even if は仮定に使い、実際に仕事に行った過去の事実とは合わない。In spite of は後ろに名詞が必要、Unless は「～しない限り」で意味が合わない。

区別 **even though ~ ⇔ even if ~** even though は事実（実際に～なのに）、even if は仮定（たとえ～だとしても）。後ろが過去の事実なら even though。

0430 □□□

People _____ general don't like to be told what to do.

① on　② at
③ in　④ by

③ in general 一般に；概して

訳 一般に、人は指図されるのを好まない。

解説 名詞の後ろに置いて「一般の人々」は people in general。on / at / by は general と組んでこの意味にならない。似た形の on the whole（全体として）とも前置詞が違う点に注意。

区別 **in general ⇔ in particular** in general は「全体として・一般に」、in particular は「特に」。名詞の後ろに置くと people in general（人々一般）／ this book in particular（特にこの本）と意味が逆になる。

0431 □□□

It was in this room _____ the famous writer was born.

① which　② what
③ that　④ whom

③ It is ~ that ...
...ということは～だ（形式主語）；...なのは～だ（強調構文）

訳 その有名な作家が生まれたのはこの部屋だった。

解説 強調構文 It was ～ that ...。It was と that を取ると The famous writer was born in this room. という完全な文になる。in this room は副詞句なので which / whom（名詞を受ける関係代名詞）は使えない。what は先行詞を含むので不可。

区別 **It is ~ that ... ⇔ It is ~ to do** It is ～ to do は不定詞を受ける形式主語（It is hard to learn English.）。It is ～ that ...は that 節を受ける。どちらも It は「後ろの内容」を指し、意味は「...することは～だ」。

0432 □□□

Neither my parents nor my sister _____ the news yet.

① know　② don't know
③ doesn't know　④ knows

④ neither A nor B AもBも～ない

訳 両親も姉もまだその知らせを知らない。

解説 neither A nor B が主語のとき、動詞は B（my sister）に一致するので knows。neither に否定が含まれているので doesn't know / don't know は二重否定になる。know は my parents に合わせた誤り。

区別 **neither A nor B ⇔ not both A and B** not both A and B は部分否定「両方とも～というわけではない」（片方はそう）。neither A nor B は全否定「どちらも～ない」。

0433 ☐☐☐

I'm sorry I broke your cup. I didn't do it _____ purpose.

① by ② for
③ on ④ with

③ on purpose わざと；故意に

訳 カップを割ってごめんなさい。わざとやったんじゃないんです。

解説 「わざと」は on purpose で、前置詞は on。反対の by accident につられて by を選ぶ誤りが多い。for / with も purpose と組んでこの意味にならない。

区別 **on purpose ⇔ by accident** on purpose は「わざと」、by accident は「偶然・うっかり」。前置詞も on と by で違う。謝るときは I didn't do it on purpose. / It happened by accident. の両方を使う。

0434 ☐☐☐

It was _____ that we went swimming.

① so a hot day ② such hot a day
③ so hot a day ④ so hot day

③ so ~ that ... とても～なので...；...するほど～

訳 とても暑い日だったので、私たちは泳ぎに行った。

解説 so を名詞と使うときは so ＋形容詞＋ a ＋名詞 の語順なので so hot a day。so a hot day は語順が誤り。such は such a hot day の語順になる。so hot day は冠詞が抜けている。

区別 **so ~ that ... ⇔ such ~ that ...** such の後ろは（a ＋形容詞＋）名詞、so の後ろは形容詞・副詞。so big a dog ＝ such a big dog と語順が変わる。

0435 ☐☐☐

Those who _____ to take part in the volunteer program should sign up by Friday.

① wishes ② wish
③ wishing ④ to wish

② those who ~ ...する人々

訳 そのボランティア計画に参加したい人は、金曜日までに申し込むこと。

解説 those who ~ は「...する人々」で複数扱いなので、who の後ろの動詞も複数の wish。wishes は単数形で those と合わない（anyone who なら wishes）。wishing / to wish は who の後ろの動詞の位置に置けない。

区別 **those who ~ ⇔ anyone who ~** those who は複数扱いで動詞も複数、anyone who は単数扱いで動詞に -s が付く。意味はどちらも「...する人（は誰でも）」。見分け方：主語の形で動詞の数を決める。

0436 ☐☐☐

You'll miss the bus _____ you hurry.

① unless ② if
③ when ④ because

① unless ~ ～しない限り；もし～でなければ

訳 急がないとバスに乗り遅れるよ。

解説 「急がない限り、バスに乗り遅れる」なので unless（＝ if ~ not）。if / when だと「急げば乗り遅れる」になり意味が逆。because も「急ぐので乗り遅れる」になりおかしい。

区別 **unless ~ ⇔ if ~ not** ほぼ同じだが、unless は「～という場合を除いて」と唯一の例外を示す響き。書き換えでは unless の節から not を取る（if you don't hurry ＝ unless you hurry）。

0437 □□□

As the test day approached, Kana became ＿＿＿＿ nervous.

① most and most　② much and more
③ very and very　④ more and more

④ 比較級 and 比較級　ますます～；だんだん～

訳 試験の日が近づくにつれて、カナはますます緊張した。

解説 nervous は more を使って比較級にする形容詞なので、「ますます～」は more and more nervous。most and most は最上級でこの形を作らない。much and more / very and very という形もない。approached（近づくにつれて）が変化の進行を示している。

区別 **比較級 and 比較級 ⇔ the + 比較級, the + 比較級**　比較級 and 比較級は 1 つのものの変化が進むこと（ますます～）、the ＋比較級, the ＋比較級は 2 つの変化の連動（～すればするほど…）。見分け方：the が 2 か所にあり 2 つの文があれば後者。

0438 □□□

You must return this library book ＿＿＿＿ next Monday.

① until　② by
③ since　④ during

② by ～（期限）　～までに（は）

訳 今度の月曜日までに、この図書館の本を返さなければならない。

解説 return（返す）は 1 回で完了する動作なので、期限を表す by が正しい。until は「～までずっと」と継続を表し、return とは合わない。since は「～以来」、during は「～の間」で、期限を表さない。

区別 **by ～（期限）⇔ until ～**　until は「～までずっと」で、状態や動作が続く（wait / stay / sleep）。by は「～までに」で、1 回の動作の完了の期限（finish / return）。見分け方：「～まで続ける」なら until、「～までに済ませる」なら by。

0439 □□□

These days, more and more people ＿＿＿＿ their smartphones to pay for things.

① used　② use
③ had used　④ were using

② these days　近頃；このごろ

訳 近頃は、ますます多くの人が支払いにスマートフォンを使っている。

解説 these days は「近頃は」と現在の状況を表すので、動詞は現在形の use が合う。used / were using は過去、had used は過去完了で、現在の話と合わない。過去の話なら In those days, ~ used ... のように言う。

区別 **these days ⇔ in those days**　these days は「（昔と違って）近頃は」と現在の話で現在形と使う。in those days は「（今と違って）当時は」と過去の話で過去形と使う。見分け方：動詞が現在形なら these days、過去形なら in those days。these には in を付けない点にも注意。

0440 □□□

My little brother is not ＿＿＿＿ to ride a bicycle.

① enough old　② enough age
③ too old　④ old enough

④ ～ enough to ... ...するのに十分～；...するほど～

訳 弟はまだ自転車に乗れる年齢ではない。

解説 enough は形容詞の後ろに置くので old enough。enough old は語順の誤り。enough age では to ride とつながる形にならない。too old を not で否定しても「乗るには年を取りすぎていない」で意味がおかしい。

区別 **～ enough to ... ⇔ so ～ that S can ...** 書き換えでは that 節に主語と can を補う（old enough to drive ＝ so old that he can drive）。enough の文では主語を繰り返さない。

0441 □□□

＿＿＿＿ I know, he has never been late for school.

① As long as　② As soon as
③ As well as　④ As far as

④ as far as ～ ～する限りでは；～まで

訳 私の知る限り、彼は一度も学校に遅刻したことがない。

解説 「私の知る限り（知識の範囲では）」なので As far as。As long as は条件で「知っていさえすれば」になり意味が通らない。As soon as は「～するとすぐ」、As well as は「～だけでなく」。

区別 **as far as ～ ⇔ as long as ～** as far as は範囲「～の範囲では」、as long as は条件「～しさえすれば」。if に置き換えて通じれば as long as、know / see / concerned など範囲の話なら as far as。

0442 □□□

He talks as if he ＿＿＿＿ everything about cars, but actually he knows very little.

① knows　② knew
③ will know　④ has known

② as if ～ まるで～のように

訳 彼はまるで車のことなら何でも知っているかのように話すが、実際はほとんど知らない。

解説 実際はほとんど知らないので、現在の事実に反する仮定法過去の knew を使う。knows / has known は直説法で「本当に知っている」ことになり、後半と矛盾する。will know は形が合わない。

区別 **as if ～ ⇔ as it were** as it were は「いわば」と言い換えを挿入する句で、後ろに節は続かない。as if は後ろに S V を続けて「まるで～のように」。

0443 □□□

Social media is useful for keeping in touch with friends. ＿＿＿＿, it can take up too much of our time.

① At once
② In the same way
③ At the same time
④ For the same reason

③ at the same time 同時に；しかし一方で

訳 SNS は友達と連絡を取り合うのに便利だ。同時に、時間を取られすぎることもある。

解説 「便利だ」と認めつつ「時間を取りすぎる」という別の面を述べる逆接なので At the same time。At once は「すぐに」、In the same way は「同様に」、For the same reason は「同じ理由で」で、逆接にならない。

区別 **at the same time ⇔ at once** at once は「すぐに」と「同時に」。at the same time に「すぐに」の意味はなく、代わりに「しかし一方で」の逆接用法がある。

0444 □□□

A: Are you Ms. Tanaka, by ＿＿＿＿ chance? B: Yes, I am.

① some　② any
③ a　④ the

② by chance 偶然に；たまたま

訳 A：ひょっとして田中さんですか。　B：はい、そうです。

解説 疑問文で「ひょっとして」と尋ねるのは by any chance。by some chance は「何かの偶然で」と平叙文で使う形で、相手の名前を確かめる質問には合わない。by a chance / by the chance という形は普通使わない。

区別 **by chance ⇔ by any chance** by any chance は疑問文・依頼で「ひょっとして・もしかして」と丁寧に尋ねる。by chance は平叙文で「偶然に」。

0445 □□□

By no means ＿＿＿＿ easy to learn a foreign language.

① it is　② it isn't
③ isn't it　④ is it

④ by no means 決して～ない

訳 外国語を身につけるのは決して簡単ではない。

解説 否定の語句 By no means が文頭に出ると、後ろは疑問文の語順の倒置になるので is it。it is は倒置していない。it isn't / isn't it は否定を重ねることになり誤り。

区別 **by no means ⇔ by means of ～** by means of ～ は「～という手段によって」で後ろに名詞。no が入ると「決して～ない」と否定になる。

0446 □□□

My grandmother lives ＿＿＿＿ in a small house in the country.

① by herself　② for herself
③ of herself　④ in herself

① by oneself 一人で；独力で

訳 祖母は田舎の小さな家に一人で暮らしている。

解説 「一人で暮らしている」は live by oneself で、主語に合わせて by herself。for herself は「自分のために」、of herself は「ひとりでに」（古い形）、in herself は「それ自体」で、暮らし方を表さない。

区別 **by oneself ⇔ for oneself** by oneself は「一人で・独力で」、for oneself は「自分のために・自分自身で（判断する）」（See for yourself.＝自分で確かめて）。

0447 □□□

I saw snow for the first time ＿＿＿＿ five years when I visited Hokkaido.

① since　② at
③ in　④ during

③ for the first time 初めて

訳 北海道を訪れたとき、5 年ぶりに雪を見た。

解説 「5 年ぶりに」は for the first time in five years（5 年の間で初めて）。since は後ろに起点の時点が来る（since 2020）。at / during は期間と組んでこの意味にならない。

区別 **for the first time ⇔ at first** for the first time は「（経験の）初めて」、at first は「最初のうちは（後で変わる）」。but / later と対比していれば at first。

0448 ☐☐☐

I'm sorry I was late. From ＿＿＿＿ on, I'll be more careful.

① then　② ago
③ now　④ before

③ from now on　今後は；これからはずっと

訳 遅れてごめんなさい。これからはもっと気をつけます。

解説 From now on で「今後は」。未来を表す I'll be と合う。From then on は過去の時点からの話で、未来の文には合わない。ago / before は from ～ on の間に入れない。

区別 **from now on ⇔ from then on**　from then on は「そのときからずっと」と過去の時点が起点で、過去形の文で使う。from now on は今が起点で、未来の文で使う。見分け方：文の時制が未来なら now、過去なら then。

0449 ☐☐☐

If I ＿＿＿＿ the train, I would have arrived at the meeting on time.

① didn't miss　② hadn't missed
③ haven't missed　④ wouldn't miss

② If S had + 過去分詞, S would have + 過去分詞　もし～だったら、…だっただろうに（仮定法過去完了）

訳 もし電車に乗り遅れていなかったら、会議に時間どおり着いていただろうに。

解説 主節が would have arrived（過去の事実と反対）なので、if 節は過去完了の hadn't missed（仮定法過去完了）。didn't miss は仮定法過去で今の話になり、主節と合わない。haven't missed は現在完了で仮定にならない。if 節には普通 would を使わない。

区別 **If S had + 過去分詞, S would have + 過去分詞 ⇔ If S 過去形, S would 原形（仮定法過去）**　仮定法過去は今の事実の反対（If I had money, I would buy it.）、仮定法過去完了は過去の事実の反対（If I had had money, I would have bought it.）。見分け方：yesterday / then など過去の話なら過去完了、今の話なら過去形。混合型は if 節が過去完了・主節に now。

0450 ☐☐☐

＿＿＿＿ you have any questions about the schedule, please feel free to contact our office.

① Should　② Had
③ Were　④ Unless

① if S should do　万一…なら；万一…しても

訳 万一予定についてご質問があれば、遠慮なく事務所にご連絡ください。

解説 主語の前に助動詞を出した倒置で、後ろの have が原形なので Should（＝ If you should have）。Were は were to do の倒置なら後ろが to have になる。Had は過去完了の倒置で、後ろは過去分詞になる。Unless だと「質問がなければ連絡を」となり意味が通らない。

区別 **if S should do ⇔ if S were to do**　should は「万一」で実際に起こりうる低い可能性、were to は「仮に」で全くありえないことにも使える。帰結節は were to なら would などの過去形の助動詞、should なら命令文・will も可。見分け方：帰結節が命令文なら should。

0451 □□□

This apartment is close to the station. ＿＿＿＿, the rent is reasonable.

① In addition　② In addition to
③ However　④ Instead

① in addition　その上；さらに

訳 このアパートは駅に近い。その上、家賃も手頃だ。

解説 「駅に近い」に「家賃も手頃」と良い点を付け加えているので In addition。In addition to は後ろに名詞が必要で、コンマと文は続かない。However は逆接、Instead は「代わりに」で流れが合わない。

区別 **in addition ⇔ in addition to ~** in addition は単独で使い、後ろはコンマと文。in addition to は後ろに名詞・動名詞が必要。

0452 □□□

If you want to see the concert, you should buy tickets ＿＿＿＿ advance.

① on　② in
③ at　④ by

② in advance　前もって；事前に

訳 そのコンサートを見たいなら、前もってチケットを買ったほうがいい。

解説 「前もって」は in advance で、前置詞は in。on / at / by は advance と組んでこの意味にならない。beforehand や ahead of time と言い換えられる。

注意 ＝ beforehand ＝ ahead of time。in advance of ~（～より前に）。before hand と分けて書かない。

0453 □□□

A: What are you doing this weekend?
B: Nothing in ＿＿＿＿.

① special　② general
③ especially　④ particular

④ in particular　特に；とりわけ

訳 A：今週末は何をするの？　B：特に何も。

解説 「特に何も」は Nothing in particular.。Nothing special. とは言うが in special とは言わない。in general は「一般に」で意味が違い、especially は副詞なので in の後ろに置けない。

区別 **in particular ⇔ in general** in particular は「特に（一部に注目）」、in general は「一般に（全体として）」。Nothing in particular. は「特に何も」で、in general にはこの使い方がない。

0454 □□□

The hotel was dirty, the food was bad, and the staff were rude. ＿＿＿＿, it was a terrible trip.

① For short　② In addition
③ In short　④ For example

③ in short　要するに；手短に言えば

訳 ホテルは汚く、食事はまずく、従業員は失礼だった。要するに、ひどい旅行だった。

解説 前の具体的な不満をまとめて「要するにひどい旅だった」と結論を述べているので In short。For short は「略して」で文頭に置かない。In addition は追加、For example は具体例で、まとめにならない。

区別 **in short ⇔ for short** for short は「略して」（We call him Ken for short.）で、名前などを短くするときに使う。in short は文の内容を要約する。

0455 □□□

This car is excellent in ＿＿＿ of fuel efficiency.

① term　② terms
③ side　④ **way**

② in terms of ~ ～の観点から；～に関して

訳 この車は燃費の点で優れている。

解説 「～の観点から」は in terms of ~ で、terms は複数形。単数 term ではこの熟語にならない。in side of / in way of という形もない。in the way of は「～の邪魔になって」で別の意味。

区別 **in terms of ~ ⇔ be on good terms with ~** be on good terms with ~ は「～と仲がよい」で、terms は「間柄」。in terms of（～の観点から）とは前置詞も意味も違う。

0456 □□□

We argued for hours, but ＿＿＿ we agreed to go to the beach.

① at the end of　② by the end of
③ until the end　④ **in the end**

④ in the end 最後には；結局

訳 私たちは何時間も議論したが、最終的には海に行くことで合意した。

解説 長い話し合いの末の最終結果なので in the end。at the end of / by the end of は後ろに名詞（期間）が必要で、we agreed とつながらない。until the end は「最後までずっと」で意味が合わない。

区別 **in the end ⇔ at the end of ~** at the end of ~ は「（期間・場所の）終わりに」で of ~ が続く（at the end of May）。in the end は単独で「結局・最後には」。後ろに of があるかで選ぶ。

0457 □□□

Our company is planning to open a new store in the ＿＿＿ future.

① close　② soon
③ nearly　④ **near**

④ in the future 将来；今後は

訳 当社は近いうちに新しい店を開く予定だ。

解説 「近いうちに」は in the near future が決まった形。close は意味が近くても future とは組まない。soon は副詞なので名詞 future の前に置けない。nearly も「ほとんど」という副詞で形も意味も合わない。

区別 **in the future ⇔ in future** in the future は「将来（遠い先も含めて）」、イギリス英語の in future（the なし）は「今後は・これからは」で、行動を改めるよう求める場面で使う（In future, please be on time.）。見分け方：未来の出来事なら the 付き、注意・約束なら in future。入試では the 付きが基本。

0458 □□□

It was not John ＿＿＿ his brother who broke the window.

① and　② or
③ **but**　④ nor

③ not A but B AではなくてB

訳 窓を割ったのはジョンではなく、彼の弟だった。

解説 「窓を割ったのはジョンではなく弟だ」なので not A but B の but。and / or では not と組んで「A ではなく B」の意味にならない。nor は neither と組む語。

区別 **not A but B ⇔ not only A but also B** not A but B は A を否定して B を示す。not only A but also B は A も B も肯定する。only / also の有無で意味が大きく変わる。

0459 ☐☐☐

He did nothing but ＿＿＿＿ about the food during the trip.

① complaining　② to complain
③ complain　④ complained

③ nothing but ~ ～だけ；～にすぎない

訳 彼は旅行中、食事について文句ばかり言っていた。

解説 do nothing but の後ろは動詞の原形なので complain。but の前に do があるので原形で受ける形。complaining / to complain / complained はこの形では使わない。

区別 **nothing but ~ ⇔ anything but ~** anything but は「決して～ない」（＝ not ~ at all）。nothing but（～だけ）と正反対。but ＝ except と読めばどちらも訳せる。

0460 ☐☐☐

For a long-distance runner, nothing is ＿＿＿＿ important as getting enough sleep.

① as　② more
③ most　④ much

① nothing is as ~ as A Aほど～なものはない

訳 長距離ランナーにとって、十分な睡眠を取ることほど大切なものはない。

解説 後ろに as があるので as ~ as の原級比較で as。more は than と組む（Nothing is more important than ~）。most は最上級で後ろに as は来ない。much は比較級を強める語でこの位置に入らない。nothing ＋原級比較で最上級の意味になる。

区別 **nothing is as ~ as A ⇔ Nothing is more ~ than A** 意味は同じ最上級だが形が違う。as ~ as の間は原級、more ~ than は比較級。見分け方：空所の後ろが as なら原級、than なら比較級を選ぶ。No other の後ろは単数名詞（No other boy）になる点も一緒に狙われる。

0461 ☐☐☐

Nothing is ＿＿＿＿ important than good health.

① as　② more
③ most　④ so

② Nothing is more A than B. B ほど A なものはない

訳 健康ほど大切なものはない。

解説 後ろに than があるので比較級の more が正しく、Nothing is more A than B で「B ほど A なものはない」。as / so は as[so] A as B の形で than とは組まない。most は最上級で than と組まない。

区別 **Nothing is more A than B. ⇔ Nothing is as A as B.** Nothing is more A than B は比較級＋than、Nothing is as A as B は原級＋as ... as。意味はどちらも「B ほど A なものはない」。見分け方：前に more / -er があれば than、as があれば as。混ぜた形（more A as / as A than）は誤り。

0462 ☐☐☐

Quite a ＿＿＿＿ students were absent because of the heavy snow.

① little　② lot
③ few　④ many

③ quite a few ~ かなり多くの～；相当数の～

訳 大雪のため、かなり多くの生徒が欠席した。

解説 students は可算名詞の複数形なので、quite a few（かなり多くの）が正しい。quite a little は不可算名詞の量に使う。quite a lot は of を付けて quite a lot of students としないと使えない。quite a many とは言わない（a good many は可）。

区別 **quite a few ~ ⇔ a few ~ / few ~** few は「ほとんどない」、a few は「少しある」、quite a few は「かなり多い」。見分け方：a の有無で否定か肯定か、quite が付けば数が多い。どれも可算名詞の複数形に付き、不可算名詞には little 系を使う。

0463 ☐☐☐

I'd like coffee rather ———— tea.

① as　② to
③ than　④ from

③ rather than ~ ～よりむしろ；～ではなく

訳 紅茶よりむしろコーヒーが欲しい。

解説 rather は比較の意味を持ち than と組むので rather than。as / to / from は rather と組まない。prefer A to B（to を使う）と混同して to を選ぶ誤りに注意。

区別 **rather than ~ ⇔ instead of ~** instead of の後ろは名詞・動名詞だけ。rather than は前の A と同じ形を後ろに置ける（walk rather than drive）。

0464 ☐☐☐

I have read three books ———— this month.

① by far　② as far
③ so far　④ far from

③ so far 今までのところ；ここまでは

訳 今月はこれまでに 3 冊の本を読んだ。

解説 現在完了と一緒に「今月これまでに」なので so far。by far は最上級などを強める語で数の前には置かない。as far だけでは形にならず、far from は「決して～ない」。

区別 **so far ⇔ by far** by far は「（最上級・比較級を強めて）断然・はるかに」（by far the best）。so far は「今までのところ」。far の前の語で意味が変わる。

0465 ☐☐☐

I like Japanese foods ———— sushi and tempura.

① for example　② as such
③ such as　④ like as

③ such as ~ 例えば～のような

訳 私は寿司や天ぷらのような日本料理が好きだ。

解説 名詞 Japanese foods の直後に例の名詞を並べているので such as。for example はコンマで区切って使うのが普通で、このようにそのまま名詞につなげない。as such は「それ自体として」、like as という形はない。

区別 **such as ~ ⇔ for example** for example はコンマで区切る副詞句で、後ろに文も置ける。such as は名詞を直接並べるだけで、コンマなしで前の名詞につなげられる。

0466 ☐☐☐

———— your advice, I passed the exam.

① Thank you for　② Thanks for
③ Instead of　④ Thanks to

④ thanks to ~ ～のおかげで；～のせいで

訳 あなたの助言のおかげで、試験に合格した。

解説 後ろに主節 I passed the exam が続き「助言のおかげで合格した」なので Thanks to。Thank you for / Thanks for はお礼を言う文の形で、後ろに主節を続けられない。Instead of は「～の代わりに」。

区別 **thanks to ~ ⇔ thank you for ~** thank you for ~ は「～をありがとう」と直接お礼を言う文。thanks to ~ は「～のおかげで」と結果の理由を示す句で、後ろに主節が続く。

0467 ☐☐☐

The more you practice, ———— you will become.

① better ② the best
③ the better ④ more better

③ the + 比較級 ~, the + 比較級 … ～すればするほど…

訳 練習すればするほど、上手になる。

解説 前半が The more ~ なので、後半も the ＋比較級で the better。the が抜けた better は不可。the best は最上級で形が合わず、more better は比較級の重複で誤り。

注意 語順に注意（The more you practice, ~ / The older he got, ~）。The sooner, the better.（早ければ早いほどよい）のような省略形も。

0468 ☐☐☐

The number of tourists visiting the city ———— increased greatly in recent years.

① have ② are
③ has ④ were

③ the number of ~ ～の数

訳 その都市を訪れる観光客の数は、ここ数年で大きく増えた。

解説 主語は The number（数）なので単数扱いで has。tourists に引っぱられて have を選ばないこと。are / were は increased と組むと受け身になり、「増やされた」と意味がずれるうえ、主語とも一致しない。

区別 **the number of ~ ⇔ a number of ~** a number of は「たくさんの～・いくつかの～」（＝many / some）で、後ろの複数名詞が中心なので動詞は複数（A number of students are ～）。the number of は「～の数」で単数扱い。冠詞 a / the で主語と動詞の一致が変わる。

0469 ☐☐☐

———— my great joy, my old friend from elementary school came to see me.

① For ② With
③ In ④ To

④ to one's + 感情の名詞 （人が）～したことには

訳 とてもうれしいことに、小学校時代の旧友が会いに来てくれた。

解説 to one's ＋感情の名詞で「（人が）～したことには」。to my great joy で「とてもうれしいことに」。For / With / In はこの形で使わない（in joy は「喜んで」と様子を表すが、my great を挟んで文頭に置く形にはならない）。

区別 **to one's + 感情の名詞 ⇔ in surprise** in surprise は「驚いて」と、そのときの様子を表す（She looked at me in surprise.）。to one's surprise は「驚いたことに」と、話し手の受け止め方を文全体に添える。見分け方：文頭で文全体を修飾するなら to。

0470 ☐☐☐

From now ————, I will get up at six every morning and go jogging.

① on ② in
③ at ④ by

① from ~ on ～から先ずっと；～以後

訳 これからは毎朝 6 時に起きてジョギングをするつもりだ。

解説 「今後は」は from now on。on は「続けて」の副詞で、今からずっと続くことを表す。from now in / at / by という言い方はない。from then on（それ以来）、from that day on も同じ形。

区別 **from ~ on ⇔ since** from ~ on は起点から先へ続くことを表し、未来にも過去にも使える。since は「～以来（今まで）」で、現在完了と使うのが基本。見分け方：未来の決意なら from now on、過去から今までの継続なら since ＋ 現在完了。

0471 ☐☐☐

It is true that this car is expensive, _____ it is very safe and uses little fuel.

① but　② because
③ so　④ or

① It is true (that) ~, but ... 確かに～だが、...

訳 確かにこの車は値段が高いが、とても安全で燃料もあまり使わない。

解説 It is true that ~, but ... で「確かに～だが、...」と譲歩する型。値段が高いことを認めた上で、安全で燃費がよいという長所を述べるので逆接の but。so / because は因果関係を表し、「高いから安全」のような不自然な意味になる。or は選択で合わない。

区別 **It is true (that) ~, but ... ⇔ Of course ~, but ...** どちらも譲歩の型で、but の後ろが主張。It is true that は書き言葉で少し改まり、Of course は会話でも使う。~ may ..., but ... は助動詞 may で譲歩する。見分け方：形は違っても but の後ろに筆者の言いたいことがある、という点は同じ。

0472 ☐☐☐

There is _____ food in the fridge, so you don't need to go shopping today.

① many　② plenty of
③ a number of　④ a few

② plenty of ~ たくさんの～；十分な～

訳 冷蔵庫に食べ物がたっぷりあるので、今日は買い物に行かなくていいよ。

解説 food は不可算名詞。可算・不可算のどちらにも使える plenty of が正しい。many / a number of / a few はどれも可算名詞の複数形にしか付かないので、food の前には置けない。「買い物に行かなくていい」という文脈も「十分にある」の plenty of に合う。

区別 **plenty of ~ ⇔ many / much** many は可算名詞の複数形、much は不可算名詞にしか使えないが、plenty of はどちらにも使える。しかも much は肯定文では硬く響くので、会話の肯定文では plenty of や a lot of を使うのが自然。見分け方：名詞が不可算で肯定文なら plenty of、可算名詞なら many も可。

0473 ☐☐☐

A: Could you send me the meeting report? B: Sure, I'll do it right _____.

① out　② up
③ away　④ along

③ right away すぐに；直ちに

訳 A：会議の報告書を送ってもらえますか。 B：もちろん、すぐにやります。

解説 「すぐに」は right away。依頼に「すぐやります」と答える会話の定番。right out は「率直に・すっかり」、right up は「すぐそばまで」などの意味で、do it の後ろでは「すぐに」にならない。right along は「ずっと」で意味が合わない。

区別 **right away ⇔ in no time** right away は「（今）すぐに取りかかる」と開始の早さ、in no time は「あっという間に（終わる）」と所要時間の短さを表す。見分け方：「すぐ始める」なら right away、「すぐ終わる・すぐそうなる」なら in no time。

0474 ☐☐☐

You've been playing video games all night? No ———— you're so sleepy.

① reason ② matter
③ wonder ④ problem

③ (It is) no wonder (that) S V
～なのも不思議ではない；～なのは当然だ

訳 一晩中ゲームをしていたの？ そんなに眠いのも当然だね。

解説 一晩中ゲームをしていたと聞いて「眠いのも当然だ」と納得する場面なので No wonder。No reason / No problem は後ろに文を続けてこの意味にならない。No matter は no matter what / how の形で「たとえ～でも」と譲歩を表し、ここでは使えない。

区別 **(It is) no wonder (that) S V ⇔ I wonder if ～** no wonder は「～なのは当然だ」と理由が分かって納得する表現。I wonder if は「～かしら」と疑問に思う表現。見分け方：理由を聞いて納得するなら no wonder、分からずに考えているなら I wonder。

0475 ☐☐☐

There are still a couple of ———— left in the box, so help yourself.

① cookies ② cookie
③ milk ④ sugar

① a couple of ～ 2つの～；2、3の～

訳 箱にはまだクッキーが2、3枚残っているので、自由に取ってね。

解説 a couple of の後ろは可算名詞の複数形なので cookies。cookie は単数形のままなので不可。milk と sugar は不可算名詞で、a couple of とは組めない（a little milk のように言う）。数えられる物の 2つ組というイメージで判断する。

区別 **a couple of ～ ⇔ a few ～** どちらも可算名詞の複数形に付くが、a couple of は「2つ前後」で、a few は「3～数個」と少し幅が広い。見分け方：ちょうど 2、または 2～3 と小さく言いたいなら a couple of、「少しある」と漠然と言うなら a few。不可算名詞にはどちらも使えず、a little を使う。

0476 ☐☐☐

This new computer is a great deal ———— than my old one.

① faster ② fastest
③ fast ④ more fast

① a great deal (of ～) たくさん（の～）；大量（の～）

訳 この新しいコンピューターは、私の古いものよりずっと速い。

解説 a great deal は比較級の前に置いて「ずっと」と差の大きさを強める（much と同じ働き）。後ろに than があるので比較級の faster が正しい。fast は原級、fastest は最上級で than と組めない。fast は 1 音節なので more fast とは言わない。

区別 **a great deal (of ～) ⇔ a great number of ～** どちらも「大量の・多数の」だが、a great deal of は量（不可算名詞）、a great number of は数（可算名詞の複数形）。見分け方：後ろの名詞に s が付いていれば number、付かない不可算名詞なら deal。a lot of はどちらにも使える。

0477 □□□

You need to eat well and sleep well, but _____, you need to relax.

① after all　② above all
③ at all　④ in all

② above all　とりわけ；何よりも

訳 よく食べてよく眠る必要があるが、何よりもリラックスする必要がある。

解説 食事・睡眠を挙げた後で「何よりもリラックスが必要」と一番大事なものを示しているので above all。after all は「結局」、at all は否定・疑問を強める語、in all は「全部で」で、意味が合わない。

区別 **above all ⇔ after all**　after all は「結局・何しろ～だから」。above all（何よりも）と形が似ているので混同しやすい。並べた中で一番大事なものを示すなら above all。

0478 □□□

We were walking in the park when, all of _____ sudden, it began to rain.

① a　② the
③ an　④ one

① all of a sudden　突然；不意に

訳 公園を歩いていると、突然雨が降り始めた。

解説 「突然」は all of a sudden で、冠詞は a に決まっている。the / one ではこの熟語にならず、an は sudden の発音（子音で始まる）に合わない。

区別 **all of a sudden ⇔ at once**　at once は「すぐに・同時に」、all of a sudden は「突然（予期せず）」。驚きの出来事なら all of a sudden。

0479 □□□

He ran as fast as he _____ to catch the train.

① can　② could
③ possible　④ may

② as ~ as possible　できるだけ～

訳 彼は列車に間に合うように、できるだけ速く走った。

解説 主節が過去形 ran なので、as ~ as S can の can も過去形 could にする（＝ as fast as possible）。can は時制が合わない。possible は he の後ろに置けず、may も意味が合わない。

区別 **as ~ as possible ⇔ as ~ as S can**　意味は同じ。can で言い換えるときは主語と時制を主節に合わせる（He ran as fast as he could.）。possible は時制が変わらない。

0480 □□□

A: You must have been to Kyoto many times. B: _____, I've never been there.

① As a rule
② As a matter of fact
③ As a result
④ As usual

② as a matter of fact　実は；実際のところ

訳 A：京都には何度も行ったことがあるんでしょう。　B：実は、一度も行ったことがないんだ。

解説 相手の思い込みを「実は一度もない」と訂正しているので As a matter of fact。As a rule は「普通は」、As a result は「その結果」、As usual は「いつものように」で、訂正の働きはない。

区別 **as a matter of fact ⇔ as a rule**　as a rule は「一般に・普通は」（＝ usually）。as a matter of fact（実は）と形が似ている。習慣の話なら as a rule、意外な事実なら as a matter of fact。

0481 □□□

Most of my friends like summer. ＿＿＿＿ me, I like winter better.

① As if　② As for
③ As far　④ As to

② as for ～　～について言えば；～はどうかと言うと

訳 友達のほとんどは夏が好きだ。私はと言えば、冬のほうが好きだ。

解説 友人たちとの対比で「私について言えば」と話題を切り替えているので As for。As if は「まるで～のように」で後ろに節が必要。As far だけでは形にならない。As to は文頭で人を取り上げる使い方は普通しない。

区別 **as for ～ ⇔ as to ～**　as for は主に文頭で話題を切り替える。as to は文中でも使え、後ろに wh 節も置ける（as to where he went）。

0482 □□□

I got up earlier ＿＿＿＿ usual this morning.

① as　② than
③ from　④ to

② as usual　いつものように

訳 今朝はいつもより早く起きた。

解説 前に比較級 earlier があるので than usual（いつもより）。as usual は「いつものように」で比較級とは組まない。from / to は usual と組んでこの意味にならない。

区別 **as usual ⇔ than usual**　as usual は「いつもと同じく」、than usual は比較級と組んで「いつもより～」。前に比較級があれば than。

0483 □□□

Don't worry. He will be back ＿＿＿＿.

① before long　② long before
③ so long　④ as long

① before long　まもなく；やがて

訳 心配しないで。彼はまもなく戻ってくるよ。

解説 「まもなく戻る」なので before long。long before は「ずっと前に」で未来の will と合わない。so long は「さようなら」、as long だけでは形にならない。

区別 **before long ⇔ long before ～**　before long は「まもなく」、long before は「（～より）ずっと前に」。語順が逆になるだけで意味が大きく変わる。

0484 □□□

Both my father and my mother ＿＿＿＿ teachers.

① is　② was
③ has been　④ are

④ both A and B　AもBも両方とも

訳 父も母も教師だ。

解説 both A and B が主語のときは複数扱いなので are。直前の my mother につられて is を選ぶ誤りが多い。was / has been も単数の形で合わない。

区別 **both A and B ⇔ either A or B**　both は「両方」で動詞は複数扱い、either A or B は「どちらか一方」で動詞は B に一致。

0485 □□□

I'm sorry. I deleted your file ＿＿＿＿.

① on purpose　② in accident
③ by accident　④ at accident

③ by accident 偶然に；誤って

訳 ごめんなさい。うっかりあなたのファイルを消してしまいました。

解説 謝っているので「うっかり（偶然）」の by accident。on purpose は「わざと」で、I'm sorry と合わない。in accident / at accident という形はなく、前置詞は by に決まっている。

区別 **by accident ⇔ on purpose** by accident は「偶然・うっかり」、on purpose は「わざと」。前置詞も by と on で違う。

0486 □□□

By the time we got to the station, the train ＿＿＿＿.

① already left　② had already left
③ has already left　④ already leaves

② by the time ～ ～するまでに（は）

訳 私たちが駅に着いたときには、列車はもう出てしまっていた。

解説 駅に着いた（過去）時点より前に電車は出発し終えていたので、過去完了 had already left。has already left は現在完了で過去の基準と合わない。already left / already leaves では「着く前に完了していた」ことが表せない。

区別 **by the time ～ ⇔ until ～** until は「～までずっと（継続）」、by the time は「～するまでに（完了）」。主節が完了形なら by the time、継続（wait / stay）なら until。

0487 □□□

＿＿＿＿ a few spelling mistakes, your essay is excellent.

① Except　② Besides
③ Except for　④ Without

③ except for ～ ～を除いて；～を別にすれば

訳 いくつかのつづりの間違いを除けば、あなたの作文はとても良い。

解説 文頭で「いくつかのつづりの誤りを別にすれば」なので Except for。Except は all / every などの後ろで使うのが基本で、文頭には普通置かない。Besides は「～に加えて」、Without は「～がなければ」で意味が合わない。

区別 **except for ～ ⇔ except ～** all / every / no など全体を示す語の後ろでは except（Everyone except Tom came.）。全体を示す語がなく「～を別にすれば」と付け加えるなら except for。文頭も except for。

0488 □□□

There are two reasons I like this town. ＿＿＿＿, the people are friendly. Second, the food is great.

① At first
② First of all
③ For the first time
④ At last

② first of all まず第一に；何よりも

訳 私がこの町を好きな理由は二つある。まず第一に、人々が親切だ。第二に、食べ物がおいしい。

解説 理由を並べる一つ目で、後ろに Second が続くので First of all。At first は「最初は（後で変わる）」、For the first time は「初めて」、At last は「ついに」で、順番を並べる働きはない。

区別 **first of all ⇔ at first** first of all は順番を並べる最初、at first は「最初は（後で変わる）」。後ろに Second / Next が続けば first of all。

0489 □□□

He moved to Canada ＿＿＿＿ and never came back to Japan.

① for good　② for a while
③ for nothing　④ for sure

① for good 永久に；これを最後に

訳 彼はカナダへ永住するために移り、二度と日本には戻らなかった。

解説 「二度と戻らなかった」とあるので「永久に」の for good。for a while は「しばらくの間」で never came back と矛盾する。for nothing は「無料で・無駄に」、for sure は「確かに」。

区別 **for good ⇔ for the time being** for the time being は「当分の間（一時的）」で、for good（永久に）の反対。戻ってくる予定があれば for the time being。

0490 □□□

The museum is closed ＿＿＿＿ because of repairs, but it will open again next year.

① for good
② at all times
③ for the time being
④ for ever

③ for the time being 当分の間；さしあたり

訳 博物館は修理のため当分の間閉館しているが、来年また開館する。

解説 来年また開くので、閉館は一時的＝ for the time being。for good / for ever は「永久に」で、再開の予定と矛盾する。at all times は「いつも」で意味が合わない。

区別 **for the time being ⇔ for good** for the time being は一時的、for good は永久。後で再開・変更する予定があれば for the time being。

0491 □□□

My aunt lives nearby, and she comes to see us from ＿＿＿＿ to time.

① time　② times
③ day　④ one

① from time to time 時々

訳 おばは近くに住んでいて、時々私たちに会いに来る。

解説 「時々」は from time to time で、time は単数・無冠詞。times / day / one ではこの熟語にならない。from day to day は「日ごとに」で別の意味。

区別 **from time to time ⇔ time after time** time after time は「何度も・繰り返し」で頻度が高い。from time to time（時々）と形が似ているので混同しやすい。

0492 □□□

Even if the sun were ＿＿＿＿ rise in the west, I would never break my promise.

① for　② so
③ to　④ as

③ if S were to do 仮に…するとしたら

訳 仮に太陽が西から昇ることがあっても、私は決して約束を破らない。

解説 if S were to do で「仮に…するとしたら」。were の後ろに to 不定詞を置く形なので to が入る。主節の would never break と合う。for / so / as では were と rise をつなげない。

区別 **if S were to do ⇔ if S should do** if S should do は「万一…したら」で、可能性は低いがあり得ることに使い、主節は命令文や will でもよい。if S were to do は「（あり得ないが）仮に」で、主節は would などの過去形。

0493 ☐☐☐

Take an umbrella with you in case it ＿＿＿＿.

① will rain　② rained
③ rains　④ rain

③ in case ~ ～するといけないから；～の場合に備えて

訳 雨が降るといけないから、傘を持っていきなさい。

解説 in case 節は条件を表す副詞節なので、未来のことでも現在形 rains を使う。will rain は節の中では使わない。rained は時制が合わず、rain は三単現の s が抜けている。

区別 **in case ~ ⇔ in case of ~** in case of の後ろは名詞（in case of fire）、in case の後ろは S V。in case of は「～の場合には」で掲示の注意書きに多い。

0494 ☐☐☐

I'll wait for you ＿＿＿＿ the station.

① in the front of　② front of
③ in front of　④ on front of

③ in front of ~ ～の前に；～の正面に

訳 駅の前で待っているね。

解説 駅の「（外の）正面で」待つので in front of。in the front of は「駅の内部の前方」になり不自然。front of は in が抜けていて、on front of という形もない。

区別 **in front of ~ ⇔ in the front of ~** in front of は「（外側の）正面に」、in the front of は「（内部の）前の方に」。the の有無で外か中かが変わる。

0495 ☐☐☐

Studying every day may be hard now, but it will help you in the ＿＿＿＿ run.

① long　② short
③ last　④ final

① in the long run 長い目で見れば；結局は

訳 毎日勉強するのは今はつらいかもしれないが、長い目で見れば役に立つ。

解説 「今はつらいが、長い目で見れば役に立つ」なので in the long run。in the short run は「短期的には」で、now との対比にならない。last / final は run と組んでこの熟語にならない。

区別 **in the long run ⇔ in the end** in the end は「（いろいろあった後）最後には」と結果を述べる。in the long run は「長期的に見れば」と将来の見通し・評価を述べる。

0496 ☐☐☐

Can I call you back? I'm in the middle ＿＿＿＿ dinner.

① in　② at
③ for　④ of

④ in the middle of ~ ～の真ん中に；～の最中に

訳 かけ直してもいい？　今、夕食の最中なんだ。

解説 「～の最中で」は in the middle of ~ で、of を落とさない。in / at / for は middle の後ろでこの意味にならない。I'm in the middle of eating dinner. と動名詞も続けられる。

注意 「～の最中に」は時間。in the midst of ~ はやや硬い同意表現。be in the middle of ~ing（～している最中だ）も頻出。

0497 □□□

We arrived just in time _____ the start of the concert.

① for ② to
③ at ④ on

① in time 間に合って；やがて

訳 私たちはコンサートの開始にちょうど間に合った。

解説 「～に間に合って」は in time for ＋名詞。to を使うなら in time to see the start のように後ろは動詞の原形。at / on は in time と組んでこの意味にならない。

区別 **in time ⇔ on time** in time は「（期限・開始に）間に合って」、on time は「定刻どおりに」。後ろに for ~ / to do が続けば in time。

0498 □□□

_____ by little, the snow melted and spring came.

① Little ② A little
③ Few ④ Less

① little by little 少しずつ；徐々に

訳 少しずつ雪が解けて、春が来た。

解説 「少しずつ」は little by little で、冠詞なしの little を by でつなぐ。A little by a little という形はなく、few / less も使わない。step by step と同じ型。

注意 ＝ gradually ＝ by degrees ＝ step by step。↔ all at once。

0499 □□□

No matter _____ hard you try, you can't finish it in a day.

① what ② which
③ when ④ how

④ no matter what / how ~
たとえ何が（どんなに）～でも

訳 どんなに頑張っても、それを 1 日で終わらせることはできない。

解説 後ろに副詞 hard が続き「どんなに一生懸命やっても」なので how。程度を表す形容詞・副詞を直後に置けるのは how だけ。what / which / when の後ろに hard は置けない。

区別 **no matter what / how ~ ⇔ however ~** no matter how ＝ however（どんなに～でも）。この however は後ろに形容詞＋ S V が続く接続詞で、「しかし」の副詞とは働きが違う。

0500 □□□

A: I haven't finished my homework yet. B: I haven't, _____. Let's do it together.

① too ② neither
③ either ④ also

③ not ~ either ～もまた…ない

訳 A：まだ宿題が終わっていないんだ。 B：私も終わっていないよ。一緒にやろう。

解説 B の文は I haven't と否定なので、「私も～ない」は文末に either。too / also は肯定文で使う。neither は not と一緒に使わず、Neither have I. の形になる。

区別 **not ~ either ⇔ too** too は肯定文で「～も」、either は否定文で「～も（…ない）」。見分け方：文に not / never などの否定があれば either、なければ too。

0501 □□□

On _____ at the airport, he called his family.

① arrive　② arrived
③ to arrive　④ arriving

④ on ~ing ～するとすぐに；～と同時に

訳 空港に着くとすぐに、彼は家族に電話した。

解説 on は前置詞なので後ろは動名詞 arriving（＝ As soon as he arrived）。原形 arrive、過去形 arrived、to arrive は前置詞の後ろに置けない。

区別 **on ~ing ⇔ in ~ing** in ~ing は「～するときに・～する際に」（in crossing the street）。on ~ing は「～するとすぐ」。直後の反応なら on。

0502 □□□

A: I hear the test was easy. B: _____, it was the hardest test I've ever taken.

① On the other hand　② In addition
③ On the contrary　④ For example

③ on the contrary それどころか；反対に

訳 A：テストは簡単だったそうだね。 B：それどころか、今まで受けた中で一番難しいテストだったよ。

解説 「簡単だった」という相手の話を「とんでもない、一番難しかった」と打ち消しているので On the contrary。On the other hand は二つの面を並べるだけで打ち消さない。In addition は追加、For example は具体例。

区別 **on the contrary ⇔ on the other hand** on the other hand は二つの面を並べる（どちらも正しい）。on the contrary は前の内容を否定して逆を言う。相手の思い込みを打ち消すなら on the contrary。

0503 □□□

I met an old friend on my way _____.

① home　② to home
③ at home　④ for home

① on the way 途中で；近づいて

訳 帰る途中で昔の友達に会った。

解説 home は「家へ」という副詞なので、on one's way home と to を付けない。to home は誤り。at home は「家で」、for home も使わない。to school のように名詞なら to が必要。

区別 **on the way ⇔ in the way** on the way は「途中で・向かっている」、in the way は「邪魔になって」（Your bag is in the way.）。前置詞一つで意味が変わる。

0504 □□□

There were a few problems, but _____ the whole, the festival was a success.

① in　② on
③ at　④ as

② on the whole 全体として；概して

訳 いくつか問題はあったが、全体としては祭りは成功だった。

解説 「（細かい問題はあったが）全体として」は on the whole。as を使うなら as a whole で、the whole とは組まない。in the whole / at the whole という熟語もない。

区別 **on the whole ⇔ as a whole** as a whole は名詞の後ろで「全体としての～」（the country as a whole）。on the whole は文全体にかかる「概して」。

0505 □□□

Mika has two cats. One is white, and ＿＿＿＿ is black.

① another ② other
③ the other ④ others

③ one ~, the other ...
（2 つのうち）一方は～、もう一方は...

訳 ミカは猫を 2 匹飼っている。1 匹は白で、もう 1 匹は黒だ。

解説 2 匹のうち 1 匹（one）を言った後なので、残りは 1 匹に決まり the other。another は 3 つ以上の中の不特定の 1 つに使う。other は単独で代名詞にならず、others は複数で is と合わない。

区別 **one ~, the other ... ⇔ one ~, another ...** 2 つのうちの残りは the other（決まった 1 つ）、3 つ以上の中の別の 1 つは another（決まっていない）。見分け方：全体が 2 なら the other、3 以上で次の 1 つなら another。

0506 □□□

He studied hard for the entrance exam, ＿＿＿＿ to fail it.

① so ② as
③ in order ④ only

④ only to do （結局）...しただけだった

訳 彼は入試のために一生懸命勉強したが、結局落ちてしまった。

解説 only to do で「（～したが）結局...しただけだった」と残念な結果を表す。in order to だと「落ちるために勉強した」と目的になり意味が通らない。so to / as to fail という形もこの文では使えない。

区別 **only to do ⇔ in order to do** in order to do は「～するために」と目的を表す。only to do は「結局～しただけ」と結果を表す。見分け方：残念な結果が後に来るなら only to、狙いを言うなら in order to。

0507 □□□

The doctor told him to go to the hospital ＿＿＿＿ away.

① far ② just
③ right ④ soon

③ right away [off] すぐに；ただちに

訳 医者は彼に、すぐに病院へ行くように言った。

解説 right away で「すぐに」。far away は「遠く離れて」で、病院へ行くという文脈では「すぐに」の意味にならない。just away / soon away という言い方はない。right は away を強めて「まさに今すぐ」の意味にする。

区別 **right away [off] ⇔ right now** right now は「今すぐ」に加えて「ちょうど今・現在」の意味もある（I'm busy right now.）。right away は「（ある時点から）すぐに」で、過去の文にも自然に使える（She called right away.）。

0508 □□□

If you keep lying, people will find out the truth ＿＿＿＿.

① later or sooner ② soon or late
③ early or late ④ sooner or later

④ sooner or later 遅かれ早かれ；いずれ

訳 うそをつき続けていると、遅かれ早かれ人々に真実を知られてしまうよ。

解説 「遅かれ早かれ」は sooner or later で、比較級を sooner → later の順に並べる。日本語につられた later or sooner は誤り。soon or late / early or late という形もない。

注意 ＝ eventually ＝ in the end。日本語と語順が逆（sooner が先）なので整序問題で出る。

0509 □□□

In many countries, the elderly ＿＿＿＿ taken care of by their families.

① is　② being
③ has　④ are

④ the + 形容詞 （形容詞）の人々

訳 多くの国では、高齢者は家族によって世話をされている。

解説 the elderly は「高齢者たち（elderly people）」を表すので複数扱いで are。is は単数扱いで合わない。has では be taken care of の受け身の形にならない。being だけでは文の動詞にならない。

区別 **the + 形容詞 ⇔ the + 形容詞（抽象的なもの）** 人々を表す the rich は複数扱い、抽象的な事柄を表す the unknown / the beautiful は単数扱い。見分け方：人の集まりなら are、「〜なもの・こと」なら is。

0510 □□□

＿＿＿＿ my surprise, the shy boy won first prize in the speech contest.

① For　② At
③ To　④ With

③ to one's surprise （人が）驚いたことに

訳 驚いたことに、その内気な少年がスピーチコンテストで優勝した。

解説 「驚いたことに」は to one's surprise。to は「結果として〜に至る」で、出来事の結果自分が驚いたことを表す。for / at / with は my surprise の前でこの意味にならない。much to my surprise と強める形も出る。

区別 **to one's surprise ⇔ in surprise** to one's surprise は「（結果として）驚いたことに」と文全体への感想を述べる。in surprise は「驚いて」と動作の様子を表す（look up in surprise）。見分け方：文頭で後ろの出来事への感想なら to one's surprise、動作に付いて「驚いた様子で」なら in surprise。

0511 □□□

This hall can hold ＿＿＿＿ to 500 people.

① up　② down
③ as　④ by

① up to ~ 〜まで；〜次第で

訳 このホールは最大 500 人まで収容できる。

解説 「最大 500 人まで」と上限を示すのは up to ~。down to は「〜まで下がって」で収容人数の上限にならない。as / by は to と組んでこの意味を作らない。

注意 It's up to you.（君次第）は会話の定番。up to 100 people（最大100人）、be up to something（何かたくらむ）、be up to ~（〜に耐えられる）も出る。

0512 □□□

Tokyo is larger than any other ＿＿＿＿ in Japan.

① cities　② city
③ the city　④ a city

② 比較級 + than any other ~ 他のどの〜よりも…

訳 東京は日本の他のどの都市よりも大きい。

解説 比較級＋than any other ＋単数名詞で「他のどの〜よりも」。any other の後ろは冠詞なしの単数名詞なので city。cities は複数形なので不可。the city / a city は any other の後ろに冠詞を重ねることになり誤り。

区別 **比較級 + than any other ~ ⇔ the + 最上級 + in [of] ~** the 最上級 in 〜は最上級そのもの（the largest city in Japan）。比較級 than any other 〜は比較級で同じ内容を言う形。書き換え問題では、any other の後ろの名詞が単数になる点が狙われる。

0513 □□□

_____ are that it will rain tomorrow, so take an umbrella with you.

① Chance　② By chance
③ A chance　④ Chances

④ (The) chances are (that) S V　おそらく～だろう

訳 明日はおそらく雨だろうから、傘を持って行きなさい。

解説 「おそらく～だろう」は (The) chances are (that) S V。chance は「可能性」の意味で、この形では必ず複数形 chances（動詞も are）。Chance / A chance は単数で are と合わない。By chance は「偶然に」という副詞句で主語になれない。

区別 **(The) chances are (that) S V ⇔ by chance**　chances are は「可能性は～だ」→「おそらく」。by chance は「偶然に」で、可能性ではなく思いがけないことを表す。見分け方：are と S V が続けば chances are、動詞を修飾して「偶然」なら by chance。

0514 □□□

A large number of people _____ waiting in line when the shop opened.

① was　② is
③ has　④ were

④ a large number of ～　非常にたくさんの～

訳 店が開いたとき、たくさんの人が列に並んで待っていた。

解説 a large number of ～（たくさんの～）は後ろの people が実際の主語なので、複数扱いで were。was / is は単数で合わない。has では waiting と組んで進行形にならない。the number of ～（～の数）なら単数で受けるので区別する。

区別 **a large number of ～ ⇔ the number of ～**　a large number of ～ は「たくさんの～」で、主語は後ろの名詞（複数で受ける）。the number of ～ は「～の数」で、主語は number（単数で受ける）。見分け方：冠詞が a なら複数、the なら単数。

0515 □□□

_____ at once, the dog started barking loudly.

① Just　② All
③ Only　④ Ever

② all at once　突然；一斉に

訳 突然、犬が大きな声でほえ始めた。

解説 文頭で「突然」は All at once。Just at once / Only at once / Ever at once という熟語はない。all of a sudden / suddenly と言い換えられる。

区別 **all at once ⇔ at once**　at once は「すぐに・同時に」、all at once は「突然・一斉に」。all が付くと「突然」の意味が加わる。

0516 □□□

People from _____ over the world visit Kyoto.

① every　② all
③ whole　④ entire

② all over ～　～中で；～の至る所に

訳 世界中から人々が京都を訪れる。

解説 「世界中から」は from all over the world。every over / whole over / entire over という形はない。the whole world / the entire world なら over は付けない。

区別 **all over ～ ⇔ overall**　overall は 1 語で「全体の・全体的に」（overall cost）。all over は「～中で」と場所の広がりを表す。

0517 ☐☐☐

The test was anything but ＿＿＿＿; most students failed.

① difficult　② easy
③ hard　④ tough

② anything but ~ 決して～ない

訳 そのテストは決して簡単ではなかった。ほとんどの生徒が不合格だった。

解説 「ほとんどの生徒が落ちた」ので、テストは「決して簡単ではなかった」＝ anything but easy。difficult / hard / tough を入れると「決して難しくなかった」になり、後半と矛盾する。

区別 **anything but ~ ⇔ nothing but ~** nothing but は「～だけ」（＝ only）、anything but は「決して～ない」。but ＝ except と読めば、nothing「～以外は何もない」、anything「～以外なら何でも」と訳せる。

0518 ☐☐☐

It's raining hard. Let's wait here ＿＿＿＿ a while.

① for　② in
③ at　④ by

① for a while しばらくの間

訳 雨が激しく降っている。しばらくここで待とう。

解説 「しばらくの間待とう」は wait for a while。in a while は「まもなく」で wait と組むと意味が合わない。at a while / by a while という形はない。

区別 **for a while ⇔ after a while / once in a while** for a while は「しばらくの間（継続）」、after a while は「しばらくして（その後）」、once in a while は「時々（頻度）」。前置詞で意味が変わる。

0519 ☐☐☐

Children under six can enter the museum for ＿＿＿＿.

① freely　② free
③ freedom　④ no free

② for free 無料で；ただで

訳 6 歳未満の子どもは無料で博物館に入れる。

解説 「無料で」は for free。freely は「自由に」という副詞で for の後ろに置かない。freedom は「自由」で意味が違う。no free という形もない。free of charge とも言える。

区別 **for free ⇔ for nothing** for nothing は「無料で」のほか「無駄に」の意味もある（All my efforts were for nothing.）。for free は「無料で」だけ。

0520 ☐☐☐

It was not until he lost his health ＿＿＿＿ he realized its value.

① that　② when
③ which　④ what

① It is not until ~ that ... ～して初めて…する

訳 彼は健康を失って初めて、その価値に気づいた。

解説 It is not until ~ that ... は強調構文なので that。not until の中に時の意味があるので when を入れたくなるが、強調構文の形は It was ~ that。which / what も入らない。

区別 **It is not until ~ that ... ⇔ Not until ~ did S V** 文頭に Not until を出すと主節が倒置（Not until I got home did I notice it.）。It is ~ that の形なら that の後ろは普通の語順。

0521 □□□

_____ to say, you must not use your phone during the exam.

① Needless ② Useless
③ No need ④ Unnecessary

① needless to say 言うまでもなく

訳 言うまでもなく、試験中に携帯電話を使ってはいけない。

解説 「言うまでもなく」は Needless to say で、決まった形。Useless to say / Unnecessary to say は使わない。No need to say は口語で見られるが、独立不定詞の定型は Needless to say。

区別 **needless to say ⇔ not to mention ~** not to mention は後ろに名詞を置いて「～は言うまでもなく」。needless to say は単独で文頭に置き、後ろに文が続く。

0522 □□□

No sooner _____ home than it started to rain.

① I had got ② had I got
③ I got ④ did I get

② no sooner ~ than ... ～するとすぐに…

訳 私が家に着くとすぐに雨が降り出した。

解説 No sooner が文頭に出ると倒置になり、時制は過去完了なので had I got。I had got / I got は倒置していない。did I get は過去形の倒置で、no sooner の構文では had ＋ p.p. を使う。

区別 **no sooner ~ than ... ⇔ hardly ~ when ...** hardly / scarcely は when / before と組み、no sooner は than と組む。組み合わせを入れ替える誤りが正誤問題の定番。

0523 □□□

Expensive restaurants are _____ the best.

① never necessarily ② not necessary
③ no necessarily ④ not necessarily

④ not necessarily 必ずしも～ない

訳 高いレストランが必ずしも最高だとは限らない。

解説 「必ずしも最高とは限らない」は部分否定の not necessarily。not necessary は形容詞で「必要ない」になり意味が違う。never necessarily / no necessarily という形はない。

区別 **not necessarily ⇔ never / not at all** never / not at all は全否定（決して～ない）、not necessarily は部分否定（必ずしも～ではない＝そうでない場合もある）。

0524 □□□

She speaks English and French, not _____ mention Japanese.

① to ② for
③ with ④ as

① not to mention ~ ～は言うまでもなく

訳 彼女は日本語は言うまでもなく、英語とフランス語も話す。

解説 「～は言うまでもなく」は not to mention ~ で、独立不定詞なので to。for / with / as では不定詞にならない。to say nothing of Japanese とも言い換えられる。

区別 **not to mention ~ ⇔ let alone ~** let alone は否定文で「まして～など（できない）」。not to mention は主に肯定文で「～はもちろん」。前の文が否定なら let alone。

0525 □□□

I don't see him often, but he calls me now ＿＿＿＿ then.

① and　② or
③ but　④ to

① now and then 時々

訳 彼にはあまり会わないが、時々電話をくれる。

解説 「時々」は now and then で、and でつなぐ。now or then / now but then / now to then という熟語はない。every now and then とも言う。

区別 **now and then ⇔ now that ~** now that S V は「今や～なので」と理由を表す接続詞で、後ろに節が続く。now and then は単独で「時々」。

0526 □□□

＿＿＿＿ you've finished your homework, you can watch TV.

① Now and then　② Even if
③ Now that　④ Unless

③ now that ~ 今や～なので

訳 もう宿題が終わったのだから、テレビを見てもいいよ。

解説 「宿題が終わった今は（終わったので）」と理由を表すので Now that。Now and then は「時々」で節を続けられない。Even if は「たとえ～でも」、Unless は「～しない限り」で意味が合わない。

区別 **now that ~ ⇔ now and then** now and then は「時々」で単独で使う。now that は後ろに S V を続けて理由を表す。空所の後ろに節があれば now that。

0527 □□□

＿＿＿＿ average, students in this class study two hours a day.

① In　② On
③ At　④ By

② on average 平均して

訳 このクラスの生徒は平均して 1 日 2 時間勉強する。

解説 「平均して」は on average で、前置詞は on。in / at / by は average と組んでこの意味にならない。グラフ問題では on average の後ろの数字を正確に読み取る。

注意 グラフ・データの読み取り問題で頻出。above average（平均以上）/ below average。

0528 □□□

My little sister finished the puzzle on her ＿＿＿＿ without any help.

① own　② self
③ alone　④ only

① on one's own 一人で；独力で

訳 妹は誰の助けも借りずに、自分一人でパズルを完成させた。

解説 「独力で」は on one's own で、所有格 her の後ろに own を置く。on her self / on her alone / on her only という形はない。by herself と言い換えられる。

区別 **on one's own ⇔ of one's own** on one's own は「一人で・独力で」と動作の仕方を表す。of one's own は「自分自身の」と名詞を修飾する。

0529 ☐☐☐

There were quite a ———— people waiting outside the shop before it opened.

① little　② few
③ many　④ much

② quite a few [little] ~
かなりたくさんの～；かなり多くの～

訳 開店前、店の外ではかなりたくさんの人が待っていた。

解説 people は可算名詞の複数なので quite a few で「かなりたくさんの」。quite a little は不可算名詞に使う。quite a many / quite a much という形はない（many / much の前に a は付かない）。

区別 **quite a few [little] ~ ⇔ few / a few** few は「ほとんどない」と否定的、a few は「少しある」。quite a few は「かなり多い」。不可算名詞なら little / a little / quite a little と同じ関係。冠詞 a と quite の有無で意味が大きく変わる。

0530 ☐☐☐

It was ———— that we stayed home all day.

① so cold weather
② such a cold weather
③ such cold weather
④ so a cold weather

③ such ~ that ... とても～なので...

訳 とても寒い天気だったので、私たちは一日中家にいた。

解説 weather は不可算名詞なので a を付けず such cold weather。such a cold weather は冠詞が誤り。so は名詞を伴う形容詞を直接強められず、so cold weather / so a cold weather は不可。

区別 **such ~ that ... ⇔ so ~ that ...** so の後ろは形容詞・副詞、such の後ろは名詞（句）。such a nice day ＝ so nice a day と冠詞の位置が変わる。

0531 ☐☐☐

I was surprised by the fact ———— he had never seen the sea.

① that　② what
③ which　④ whether

① the fact that ...（同格の that） ...という事実

訳 彼が一度も海を見たことがないという事実に驚いた。

解説 後ろの he had never seen the sea は完全な文で、the fact の中身を説明しているので同格の that。which は後ろに名詞の抜けがある関係代名詞で、ここでは使えない。what は先行詞を含むので fact の後ろに置けない。whether は「～かどうか」で事実の内容を表さない。

区別 **the fact that ...（同格の that） ⇔ 関係代名詞の that** 関係代名詞の that は後ろの文に主語か目的語が欠けている（the fact that he told me＝彼が私に話した事実）。同格の that は後ろが完全な文（the fact that he is honest）。見分け方：that の後ろに名詞の抜けがあるかどうか。

0532 ☐☐☐

I agree with your opinion ———— some extent, but I don't think it is completely right.

① in　② at
③ to　④ on

③ to some extent ある程度；いくぶん

訳 ある程度はあなたの意見に賛成だが、完全に正しいとは思わない。

解説 「ある程度」は to some extent。程度・範囲の到達点を表す to を使う。in / at / on は extent と組んで「ある程度」の意味にならない。後半の but ~ が「部分的に賛成」という意味を裏づけている。

区別 **to some extent ⇔ to what extent** to some extent は「ある程度」と程度を答える側、to what extent は「どの程度まで」と程度を尋ねる疑問詞句（間接疑問にもなる）。見分け方：程度を問う疑問文・間接疑問なら what、答えとして程度を言うなら some。

0533 □□□

_____ the truth, I don't like this movie very much.

① To tell　② To say
③ To speak　④ To talk

① to tell the truth 実を言うと

訳 本当のことを言うと、この映画はあまり好きではない。

解説 「実を言うと」は To tell the truth。the truth を目的語にする動詞は tell で、say / speak / talk は使わない。to be honest と言い換えられる。

区別 **to tell the truth ⇔ say ~** 「本当のことを言う」は tell the truth で、say the truth とは普通言わない。うそも tell a lie。中身のある話（真実・うそ・物語）には tell。

0534 □□□

It took the firefighters five hours to bring the forest fire _____ control.

① under　② in
③ out of　④ over

① under control 制御されて；管理下にあって

訳 消防士たちが森林火災を鎮めるのに 5 時間かかった。

解説 bring A under control で「A を抑え込む」。消火に 5 時間かかったという文脈なので under。out of control は「制御できない」で bring と合わず意味も逆。in control は人が管理している側を言う形（be in control of ~）。over control という言い方はない。

区別 **under control ⇔ out of control** under control は「制御できている」、out of control は「制御できない・手に負えない」と正反対。見分け方：火事・感情・状況が収まった・落ち着いたなら under、暴走している・広がっているなら out of。

0535 □□□

Thanks to his parents' support, he is no longer what he _____ ten years ago.

① was　② is
③ has been　④ will be

① what ~ is 現在の～；今の～の姿

訳 両親の支えのおかげで、彼はもう 10 年前の彼ではない。

解説 ten years ago（10 年前）があるので「10 年前の彼」を表す what he was が正しい。is は今の姿で、ago と合わない。has been は現在完了で、ago のような過去の一時点を表す語とは使えない。will be は未来で合わない。

区別 **what ~ is ⇔ what ~ used to be** what S is は「現在の S」、what S was / used to be は「昔の S」。be 動詞の時制で「今」か「昔」かが決まる。見分け方：ten years ago など過去の時を表す語があれば was / used to be、today / now なら is。He is not what he was.（彼は昔の彼ではない）の形が頻出。

0536 □□□

He is _____ a walking dictionary.

① that is called　② what is called
③ which is called　④ what we called it

② what is called いわゆる

訳 彼はいわゆる生き字引だ。

解説 「いわゆる」は what is called。先行詞がないので関係代名詞 what を使い、that / which は使えない。what we call なら可だが、what we called it は it が余分で時制も合わない。

区別 **what is called ⇔ what we call** 能動の what we call と受け身の what is called は同じ意味。we / you / they を入れるなら call、入れないなら is called。

0537 ☐☐☐

I couldn't decide _____ to accept the job offer or not.

① whether ② that
③ if ④ what

① whether to do …すべきかどうか

訳 その仕事の申し出を受けるべきかどうか、決められなかった。

解説 後ろが to accept と to 不定詞なので whether（whether to do で「…すべきかどうか」）。if は to 不定詞を続けられない。that は「疑問詞＋ to do」の形を作らない。what は accept の目的語 the job offer がすでにあるので入らない。

区別 **whether to do ⇔ if S V** 「…かどうか」の if は後ろに S V を取るが、to 不定詞は取れない。whether はどちらも可。見分け方：空所の後ろが to do なら whether だけ、S V なら whether も if も可（ただし文頭の主語の位置や前置詞の後ろは whether）。

0538 ☐☐☐

She solved the difficult math problem with _____ and finished first.

① easy ② easily
③ easiness ④ ease

④ with ease 簡単に；楽々と

訳 彼女は難しい数学の問題を楽々と解き、一番に終えた。

解説 with ＋ 抽象名詞で副詞の働きをし、with ease は「楽々と」。with の後ろには名詞が必要で、慣用的に使う名詞は ease。easy は形容詞、easily は副詞で、前置詞の後ろに置けない。easiness は名詞だがこの決まった形では使わない。

区別 **with ease ⇔ at ease** with ease は「楽々と（～する）」と動作の様子を表す副詞句。at ease は「くつろいで・安心して」と人の状態（feel at ease / be at ease）。見分け方：何かを簡単にやってのけるなら with ease、気持ちが落ち着いている状態なら at ease。

0539 ☐☐☐

I would rather stay home than _____ out in this rain.

① going ② to go
③ go ④ went

③ would rather A than B Bするよりむしろ Aしたい

訳 こんな雨の中出かけるくらいなら、家にいたほうがいい。

解説 would rather A than B の A・B は動詞の原形でそろえるので go。going は prefer A to B の形と混ぜた誤り。to go / went も形がそろわない。

区別 **would rather A than B ⇔ prefer A to B** prefer は後ろが名詞・動名詞で to を使う（prefer staying home to going out）。would rather は原形と than。形を混ぜない。

確認テスト 4　前置詞句・構文｜日本語に合うように、空所に 1 語を書き込もう（答えは赤字）

0391 例えばコウモリのように、夜に活動する動物もいる。
Some animals, for **example** bats, are active at night.

0392 大雨にもかかわらず、私たちはハイキングに出かけた。
We went hiking in **spite** of the heavy rain.

0393 駅に着いたらすぐに電話して。
Call me as **soon** as you get to the station.

0394 一晩に少なくとも7時間は寝るべきだ。
You should sleep at **least** seven hours a night.

0395 試験は難しいと思っていた。実際は簡単だった。
I thought the test was hard. In **fact**, it was easy.

0396 バスに乗る代わりに、歩いて学校に行ったらどう？
Why don't you walk to school **instead** of taking the bus?

0397 彼女は頭がいいだけでなく、とても優しい。
She is not only smart but **also** very kind.

0398 天気予報によれば、明日は雪が降る。
According to the weather forecast, it will snow tomorrow.

0399 嵐のために野球の試合は中止になった。
The baseball game was canceled **because** of the storm.

0400 「手伝ってくれる？」「もちろん、喜んで」
"Can you help me?" "Of **course**, I'd be happy to."

0401 料理のこととなると、父は家族の誰よりも上手だ。
When it **comes** to cooking, my father is better than anyone in our family.

0402 彼女は始発に乗るために早起きした。
She got up early in **order** to catch the first train.

0403 この車は速い。一方で、ガソリンをたくさん使う。
This car is fast. On the **other** hand, it uses a lot of gas.

0404 インフルエンザで何人もの生徒が欠席した。
A **number** of students were absent because of the flu.

0405 その市場では世界中のさまざまな新鮮な果物を売っている。
The market sells a **variety** of fresh fruits from around the world.

0406 彼は勉強しなかった。その結果、試験に落ちた。
He didn't study. As a **result**, he failed the test.

0407 明日返してくれさえすれば、自転車を貸してあげる。
You can borrow my bike as **long** as you return it tomorrow.

0408 医者は彼にすぐ病院へ行くように言った。
The doctor told him to go to the hospital at **once** .

0409 彼はピアノだけでなくギターも弾く。
He plays the guitar as **well** as the piano.

0410 例えばサッカーなど、多くのスポーツが世界中で人気がある。
Many sports, for **instance** soccer, are popular worldwide.

0411 英語に加えて、彼女はフランス語と中国語を話す。
In **addition** to English, she speaks French and Chinese.

0412 彼はお金にとても慎重だ。つまり、けちなのだ。
He is very careful with money. In other **words** , he's stingy.

0413 私には、彼女が私たちに何か隠しているように思える。
It **seems** to me that she is hiding something from us.

0414 彼はもうこの町に住んでいない。
He no **longer** lives in this town.

0415 彼の冗談が全く分からなかった。
I didn't understand his joke at **all** .

0416 雪にもかかわらず、列車は時間どおりに着いた。
The train arrived on **time** despite the snow.

0417 みんなに聞こえるようにもっと大きな声で話して。
Speak louder **so** that everyone can hear you.

0418 今朝バスに乗り遅れた。だから学校に遅刻したんだ。
I missed the bus this morning. That is **why** I was late for school.

0419 このコーヒーは熱すぎて飲めない。
This coffee is **too** hot to drink.

0420 先生が面接について役に立つ助言を１つくれた。
My teacher gave me a useful **piece** of advice about the interview.

0421 そんなに彼に厳しくしないで。何しろまだ5歳なんだから。
Don't be so hard on him. **After** all, he is only five.

0422 洪水の結果、多くの家が壊れた。
Many houses were destroyed as a **result** of the flood.

0423 最初は納豆が好きではなかったが、今は大好きだ。
At **first** I didn't like natto, but now I love it.

0424 ついに長い冬が終わった。
At **last**, the long winter came to an end.

0425 ところで、宿題は終わったの？
By the **way**, have you finished your homework?

0426 その 2 人の女の子は幼稚園のときからの知り合いだ。
The two girls have known each **other** since kindergarten.

0427 紅茶かコーヒーのどちらかを選べます。
You can have **either** tea or coffee.

0428 たとえ明日雨が降っても、私は行く。
I'll go even **if** it rains tomorrow.

0429 彼女は風邪をひいていたのに学校に行った。
She went to school even **though** she had a cold.

0430 一般に、日本の電車はとても時間に正確だ。
In **general**, Japanese trains are very punctual.

0431 彼が勉強せずにその試験に受かったのは驚きだ。
It is surprising **that** he passed the exam without studying.

0432 父も母も泳げない。
Neither my father **nor** my mother can swim.

0433 彼はわざと窓を割ったに違いない。
I'm sure he broke the window on **purpose**.

0434 その箱はとても重かったので持ち上げられなかった。
The box was **so** heavy that I couldn't lift it.

0435 旅行に参加したい人は、金曜日までに申し込んでください。
Those who want to join the trip should sign up by Friday.

0436 急がないとバスに乗り遅れるよ。
You'll miss the bus **unless** you hurry.

0437 冬が近づくにつれて、ますます寒くなっている。
It is getting colder **and** colder as winter comes closer.

0438 遅くとも来週の金曜日までに作文を提出してください。
Please hand in your essay **by** next Friday at the latest.

0439 近頃は多くの若者がスマートフォンでニュースを読む。
Many young people read news on their phones these **days**.

0440 彼は一人暮らしができる年齢だ。
He is old **enough** to live alone.

0441 私の知る限りでは、彼はまだカナダにいる。
As ___far___ as I know, he is still in Canada.

0442 彼はまるで何でも知っているかのように話す。
He talks as ___if___ he knew everything.

0443 彼は厳しいが、同時にとても優しい。
He is strict, but at the ___same___ time he is very kind.

0444 空港で偶然昔の先生に会った。
I met my old teacher by ___chance___ at the airport.

0445 その試験は決して簡単ではなかった。
The exam was by ___no___ means easy.

0446 妹はもう一人で自転車に乗れる。
My little sister can now ride a bike by ___herself___ .

0447 10歳のときに初めて雪を見た。
I saw snow for the ___first___ time when I was ten.

0448 これからは毎朝 6 時に起きるつもりだ。
From now ___on___ , I will get up at six every morning.

0449 もっと早く家を出ていたら、電車に間に合っただろうに。
If I ___had___ left home earlier, I would have caught the train.

0450 万一ブラウンさんに会ったら、私に電話するように伝えてください。
If you ___should___ see Mr. Brown, please tell him to call me.

0451 その仕事は給料がいい。その上、家から近い。
The job pays well. In ___addition___ , it's close to my home.

0452 チケットは十分前もって予約したほうがよい。
You should book the tickets well in ___advance___ .

0453 果物が大好きで、特にイチゴが好きだ。
I love fruit, and strawberries in ___particular___ .

0454 要するに、もっと時間とお金が必要だということだ。
In ___short___ , we need more time and more money.

0455 価格の点では、このスマートフォンが一番の選択だ。
In ___terms___ of price, this smartphone is the best choice.

0456 結局、私たちは家にいることにした。
In the ___end___ , we decided to stay at home.

0457 将来は外国で働きたい。
I want to work in a foreign country in the ___future___ .

0458 大事なのはお金ではなく健康だ。
What matters is not money ___but___ health.

0459 彼はジャンクフードしか食べない。
He eats ___nothing___ but junk food.

0460 年を取ったら、健康ほど大切なものはない。
___Nothing___ is as important as good health when you get older.

0461 健康ほど大切なものはないので、十分に睡眠をとりなさい。
___Nothing___ is more important than your health, so get enough sleep.

0462 私の町では、かなり多くの人が英語を上手に話す。
Quite a ___few___ people in my town speak English well.

0463 バスに乗るよりむしろ歩く方がいい。
I prefer to walk ___rather___ than take the bus.

0464 今までのところ、すべて順調だ。
So ___far___, everything has gone well.

0465 私はハイキングやキャンプのような野外スポーツが好きだ。
I like outdoor sports ___such___ as hiking and camping.

0466 あなたの助言のおかげで、入学試験に合格した。
___Thanks___ to your advice, I passed the entrance exam.

0467 練習すればするほど上手になる。
The more you practice, the ___better___ you will play.

0468 私たちの学校の生徒数は毎年増えている。
The ___number___ of students in our school is growing every year.

0469 驚いたことに、弟が家族全員の夕食を作ってくれた。
To my ___surprise___, my little brother cooked dinner for the whole family.

0470 これからは毎朝 6 時に起きるつもりだ。
From now ___on___, I will get up at six every morning.

0471 確かにその計画は費用がかかるが、時間の節約になるだろう。
It is ___true___ that the plan is expensive, but it will save time.

0472 急がなくていいよ。電車が出るまで時間はたっぷりある。
Don't hurry. We have ___plenty___ of time before the train leaves.

0473 気分が悪くなったら、すぐ先生に言いなさい。
If you feel sick, tell your teacher ___right___ away.

0474 徹夜したの？そんなに疲れて見えるのも無理はないね。
You stayed up all night? No ___wonder___ you look so tired.

0475 2、3分で戻るので、ここで待っていてください。
I'll be back in a **couple** of minutes, so please wait here.

0476 彼女は新しいパソコンに大金を使った。
She spent a great **deal** of money on her new computer.

0477 何よりも、人に親切にしなさい。
Above all, be kind to other people.

0478 突然、猫が車の前に飛び出してきた。
All of a **sudden**, a cat jumped out in front of the car.

0479 できるだけ早く返事をください。
Please reply as soon as **possible**.

0480 実は、海外に行ったことが一度もないんだ。
As a **matter** of fact, I've never been abroad.

0481 私はと言えば、今週末は家にいたい。
As **for** me, I'd rather stay home this weekend.

0482 いつものように、父は朝食のとき新聞を読んでいた。
As **usual**, my father was reading the newspaper at breakfast.

0483 まもなく赤ちゃんは眠った。
Before **long**, the baby fell asleep.

0484 この本は面白くて役に立つ。
This book is **both** interesting and useful.

0485 誤って大事なファイルを消してしまった。
I deleted the important file by **accident**.

0486 私たちが駅に着くまでに、列車は出てしまっていた。
By the **time** we got to the station, the train had left.

0487 1問を除けば、テストは簡単だった。
Except for one question, the test was easy.

0488 まず最初に、自己紹介をさせてください。
First of all, let me introduce myself.

0489 彼は故郷を永久に去った。
He left his hometown for **good**.

0490 当分の間はうちにいていいよ。
You can stay at my place for the time **being**.

0491 私は時々祖父母を訪ねる。
I visit my grandparents **from** time to time.

0492 もし宝くじに当たったら、まず何を買いますか。
If you **were** to win the lottery, what would you buy first?

0493 雨が降るといけないから傘を持っていきなさい。
Take an umbrella in **case** it rains.

0494 10時に駅の前で会おう。
Let's meet in **front** of the station at ten.

0495 定期的な運動は長い目で見ればお金の節約になる。
Regular exercise will save you money in the long **run** .

0496 授業の最中に私の電話が鳴った。
My phone rang in the **middle** of the lesson.

0497 コンサートにちょうど間に合った。
We arrived just in **time** for the concert.

0498 少しずつ、彼女の英語は上達した。
Little **by** little, her English got better.

0499 どんなに頑張っても、この問題が解けない。
No **matter** how hard I try, I can't solve this problem.

0500 私はコーヒーが好きではないし、姉も好きではない。
I don't like coffee, and my sister doesn't like it **either** .

0501 駅に着くとすぐに、彼女は母親に電話した。
On **arriving** at the station, she called her mother.

0502 その映画は退屈ではなかった。それどころか、わくわくした。
The movie wasn't boring. On the **contrary** , it was exciting.

0503 帰る途中でパンを買った。
I bought some bread on the **way** home.

0504 全体として、試験の結果には満足している。
On the **whole** , I'm satisfied with my test results.

0505 猫を 2 匹飼っていて、1 匹は白、もう 1 匹は真っ黒だ。
I have two cats; one is white, and the **other** is completely black.

0506 駅へ急いだが、結局電車はもう出てしまっていた。
I rushed to the station, **only** to find that the train had already left.

0507 その知らせを聞くと、彼女はすぐに母親に電話した。
When she heard the news, she called her mother right **away** .

0508 遅かれ早かれ、彼女に本当のことを言わなければならない。
Sooner or **later** , you will have to tell her the truth.

0509 政府は貧しい人々やお年寄りを助けるために、もっと手を尽くすべきだ。
The government should do more to help the **poor** and the elderly.

0510 驚いたことに、内気な友達がスピーチコンテストで優勝した。
To my **surprise**, my shy friend won the speech contest.

0511 行くかどうかは君次第だ。
Whether you go or not is **up** to you.

0512 富士山は日本の他のどの山よりも高い。
Mt. Fuji is higher than any **other** mountain in Japan.

0513 おそらく嵐のせいで試合は中止になるだろう。
Chances are that the game will be canceled because of the storm.

0514 毎年春に、非常に多くの観光客がこの寺を訪れる。
A large **number** of tourists visit this temple every spring.

0515 突然、明かりが消えた。
All at **once**, the lights went out.

0516 この歌は世界中で人気がある。
This song is popular all **over** the world.

0517 その試験は決して簡単ではなかった。
The test was **anything** but easy.

0518 しばらく休憩しよう。
Let's take a break for a **while**.

0519 6歳未満の子どもは無料でバスに乗れる。
Children under six can ride the bus for **free**.

0520 日本に来て初めてアニメについて知った。
It was not **until** I came to Japan that I learned about anime.

0521 言うまでもなく、試験中は電話を使ってはいけない。
Needless to say, you can't use your phone during the test.

0522 寝たとたんに電話が鳴った。
No **sooner** had I gone to bed than the phone rang.

0523 高い食べ物が必ずしもおいしいとは限らない。
Expensive food is not **necessarily** delicious.

0524 彼女は英語は言うまでもなく、フランス語とドイツ語も話す。
She speaks French and German, not to **mention** English.

0525 今でも時々昔の同級生から連絡がある。
I still hear from my old classmates now and **then**.

0526 もう18歳なのだから、運転免許が取れる。
Now that you are eighteen, you can get a driver's license.

0527 平均して、生徒は一晩に約7時間寝る。
On **average**, students sleep about seven hours a night.

0528 彼女は18歳から一人暮らしをしている。
She has lived on her **own** since she was eighteen.

0529 雨にもかかわらず、かなりたくさんの人が祭りに来た。
Quite a **few** people came to the festival despite the rain.

0530 とても天気のいい日だったので、私たちは海へ行った。
It was **such** a nice day that we went to the beach.

0531 睡眠が健康に大切だという事実を無視する人は多い。
Many people ignore the **fact** that sleep is important for health.

0532 あなたの意見にある程度は賛成だが、全面的にではない。
I agree with your opinion to some **extent**, but not entirely.

0533 実を言うと、お寿司はあまり好きではない。
To tell the **truth**, I don't like sushi very much.

0534 2日後、消防士たちはついに火事を鎮めた。
After two days, the firefighters finally brought the fire **under** control.

0535 今の私があるのは祖母のおかげだ。
My grandmother made me **what** I am today.

0536 彼はいわゆる叩き上げの人だ。
He is what is **called** a self-made man.

0537 留学するか日本に残るか、私は決められない。
I can't decide **whether** to study abroad or stay in Japan.

0538 彼女はその難しい数学の問題を5分で楽々と解いた。
She solved the difficult math problem with **ease** in five minutes.

0539 この雨の中出かけるより、むしろ家にいたい。
I would **rather** stay home than go out in this rain.

CHAPTER 5

会話文で出るイディオム

Feel free to ~. / Beats me. / I'm all ears. など、会話文問題で問われる決まり文句。
No.0540〜0643（104 問）

問題

0540 □□□

A: Do you mind if I sit here? B: _____ Please go ahead.

① Yes, I do.　② Yes, please.
③ Not at all.　④ That's right.

解答・解説（赤シートで隠せます）

③ Do you mind if I ~? ～してもかまいませんか

訳 A：ここに座ってもかまいませんか。　B：全然かまいませんよ。どうぞ。

解説 「ここに座ったら嫌ですか」と聞かれているので、承諾は「全然嫌ではない」＝ Not at all.。Yes, I do. と Yes, please. は「嫌です」になり、後ろの Please go ahead.（どうぞ）と矛盾する。That's right. も質問に合わない。

区別 **Do you mind if I ~? ⇔ Would you mind ~ing?** Do you mind if I ~ は「私が～してもいい？」（許可）、Would you mind ~ing は「あなたが～してくれませんか」（依頼）。見分け方：その動作をするのが自分なら if I、相手なら ~ing。

0541 □□□

A: The new manager is really strict, isn't he? B: _____ He made me rewrite my report three times.

① Never mind.
② Could you say that again?
③ I don't think so.
④ You can say that again.

④ You can say that again.
まったくその通りだ；本当にそうだね

訳 A：新しい部長は本当に厳しいよね。　B：全くそのとおり。レポートを 3 回も書き直させられたよ。

解説 B は報告書を 3 回書き直させられたと続けているので、強い同意の You can say that again.。Could you say that again? は聞き返し、I don't think so. は反対で後ろと矛盾する。Never mind. は謝罪への返事や話の取り下げに使う。

区別 **You can say that again. ⇔ Could you say that again?** Could you say that again? は聞き取れなかったときの「もう一度言ってください」。You can say that again. は同意。見分け方：You can ~ のピリオド（感嘆）なら同意、Could you ~? の疑問文なら聞き返し。

0542 □□□

A: Would you mind _____ the music down a little? B: Not at all. Sorry about that.

① to turn　② turn
③ turning　④ for turning

③ Would you mind ~ing? ～していただけませんか

訳 A：音楽の音量を少し下げてもらえませんか。　B：いいですよ。すみませんでした。

解説 mind は動名詞を目的語に取るので turning。to turn / turn は形が誤り、for turning も mind の後ろに置けない。B の Not at all.（全然嫌ではない）は承諾の返事で、Sorry about that. からも相手に頼まれたことが分かる。

区別 **Would you mind ~ing? ⇔ Would you mind if I ~?** ~ing は「あなたが～する」依頼、if I ~ は「私が～する」許可。if 節は過去形が丁寧（Would you mind if I opened ~?）。見分け方：動作をする人が相手か自分か。

0543 □□□

A: Thank you so much for showing me around the city. B: ＿＿＿＿ I enjoyed it, too.

① Welcome to the city.
② You're kidding.
③ You're welcome.
④ Same to you.

③ You're welcome. どういたしまして

訳 A：市内を案内してくれて本当にありがとう。 B：どういたしまして。私も楽しかったです。

解説 お礼への返事なので You're welcome.。Welcome to the city. は来た人を迎える「ようこそ」で、案内し終えた場面に合わない。You're kidding. は「冗談でしょ」、Same to you. は「あなたもね」と相手の祝福・あいさつを返す表現で、お礼への返事ではない。

区別 **You're welcome. ⇔ Welcome to ~!** Welcome (to Japan)! は来た人を迎える「ようこそ」。You're welcome. は感謝への返事。見分け方：直前に Thank you があれば You're welcome。

0544 □□□

A: These cookies look delicious! B: Thanks, I baked them myself. Please help ＿＿＿＿ to as many as you like.

① you ② yourself
③ your ④ by yourself

② Help yourself (to ~).
（～を）ご自由に取って食べて［使って］ください

訳 A：このクッキー、おいしそう！ B：ありがとう、自分で焼いたの。好きなだけ自由に取って食べてね。

解説 Help yourself to ~ で「～を自由に取って食べて」。命令文の隠れた主語は you なので再帰代名詞 yourself を使う。you / your は形が誤り。by yourself は「一人で」で、help と組んでも「自由に取って」にならない。

区別 **Help yourself (to ~). ⇔ Make yourself at home.** Make yourself at home. は「くつろいでね」と家での振る舞い全体を言う。Help yourself は「（料理・物を）自由に取って」。見分け方：食べ物・物が話題なら Help yourself。

0545 □□□

A: Could you pass me the salt, please? B: Sure. ＿＿＿＿

① Here we are. ② Go ahead.
③ You're welcome. ④ Here you are.

④ Here you are. はい、どうぞ

訳 A：塩を取ってもらえますか。 B：いいですよ。はい、どうぞ。

解説 塩を手渡す場面なので Here you are.。Here we are. は目的地に着いたとき、Go ahead. は「どうぞ（やって）」と許可するときの言葉。You're welcome. はお礼への返事で、頼まれた直後には言わない。

区別 **Here you are. ⇔ Here we are.** Here we are. は「さあ着いたよ」と目的地に着いたことを言う。Here you are. は手渡し。見分け方：物の受け渡しなら you、到着なら we。

0546 □□□

A: I think we should spend more time outside instead of looking at our phones. B: ＿＿＿＿ Let's go for a walk after lunch.

① I couldn't agree more.
② I couldn't care less.
③ I don't think so.
④ That's not the point.

① I couldn't agree more. 大賛成だ；まったく同感だ

訳 A：スマホを見る代わりに、もっと外で過ごすべきだと思う。 B：大賛成だよ。昼ご飯の後に散歩に行こう。

解説 B は「昼食後に散歩しよう」と続けているので強い同意の I couldn't agree more.。I couldn't care less. は「どうでもいい」、I don't think so. は反対、That's not the point. は「論点はそこではない」で、どれも後ろの提案とつながらない。

区別 **I couldn't agree more. ⇔ I couldn't care less.** I couldn't care less. は「これ以上少なく気にすることはできない」＝全然気にしない・どうでもいい。agree more は最大の賛成、care less は無関心。見分け方：動詞と more / less の組み合わせ。

0547 □□□

A: I failed my driving test again today. B: ＿＿＿＿ You'll do better next time.

① I'm glad to hear that.
② Congratulations!
③ I'm sorry to hear that.
④ It's on me.

③ I'm sorry to hear that.
それはお気の毒に；それは残念ですね

訳 A：今日また運転免許の試験に落ちちゃった。 B：それは残念だったね。次はもっとうまくいくよ。

解説 試験に落ちたという悪い知らせへの返事なので I'm sorry to hear that.。I'm glad to hear that. と Congratulations! はよい知らせへの返事。It's on me. は「私のおごり」で場面に合わない。後ろの励ましの言葉ともつながる。

区別 **I'm sorry to hear that. ⇔ I'm glad to hear that.** よい知らせへの「それはよかった」。見分け方：直前の内容が悪ければ sorry、よければ glad。どちらも to hear は感情の原因を表す不定詞。

0548 □□□

A: Sorry, I forgot to bring the book you lent me. B: ＿＿＿＿ You can give it back next week.

① Never mind.
② You're welcome.
③ Don't mention it.
④ Here you are.

① Never mind. 気にしないで；何でもない

訳 A：ごめん、借りた本を持ってくるのを忘れちゃった。 B：気にしないで。来週返してくれればいいよ。

解説 謝罪への返事なので Never mind.（気にしないで）。You're welcome. と Don't mention it. はお礼への「どういたしまして」で、謝られた場面では使わない。Here you are. は物を渡すときの言葉。

区別 **Never mind. ⇔ Don't mention it.** Don't mention it. はお礼への「どういたしまして」。Never mind. は謝罪への「気にしないで」や話の取り下げ。見分け方：直前が Thank you なら Don't mention it、Sorry なら Never mind。

0549 □□□

A: Hello, may I speak to Mr. Tanaka?
B: I'm sorry, he's in a meeting right now. ＿＿＿＿

① Can I take a message?
② May I speak to him?
③ Can I leave a message?
④ This is Tanaka speaking.

① Can I take a message? 伝言を承りましょうか

訳 A：もしもし、田中さんをお願いできますか。 B：申し訳ありませんが、ただ今会議中です。伝言を承りましょうか。

解説 B は電話を受けた側で、田中さんが不在だと伝えたので Can I take a message?（伝言を承りましょうか）。leave a message は電話をかけた A が言う表現。May I speak to him? も A の言葉で、This is Tanaka speaking. は不在と矛盾する。

区別 **Can I take a message? ⇔ Can I leave a message?** take は受ける側（伝言を受け取る）、leave はかけた側（伝言を残す）。見分け方：話し手が電話をかけた人なら leave、出た人なら take。

0550 □□□

A: How about meeting at the station at ten? B: ＿＿＿＿ See you then.

① Sounds good.
② I'm afraid not.
③ No way!
④ Sounds like good.

① Sounds good. いいね；それでいこう

訳 A：10 時に駅で会うのはどう？ B：いいね。じゃあそのときに。

解説 提案に賛成して See you then. と続けているので Sounds good.。good は形容詞なので like を挟む Sounds like good. は誤り（名詞なら Sounds like a plan.）。I'm afraid not. と No way! は断る表現で後ろと矛盾する。

区別 **Sounds good. ⇔ Sounds like ~** sound の後ろが形容詞なら sounds good、名詞なら sounds like fun / a good idea と like が要る。見分け方：後ろが名詞なら like。

0551 □□□

A: I've had a headache since this morning. B: ＿＿＿＿ go home and get some rest?

① How about
② Why don't we
③ What do you say to
④ Why don't you

④ Why don't you ~? ～したらどう？

訳 A：今朝から頭が痛いんだ。 B：家に帰って休んだらどう？

解説 頭痛のある A だけに帰宅を勧めているので Why don't you。後ろが原形 go なので How about（~ing が必要）、What do you say to（~ing が必要）は形が合わない。Why don't we だと B も一緒に帰ることになり不自然。

区別 **Why don't you ~? ⇔ Why don't we ~?** you は相手だけ（助言）、we は自分も含む（一緒に～しよう）。見分け方：話し手も一緒にするなら we。

0552 □□□

A: Would you ＿＿＿＿ me a favor?
B: Sure. What is it?

① do
② make
③ ask
④ give

① Would you do me a favor? お願いがあるのですが

訳 A：お願いがあるんだけど。 B：いいよ。何？

解説 主語が相手（you）なので do A a favor で「A の頼みを聞く」。ask を使うなら May I ask you a favor? のように主語は頼む側の自分になる。make / give は favor と組んでこの意味にならない。

区別 **Would you do me a favor? ⇔ May I ask you a favor?** do は「（相手が）親切を行う」、ask は「（自分が）お願いを頼む」。do me a favor / ask you a favor（ask a favor of you）。見分け方：主語が相手なら do、自分なら ask。

0553 ☐☐☐

A: Thank you for lending me your umbrella yesterday. B: ———— I had an extra one.

① Never mind.
② Don't mention it.
③ I'm sorry to hear that.
④ Same here.

② Don't mention it.
どういたしまして；礼には及びません

訳 A：昨日は傘を貸してくれてありがとう。 B：どういたしまして。予備があったからね。

解説 お礼への返事なので Don't mention it.。Never mind. は謝罪への返事や話を取り下げるときの言葉。I'm sorry to hear that. は悪い知らせへの同情、Same here. は「私も同じ」で、どれもお礼に合わない。

区別 **Don't mention it.** ⇔ **Never mind.** Never mind. は謝罪への「気にしないで」や話の取り下げ。Don't mention it. はお礼への返事。見分け方：直前が Thank you なら Don't mention it、Sorry なら Never mind。

0554 ☐☐☐

A: This is your room. ———— use the kitchen whenever you like. B: Thank you very much.

① Feel free
② Feel free to
③ Free to feel
④ Feel freely to

② Feel free to ~. 遠慮なく～してください

訳 A：ここがあなたの部屋です。台所はいつでも自由に使ってくださいね。 B：本当にありがとうございます。

解説 Feel free to do で「遠慮なく～して」。後ろが原形 use なので to が必要で、Feel free だけでは use とつながらない。free は feel の補語になる形容詞なので副詞 freely は不可。Free to feel は語順が誤り。

区別 **Feel free to ~.** ⇔ **be free from ~** be free from / of ~ は「～がない・～を免れている」（free from stress / free of charge）。Feel free to do は「遠慮なく～して」。見分け方：to do が続けば遠慮なく、from / of ＋名詞なら「～がない」。

0555 ☐☐☐

A: Do you want to go to the movies or stay home tonight? B: I don't mind either. It's ———— you.

① up for
② depend on
③ up to
④ for

③ It's up to you. あなた次第だ；あなたが決めて

訳 A：今夜は映画に行きたい？ それとも家にいたい？ B：どっちでもいいよ。あなた次第だよ。

解説 「どちらでもいい、あなたが決めて」なので It's up to you.。It's depend on は be 動詞と動詞が並んで誤り（It depends on you. なら可）。up for は「～に乗り気だ」、for you は「あなたのため」で意味が合わない。

区別 **It's up to you.** ⇔ **It depends.** It depends. は「状況・条件による」、It's up to you. は「あなたが決めて」。見分け方：決めるのが相手なら up to you、天気など条件次第なら depends。

0556 □□□

A: I'm going to climb Mt. Fuji in sandals. B: ＿＿＿＿ That's too dangerous!

① By the way.
② You can say that again.
③ Of course.
④ No way!

④ No way! まさか！；絶対嫌だ！

訳 A：サンダルで富士山に登るつもりなんだ。 B：ありえない！危なすぎるよ！

解説 サンダルで富士山に登るという話に「危なすぎる」と返しているので、驚き・反対の No way!。By the way は話題を変える言葉、Of course. は賛成、You can say that again. は強い同意で、どれも後ろと矛盾する。

区別 **No way! ⇔ in no way** in no way は書き言葉で「決して～ない」。文頭に出ると倒置（In no way am I responsible.）。No way! は会話の一言。見分け方：文の一部で否定副詞として働けば in no way。

0557 □□□

A: Shall we have lunch together tomorrow? B: ＿＿＿＿ I'll meet you in front of the library at noon.

① Why?
② No way!
③ Why not?
④ I'm afraid not.

③ Why not? いいね、そうしよう；どうしていけないの？

訳 A：明日一緒にお昼を食べない？ B：いいね。正午に図書館の前で会おう。

解説 誘いを受けて会う場所と時間を決めているので、承諾の Why not?（いいね）。Why? は理由を聞くだけで承諾にならない。No way! と I'm afraid not. は断る表現で、後ろの約束と矛盾する。

区別 **Why not? ⇔ Why?** 肯定文の理由を聞くなら Why?、否定文の理由を聞くなら Why not?。誘いへの承諾は Why not? だけ。見分け方：直前に not があるか、誘いかどうか。

0558 □□□

A: Hello, is Mary there? B: Yes, she is. ＿＿＿＿ I'll get her.

① Hang up, please.
② Take your time.
③ Here you are.
④ Hold on a second.

④ Hold on a second.
ちょっと待って；（電話を）切らずにお待ちください

訳 A：もしもし、メアリーはいますか。 B：はい、いますよ。少々お待ちください。呼んできます。

解説 電話でメアリーを呼んでくるので「切らずにちょっと待って」の Hold on a second.。Hang up は「電話を切って」で正反対。Take your time. は「急がなくていい」、Here you are. は物を渡す言葉で場面に合わない。

区別 **Hold on a second. ⇔ hold on to ~** to ＋物が付くと「～にしがみつく・手放さない」（Hold on to the rope.）。見分け方：後ろに to ＋物があれば「つかむ」。

0559 □□□

＿＿＿＿ you didn't tell me about the party?

① Why
② What for
③ How come
④ How about

③ How come ~? どうして～なの？

訳 どうしてパーティーのことを教えてくれなかったの？

解説 空所の後ろが you didn't tell ~ と平叙文の語順なので How come。Why なら Why didn't you tell ~? と倒置が必要。What for は文末に置く「何のために」、How about は提案で後ろに名詞か ~ing が来る。

区別 **How come ~? ⇔ Why ~?** Why は疑問文の語順（Why are you late?）、How come は平叙文の語順（How come you are late?）。見分け方：空所の後ろが S V の順なら How come。

0560 □□□

A: Hi, Tom! Long time no see. B: Hi, Lisa! ———— How have you been?

① See you later.
② Nice to meet you.
③ Yes, it's been ages.
④ Take care.

③ Long time no see. 久しぶり

訳 A：やあ、トム！　久しぶり。　B：やあ、リサ！　本当に久しぶりだね。元気だった？

解説 久しぶりのあいさつに「本当に久しぶりだね」と応じる Yes, it's been ages.。See you later. と Take care. は別れ際の言葉。Nice to meet you. は初対面のあいさつなので、以前から知っている相手には使わない。

区別 **Long time no see.** ⇔ **See you.** See you (later). は別れ際の「またね」。Long time no see. は再会したときのあいさつ。見分け方：会った瞬間なら Long time no see、別れるときなら See you。

0561 □□□

A: I can't eat raw fish. B: ———— I always order cooked dishes at sushi restaurants.

① Me neither.　② So can I.
③ Neither do I.　④ Me too.

① Me neither. 私も（～ない）

訳 A：私、生の魚は食べられないんだ。　B：私も。寿司屋ではいつも火の通った料理を頼むよ。

解説 A は否定文（can't）なので同意は Me neither.。Me too. と So can I. は肯定文への同意。Neither do I. は助動詞が直前の can と合わない（Neither can I. なら正しい）。B の後ろの内容も生魚を食べないことを示している。

区別 **Me neither.** ⇔ **Me too.** Me too. は肯定文への同意。Me neither. は否定文への同意。見分け方：直前の文に not / never / can't があれば neither。

0562 □□□

A: The meeting has been moved to Room 305. B: ———— Which room did you say?

① You're welcome.
② I beg your pardon?
③ Never mind.
④ That's too bad.

② I beg your pardon?
もう一度おっしゃっていただけますか

訳 A：会議は 305 号室に変更になりました。　B：すみません、もう一度言っていただけますか。何号室とおっしゃいましたか。

解説 B は Which room did you say? と聞き返しているので、聞き取れなかったときの I beg your pardon?。You're welcome. はお礼への返事、Never mind. は「気にしないで」、That's too bad. は同情で、どれも後ろの聞き返しとつながらない。

区別 **I beg your pardon?** ⇔ **Excuse me.** Excuse me. は話しかける・前を通るときの「すみません」が中心。pardon は主に聞き返し。見分け方：相手の言葉が聞き取れなかった直後なら I beg your pardon?。

0563 □□□

A: Would you like to come to the concert with us on Saturday? B: ＿＿＿＿, but I have to work that day.

① I'd love　② I love to
③ I'd love it　④ I'd love to

④ I'd love to, but ~. ぜひそうしたいのですが〜

訳 A：土曜日に私たちと一緒にコンサートに行かない？　B：ぜひ行きたいんだけど、その日は仕事なんだ。

解説 Would you like to come ~? への返事なので I'd love to（come の省略）。to を残すのが代不定詞の決まり。I'd love だけでは目的語がなく不完全。I love to は「いつも好んでする」で誘いへの答えにならない。I'd love it は物事への感想で、誘いの答えとしては不自然。

区別 **I'd love to, but ~. ⇔ I'd love to.**（承諾）　but が付かなければ「ぜひ」と承諾。but ＋理由が続けば断り。見分け方：後ろに but があるか。

0564 □□□

A: Is there a bank near here? B: ＿＿＿＿ The nearest one is about two kilometers away.

① I'm afraid so.　② Of course.
③ I'm afraid not.　④ Sure.

③ I'm afraid not.
残念ながらそうではありません；あいにくですが

訳 A：この近くに銀行はありますか。　B：あいにくありません。一番近い銀行は 2 キロほど先です。

解説 一番近い銀行が 2 キロ先なので「近くにはない」＝ I'm afraid not.。I'm afraid so. / Of course. / Sure. はどれも「ある」と肯定になり、後ろの内容と矛盾する。not が否定の内容を代わりに受けている。

区別 **I'm afraid not. ⇔ I'm afraid so.**　so は肯定（残念ながらそうです）、not は否定（残念ながら違います）。見分け方：答えの中身が Yes か No か。

0565 □□□

A: May I help you? B: ＿＿＿＿ I'm looking for a birthday present for my mother.

① Yes, please.　② No, thank you.
③ You're welcome.　④ Here you are.

① May I help you? いらっしゃいませ；何かお探しですか

訳 A：何かお探しですか。　B：はい、お願いします。母への誕生日プレゼントを探しているんです。

解説 B は探している物を伝えているので、手伝いを受ける Yes, please.。No, thank you. は断りで、後ろの内容と合わない（I'm just looking. が続くのが普通）。You're welcome. はお礼への返事、Here you are. は物を渡す言葉。

区別 **May I help you? ⇔ Can I give you a hand?**　Can I give you a hand? は重い荷物などを見て「手伝いましょうか」と具体的な手助けを申し出る。May I help you? は店や受付の決まり文句。見分け方：店員の第一声なら May I help you?。

0566 □□□

A: Sorry, I can't decide what to order yet. B: That's OK. ＿＿＿＿

① Take your time.　② Help yourself.
③ Hurry up.　④ Here you are.

① Take your time.　ごゆっくりどうぞ；急がなくていいよ

訳 A：ごめん、まだ何を注文するか決められないんだ。　B：大丈夫だよ。ゆっくりどうぞ。

解説 注文を決められない相手に「大丈夫」と言っているので、急がなくていいの Take your time.。Hurry up. は正反対の「急いで」。Help yourself. は料理を勧める言葉、Here you are. は物を渡す言葉で場面に合わない。

区別 **Take your time. ⇔ Take it easy.** Take it easy. は「落ち着いて・気楽にね・じゃあね」。Take your time. は「時間をかけていいよ」。見分け方：急がせない場面なら Take your time、緊張・怒りを和らげるなら Take it easy。

0567 □□□

A: The picnic was canceled because of the rain. B: ＿＿＿＿ We were looking forward to it.

① Shame on you!　② How nice!
③ What a shame!　④ Same here.

③ What a shame!　それは残念！

訳 A：雨のせいでピクニックが中止になったよ。　B：それは残念！　楽しみにしていたのに。

解説 ピクニックが中止になった残念な知らせなので What a shame!。Shame on you! は相手を責める言葉で、雨のせいの中止には合わない。How nice! はよい知らせへの反応、Same here. は「私も同じ」で場面に合わない。

区別 **What a shame! ⇔ Shame on you!** Shame on you! は「恥を知れ・みっともない」と相手を責める表現。What a shame! は残念。見分け方：on you が付けば非難。

0568 □□□

A: Excuse me. Could you ＿＿＿＿ me the way to the city hall? B: Sure. Go straight for two blocks.

① teach　② tell
③ say　④ speak

② Could you tell me the way to ~?
～への道を教えていただけますか

訳 A：すみません。市役所へ行く道を教えていただけますか。　B：いいですよ。2 ブロックまっすぐ行ってください。

解説 道を口で教えるのは tell A the way。teach は知識・技能を教えるときで道案内には使わない。say / speak は人を目的語にして tell A B の形を作れない。

区別 **Could you tell me the way to ~? ⇔ teach / show** teach は知識・技能を教えるときで道案内には使わない。道は tell（口で）か show（地図・案内で）。見分け方：道を聞く文に teach が入っていたら誤り。

0569 □□□

A: Can you buy some milk? B: Sure. I'll get some on my way ＿＿＿＿.

① to home　② home
③ at home　④ for home

② I'm on my way. 今向かっています

訳 A：牛乳を買ってきてくれる？　B：いいよ。帰る途中で買ってくるね。

解説 home は「家へ」という副詞なので、前置詞を付けず on my way home。to home は誤り（to school / to the station なら to が要る）。at home は「家で」、for home も合わない。

区別 **I'm on my way. ⇔ in the way / by the way** in the way は「邪魔になって」、by the way は「ところで」、on my way は「途中で・向かって」。見分け方：前置詞で意味が変わるので、移動中なら on。

0570 □□□

A: I'm sorry, but Ms. Sato is not at her desk right now. B: I see. ＿＿＿＿

① Can I take a message?
② May I leave a message?
③ Who's calling, please?
④ Hold on, please.

② May I leave a message? 伝言をお願いできますか

訳 A：申し訳ありませんが、佐藤はただ今席を外しております。B：分かりました。伝言をお願いできますか。

解説 B は電話をかけた側で、相手の不在を聞いたので May I leave a message?。Can I take a message? と Who's calling, please? は電話に出た A の側が言う表現。Hold on, please. も取り次ぐ側の言葉。

区別 **May I leave a message? ⇔ Can I take a message?** leave はかけた側（伝言を残す）、take は電話に出た側（伝言を受ける）。見分け方：話し手が電話をかけた人なら leave。

0571 □□□

A: Thank you for the wonderful dinner. B: ＿＿＿＿ I'm glad you enjoyed it.

① My pleasure.　② Help yourself.
③ With pleasure.　④ Same to you.

① My pleasure. どういたしまして；こちらこそ

訳 A：すてきな夕食をありがとう。　B：どういたしまして。喜んでもらえてうれしいです。

解説 お礼への返事なので My pleasure.。With pleasure. は依頼を引き受けるときの「喜んで」。Help yourself. は料理を勧める言葉で、食事の後のお礼には合わない。Same to you. は相手の祝福を返す言葉。

区別 **My pleasure. ⇔ With pleasure.** With pleasure. は依頼に「喜んで（やります）」。My pleasure. はお礼への返事。見分け方：Could you ~? への返事なら With pleasure、Thank you への返事なら My pleasure。

0572 □□□

A: Could you lend me your notebook until tomorrow? B: ＿＿＿＿ Here it is.

① No way!　② No problem.
③ I'm afraid not.　④ Never mind.

② No problem. いいですよ；どういたしまして

訳 A：明日までノートを貸してくれない？　B：いいよ。はい、どうぞ。

解説 Here it is.（はい、どうぞ）とノートを渡しているので、承諾の No problem.。No way! と I'm afraid not. は断る表現で後ろと矛盾する。Never mind. は「気にしないで」で依頼への返事にならない。

区別 **No problem. ⇔ No way!** No way! は拒否「絶対嫌だ」や驚き。No problem. は承諾。見分け方：引き受けるなら No problem、断るなら No way。

0573 □□□

A: Do you mind waiting a few minutes? B: ＿＿＿＿ I'm not in a hurry.

① Yes, I do.　② Of course.
③ I'm afraid so.　④ Of course not.

④ Of course not.
もちろんかまいません；もちろん違います

訳 A：数分待っていただいてもかまいませんか。　B：もちろんかまいません。急いでいませんから。

解説 「待つのは嫌ですか」と聞かれ、「急いでいない」と続けているので、承諾は「嫌ではない」の Of course not.。Yes, I do. / Of course. / I'm afraid so. は「嫌だ」の意味になり、後ろの内容と矛盾する。

区別 **Of course not.** ⇔ **Of course.** Can I ~? への承諾は Of course.、Do you mind ~? への承諾は Of course not.。見分け方：質問に mind があるかどうか。

0574 □□□

A: I'm so nervous about the exam tomorrow. B: ＿＿＿＿ I couldn't sleep at all last night.

① Same to you.
② Congratulations!
③ You're welcome.
④ Same here.

④ Same here.　私も同じだ；こっちもだよ

訳 A：明日の試験、すごく緊張するよ。　B：私も同じ。昨夜は全然眠れなかった。

解説 B も眠れなかったほど緊張しているので「私も同じ」の Same here.。Same to you. は祝福やあいさつを返すときに使う。Congratulations! は達成を祝う言葉、You're welcome. はお礼への返事で場面に合わない。

区別 **Same here.** ⇔ **Same to you.** Same to you. は相手の祝福・あいさつを「あなたもね」と返す（Have a nice weekend! — Same to you.）。Same here. は自分も同じ状態。見分け方：願いの言葉への返事なら Same to you。

0575 □□□

A: I lost my ticket for tonight's concert. B: ＿＿＿＿ Can you buy another one?

① That's great.　② I'm ashamed.
③ That's a shame.　④ Shame on you.

③ That's a shame.　それは残念だ

訳 A：今夜のコンサートのチケットをなくしちゃった。　B：それは残念。もう 1 枚買える？

解説 チケットをなくした相手に同情しているので That's a shame.（それは残念）。That's great. はよい知らせへの反応。I'm ashamed. は「（自分が）恥ずかしい」、Shame on you. は相手を責める言葉で、同情にならない。

区別 **That's a shame.** ⇔ **be ashamed of ~** ashamed は「恥ずかしい・恥じている」（I'm ashamed of myself）。a shame は「残念なこと」。見分け方：a shame なら残念、ashamed なら恥。

0576 □□□

A: I caught a cold and can't go on the school trip. B: ＿＿＿＿ I hope you get well soon.

① That's too much.
② Sounds good.
③ I'm glad to hear that.
④ That's too bad.

④ That's too bad. それはお気の毒に；残念だね

訳 A：風邪をひいて修学旅行に行けないんだ。 B：それはお気の毒に。早く良くなるといいね。

解説 風邪で修学旅行に行けないという悪い知らせへの同情なので That's too bad.。That's too much. は「多すぎる」、Sounds good. は提案への賛成、I'm glad to hear that. はよい知らせへの返事で、どれも合わない。

区別 **That's too bad. ⇔ That's too much.** That's too much. は「多すぎる・やりすぎだ・高すぎる」。too bad は同情の決まり文句。見分け方：悪い知らせへの返事なら too bad。

0577 □□□

A: ＿＿＿＿ do you think of the new library? B: I love it. It's bright and quiet.

① What ② Which
③ How ④ Why

① What do you think of ~? ～をどう思いますか

訳 A：新しい図書館をどう思う？ B：大好き。明るくて静かだから。

解説 think の目的語（考えの中身）を聞くので What。日本語の「どう思う」につられて How を選ぶのは典型的な誤り（How は feel と組む）。Which は選択肢がある場合、Why は理由を聞く疑問詞。

区別 **What do you think of ~? ⇔ How do you feel about ~?** how は feel と組み、think は what と組む。見分け方：動詞が think なら What、feel なら How。

0578 □□□

A: Hey, Mike! What's up? B: ＿＿＿＿ Just studying for the test.

① Not much. ② Yes, it is.
③ I'm up. ④ Up to you.

① What's up? どうしたの？；元気？

訳 A：やあ、マイク！ 元気？ B：別に変わりないよ。テスト勉強をしているだけ。

解説 What's up? へのあいさつの返事は Not much.（特に何も）が定番で、後ろの「テスト勉強しているだけ」とつながる。I'm up. は「起きている」、Yes, it is. は Yes / No 疑問文への答え、Up to you. は「あなた次第」で合わない。

区別 **What's up? ⇔ What's wrong? / What's the matter?** What's wrong? / What's the matter? は明らかに困っている相手への「どうしたの？」。What's up? はあいさつにもなる軽い表現。見分け方：返事が Not much. なら What's up?。

0579 □□□

A: I heard Ken got a perfect score on the exam. B: _____ He never studies!

① I'm just kidding. ② Same here.
③ You're kidding! ④ Never mind.

③ You're kidding! 冗談でしょ！；まさか！

訳 A：ケンが試験で満点を取ったんだって。 B：まさか！ 彼は全然勉強しないのに！

解説 「勉強しないのに満点」と信じられない気持ちを表すので You're kidding!。I'm just kidding. は自分の言葉が冗談だったと明かす表現で、話を聞いた B の反応ではない。Same here. / Never mind. も合わない。

区別 **You're kidding! ⇔ I'm just kidding.** I'm just kidding. は言った本人が「冗談だよ」と明かす表現。You're kidding! は聞いた側の驚き。見分け方：主語が I なら自分の冗談、You なら相手の話への驚き。

0580 □□□

A: Those boxes look heavy. Can I give you a _____? B: Thanks. That would be great.

① help ② hand
③ favor ④ arm

② Can I give you a hand? 手伝いましょうか

訳 A：その箱、重そうだね。手伝おうか？ B：ありがとう。助かるよ。

解説 give A a hand で「A に手を貸す」。help は不可算で a help とは普通言わず、give you a help の形にならない。favor は do A a favor（頼みを聞く）で give とは組まない。arm も決まった表現ではない。

区別 **Can I give you a hand? ⇔ Can you give me a hand?** 主語と目的語が入れ替わると「手伝ってくれる？」という依頼。見分け方：I が手伝うなら申し出、you が手伝うなら依頼。

0581 □□□

A: I passed the entrance exam! B: _____ You worked really hard.

① Congratulations!
② Happy birthday!
③ Good luck!
④ Congratulation!

① Congratulations (on ~)! （～）おめでとう

訳 A：入試に合格したよ！ B：おめでとう！ 本当に頑張ったもんね。

解説 合格という達成を祝うので Congratulations!。s のない Congratulation! は誤り。Happy birthday! は誕生日のあいさつ、Good luck! はこれから挑戦する人への言葉で、合格した後には合わない。

区別 **Congratulations (on ~)! ⇔ Happy ~!** 毎年来る誕生日・祝日は Happy ~!。Congratulations は合格・結婚・優勝などの達成・出来事。見分け方：記念日なら Happy、成し遂げたことなら Congratulations。

0582 □□□

A: I've been studying every night, but my grades aren't getting better. B: ＿＿＿＿ Your hard work will pay off soon.

① Congratulations!
② Keep the change.
③ You can say that again.
④ Hang in there.

④ Hang in there. 頑張って；踏ん張れ

訳 A：毎晩勉強しているのに、成績が上がらないんだ。 B：頑張って。努力はもうすぐ報われるよ。

解説 努力しても成績が上がらずつらい最中の人への励ましなので Hang in there.。Congratulations! は達成を祝う言葉、Keep the change. は「おつりはとっておいて」、You can say that again. は強い同意で、励ましにならない。

区別 **Hang in there. ⇔ Good luck! / Break a leg!** これから挑戦する人への「頑張って」。Hang in there は今つらい最中の人への励まし。見分け方：困難が続いている最中なら Hang in there、本番前なら Good luck。

0583 □□□

A: Do you know where Tom went? B: ＿＿＿＿ He didn't tell me anything.

① I have an idea.
② I have no idea.
③ I see.
④ That's a good idea.

② I have no idea. 全然分からない

訳 A：トムがどこに行ったか知ってる？ B：全然分からない。何も言っていなかったよ。

解説 トムから何も聞いていないので「全く分からない」の I have no idea.。I have an idea. は「考えがある」、That's a good idea. は提案への賛成、I see. は「なるほど」で、居場所を知らないという答えにならない。

区別 **I have no idea. ⇔ That's a good idea.** idea は「考え・案」の意味では That's a good idea.（いい考えだ）。no idea は「見当・心当たり」がない。見分け方：分からないと答えるなら no idea、提案に賛成するなら good idea。

0584 □□□

A: Hi, Jim. Do you have a minute? B: Sorry, I'm driving right now. I'll call you ＿＿＿＿ in ten minutes.

① off ② on
③ back ④ out

③ I'll call you back. 折り返し電話します

訳 A：やあ、ジム。ちょっと時間ある？ B：ごめん、今運転中なんだ。10 分後にかけ直すね。

解説 今は話せないので「後でかけ直す」の call you back。call off は「中止する」、call on は「訪問する」、call out は「大声で呼ぶ」で、どれも電話をかけ直す意味にならない。

区別 **I'll call you back. ⇔ call off** call off は「中止する」（call off the game）。call back は「電話をかけ直す」。見分け方：電話の場面で「後で」なら back。

0585 □□□

A: Can I help you find something? B: No, thank you. I'm just ＿＿＿＿.

① looking for ② looking
③ seeing ④ watching

② I'm just looking. 見ているだけです

訳 A：何かお探しでしたらお手伝いしましょうか。 B：いいえ、結構です。見ているだけです。

解説 店員の申し出を断って「見ているだけ」と言うのは I'm just looking.。looking for は後ろに探す物が必要。seeing は「見える」、watching は動く物をじっと見るときに使い、店で商品を見る場面には合わない。

区別 **I'm just looking. ⇔ I'm looking for ~.** for ＋品物が付くと「～を探しています」。見分け方：just だけなら見ているだけ、for があれば探している。

0586 ☐☐☐

A: Can you fix my bike? B: Sure. ＿＿＿＿ It'll take only five minutes.

① It's not my cup of tea.
② It's on me.
③ It can't be helped.
④ It's a piece of cake.

④ It's a piece of cake. 朝飯前だ；楽勝だ

訳 A：自転車を直せる？　B：もちろん。そんなの朝飯前だよ。5分しかかからない。

解説 5分で終わると言っているので「楽勝だ」の It's a piece of cake.。It's not my cup of tea. は「好みではない」、It's on me. は「私のおごり」、It can't be helped. は「仕方がない」で、どれも引き受ける返事にならない。

区別 **It's a piece of cake. ⇔ not one's cup of tea** not my cup of tea は「好みではない」。a piece of cake は「簡単」。どちらも食べ物・飲み物の比喩なので会話問題で並べられる。見分け方：難しさの話なら piece of cake、好みの話なら cup of tea。

0587 ☐☐☐

A: May I ask a favor ＿＿＿＿ you? B: Of course. What can I do for you?

① of　② for
③ to　④ from

① May I ask you a favor? お願いしてもいいですか

訳 A：お願いがあるのですが。　B：もちろんです。何をしましょうか。

解説 ask a favor of A で「A にお願いをする」。人を後ろに回すと of を使う（ask a question of A と同じ）。to / for / from は使わない。ask you a favor と人を前に置けば前置詞は要らない。

区別 **May I ask you a favor? ⇔ ask a favor of A** 人を favor の後ろに置くときは of（× ask a favor to you）。見分け方：favor の後ろに人があれば of。

0588 ☐☐☐

A: I went to bed late last night. B: ＿＿＿＿ I was watching a soccer game.

① So do I.　② So I did.
③ So did I.　④ Neither did I.

③ So do I. 私もそうだ

訳 A：昨夜は遅く寝たんだ。　B：私もだよ。サッカーの試合を見ていたんだ。

解説 A は過去形の肯定文（went）なので、同意は So did I.。So do I. は時制が合わない。So I did. は普通の語順で「確かにそうした」になり「私も」の意味にならない。Neither did I. は否定文への同意。

区別 **So do I. ⇔ So I do.** 語順が普通（So ＋主語＋助動詞）だと「確かに（言われたとおり）私はそうだ」と事実を認める表現。見分け方：倒置なら「私も」、普通の語順なら「確かに」。

0589 ☐☐☐

A: I'm sorry I broke your cup. B: ＿＿＿＿ It was an old one.

① That's all right.　② You're welcome.
③ That's right.　④ Here you are.

① That's all right. 大丈夫だよ；気にしないで

訳 A：カップを割ってごめんなさい。　B：いいんですよ。古いものでしたから。

解説 謝罪に「大丈夫、古いカップだったから」と返しているので That's all right.。That's right. は「その通り」で、割ったことを認めて責めるように聞こえる。You're welcome. はお礼への返事、Here you are. は物を渡す言葉。

区別 **That's all right. ⇔ That's right.** That's right. は「その通り（正しい）」。all が入ると「大丈夫・問題ない」。見分け方：謝罪・お礼への返事なら all right、内容が正しいと認めるなら right。

0590 □□□

A: What's the matter ＿＿＿＿ your arm? B: I hurt it playing basketball.

① to　② for
③ on　④ with

④ What's the matter (with you)? どうしたの？

訳 A：腕をどうしたの？　B：バスケットボールをしていて痛めたんだ。

解説 What's the matter with ~? で「～はどうしたの？」と具合の悪い部分を with で示す。to / for / on はこの表現では使わない。What's wrong with ~? / Something is wrong with ~ も同じ with。

区別 **What's the matter (with you)? ⇔ It doesn't matter.** It doesn't matter. の matter は動詞で「重要である」→「どうでもいい・問題ない」。What's the matter? の matter は名詞で「困ったこと」。見分け方：the が付けば名詞。

0591 □□□

A: The train leaves from platform 14. B: Sorry, ＿＿＿＿ I didn't hear the number.

① could you say that again?
② could you talk again?
③ you can say that again.
④ that makes sense.

① Could you say that again?
もう一度言っていただけますか

訳 A：列車は 14 番線から出ます。　B：すみません、もう一度言っていただけますか。番号が聞き取れなかったんです。

解説 番号が聞こえなかったので聞き返す could you say that again?。you can say that again. は強い同意で、聞こえなかったことと矛盾する。talk again は「また話す」で聞き返しにならない。that makes sense. は「なるほど」。

区別 **Could you say that again? ⇔ You can say that again.** You can say that again. は強い同意。Could you say that again? は聞き返し。見分け方：Could you ~? の疑問文なら依頼、You can ~ の平叙文なら同意。

0592 □□□

A: I'm sorry I couldn't come to your party. B: ＿＿＿＿ We can meet another time.

① Don't mention it.
② You're welcome.
③ I'm sorry to hear that.
④ Don't worry about it.

④ Don't worry about it. 気にしないで

訳 A：パーティーに行けなくてごめんね。　B：気にしないで。また別のときに会えるから。

解説 謝罪への返事で「また会えるよ」と続けているので Don't worry about it.。Don't mention it. / You're welcome. はお礼への返事。I'm sorry to hear that. は相手の悪い知らせへの同情で、謝られたときの返事ではない。

区別 **Don't worry about it. ⇔ Don't mention it.** Don't mention it. はお礼への返事、Don't worry about it. は謝罪や心配への返事。見分け方：直前が Sorry なら worry、Thank you なら mention。

0593 □□□

A: Remember to call me as soon as you arrive at the airport. B: ＿＿＿＿ I'll call you right away.

① Get out.　② I got lost.
③ Go ahead.　④ Got it.

④ Got it. 分かった；了解

訳 A：空港に着いたらすぐに電話するのを忘れないでね。　B：分かった。すぐに電話するよ。

解説 指示を受けて「すぐ電話する」と答えているので、了解の Got it.。Get out. は「出て行け」、I got lost. は「道に迷った」、Go ahead. は「どうぞ」と許可する言葉で、指示への返事にならない。

区別 **Got it. ⇔ I don't get it.** get は「理解する」。I don't get it. は「分からない」で、Got it. の反対。見分け方：not があれば理解できていない。

0594 □□□

A: Excuse me. How can I get _____ the museum? B: Take the No. 5 bus and get off at the third stop.

① to　② in
③ for　④ at

① How can I get to ~? ～へはどう行けばいいですか

訳 A：すみません。博物館へはどう行けばいいですか。　B：5番のバスに乗って、三つ目の停留所で降りてください。

解説 get to ＋場所で「～に着く」なので to。at は arrive at、in は arrive in の前置詞で get とは組まない。for も合わない。the museum は名詞なので to が必要（there / here なら不要）。

区別 **How can I get to ~? ⇔ reach / arrive at** reach は他動詞で前置詞なし（reach the station）、arrive は at / in、get は to。見分け方：前置詞なしで場所が続けば reach。

0595 □□□

A: How do you like your new school? B: _____

① With milk, please.
② I like it very much.
③ It's mine.
④ By bus.

② How do you like ~?
～はどうですか（気に入りましたか）

訳 A：新しい学校はどう？　B：とても気に入っているよ。

解説 新しい学校の感想を聞かれているので I like it very much.。With milk, please. はコーヒーの好みを聞く How would you like ~? への答え、By bus. は How do you go to ~? への答え。It's mine. は持ち主を答える文。

区別 **How do you like ~? ⇔ How would you like ~?** would があると「どのように～してほしいか」（調理法・支払い方法）。do なら感想。見分け方：答えが Medium, please. / By card. なら would。

0596 □□□

A: The shop is closed today because it's a national holiday. B: Oh, _____ I'll come back tomorrow.

① let me see.　② see you.
③ I'm seeing.　④ I see.

④ I see. なるほど；分かりました

訳 A：今日は祝日なので、店は休みです。　B：ああ、そうなんですね。明日また来ます。

解説 休みの理由を聞いて「なるほど、明日また来る」と納得しているので I see.。let me see は考える間をとる「ええと」、see you は別れのあいさつ。I'm seeing は進行形で「付き合っている・会う予定」の意味になり、あいづちにならない。

区別 **I see. ⇔ Let me see.** Let me see. は「ええと・そうですね」と考える間をとる言葉。I see. は理解。見分け方：答えを考えている最中なら Let me see。

0597 □□□

A: This jacket is on sale for 50 dollars. B: Great. _____ Do you take credit cards?

① I'll take it.
② Take it easy.
③ I'm just looking.
④ I'll think about it.

① I'll take it. これをください；これにします

訳 A：このジャケットはセールで 50 ドルです。　B：いいですね。これをください。クレジットカードは使えますか。

解説 安くなっていて、カードで払えるか聞いているので、購入を決める I'll take it.。I'll think about it. と I'm just looking. は買わないときの言葉で、支払いの質問と矛盾する。Take it easy. は「気楽にね」。

区別 **I'll take it. ⇔ I'll think about it.** I'll think about it. は「考えておきます」で、買わないときの遠回しな断りにもなる。I'll take it. は購入の決定。見分け方：その場で買うなら take。

0598 □□□

A: Do we have to finish all this homework by tomorrow? B: ＿＿＿＿ We'd better start now.

① I'm afraid not.　② I'm afraid so.
③ No way.　④ I hope not.

② I'm afraid so. 残念ながらそうです

訳 A：この宿題、全部明日までに終わらせなきゃいけないの？ B：残念ながらそうだよ。今から始めたほうがいいね。

解説 「今すぐ始めたほうがいい」と続けているので、明日までに終える必要がある＝残念ながらそうだ、の I'm afraid so.。I'm afraid not. / I hope not. / No way. はどれも「終えなくてよい」側の答えで、後ろと矛盾する。

区別 **I'm afraid so. ⇔ I'm afraid not.** so は肯定、not は否定。見分け方：答えの中身が Yes なら so、No なら not。

0599 □□□

A: I've lost five kilograms since I started jogging. B: That's great! ＿＿＿＿

① Hang up!　② Give it up!
③ Keep it up!　④ Take it back!

③ Keep it up. その調子で頑張って

訳 A：ジョギングを始めてから 5 キロやせたよ。 B：すごい！その調子で頑張って！

解説 ジョギングで成果が出ている人をほめているので「その調子で」の Keep it up!。Hang up! は「電話を切って」、Give it up! は「やめなさい」で正反対、Take it back! は「取り消して」で場面に合わない。

区別 **Keep it up. ⇔ Hang in there.** Hang in there. はつらい最中の人への「踏ん張れ」。Keep it up. は好調な人への「その調子」。見分け方：うまくいっている話なら Keep it up。

0600 □□□

A: I'm going to miss you after you move to Osaka. B: Me, too. Let's ＿＿＿＿ in touch.

① keep　② take
③ have　④ make

① Let's keep in touch. 連絡を取り合おうね

訳 A：あなたが大阪に引っ越したら寂しくなるよ。 B：私も。これからも連絡を取り合おうね。

解説 別れ際に「連絡を取り合おう」と継続を言うので keep in touch。make / take / have は in touch と組んでこの意味にならない。始まりなら get in touch、途切れるなら lose touch。

区別 **Let's keep in touch. ⇔ get in touch** get in touch は「（これから一度）連絡を取る」。別れ際の「今後もずっと」は keep。見分け方：連絡の継続なら keep、始まりなら get。

0601 □□□

A: Thank you for inviting me. B: You're welcome. Please come in and make yourself ＿＿＿＿ home.

① in　② to
③ at　④ on

③ Make yourself at home. どうぞくつろいでください

訳 A：お招きいただきありがとうございます。 B：どういたしまして。どうぞ入って、楽にしてください。

解説 Make yourself at home. で「くつろいでね」。at home は「家にいるように（くつろいで）」という決まった言い方で、in / to / on は使わない。make A ＋補語の第 5 文型で、at home が補語。

区別 **Make yourself at home. ⇔ Help yourself.** Help yourself (to ~). は料理・物を「自由に取って」。Make yourself at home. は家全体で「くつろいで」。見分け方：食べ物が話題なら Help yourself。

0602 □□□

A: Hello. May I speak to Ms. Green, please? B: ＿＿＿＿ Who's calling, please?

① I'm speaking.　② Yes, you may.
③ I'm Green.　④ Speaking.

④ May I speak to ~?　（電話で）～さんをお願いします

訳 A：もしもし。グリーンさんをお願いできますか。　B：私です。どちら様でしょうか。

解説 本人が電話に出て「私です」と答えるときは Speaking.。I'm speaking. は「今話している最中だ」、Yes, you may. は許可を与えるだけで本人であることを伝えない。I'm Green. は電話の名乗り方として不自然（This is she. なら可）。

区別 **May I speak to ~? ⇔ This is ~ speaking.**　This is ~ speaking. は自分が名乗る表現、May I speak to ~? は相手を呼んでもらう表現。見分け方：電話口に出してもらいたい相手の名前が続くなら speak to。

0603 □□□

A: Hello. ＿＿＿＿ Mary speaking. B: Hi, Mary. It's Tom.

① This is　② Here is
③ It's me　④ I am

① This is ~ speaking.　（電話で）こちらは～です

訳 A：もしもし。こちらはメアリーです。　B：やあ、メアリー。トムだよ。

解説 電話で名乗るときは This is ~ speaking.。I am Mary speaking. は電話の決まった言い方ではない。Here is は「ここに～がある」、It's me は名前と speaking が続かない。B の It's Tom. も電話での名乗り方。

区別 **This is ~ speaking. ⇔ I'm ~.**　I'm ~. は対面の自己紹介。電話では this is ~。見分け方：電話の場面なら This is。

0604 □□□

A: You look upset. What's ＿＿＿＿ ? B: I lost my wallet on the way here.

① bad　② wrong
③ problem　④ worse

② What's wrong?　どうしたの？

訳 A：動揺しているみたいだね。どうしたの？　B：ここに来る途中で財布をなくしたんだ。

解説 困っていそうな相手に「どうしたの？」と聞くのは What's wrong?。What's bad? / What's worse? は決まった言い方ではない。problem は数えられる名詞なので What's the problem? と the が必要。

区別 **What's wrong? ⇔ What's up?**　What's up? は「元気？」というあいさつにもなる軽い表現。What's wrong? は困っていそうな相手限定。見分け方：相手が落ち込んでいる・具合が悪そうなら What's wrong。

0605 □□□

A: It's a beautiful day. ＿＿＿＿ have lunch in the park? B: Sounds good.

① Why don't we　② How about
③ Shall I　④ Let's

① Why don't we ~?　（一緒に）～しませんか

訳 A：いい天気だね。公園でお昼を食べない？　B：いいね。

解説 後ろが原形 have で文末が？なので Why don't we（一緒に～しない？）。Let's は疑問文の形にしない。How about は ~ing（having）が必要。Shall I は「（私が）～しましょうか」で、一緒に昼食をとる誘いにならない。

区別 **Why don't we ~? ⇔ Why don't you ~?**　you は相手だけに勧める助言、we は自分も含めた誘い。見分け方：話し手も一緒にするなら we。

0606 □□□

A: Where is the post office? B: Go straight two blocks. It's next to the big supermarket. ＿＿＿＿

① You can say that again.
② You can't miss it.
③ I'm a stranger here.
④ You must be kidding.

② You can't miss it.　すぐに分かりますよ

訳 A：郵便局はどこですか。　B：2 ブロックまっすぐ行ってください。大きなスーパーの隣です。すぐに分かりますよ。

解説 道を教えた後に「すぐ分かりますよ」と添えるのは You can't miss it.。You can say that again. は同意、You must be kidding. は驚き。I'm a stranger here. は「この辺りは不案内」で、道を詳しく教えたことと矛盾する。

区別 **You can't miss it. ⇔ miss のほかの意味**　miss は「乗り遅れる」（miss the bus）、「いなくて寂しい」（I miss you）、「見逃す」（Don't miss it）。You can't miss it. は道案内の決まり文句で「見落としようがない」。見分け方：道案内の最後なら「すぐ分かる」。

0607 □□□

A: Are you ready to order? B: ＿＿＿＿ Could you give us a few more minutes?

① Yes, please.　② Here you are.
③ I'll take it.　④ Not yet.

④ Are you ready to order?　ご注文はお決まりですか

訳 A：ご注文はお決まりですか。　B：まだです。もう少し時間をいただけますか。

解説 「もう少し時間をください」と続けているので、まだ決まっていない Not yet.。Yes, please. は注文する側の答えになり後ろと矛盾する。Here you are. は物を渡す言葉、I'll take it. は店で品物を買うときの言葉。

区別 **Are you ready to order? ⇔ be ready for ~**　be ready for の後ろは名詞（Are you ready for the test?）、be ready to の後ろは動詞の原形（ready to order）。見分け方：空所の後ろが動詞なら to、名詞なら for。

0608 □□□

A: I like this jacket. Can I ＿＿＿＿? B: Sure. The fitting room is over there.

① try on it　② try it on
③ wear on it　④ put it

② Can I try it on?　試着してもいいですか

訳 A：このジャケット、いいですね。試着してもいいですか。　B：どうぞ。試着室はあちらです。

解説 試着は try on で、目的語が代名詞なので try it on の語順。try on it は誤り。put it だけでは on がなく意味をなさない。wear は「着ている」状態で、on を付けた wear on it という形もない。

区別 **Can I try it on? ⇔ put on**　put on は「身に着ける（動作）」、try on は「（買う前に）試しに着てみる」。見分け方：店で買う前なら try on。

0609 □□□

A: Excuse me. Do you have ＿＿＿＿ time? B: Yes, it's ten past four.

① a　② any
③ the　④ some

③ Do you have the time?　今何時ですか

訳 A：すみません。今何時か分かりますか。　B：はい、4 時 10 分です。

解説 B が時刻を答えているので、時刻を聞く Do you have the time?。any / some を付けると「暇はありますか」の意味になり、時刻の答えと合わない。a time は「楽しい時（a good time）」などで使い、ここでは不可。

区別 **Do you have the time? ⇔ Do you have time?**　the がないと「暇はある？」。見分け方：the があれば時刻を聞いている。答えも時刻か、Yes, I'm free. かで分かれる。

0610 □□□

A: Hi, Emma! I haven't seen you for ages. How have you been? B: ＿＿＿＿ And you?

① I was great.
② I'm going well.
③ I've gone there.
④ I've been great, thanks.

④ How have you been? 元気にしてた？

訳 A：やあ、エマ！　すごく久しぶりだね。元気にしてた？　B：とても元気だよ、ありがとう。あなたは？

解説 How have you been? は現在完了で聞いているので、答えも I've been great, thanks.。I was great. は過去の一時点の話になる。I'm going well. は決まった答え方ではなく、I've gone there. は「そこへ行ってしまった」で意味が合わない。

区別 **How have you been? ⇔ How are you?** How are you? は今の様子、How have you been? は会っていない期間の様子。見分け方：久しぶりなら How have you been、答えも I've been ~ と時制を合わせる。

0611 □□□

A: How long does it ＿＿＿＿ to get to the airport by bus? B: About forty minutes.

① cost　② take
③ need　④ spend

② How long does it take to ~?
～するのにどのくらい時間がかかりますか

訳 A：バスで空港まで行くのにどれくらい時間がかかりますか。B：40 分ほどです。

解説 時間がかかるのは It takes ~ to do で take。cost はお金を聞くとき（How much does it cost?）。spend は人が主語（I spend ~）で It の文には合わない。need も It を主語にしてこの形を作らない。

区別 **How long does it take to ~? ⇔ How much does it cost to ~?** 時間は take、お金は cost。見分け方：How long なら take、How much なら cost。

0612 □□□

A: Hi, Sam. How's it going? B: ＿＿＿＿ Thanks for asking.

① It's going to the station.
② I'm going.
③ Pretty good.
④ It goes.

③ How's it going? 調子はどう？

訳 A：やあ、サム。調子はどう？　B：なかなかいいよ。聞いてくれてありがとう。

解説 How's it going? は調子を聞くあいさつなので Pretty good.（まあまあ順調）と答える。It's going to the station. は go を「行く」と取り違えた答え、I'm going. は「今行く」、It goes. は決まった答え方ではない。

区別 **How's it going? ⇔ How do you like it?** How do you like it? は「気に入った？」と感想を聞く。How's it going? は調子・進み具合を聞くあいさつ。見分け方：あいさつなら How's it going。

0613 □□□

A: Can you come to my birthday party on Saturday? B: I'm sorry, I can't _____ it. I have to work.

① make ② take
③ get ④ do

① I can't make it. 都合がつかない；間に合わない

訳 A：土曜日の誕生日パーティーに来られる？ B：ごめん、行けないんだ。仕事があって。

解説 「都合がつかない・行けない」は can't make it。can't do it は「それはできない」、can't get it は「分からない・手に入らない」、can't take it は「耐えられない」で、誘いを断る決まった言い方にならない。

区別 **I can't make it.** ⇔ **make it**（成功する・間に合う） 肯定の I made it! は「やった！間に合った・うまくいった」。can't make it は「行けない」。見分け方：not の有無と文脈。

0614 □□□

A: Do you think it will rain this afternoon? B: _____ The sky is clear.

① I think so. ② I don't think so.
③ I hope so. ④ I'm afraid so.

② I don't think so. そうは思わない；違うと思う

訳 A：午後は雨が降ると思う？ B：降らないと思うよ。空が晴れているから。

解説 「空が晴れている」と続けているので、雨は降らないと思う＝ I don't think so.。I think so. / I'm afraid so. / I hope so. はどれも「降る（降ってほしい）」側の答えになり、後ろと矛盾する。

区別 **I don't think so.** ⇔ **I hope not. / I'm afraid not.** I hope not. は「そうでないといい」（期待）、I'm afraid not. は「残念ながら違う」。I don't think so. は気持ちを含まない意見。見分け方：期待・残念の気持ちがあれば hope / afraid。

0615 □□□

A: Do you want to go to the movies tonight? B: I'd love to, but I have a lot of homework. Can I take a _____?

① raincoat ② rainy day
③ rain check ④ break

③ I'll take a rain check. またの機会にします

訳 A：今夜映画に行かない？ B：行きたいけど、宿題がたくさんあるんだ。また今度にしてもいい？

解説 誘いを今回は断り、次の機会にしたいので take a rain check。raincoat / rainy day は決まった表現ではない。take a break は「休憩する」で、誘いへの返事として意味が合わない。

区別 **I'll take a rain check.** ⇔ **I can't make it.** I can't make it. はただ「行けない」。rain check は「次回また」の約束を含む。見分け方：次の機会を言うなら rain check。

0616 □□□

A: My grandmother got out of the hospital yesterday. B: _____ Please give her my best wishes.

① I'm glad to hear that.
② What a shame!
③ That's too bad.
④ I'm sorry to hear that.

① I'm glad to hear that.
それを聞いてうれしい；よかったね

訳 A：祖母が昨日退院したんだ。 B：それは良かった。よろしく伝えてね。

解説 祖母が退院したというよい知らせなので I'm glad to hear that.。I'm sorry to hear that. / What a shame! / That's too bad. はどれも悪い知らせへの返事で、退院の話には合わない。

区別 **I'm glad to hear that.** ⇔ **I'm sorry to hear that.** I'm sorry to hear that. は悪い知らせへの同情「それはお気の毒に」。形は同じで形容詞だけが違う。見分け方：直前の内容がよければ glad、悪ければ sorry。

0617 ☐☐☐

A: The trip was canceled because of the typhoon. B: Oh, well. It can't be ＿＿＿＿.

① helping　② help
③ to help　④ helped

④ It can't be helped. 仕方がない

訳 A：台風のせいで旅行が中止になったよ。　B：まあ、仕方がないね。

解説 It can't be helped. は受け身なので過去分詞 helped。can't be の後ろに helping を置くと「助けているところではない」となり意味が通らない。help / to help は be の後ろに置けない。

区別 **It can't be helped. ⇔ cannot help ~ing** cannot help ~ing は「～せずにはいられない」。どちらも help は「避ける」だが、It can't be helped. は受け身で「それは避けられない」。見分け方：主語が It で受け身なら「仕方がない」。

0618 ☐☐☐

A: How much do I owe you for the coffee? B: Nothing. ＿＿＿＿

① It's up to you.
② It's on me.
③ It's a piece of cake.
④ It can't be helped.

② It's on me. 私のおごりです

訳 A：コーヒー代はいくら払えばいい？　B：いらないよ。私のおごりだから。

解説 コーヒー代を聞かれて「いらない」と答えているので「私のおごり」の It's on me.。It's up to you. は「あなた次第」、It's a piece of cake. は「楽勝」、It can't be helped. は「仕方がない」で、支払いの話に合わない。

区別 **It's on me. ⇔ It's up to you.** It's up to you. は「あなた次第（あなたが決めて）」。It's on me. は支払いの申し出。見分け方：お金・会計の話なら on me。

0619 ☐☐☐

If you need any help with your move, please let me ＿＿＿＿.

① to know　② known
③ knowing　④ know

④ Let me know. 知らせてね；教えてね

訳 引っ越しで何か手伝いが必要なら、知らせてね。

解説 let A do（A に～させる）は原形を取るので know。to know は不定詞で、let の後ろには置けない（allow me to know なら可）。knowing / known も使役の let の後ろでは誤り。

区別 **Let me know. ⇔ Let me see.** Let me see. は「ええと」と考える間をとる言葉。Let me know. は「（分かったら）知らせて」。見分け方：相手に情報を求めるなら know。

0620 ☐☐☐

A: The train is late because of heavy snow in the mountains. B: Oh, ＿＿＿＿ I was wondering why.

① that's not the point.
② I don't think so.
③ that makes sense.
④ that's too much.

③ That makes sense. なるほど；筋が通っている

訳 A：山間部の大雪のせいで列車が遅れているんだ。　B：ああ、それで分かった。どうしてだろうと思っていたんだ。

解説 遅れの理由を聞いて「どうしてかと思っていた」と納得しているので that makes sense.。that's not the point. は「論点が違う」、I don't think so. は反対、that's too much. は「多すぎる」で、納得の返事にならない。

区別 **That makes sense. ⇔ make sense of ~** make sense of ~ は人が主語で「～を理解する」。That makes sense. は説明が主語で「筋が通る」。見分け方：of ＋対象があれば人が主語。

0621 □□□

A: I'm not sure this plan will work. B: What do you mean ＿＿＿ that?

① by　② with
③ for　④ of

① What do you mean? どういう意味？

訳 A：この計画がうまくいくかどうか分からない。 B：それはどういう意味？

解説 What do you mean by ~? で「～とはどういう意味？」。by は「～によって（その言葉で）」。with / for / of はこの表現では使わない。A の発言の意図を聞き返している。

区別 **What do you mean? ⇔ What does ~ mean?** What does this word mean? は単語の辞書的な意味を聞く。What do you mean? は言った人の意図。見分け方：主語が言葉なら does ~ mean、人なら do you mean。

0622 □□□

A: Hello, I'd like to speak to Mr. Jones. B: Certainly. ＿＿＿

① Who are you?
② Who do you want?
③ May I leave a message?
④ Who's calling, please?

④ Who's calling, please? どちら様ですか（電話で）

訳 A：もしもし、ジョーンズさんとお話ししたいのですが。 B：かしこまりました。どちら様でしょうか。

解説 取り次ぐ前に相手の名前を丁寧に聞く Who's calling, please?。Who are you? は失礼。May I leave a message? は電話をかけた A の側が言う表現。Who do you want? は A がすでに Mr. Jones と言っているので不要で、言い方も失礼。

区別 **Who's calling, please? ⇔ Who are you?** Who are you? は直接的で、電話でも対面でも失礼に響く。電話では Who's calling? / Who is this?。見分け方：電話で相手の名前を聞くなら calling か this。

0623 □□□

A: Do you think we should tell her the truth? B: ＿＿＿ She has a right to know.

① Absolutely not.　② Absolutely.
③ I'm afraid not.　④ No way.

② Absolutely. もちろん；まったくその通り

訳 A：彼女に本当のことを言うべきだと思う？ B：もちろん。彼女には知る権利があるよ。

解説 「彼女には知る権利がある」と続けているので、強い同意の Absolutely.。Absolutely not. / I'm afraid not. / No way. はどれも「伝えるべきではない」側の答えで、後ろの理由と矛盾する。

区別 **Absolutely. ⇔ Absolutely not.** Absolutely not. は not が付いて「絶対に違う・絶対にだめ」という強い否定になる。Certainly not. と同じ。見分け方：not の有無で強い Yes と強い No が入れ替わる。

0624 □□□

A: I have a job interview tomorrow. B: ＿＿＿ I'm sure you'll do well.

① Congratulations!
② Same to you.
③ Good luck!
④ Never mind.

③ Good luck (with ~)! （～）頑張ってね；幸運を祈る

訳 A：明日、就職の面接があるんだ。 B：頑張ってね！ きっとうまくいくよ。

解説 明日の面接に挑む人への言葉なので Good luck!。Congratulations! は面接に受かった後に言う言葉。Same to you. は相手の祝福を返す言葉、Never mind. は「気にしないで」で、励ましにならない。

区別 **Good luck (with ~)! ⇔ Congratulations!** Congratulations! は達成した後の「おめでとう」。Good luck! はこれから挑む人へ。見分け方：これからなら Good luck、終わって成功したなら Congratulations。

0625 ☐☐☐

A: Do you think the game will be canceled because of the rain? B: ———— I've been looking forward to it for weeks.

① I don't hope so.　② I'm afraid so.
③ I hope so.　④ I hope not.

④ I hope not. そうでないといいね

訳 A：雨で試合が中止になると思う？　B：そうならないといいな。何週間も楽しみにしていたんだ。

解説 試合を楽しみにしているので「中止にならないといい」＝I hope not.。I don't hope so. は誤った形。I hope so. は中止を望むことになり、I'm afraid so. は「残念ながら中止だ」で、どちらも後ろと合わない。

区別 **I hope not. ⇔ I don't think so.** think は否定を前に出して I don't think so、hope は後ろに置いて I hope not。見分け方：hope なら not を後ろに。

0626 ☐☐☐

A: I've had a bad cold since Monday. B: Oh, that's too bad. I hope you ———— better soon.

① got　② had gotten
③ get　④ would get

③ I hope you get well soon.
早く良くなるといいですね；お大事に

訳 A：月曜日からひどい風邪をひいているんだ。　B：それはお気の毒に。早く良くなるといいね。

解説 hope の後ろは現在形で未来の願いを表せるので get。got / had gotten / would get は wish の後ろで使う仮定法の形で、実現できる願いの hope とは合わない。

区別 **I hope you get well soon. ⇔ I wish you got well.** wish は実現しにくい願望で、後ろは仮定法の過去形。hope は実現できる願いで現在形・未来形。見分け方：これから良くなってほしいなら hope＋現在形。

0627 ☐☐☐

A: Excuse me, how can I get to the city library? B: ———— You should ask someone at the station.

① Sorry, I'm a stranger here.
② You can't miss it.
③ It's on me.
④ Here you are.

① I'm a stranger here (myself).
私もこのあたりは不案内です

訳 A：すみません、市立図書館へはどう行けばいいですか。　B：すみません、この辺りは不案内なんです。駅で誰かに聞いてください。

解説 「駅の人に聞いて」と続けているので、道が分からない Sorry, I'm a stranger here.。You can't miss it. は道を教えた後の言葉で、他の人に聞くよう勧めることと矛盾する。It's on me. / Here you are. は場面に合わない。

区別 **I'm a stranger here (myself). ⇔ You can't miss it.** You can't miss it. は道を教えた後の「すぐ分かりますよ」。I'm a stranger here. は道を教えられないときの断り。見分け方：道を説明しているかどうか。

0628 □□□

A: Could you help me move this weekend? B: ＿＿＿＿ I have to visit my grandparents.

① I'd love to.
② I'm afraid I can't.
③ No problem.
④ Sure, why not?

② I'm afraid I can't. 残念ですができません

訳 A：今週末、引っ越しを手伝ってくれない？　B：残念だけど無理なんだ。祖父母の家に行かなきゃいけなくて。

解説 祖父母を訪ねる予定があると理由を言っているので、断る I'm afraid I can't.。I'd love to. / No problem. / Sure, why not? はどれも引き受ける返事で、後ろの理由と矛盾する。

区別 **I'm afraid I can't. ⇔ I'm afraid not.** I'm afraid not. は質問に「残念ながら違う」と事実を否定で答える。I'm afraid I can't. は依頼・誘いを断る。見分け方：Can you ~? / Could you ~? への返事なら I can't。

0629 □□□

A: Excuse me. Is this seat taken? B: ＿＿＿＿ Please sit down.

① No, it's not.　② Yes, it is.
③ Yes, please.　④ I'm afraid so.

① Is this seat taken? この席は空いていますか

訳 A：すみません。この席は空いていますか。　B：はい、空いていますよ。どうぞお座りください。

解説 「どうぞ座って」と続けているので席は空いている。taken（使われている）かと聞かれているので、空いているなら No, it's not.。Yes, it is. と I'm afraid so. は「使われている」になり後ろと矛盾する。Yes, please. も質問に合わない。

区別 **Is this seat taken? ⇔ Is this seat free?** free で聞くと「空いている」が Yes になり、taken で聞くと「空いている」が No になる。見分け方：質問の形容詞に合わせて Yes / No を決める。

0630 □□□

A: That'll be 1,800 yen. B: Here's 2,000 yen. ＿＿＿＿

① Here's your change.
② Keep the change.
③ Take your time.
④ It's on me.

② Keep the change. おつりはとっておいてください

訳 A：1800 円になります。　B：2000 円どうぞ。お釣りは取っておいてください。

解説 客の B が 2,000 円を渡し、おつりの 200 円はいらないと伝えるので Keep the change.。Here's your change. は店員がおつりを渡すときの言葉。Take your time. は「急がなくていい」、It's on me. は誰かの分をおごるときの言葉。

区別 **Keep the change. ⇔ Here's your change.** Here's your change. は店員がおつりを渡すときの言葉。Keep the change. は客がおつりを受け取らないときの言葉。見分け方：話し手が客か店員か。

0631 □□□

A: Hi, I'm Yuki. I'm a new student here. B: Hi, Yuki. I'm Jack. ＿＿＿＿

① Nice to meet you.
② Nice to see you again.
③ Long time no see.
④ How have you been?

① Nice to meet you.
初めまして；お会いできてうれしいです

訳 A：こんにちは、ユキです。新入生です。 B：こんにちは、ユキ。ジャックだよ。初めまして。

解説 お互いに名乗っている初対面の場面なので Nice to meet you.。Nice to see you again. / Long time no see. / How have you been? はどれも以前から知っている人に久しぶりに会ったときの表現。

区別 **Nice to meet you.** ⇔ **Nice to see you.** meet は初対面、see は知っている人との再会。見分け方：初めて会ったなら meet、前から知っていれば see。

0632 □□□

A: Shall we go for a walk in the park? B: ＿＿＿＿ It's a beautiful day.

① Yes, please.　② Yes, let's.
③ No, thank you.　④ Yes, you shall.

② Shall we ~? （一緒に）～しましょうか

訳 A：公園に散歩に行かない？ B：うん、行こう。いい天気だね。

解説 Shall we ~? の誘いを受けるときは Yes, let's.。Yes, please. と No, thank you. は Shall I ~?（申し出）への答え方。Yes, you shall. は決まった答え方ではない。後ろの「いい天気だ」も承諾とつながる。

区別 **Shall we ~?** ⇔ **Shall I ~?** Shall I は自分だけがする申し出で、答えは Yes, please. / No, thank you.。Shall we は一緒にする誘いで、答えは Yes, let's.。見分け方：主語と答え方の組み合わせ。

0633 □□□

A: I'm so angry! Somebody took my bike again! B: ＿＿＿＿ Let's go to the police and report it.

① Keep it up.　② Take your time.
③ Take it easy.　④ Help yourself.

③ Take it easy. 落ち着いて；気楽にね

訳 A：本当に頭にくる！ また誰かに自転車を盗まれたんだ！ B：落ち着いて。警察に行って届けよう。

解説 怒っている相手をなだめているので Take it easy.（落ち着いて）。Take your time. は「急がなくていい」で怒りを静める言葉ではない。Keep it up. は「その調子」、Help yourself. は「ご自由にどうぞ」で場面に合わない。

区別 **Take it easy.** ⇔ **Take your time.** Take your time. は「急がなくていい」と時間について言う。Take it easy. は気持ち・働き方について「落ち着いて・無理しないで」。見分け方：急いでいる人なら Take your time、怒り・緊張なら Take it easy。

0634 □□□

It's very kind ＿＿＿＿ you to help me with my bags.

① of ② for
③ to ④ with

① That's very kind of you. ご親切にどうも

訳 荷物を運ぶのを手伝ってくださるなんて、ご親切にありがとうございます。

解説 kind は人の性質を言う形容詞なので It is kind of A to do の of。for は easy / difficult など物事の難しさを言う形容詞のときに使う。to / with はこの形では使わない。

区別 **That's very kind of you. ⇔ It is ~ for A to do** kind / nice / clever / careless など人の性質を言う形容詞は of A、easy / difficult / important など物事の性質は for A。見分け方：形容詞が人をほめる・けなすなら of。

0635 □□□

A: I'm going to play the lead role in the school play tonight. B: ＿＿＿＿ I'll be in the front row.

① Shame on you! ② Break a leg!
③ Take your time. ④ Never mind.

② Break a leg! 頑張って！；うまくいくといいね

訳 A：今夜、学校の劇で主役を演じるんだ。 B：頑張ってね！最前列で見ているよ。

解説 今夜の劇で主役を演じる人を励ますので Break a leg!（頑張って）。Shame on you! は相手を責める言葉、Take your time. は「急がなくていい」、Never mind. は「気にしないで」で、本番前の励ましにならない。

区別 **Break a leg! ⇔ Good luck!** Good luck! はどんな挑戦にも使う一般的な言い方。Break a leg! は特に舞台・発表の本番前のくだけた言い方。どちらもこれから挑む人へ。

0636 □□□

A: Could you bring me another glass of water, please? B: ＿＿＿＿ I'll be right back.

① Certainly. ② Certainly not.
③ I'm afraid not. ④ No way.

① Certainly. かしこまりました；もちろん

訳 A：水をもう 1 杯持ってきていただけますか。 B：かしこまりました。すぐにお持ちします。

解説 「すぐ戻ります」と水を取りに行くので、承諾の Certainly.。Certainly not. / I'm afraid not. / No way. はどれも断る表現で、後ろと矛盾する。Could you ~? は Do you mind ~? ではないので、否定の返事は承諾にならない。

区別 **Certainly. ⇔ Certainly not.** not が付くと強い否定。見分け方：依頼を引き受けるなら Certainly、強く断る・否定するなら Certainly not（mind の質問なら承諾）。

0637 □□□

A: You look pale. Are you OK? B: Not really. I don't feel ＿＿＿＿.

① fine at ② good at
③ well ④ healthily

③ I don't feel well. 気分が悪い；体調が良くない

訳 A：顔色が悪いね。大丈夫？ B：あまり大丈夫じゃない。気分が良くないんだ。

解説 I don't feel well. で「体調が良くない」。feel の後ろは形容詞なので、形容詞の well（健康な）。good at / fine at は at が不要で意味も合わない。healthily は副詞で feel の補語になれない。

区別 **I don't feel well. ⇔ well（副詞：上手に）** well には副詞「上手に」と形容詞「健康な」がある。feel の後ろは形容詞なので「体調がよい」。見分け方：feel / look / get の後ろの well は健康。

0638 ☐☐☐

I would appreciate _____ if you could reply by Friday.

① this ② that
③ you ④ it

④ I'd appreciate it (if you would ~).
（～していただけると）ありがたいです

訳 金曜日までにお返事をいただけるとありがたいです。

解説 appreciate は他動詞で、if 節を受ける it を目的語に置く。you は人で appreciate の目的語にならない。that / this は if 節を受ける代わりの語として使わない。

区別 **I'd appreciate it (if you would ~). ⇔ thank A for B** thank は人が目的語、appreciate は物事が目的語。見分け方：直後が人なら thank、物事や it なら appreciate。

0639 ☐☐☐

A: Ken, dinner is ready! B: OK, I'm _____!

① coming ② going
③ leaving ④ arriving

① I'm coming. 今行きます

訳 A：ケン、夕食ができたよ！ B：分かった、今行くよ！

解説 呼んだ相手（台所にいる人）の所へ向かうので I'm coming.。日本語の「今行く」につられて going を選ぶのは典型的な誤り。leaving は「出発する」、arriving は「着く」で場面に合わない。

区別 **I'm coming. ⇔ I'm going.** I'm going. は話し手（自分）から離れて別の所へ行く。相手の所へ向かうなら coming。見分け方：呼んだ人の所へ行くなら come。

0640 ☐☐☐

A: How long does it take to get to the stadium? B: _____ on the traffic. Usually about thirty minutes.

① It depends ② It's up
③ It relies ④ It counts

① It depends. 場合による；何とも言えない

訳 A：競技場まで行くのにどれくらいかかりますか。 B：交通状況によります。普通は 30 分くらいです。

解説 「交通量次第」なので It depends on ~。It's up は up to の形にならず、It relies / It counts は「頼る」の意味しかなく「次第である」を表せない。条件を on で続ける自然な答え方。

区別 **It depends. ⇔ It's up to you.** It's up to you. は「あなたが決めて」、It depends. は「状況・条件による」。見分け方：決めるのが相手なら up to you。

0641 ☐☐☐

A: Hi, Tom! It's been a while. B: Yes, it _____! How have you been?

① does ② is
③ was ④ has

④ It's been a while. 久しぶりだね

訳 A：やあ、トム！ 久しぶりだね。 B：うん、本当に久しぶり！ 元気だった？

解説 It's been は It has been の短縮なので、答えは Yes, it has!。's を is と勘違いして is を選ばない。was / does も現在完了の文の答えにならない。

区別 **It's been a while. ⇔ Long time no see.** 意味は同じだが Long time no see. はくだけた決まり文句。It's been a while. は文法的に整った現在完了の文で、Yes, it has. と答えられる。

0642 ☐☐☐

A: I didn't break the rules. Everyone else was doing it, too. B: ———— You should follow the rules yourself.

① That makes sense.
② That's not the point.
③ You can say that again.
④ I couldn't agree more.

② That's not the point.

そういう問題じゃない；論点はそこじゃない

訳 A：私は規則を破っていないよ。ほかのみんなもやっていたもの。 B：問題はそこじゃない。あなた自身が規則を守るべきなんだよ。

解説 「みんなもやっていた」という言い訳に「そういう問題じゃない」と返しているので That's not the point.。That makes sense. / You can say that again. / I couldn't agree more. はどれも相手に賛成する表現で、後ろの注意と矛盾する。

区別 **That's not the point. ⇔ That's the point.** That's the point. は not がなく「まさにそこが大事な点だ」と相手の指摘に賛成する表現。見分け方：not の有無で「論点がずれている」と「その通り」が正反対になる。

0643 ☐☐☐

A: What's your new apartment ———— ? B: It's small, but it has a nice view.

① like ② likes
③ look ④ liking

① What's ~ like? ～はどんな感じ？

訳 A：新しいアパートはどう？ B：狭いけど、眺めがいいよ。

解説 様子を聞く What's ~ like? なので前置詞の like。likes は動詞で、is と並べられない。look は What does ~ look like? の形でないと使えない。liking も形が誤り。

区別 **What's ~ like? ⇔ What do you like?** What do you like? の like は動詞で「好き」。What's ~ like? の like は前置詞「～のような」。見分け方：is / 's があれば前置詞、do があれば動詞。

確認テスト 5　会話表現｜日本語に合うように、空所に 1 語を書き込もう（答えは赤字）

0540　「ここに座ってもかまいませんか」「もちろんどうぞ」
"Do you **mind** if I sit here?" "Of course not. Go ahead."

0541　「今年の夏は本当に暑いね」「まったくだよ。夜も眠れないよ」
"This summer is really hot." "You can say that **again**. I can't sleep at night."

0542　「音楽の音を少し下げていただけませんか」「いいですよ。すみませんでした」
"Would you mind **turning** down the music a little?" "Not at all. Sorry about that."

0543　「辞書を貸してくれてありがとう」「どういたしまして。必要なだけ使ってね」
"Thank you for lending me your dictionary." "You're **welcome**. Keep it as long as you need."

0544　「テーブルのクッキーをご自由にどうぞ」
"Please help **yourself** to the cookies on the table."

0545　「チケットを拝見できますか」「はい、どうぞ」
"Can I see your ticket, please?" "**Here** you are."

0546　「今年はプロジェクトをもっと早く始めるべきだね」「大賛成だよ」
"We should start the project earlier this year." "I couldn't **agree** more."

0547　「祖父が入院してるんだ」「それは心配だね。早く良くなるといいね」
"My grandfather is in the hospital." "I'm sorry to **hear** that. I hope he gets better soon."

0548　「ごめん、何て言ったの？」「何でもない。大したことじゃないから」
"Sorry, what did you say?" "Never **mind**. It wasn't important."

0549　「申し訳ありません、彼女は今外出中です。ご伝言を承りましょうか」
"I'm sorry, she's out right now. Can I **take** a message?"

0550　「10 時に駅で会おう」「いいね。じゃあその時に」
"Let's meet at the station at ten." "Sounds **good**. See you then."

0551　「今日はすごく疲れた」「今夜は早く寝たらどう？」
"I'm so tired today." "Why **don't** you go to bed early tonight?"

0552　「お願いがあるんだけど、今週末うちの植物に水をやってくれない？」
"Would you do me a **favor** and water my plants this weekend?"

0553　「引っ越しを手伝ってくれて本当にありがとう」「礼には及ばないよ。友達じゃないか」
"Thanks so much for helping me move." "Don't **mention** it. That's what friends are for."

0554　「質問があったら遠慮なく聞いてね」
"Feel **free** to ask me if you have any questions."

0555　「今夜はイタリアンと中華、どっちにする？」「君が決めて。どっちも好きだから」
"Should we eat Italian or Chinese tonight?" "It's **up** to you. I like both."

0556 「宝くじで 1 等が当たったよ！」「まさか！すごい！」
"I won first prize in the lottery!" "No ___way___ ! That's amazing!"

0557 「今週末、海に行かない？」「いいね。天気も良さそうだし」
"Shall we go to the beach this weekend?" "___Why___ not? The weather looks perfect."

0558 「お兄さんと話せますか」「はい。少々お待ちください。呼んできます」
"Can I speak to your brother?" "Sure. ___Hold___ on a second. I'll get him."

0559 「なんで昨日の夜電話くれなかったの？」「ごめん、スマホの電池が切れて」
"How ___come___ you didn't call me last night?" "Sorry, my phone died."

0560 「やあエマ！久しぶり。元気にしてた？」
"Hi, Emma! Long time no ___see___ . How have you been?"

0561 「ホラー映画はあまり好きじゃないんだ」「私も。悪い夢を見ちゃうから」
"I don't really like horror movies." "Me ___neither___ . They give me bad dreams."

0562 「会議室は 5 階です」「もう一度お願いできますか。何階ですか」
"The meeting room is on the fifth floor." "I beg your ___pardon___ ? Which floor?"

0563 「今夜映画を見に行かない？」「行きたいんだけど、仕事があるんだ」
"Do you want to see a movie tonight?" "I'd ___love___ to, but I have to work."

0564 「今夜のチケットはまだ残っていますか」「あいにくございません。売り切れました」
"Do you have any tickets left for tonight?" "I'm afraid ___not___ . They sold out."

0565 「いらっしゃいませ、何かお探しですか」「はい、姉の誕生日プレゼントを探しています」
"May I ___help___ you?" "Yes, I'm looking for a birthday present for my sister."

0566 「ごめん、まだデザートを選んでるの」「ゆっくりでいいよ。急がないから」
"Sorry, I'm still choosing a dessert." "Take your ___time___ . There's no hurry."

0567 「台風で文化祭が中止になったんだ」「それは残念！」
"The school festival was canceled because of the typhoon." "What a ___shame___ !"

0568 「すみません。駅への道を教えていただけますか」
"Excuse me. Could you tell me the ___way___ to the station?"

0569 「どこにいるの？映画、あと 10 分で始まるよ！」「今向かってる」
"Where are you? The movie starts in ten minutes!" "I'm on my ___way___ ."

0570 「彼は今、会議中です」「そうですか。伝言をお願いできますか」
"He's in a meeting now." "I see. May I ___leave___ a message?"

0571 「町を案内してくれてありがとう」「どういたしまして。私も楽しかったです」
"Thank you for showing me around the city." "My ___pleasure___ . I enjoyed it too."

0572 「待っててくれてありがとう」「全然いいよ。私も今来たところだから」
"Thanks for waiting for me." "No ___problem___ . I just got here myself."

0573 「数分お待ちいただけますか」「もちろんです。ごゆっくり」
"Would you mind waiting a few minutes?" "Of ___course___ not. Take your time."

0574 「長く歩いたからお腹ぺこぺこだよ」「私も。何か食べに行こう」
"I'm so hungry after that long walk." " **Same** here. Let's grab something to eat."

0575 「土曜日のパーティー、行けないんだ」「あら、それは残念」
"I can't come to your party on Saturday." "Oh, that's a **shame** ."

0576 「また運転免許の試験に落ちたよ」「それは残念だったね。次は受かるよ」
"I failed my driving test again." "That's too **bad** . You'll pass next time."

0577 「新しい制服、どう思う？」「すごく気に入ってるよ」
"What do you **think** of the new school uniform?" "I like it a lot."

0578 「どうしたの？心配そうだね」「電車で財布をなくしたんだ」
" **What's** up? You look worried." "I lost my wallet on the train."

0579 「先生、来月結婚するんだって」「うそでしょ！全然知らなかった」
"Our teacher is getting married next month." "You're **kidding** ! I had no idea."

0580 「その箱重そうですね。手伝いましょうか」「ありがとう、助かります」
"That box looks heavy. Can I give you a **hand** ?" "Thanks, that'd be great."

0581 「入試合格おめでとう！」「本当にありがとう！」
"Congratulations on **passing** the entrance exam!" "Thank you so much!"

0582 「試験まであと 2 週間だよ。踏ん張って！」
"Exams are only two weeks away. **Hang** in there!"

0583 「お父さん、車の鍵どこに置いた？」「全然分からない。お母さんに聞いて」
"Where did Dad put the car keys?" "I have no **idea** . Ask Mom."

0584 「今電車の中なんだ。10 分後に折り返すね」
"I'm on the train now. I'll call you **back** in ten minutes."

0585 「何かお探しですか」「いいえ、見ているだけです」
"May I help you?" "No, thanks. I'm just **looking** ."

0586 「自転車直せる？」「もちろん。朝飯前だよ」
"Can you fix my bike?" "Sure. It's a piece of **cake** ."

0587 「お願いしてもいいですか」「もちろん。何をしましょうか」
"May I **ask** you a favor?" "Sure. What can I do for you?"

0588 「新しいバンドのこの曲、大好き」「私も。毎日聞いてるよ」
"I love this song by the new band." " **So** do I. I listen to it every day."

0589 「遅れてごめん」「大丈夫。まだ始めてないから」
"Sorry I'm late." "That's all **right** . We haven't started yet."

0590 「どうしたの？何も食べてないね」「お腹が痛いんだ」
"What's the **matter** ? You haven't eaten anything." "I have a stomachache."

0591 「すみません、もう一度言ってもらえますか。ここは少しうるさくて」
"Sorry, could you say that **again** ? It's a bit noisy here."

0592 「机にコーヒーをこぼしちゃった！」「気にしないで。タオル持ってくるね」
"I spilled coffee on your desk!" "Don't **worry** about it. I'll get a towel."

0593 「まずこのボタンを押して、それから緑のを押して」「了解。ありがとう」
"Press this button first, then the green one." "**Got** it. Thanks."

0594 「ここから市立博物館へはどう行けばいいですか」「5 番のバスに乗ってください」
"How can I **get** to the city museum from here?" "Take the number five bus."

0595 「新しいアパートはどう？」「すごく気に入ってる。とても明るいんだ」
"How do you **like** your new apartment?" "I love it. It's very bright."

0596 「会議は金曜日の午後に変更になったよ」「なるほど。教えてくれてありがとう」
"The meeting was moved to Friday afternoon." "I **see**. Thanks for telling me."

0597 「こちらはセールで 10 ドルです」「いいですね。これにします」
"This one is on sale for ten dollars." "Great. I'll **take** it."

0598 「雨で野球の試合は中止なの？」「残念ながらそうなんだ」
"Is the baseball game canceled because of the rain?" "I'm afraid **so**."

0599 「英語が本当に上達したね。その調子で頑張って！」
"Your English has really improved. **Keep** it up!"

0600 「来月大阪に引っ越すんだ」「寂しくなるね。連絡取り合おうね」
"I'm moving to Osaka next month." "I'll miss you. Let's keep in **touch**."

0601 「どうぞ入って、くつろいでね。お茶はいかが？」
"Come in and make yourself at **home**. Would you like some tea?"

0602 「もしもし、ルーシーさんをお願いします」「私です」
"Hello. May I **speak** to Lucy, please?" "Speaking."

0603 「もしもし、田中と申します。クラークさんはいらっしゃいますか」
"Hello, this is Tanaka **speaking**. May I speak to Ms. Clark?"

0604 「どうしたの？すごく動揺してるみたい」「お気に入りのネックレスをなくしたの」
"What's **wrong**? You look really upset." "I lost my favorite necklace."

0605 「今日は公園でお昼を食べない？」「いいね！」
"Why don't **we** have lunch in the park today?" "Great idea!"

0606 「角を右に曲がって。銀行は公園の隣です。すぐに分かりますよ」
"Turn right at the corner. The bank is next to the park. You can't **miss** it."

0607 「ご注文はお決まりですか」「まだです。もう少し時間をもらえますか」
"Are you ready to **order**?" "Not yet. Could we have a few more minutes?"

0608 「このジャケットいいですね。試着してもいいですか」「どうぞ。試着室はこちらです」
"I like this jacket. Can I try it **on**?" "Sure. The fitting room is this way."

0609 「すみません、今何時ですか」「はい、4 時 10 分です」
"Excuse me, do you have **the** time?" "Yes, it's ten past four."

0610 「久しぶり！元気にしてた？」「まあまあ元気だよ、ありがとう」
"Long time no see! How have you **been** ?" "Pretty good, thanks."

0611 「電車で京都までどのくらいかかりますか」「約 2 時間です」
"How **long** does it take to get to Kyoto by train?" "About two hours."

0612 「やあマイク！調子はどう？」「いいよ、ありがとう。君は？」
"Hi, Mike! How's it **going** ?" "Great, thanks. And you?"

0613 「金曜日のパーティー来られる？」「ごめん、行けないんだ」
"Can you come to the party on Friday?" "Sorry, I can't **make** it."

0614 「図書館は日曜日開いてる？」「開いてないと思うよ。ウェブサイトで確かめよう」
"Is the library open on Sundays?" "I don't **think** so. Let's check the website."

0615 「放課後コーヒー飲みに行かない？」「また今度にするよ。今日は忙しいんだ」
"Want to get coffee after school?" "I'll take a **rain** check. I'm busy today."

0616 「今日は風邪がずいぶん良くなったよ」「それはよかった」
"My cold is much better today." "I'm **glad** to hear that."

0617 「雪で飛行機が遅れてるって」「仕方ないね」
"The flight is delayed because of the snow." "It can't be **helped** ."

0618 「財布はしまって。今日のランチは私のおごりだよ」
"Put your wallet away. Lunch is **on** me today."

0619 「駅まで車で送ってほしかったら、言ってね」
"If you need a ride to the station, just let me **know** ."

0620 「今日は祝日だから店が閉まってるんだよ」「ああ、なるほどね」
"The store is closed because today is a national holiday." "Oh, that makes **sense** ."

0621 「旅行は中止になるかもしれない」「どういうこと？もうチケット買ったのに！」
"The trip might be canceled." "What do you **mean** ? We already bought tickets!"

0622 「もしもし、ブラウンさんをお願いできますか」「どちら様でしょうか」
"Hello, may I speak to Mr. Brown?" "Who's **calling** , please?"

0623 「文化祭の手伝い、頼りにしていい？」「もちろん。何をすればいいか言ってね」
"Can I count on you to help with the festival?" " **Absolutely** . Just tell me what to do."

0624 「明日、仕事の面接なんだ」「頑張ってね！きっとうまくいくよ」
"My job interview is tomorrow." "Good **luck** ! I'm sure you'll do well."

0625 「修学旅行中に雨が降ると思う？」「降らないといいね」
"Do you think it will rain during the school trip?" "I **hope** not."

0626 「入院してたって聞いたよ。早く良くなるといいね」
"I heard you were in the hospital. I hope you get **well** soon."

0627 「一番近い郵便局はどこですか」「すみません、私もこのあたりは初めてなんです」
"Where's the nearest post office?" "Sorry, I'm a **stranger** here myself."

0628 「3 時の会議に来られる？」「残念だけど無理なんだ。授業があって」
"Can you come to the meeting at three?" "I'm afraid I **can't** . I have class."

0629 「すみません、この席は空いていますか」「ええ、空いてますよ。どうぞ」
"Excuse me, is this seat **taken** ?" "No, it's free. Go ahead."

0630 「18 ドルです」「20 ドルどうぞ。おつりはとっておいて」
"That's eighteen dollars." "Here's twenty. Keep the **change** ."

0631 「こんにちは、ケンです。初めまして」「こちらこそ。エマです」
"Hi, I'm Ken. Nice to **meet** you." "Likewise. I'm Emma."

0632 「暗くなってきたね。帰ろうか？」「うん、そうしよう」
"It's getting dark. **Shall** we head home?" "Yes, let's."

0633 「気楽にね。今日全部終わらせなくていいんだから」
"Take it **easy** . You don't have to finish everything today."

0634 「傘を貸してあげますよ」「ご親切にどうも。ありがとうございます」
"I can lend you my umbrella." "That's very **kind** of you. Thank you."

0635 「今夜、初めてのピアノの演奏会なんだ」「頑張って！応援してるよ」
"My first piano concert is tonight." "Break a **leg** ! I'll be cheering for you."

0636 「お水をもう少し持ってきてもらえますか」「かしこまりました」
"Could you bring me some more water, please?" " **Certainly** , sir."

0637 「体調が悪いんです。今日は早退してもいいですか」
"I don't **feel** well. Can I go home early today?"

0638 「すぐに折り返しお電話いただけるとありがたいです」
"I'd **appreciate** it if you could call me back soon."

0639 「ケンジ、友達が玄関に来てるよ！」「今行く！」
"Kenji, your friend is at the door!" "I'm **coming** !"

0640 「学校までどれくらいかかるの？」「交通状況によるね」
"How long does it take to get to school?" "It **depends** on the traffic."

0641 「やあトム！最後に会ってから久しぶりだね」
"Hi, Tom! It's been a **while** since we last met."

0642 「でも謝ったじゃないか！」「そういう問題じゃないよ。私にうそをついたでしょ」
"But I said sorry!" "That's not the **point** . You lied to me."

0643 「新しい先生はどんな人？」「厳しいけどすごく優しいよ」
"What's your new teacher **like** ?" "She's strict but very kind."

CHAPTER 6

比喩のイディオムとことわざ

break the ice・a piece of cake・Practice makes perfect. など、字面からは想像しにくい比喩の表現。 No.0644〜0691（48 問）

問題

0644 □□□

At the first meeting nobody said a word, so the teacher told a funny story to break ＿＿＿＿.

① ice　② the ices
③ the ice　④ an ice

解答・解説（赤シートで隠せます）

③ break the ice

（初対面などの）緊張をほぐす；話の口火を切る

訳 最初の集まりでは誰も一言も話さなかったので、先生は場を和ませるために面白い話をした。

解説 決まった言い方は break the ice で、ice は不可算名詞として the を付ける。冠詞なしの ice、複数形 the ices、an ice（アイスクリーム一つ）はこの熟語では使わない。冠詞まで含めて覚える。

注意 icebreaker（緊張をほぐすもの・砕氷船）も頻出。break の目的語 the ice を選ばせる空所補充が定番。

0645 □□□

A: Was the math test difficult? B: Not at all. It was a piece of ＿＿＿＿.

① pie　② bread
③ cake　④ sugar

③ a piece of cake　とても簡単なこと；朝飯前

訳 A：数学のテストは難しかった？　B：全然。朝飯前だったよ。

解説 「楽勝だった」は a piece of cake。pie を使うのは as easy as pie（とても簡単）で、a piece of pie では熟語にならない。bread / sugar もこの意味では使わない。決まった名詞を問う空所補充の定番。

区別 **a piece of cake ⇔ one's cup of tea**　a piece of cake は「簡単」、one's cup of tea は「好み」で、否定文 not my cup of tea（好みではない）が多い。どちらも食べ物・飲み物の比喩なので会話問題で並べられる。

0646 □□□

By studying English while listening to music I like, I can kill two birds ＿＿＿＿ one stone.

① at　② by
③ of　④ with

④ kill two birds with one stone

一石二鳥；一度に二つの目的を果たす

訳 好きな音楽を聞きながら英語を勉強すれば、一石二鳥だ。

解説 道具・手段を表す with を使い、kill two birds with one stone とする。by は by ~ing のように方法を表すが、道具の石には with を使う。at / of はこの熟語では使わない。

注意 そのまま日本語の「一石二鳥」と対応。整序問題で語順（two birds with one stone）が問われる。

0647 □□□

A: I'm not good at speaking English yet. B: Don't worry. Practice makes ＿＿＿＿.

① perfectly　② perfect
③ perfection　④ perfects

② Practice makes perfect.
習うより慣れよ；練習は完璧を生む

訳 A：英語を話すのはまだ得意じゃないんだ。　B：心配しないで。習うより慣れろ、だよ。

解説 make O C の C（補語）に当たるので形容詞 perfect。副詞 perfectly は補語になれない。perfection は名詞で、ことわざの形ではない。perfects は動詞の形で補語にならない。

注意 make O C の形で、perfect は形容詞。日本語の「習うより慣れよ」との対応が頻出。

0648 □□□

A: Let's take a taxi instead of waiting for the bus. B: Good idea. Time is ＿＿＿＿.

① gold　② a money
③ money　④ golden

③ Time is money. 時は金なり

訳 A：バスを待たないでタクシーに乗ろう。　B：いい考えだね。時は金なりだ。

解説 ことわざは Time is money. で、money は不可算名詞なので a は付けない。gold / golden は Silence is golden.（沈黙は金）のことわざと混ぜた誤り。タクシーで時間を節約する場面に合うのは money。

区別 **Time is money.** ⇔ **Time flies.** Time is money. は「時間は貴重だから無駄にするな」、Time flies. は「時間はあっという間に過ぎる」。どちらも time が主語なので、言いたいことが「節約」か「速さ」かで選ぶ。

0649 □□□

I'm feeling a little ＿＿＿＿ the weather today, so I'll stay home.

① below　② in
③ on　④ under

④ under the weather 体調が悪い；気分がすぐれない

訳 今日は少し体調が悪いので、家にいます。

解説 「体調がすぐれない」は under the weather で、前置詞は under に決まっている。below the weather / in the weather / on the weather という熟語はない。feel の補語として形容詞のように使う形。

注意 ＝ ill / sick / not feeling well。feel under the weather の形が多い。

0650 □□□

A: In Japan, people take off their shoes before entering a house. B: I see. When in Rome, do ＿＿＿＿ the Romans do.

① so　② as
③ what　④ than

② When in Rome, do as the Romans do.
ローマではローマ人のするようにせよ；郷に入っては郷に従え

訳 A：日本では、家に入る前に靴を脱ぐんだよ。　B：なるほど。郷に入っては郷に従え、だね。

解説 「ローマ人がするように」と様態を表す接続詞 as。so / than は「～のように」の意味にならない。what を使うと「ローマ人がすること」を do の目的語にする形になり、ことわざの形とは違う。決まった形として as を覚える。

注意 日本語の「郷に入っては郷に従え」との対応が最頻出。

0651 □□□

A: I really want to study abroad, but it costs a lot. B: Where there's a _____, there's a way.

① wish ② will
③ want ④ mind

② Where there's a will, there's a way.

意志のある所に道は開ける；精神一到何事か成らざらん

訳 A：本当に留学したいんだけど、すごくお金がかかるんだ。B：意志あるところに道は開ける、だよ。

解説 ことわざは Where there's a will, there's a way. で、will は名詞「意志」。wish（願い）や want（欠乏）では「意志」の意味にならず、mind も決まった形ではない。a が付いていることから名詞と分かる。

注意 will は名詞「意志」。入試の英訳問題で最頻出。

0652 □□□

That new smartphone _____ me an arm and a leg, but I really love it.

① paid ② cost
③ spent ④ took

② cost an arm and a leg

目玉が飛び出るほど高い；非常に高価だ

訳 あの新しいスマートフォンはすごく高かったけれど、本当に気に入っている。

解説 物（smartphone）が主語で「（人に）とても高くついた」は cost ＋ 人 ＋ an arm and a leg。paid / spent は人が主語の動詞で、物を主語にできない。took はお金ではなく時間・労力に使う。

注意 ＝ be very expensive / cost a fortune。主語は「物」で、人が払うなら pay an arm and a leg for ~ の形。pay through the nose も同意。

0653 □□□

A: He always says he'll help, but he never does. B: Well, actions speak _____ than words.

① loud ② louder
③ loudest ④ as loud

② Actions speak louder than words.

行動は言葉より雄弁である；不言実行

訳 A：彼はいつも手伝うと言うけど、全然手伝わないんだ。 B：まあ、言葉より行動のほうが物を言うからね。

解説 後ろに than があるので比較級 louder。原級 loud や最上級 loudest は than と結び付かない。as loud は as ~ as の形で使うので than とは組めない。ことわざの形 Actions speak louder than words. として覚える。

注意 比較級 louder than を問う問題が頻出。

0654 □□□

A: Well, there are many things to consider, and ... B: Stop beating _____ the bush and tell me what happened.

① around ② over
③ under ④ into

① beat around the bush 遠回しに言う；要点を避ける

訳 A：ええと、考えるべきことがたくさんあって..... B：遠回しな言い方はやめて、何があったのか話してよ。

解説 「遠回しに言う」は beat around the bush で、前置詞は around（英国では about）。周りをたたくだけで中に入らない、というイメージ。over / under / into ではこの熟語にならない。

注意 前置詞 around（英国では about）を問う問題が頻出。反対は get to the point / cut to the chase。

0655 ☐☐☐

My final exams start next week, so I really need to hit ＿＿＿＿.

① the books　② a book
③ the book　④ books

① hit the books　猛勉強する；本腰を入れて勉強する

訳 来週から期末試験が始まるので、本当にしっかり勉強しなければならない。

解説 「猛勉強する」は hit the books で、the ＋複数形に決まっている。a book / the book / books では熟語にならず、「本をたたく」と文字どおりの意味になってしまう。

区別 **hit the books ⇔ hit the road / hit the sack**　hit the road は「出発する」、hit the sack は「寝る」。hit the ＋名詞で意味が大きく変わるので、名詞（books / road / sack）で判断する。

0656 ☐☐☐

A: I think the real problem is that we don't communicate enough. B: You've hit the nail on the ＿＿＿＿.

① top　② head
③ point　④ mark

② hit the nail on the head
まさに的を射たことを言う；図星をさす

訳 A：本当の問題は、私たちのコミュニケーションが足りないことだと思う。　B：まさにそのとおりだね。

解説 「まさに的を射ている」は hit the nail on the head で、釘の「頭」を打つので head。top / point / mark では熟語にならない。日本語の「的を射る」につられて mark を選ばないこと。

注意 ＝ be exactly right。会話問題で「図星だ」を選ばせる定番。

0657 ☐☐☐

It is no use ＿＿＿＿ over spilt milk.

① crying　② cry
③ to crying　④ cried

① It is no use crying over spilt milk.
こぼれたミルクを嘆いても無駄だ；覆水盆に返らず

訳 こぼれたミルクを嘆いても仕方がない（覆水盆に返らず）。

解説 It is no use ~ing（～しても無駄だ）の構文なので crying。原形 cry、過去形 cried は use の後ろに置けない。to crying は形が合わない。It is useless to cry ~ なら不定詞を使う。

区別 **It is no use crying over spilt milk. ⇔ There is no ~ing**　There is no ~ing は「～することはできない」（There is no telling what will happen.）。It is no use ~ing（～しても無駄だ）とは意味が違う。

0658 ☐☐☐

The party was supposed to be a surprise, but my brother let the cat ＿＿＿＿ of the bag.

① off　② out
③ away　④ down

② let the cat out of the bag　（うっかり）秘密を漏らす

訳 そのパーティーはサプライズのはずだったのに、弟がうっかり秘密をばらしてしまった。

解説 「秘密を漏らす」は let the cat out of the bag で、out of ~（～から外へ）の形。off / away / down は後ろの of the bag とつながらない。spill the beans と同じ意味。

注意 ＝ spill the beans / give away a secret。両方とも「秘密を漏らす」で 4 択に並ぶ。

0659 □□□

A: I've studied English for a month, but I still can't speak it well. B: Be patient. Rome wasn't built ＿＿＿＿ a day.

① in　② for
③ on　④ at

① Rome wasn't built in a day.

ローマは一日にして成らず

訳 A：1 か月英語を勉強しているのに、まだうまく話せないよ。B：辛抱強くね。ローマは一日にして成らず、だよ。

解説 「一日で（建てられたのではない）」と所要期間を表すので in a day。for a day は「一日の間」で完成までの期間にならない。on / at は a day と組んでこの意味を表さない。

注意 受け身 was not built を問う。日本語でもそのまま使う。

0660 □□□

A: Why are you leaving so early for the sale? B: The early bird ＿＿＿＿ the worm.

① catch　② is caught
③ catches　④ catching

③ The early bird catches the worm.

早起きの鳥は虫を捕まえる；早起きは三文の徳

訳 A：どうしてセールにそんなに早く出かけるの？　B：早起きは三文の徳だからね。

解説 主語 The early bird は三人称単数で、習慣・一般的な真理を表すので現在形 catches。catch は三単現の s がない。is caught は受け身で「鳥が捕まえられる」になる。catching だけでは動詞にならない。

注意 日本語の「早起きは三文の徳」との対応が頻出。gets the worm の形も。

0661 □□□

Losing that job turned out to be a blessing in ＿＿＿＿; I found a much better one.

① disguise　② mask
③ secret　④ shadow

① a blessing in disguise

災い転じて福となす；不幸に見えて実は幸運なもの

訳 その仕事を失ったのは、結果的に不幸中の幸いだった。ずっと良い仕事が見つかったのだ。

解説 「不幸に見えて実は幸運」は a blessing in disguise。in disguise は「変装して」の決まった言い方。in mask / in shadow ではこの熟語にならず、in secret は「こっそり」で意味が違う。

注意 turn out to be a blessing in disguise の形が多い。

0662 □□□

A: Sorry I'm late. I missed the bus. B: Don't worry. Better late ＿＿＿＿ never.

① as　② to
③ then　④ than

④ Better late than never.　遅くてもしないよりはまし

訳 A：遅れてごめん。バスに乗り遅れたんだ。　B：気にしないで。遅れても来ないよりはましだよ。

解説 better は比較級なので than と組む。as は as ~ as の形、to は prefer A to B などで使い、better とは組まない。then は「そのとき」でつづりが似ているだけ。

注意 It is better (to be) late than never. の省略形。比較の than を問う問題が出る。

0663 □□□

Birds of a feather _____ together.

① flocks　② flock
③ flying　④ are flocked

② Birds of a feather flock together.

同じ羽の鳥は群れる；類は友を呼ぶ

訳 同じ羽の鳥は群れをなす（類は友を呼ぶ）。

解説 主語は複数の Birds（of a feather は修飾語）なので、三単現の s が付かない flock。直前の feather につられて flocks を選ぶ誤りが多い。flying だけでは動詞にならず、are flocked は受け身で不可。

注意 of a feather の a＝the same を問う問題が出る。

0664 □□□

She has been burning the _____ oil to prepare for the entrance exam.

① night　② midnight
③ late　④ dark

② burn the midnight oil 夜遅くまで勉強［仕事］する

訳 彼女は入試に備えて夜遅くまで勉強している。

解説 「夜遅くまで勉強する」は burn the midnight oil。night / late / dark ではこの熟語にならない。真夜中までランプの油を燃やす、という絵から midnight と覚える。

注意 ＝ stay up late working。pull an all-nighter（徹夜する）とセットで出る。

0665 □□□

A: Let's finish this report quickly and go home. B: Take your time and check it carefully. Haste makes _____.

① a waste　② wasted
③ waste　④ wastes

③ Haste makes waste.

急いては事を仕損じる；急がば回れ

訳 A：このレポートを早く終わらせて帰ろう。　B：時間をかけて丁寧に確認して。急いては事を仕損じる、だよ。

解説 ことわざは Haste makes waste. で、waste は不可算名詞なので冠詞を付けない。a waste や複数形 wastes はことわざの形ではない。wasted は形容詞・過去分詞で makes の目的語にならない。

注意 日本語の「急がば回れ」「急いては事を仕損じる」との対応が頻出。

0666 □□□

A: I'm going to quit my job and start a business tomorrow! B: Wait. Look _____ you leap.

① after　② before
③ until　④ while

② Look before you leap.

跳ぶ前によく見よ；石橋をたたいて渡る

訳 A：明日仕事を辞めて起業するんだ！　B：待って。よく考えてから行動しなよ。

解説 「跳ぶ前によく見よ」なので before。after では「跳んでから見る」になり教訓が逆になる。until（～するまでずっと）、while（～している間）も、行動の前に考える意味にならない。

注意 He who hesitates is lost. と逆の教訓。日本語の「石橋をたたいて渡る」との対応が頻出。

0667 ☐☐☐

My brother lives abroad, so I see him only once in a _____ moon.

① blue ② full
③ new ④ red

① once in a blue moon ごくまれに；めったに～ない

訳 兄は海外に住んでいるので、ごくたまにしか会わない。

解説 「ごくまれに」は once in a blue moon。full moon（満月）・new moon（新月）は毎月来るので「まれ」の意味にならない。red moon もこの熟語では使わない。

区別 **once in a blue moon ⇔ once in a while** once in a while は「時々」、once in a blue moon は「ごくまれに」。どちらも once in a ~ の形なので頻度の違いが問われる。

0668 ☐☐☐

A: Kenta stopped writing to me after he moved to Tokyo. B: Out of sight, out of _____.

① heart ② mind
③ eye ④ memory

② Out of sight, out of mind.
見えなくなると忘れられる；去る者は日々に疎し

訳 A：ケンタは東京に引っ越してから手紙をくれなくなったんだ。 B：去る者は日々に疎し、だね。

解説 ことわざは Out of sight, out of mind. で、mind（心）。heart / memory は意味が近くても決まった形ではない。eye は sight と重なり対句にならない。

注意 Absence makes the heart grow fonder. と正反対の意味。対比で出る。

0669 ☐☐☐

A: I won ten million yen in the lottery! B: Really? Are you pulling my _____?

① hand ② arm
③ leg ④ foot

③ pull A's leg （冗談で）A をからかう；かつぐ

訳 A：宝くじで 1000 万円当たったよ！ B：本当？ からかってるんじゃないの？

解説 「からかってるの？」は Are you pulling my leg?。hand / arm / foot ではこの熟語にならない。信じられない話を聞いたときの返事として会話問題に出る。

区別 **pull A's leg ⇔ pull one's weight** pull one's weight は「自分の役割（分担）を果たす」。pull A's leg（からかう）と形が似ているので会話問題で並ぶ。

0670 ☐☐☐

Don't _____ the beans about the surprise party!

① drop ② spill
③ throw ④ pour

② spill the beans （うっかり）秘密を漏らす

訳 サプライズパーティーのことをばらさないでね！

解説 「秘密を漏らす」は spill the beans で、動詞は spill（こぼす）。drop / throw / pour では熟語にならない。spill の過去形は spilled（英 spilt）。

注意 = let the cat out of the bag / reveal a secret。

0671 ☐☐☐

A: The company offered me a better position. Should I accept it? B: Of course. Strike ＿＿＿＿ the iron is hot.

① while ② during
③ until ④ after

① Strike while the iron is hot.

鉄は熱いうちに打て；好機を逃すな

訳 A：会社からもっと良い地位を提示されたんだ。受けるべきかな？ B：もちろん。鉄は熱いうちに打て、だよ。

解説 後ろが S V（the iron is hot）で「熱いうちに」なので接続詞 while。during は前置詞で節を続けられない。until（熱くなるまで）、after（熱くなった後）は意味が合わない。

注意 日本語の「鉄は熱いうちに打て」は「若いうちに鍛えよ」の意味でも使うが、英語は「好機を逃すな」の意味が中心。

0672 ☐☐☐

A: I can't believe it's already December. B: I know. Time ＿＿＿＿.

① fly ② flies
③ flew away ④ is flying to

② Time flies. 時は飛ぶように過ぎる；光陰矢のごとし

訳 A：もう 12 月だなんて信じられない。 B：本当だね。時が経つのは早いよ。

解説 主語 Time は三人称単数で、一般的な真理を表すので現在形 flies。fly は s が抜けている。flew away は過去形でことわざの形ではない。is flying to は to の後ろが欠けている。

注意 Time flies like an arrow. の形も。when you're having fun を付けて会話でもよく使う。

0673 ☐☐☐

A: Do I need to take an umbrella? It's sunny now. B: Take it just in case. Better safe than ＿＿＿＿.

① sorry ② sad
③ safety ④ worry

① (It's) better (to be) safe than sorry.

後悔するより安全な方がいい；転ばぬ先の杖

訳 A：傘はいるかな？ 今は晴れているけど。 B：念のため持っていきなよ。後悔するより用心したほうがいい。

解説 決まった形は Better safe than sorry. で、safe と sorry はどちらも形容詞。safety（名詞）や worry（動詞・名詞）では形がそろわない。sad も決まった形ではない。

注意 日本語の「転ばぬ先の杖」「備えあれば憂いなし」に当たる。just in case と一緒に使われやすい。

0674 ☐☐☐

When I was sick, Mika brought me notes every day. A friend in ＿＿＿＿ is a friend indeed.

① needs ② need
③ needed ④ needing

② A friend in need is a friend indeed.

困ったときの友こそ真の友

訳 私が病気だったとき、ミカは毎日ノートを持ってきてくれた。困ったときの友こそ真の友だ。

解説 「困っている（とき）」は in need で、need は名詞。in の後ろなので動詞の形 needed / needing は置けない。複数形 needs もこの熟語の形ではない。people in need と同じ in need。

注意 in need（困っている）と indeed（本当に）の韻と意味を問う問題が頻出。

0675 ☐☐☐

I told my grandmother a _____ lie and said I loved her cooking.

① black ② red
③ white ④ gray

③ a white lie 罪のない嘘；（相手を思いやる）善意の嘘

訳 私は祖母に、料理が大好きだと罪のないうそをついた。

解説 相手を思いやる罪のないうそは a white lie。black / red / gray は lie と組んでこの意味の熟語にならない。動詞が told（tell の過去形）である点も、tell a lie の形として確認する。

注意 tell a white lie の形。4 択で black sheep / hot potato などと並ぶ定番。

0676 ☐☐☐

We've been working for ten hours. Let's call _____ a day.

① this ② it
③ that ④ them

② call it a day （その日の仕事を）終わりにする

訳 10 時間も働いている。今日はこれで終わりにしよう。

解説 「今日はここまでにしよう」は call it a day で、目的語は it に決まっている。this / that / them ではこの熟語にならない。夜なら call it a night と言う。

注意 Let's call it a day. が会話問題の定番。夜なら call it a night。

0677 ☐☐☐

A: If I win the contest, I'll buy a new bike with the prize money. B: Don't count your chickens before they _____.

① will hatch ② hatch
③ hatched ④ are hatching

② Don't count your chickens before they hatch.
卵がかえる前にひなを数えるな；取らぬ狸の皮算用

訳 A：コンテストで優勝したら、賞金で新しい自転車を買うんだ。 B：取らぬ狸の皮算用はやめなよ。

解説 before 節は時の副詞節なので、未来のことでも現在形 hatch を使う。will hatch は副詞節の中では使わない。hatched は過去形で時制が合わない。are hatching も一般的な教訓の形ではない。

注意 before they are hatched / they're hatched の形もある。日本語の「取らぬ狸の皮算用」に当たる。

0678 ☐☐☐

He looks scary, but he's really kind. Don't judge a book _____ its cover.

① with ② by
③ in ④ at

② Don't judge a book by its cover.
本を表紙で判断するな；人は見かけによらない

訳 彼は怖そうに見えるが、本当は優しい。人を見かけで判断してはいけない。

解説 judge A by B（B で A を判断する）の形なので by。by は判断の基準を表す。with / in / at は judge と組んで判断の手がかりを表さない。

注意 日本語の「人は見かけによらない」に当たる。

0679 □□□

A: I failed the exam. B: Every cloud _____ a silver lining. Now you know what to study.

① have ② has
③ having ④ is

② Every cloud has a silver lining.
どの雲にも銀の裏地がある；悪いことの中にも良いことがある

訳 A：試験に落ちちゃった。 B：どんな雲にも銀の裏地がある（悪いことにも良い面がある）よ。これで何を勉強すればいいか分かったじゃない。

解説 every ＋単数名詞は単数扱いなので has。have は複数主語の形で誤り。having だけでは動詞にならず、is では a silver lining とつながらない。every の後ろの名詞・動詞は単数、と確認する。

注意 silver lining（希望の光）単独でもよく使う。

0680 □□□

He wanted to ask her out, but he got cold _____ at the last minute.

① feet ② foot
③ hands ④ legs

① get cold feet 怖気づく；土壇場でしり込みする

訳 彼は彼女をデートに誘いたかったが、土壇場で怖じ気づいてしまった。

解説 「怖気づく」は get cold feet で、複数形 feet に決まっている。単数 foot ではこの熟語にならない。hands / legs も使わない。日本語の「二の足を踏む」に近い場面で使う。

注意 at the last minute とよく一緒に使われる。＝ lose one's nerve / chicken out。結婚直前の不安にもよく使う。

0681 □□□

A: Should I tell my mom that I broke her vase? B: Yes. Honesty is the _____ policy.

① best ② better
③ good ④ most

① Honesty is the best policy. 正直は最善の策

訳 A：お母さんの花瓶を割ったこと、言うべきかな？ B：うん。正直が一番だよ。

解説 the が付いていて「一番良い方策」なので最上級 best。better は比較級で than がない文では使いにくく、good は原級で the と合わない。most だけでは形容詞にならない。

注意 policy は「政策」ではなく「方策・やり方」。

0682 □□□

People invented many tools when they had no other choice. Necessity is the _____ of invention.

① father ② parent
③ child ④ mother

④ Necessity is the mother of invention.
必要は発明の母

訳 人々は他に選択肢がないとき、多くの道具を発明した。必要は発明の母だ。

解説 ことわざは Necessity is the mother of invention.。発明を「生み出すもの」を母にたとえているので mother。father / parent では決まった形にならず、child では生み出される側になり意味が逆。

注意 日本語でもそのまま使う定番。mother を問う空所補充が多い。

0683 □□□

A: Training every day is so hard. B: I know, but no pain, no _____.

① game ② gain
③ win ④ get

② No pain, no gain.

苦労なくして得るものなし；まかぬ種は生えぬ

訳 A：毎日の練習は本当にきつい。 B：分かるよ。でも苦労なくして得るものなし、だよ。

解説 ことわざは No pain, no gain.。gain（得るもの）は pain と韻を踏む名詞。game はつづりが似ているだけ、win / get は動詞で no の後ろに置く形にならない。

注意 pain と gain の韻。

0684 □□□

I hadn't heard from him for years, and then he called me out of the _____.

① blue ② sky
③ question ④ way

① out of the blue 突然；思いがけなく

訳 何年も連絡がなかったのに、突然彼から電話がかかってきた。

解説 「突然」は out of the blue。out of the question は「問題外」、out of the way は「邪魔にならない所に・人里離れた」で意味が違う。out of the sky という熟語はない。

区別 **out of the blue ⇔ out of the question** out of the question は「問題外・不可能」。out of the blue（突然）と形が似ているので会話問題で並ぶ。

0685 □□□

A: I can't believe he can juggle ten balls. B: Come and watch him. Seeing is _____.

① believe ② believing
③ to believe ④ believed

② Seeing is believing.

見ることは信じること；百聞は一見に如かず

訳 A：彼が 10 個のボールでジャグリングできるなんて信じられない。 B：見に来なよ。百聞は一見にしかず、だよ。

解説 主語 Seeing（動名詞）と形をそろえて補語も動名詞 believing にする。to believe は To see is to believe. のように主語も不定詞のときの形。believe / believed は be 動詞の補語にならない。

注意 動名詞が主語・補語になる形。日本語の「百聞は一見に如かず」との対応が頻出。

0686 □□□

He was late again for the third time this week. That was the last _____.

① straw ② stone
③ step ④ stage

① the last straw 我慢の限界；最後の一撃

訳 彼は今週 3 回目の遅刻をした。それが我慢の限界だった。

解説 「我慢の限界」は the last straw。わら一本でも積み重なると限界、という比喩。stone / step / stage ではこの熟語にならない。the final straw とも言う。

注意 This is the last straw! の形が会話の定番。the final straw とも。

0687 □□□

A rolling stone ＿＿＿＿ no moss.

① gather　② gathers
③ gathering　④ is gathered

② A rolling stone gathers no moss. 転石苔むさず

訳 転がる石にはこけが生えない。

解説 主語 A rolling stone は三人称単数で、一般的な真理を表すので現在形 gathers。gather は s が抜けている。gathering だけでは動詞にならず、is gathered は受け身で no moss とつながらない。

注意 英米で意味が逆になる点が入試で問われる。

0688 □□□

The company cut ＿＿＿＿ to save money, and the building was not safe.

① corner　② edges
③ corners　④ lines

③ cut corners 手を抜く；（時間・費用を）切り詰める

訳 その会社はお金を節約するために手を抜き、建物は安全ではなかった。

解説 「手を抜く」は cut corners で、複数形 corners に決まっている。単数 corner ではこの熟語にならない。edges / lines も使わない。安全が損なわれたという悪い結果とも合う。

区別 **cut corners ⇔ cut down on ~** cut down on は「（量を）減らす」で、手抜きの意味はない。cut corners は「手を抜いて質を落とす」悪い意味。

0689 □□□

Apply to more than one university. Don't put all your eggs in ＿＿＿＿ basket.

① one　② a one
③ the one　④ single

① Don't put all your eggs in one basket.
すべての卵を一つのかごに入れるな；危険を分散せよ

訳 大学は複数受けなさい。一つのかごに全部の卵を入れるな（一つに全てを賭けるな）、だよ。

解説 ことわざは Don't put all your eggs in one basket.。数詞 one を名詞の前に置く。a one / the one では形が崩れ、single だけでは冠詞がなく不可（a single basket なら言う）。

注意 投資・受験のリスク分散の文脈で出る。

0690 □□□

When she passed the exam, she was on cloud ＿＿＿＿.

① seven　② nine
③ one　④ ten

② on cloud nine 有頂天で；天にも昇る心地で

訳 試験に合格したとき、彼女は天にも昇る心地だった。

解説 「有頂天で」は on cloud nine で、数字は nine に決まっている。seven（似た表現の in seventh heaven との混同）や one / ten ではこの熟語にならない。

注意 ＝ over the moon / very happy。

0691 □□□

She passed the entrance exam with flying ＿＿＿＿.

① colors　② flags
③ marks　④ scores

① with flying colors 見事に；大成功で

訳 彼女は入試に見事な成績で合格した。

解説 「見事に合格する」は pass with flying colors で、colors（旗）に決まっている。意味の近い flags や、試験に関係しそうな marks / scores を選ばせるひっかけに注意。

注意 pass ~ with flying colors（見事に合格する）が定番。英国では colours。

確認テスト6　イディオム・ことわざ｜日本語に合うように、空所に1語を書き込もう（答えは赤字）

0644 先生は授業初日、緊張をほぐすためにゲームをした。
Our teacher played a game to break the **ice** on the first day of class.

0645 その数学のテストは彼女にとって朝飯前だった。
The math test was a piece of **cake** for her.

0646 自転車通学で、お金の節約と運動の一石二鳥だ。
By biking to school, I kill two birds with one **stone** : I save money and get exercise.

0647 毎日ピアノを弾き続けなさい。習うより慣れよだよ。
Keep playing the piano every day. **Practice** makes perfect.

0648 今すぐ会議を始めよう。時は金なりだ。
Let's start the meeting now. Time is **money** .

0649 少し体調が悪いので、今日は家にいるよ。
I'm feeling a bit under the **weather** , so I'll stay home today.

0650 日本では玄関で靴を脱いでね。郷に入っては郷に従えだよ。
In Japan, take your shoes off at the door. When in Rome, do as the **Romans** do.

0651 彼女は猛練習してついにチームに入った。意志のある所に道は開ける。
She trained hard and finally made the team. Where there's a **will** , there's a way.

0652 あの新しいスマホはとんでもなく高いので、古いのを使い続けるよ。
That new smartphone costs an **arm** and a leg, so I'll keep my old one.

0653 謝るだけじゃだめ。行動は言葉より雄弁だよ。
Don't just say you're sorry. Actions speak **louder** than words.

0654 遠回しに言うのはやめて、何があったのか教えて。
Stop beating around the **bush** and tell me what happened.

0655 明日は大事なテストだから、今夜は猛勉強しなきゃ。
I have a big test tomorrow, so I need to hit the **books** tonight.

0656 もっと練習が必要だと言ったのは、まさに的を射ていたよ。
You hit the **nail** on the head when you said we need more practice.

0657 試合には負けたけど、覆水盆に返らずだよ。
You lost the game, but it is no use crying over **spilt** milk.

0658 サプライズパーティーを計画していたのに、弟がうっかりばらしてしまった。
We planned a surprise party, but my brother let the **cat** out of the bag.

0659 英語は少しずつ上達するよ。ローマは一日にして成らずだ。
Your English will improve slowly. Rome wasn't **built** in a day.

0660 一番に来たので一番いい席が取れた。早起きは三文の徳だ。
I got the best seat because I came first. The early bird catches the **worm** .

0661 電車に乗り遅れたのは、旧友に会えたので、かえって幸運だった。
Missing the train was a blessing in **disguise** because I met an old friend.

0662 50 歳でついにギターを習い始めた。遅くてもやらないよりはましだ！
I finally started learning the guitar at fifty. Better late than **never** !

0663 彼の友達はみなサッカー好きだ。類は友を呼ぶだね。
All of his friends love soccer. Birds of a **feather** flock together.

0664 彼女は報告書を期限までに仕上げるため、夜遅くまで頑張った。
She burned the midnight **oil** to finish her report on time.

0665 答えをよく見直しなさい。急いては事を仕損じるよ。
Check your answers carefully. **Haste** makes waste.

0666 契約書をよく読みなさい。石橋をたたいて渡るんだ。
Read the contract carefully. Look before you **leap** .

0667 忙しい父が夕食を作るのはごくまれだ。
My busy father cooks dinner only once in a blue **moon** .

0668 彼が引っ越してから話さなくなった。去る者は日々に疎しだ。
After he moved away, we stopped talking. Out of **sight** , out of mind.

0669 心配しないで、テストが中止っていうのは冗談だよ。
Don't worry, I was just pulling your **leg** about the test being cancelled.

0670 先生の結婚のことを漏らしたのは誰？
Who spilled the **beans** about the teacher's wedding?

0671 店が大セールをやっている。鉄は熱いうちに打てだ！
The shop is having a big sale. Strike while the **iron** is hot!

0672 もう 12 月だなんて信じられない。光陰矢のごとしだ。
I can't believe it's already December. Time **flies** .

0673 念のため傘を持っていきなさい。備えあれば憂いなしだよ。
Take an umbrella just in case. Better **safe** than sorry.

0674 財布をなくしたとき、彼女がお金を貸してくれた。困ったときの友こそ真の友だ。
She lent me money when I lost my wallet. A friend in need is a friend **indeed** .

0675 彼女がくれたセーターが気に入ったと、善意の嘘をついた。
I told a **white** lie and said I loved the sweater she gave me.

0676 もう 10 時間も働いた。今日はこれで終わりにしよう。
We've been working for ten hours. Let's call it a **day** .

0677 まだ勝ったわけじゃないよ。取らぬ狸の皮算用はやめなさい。
You haven't won yet. Don't count your **chickens** before they hatch.

0678 そのレストランは古く見えるけど、見かけで判断しちゃだめだよ。
The restaurant looks old, but don't judge a book by its **cover** .

0679 脚を骨折したが、本をたくさん読めた。悪いことの中にも良いことはある。
I broke my leg, but I read many books. Every cloud has a silver **lining** .

0680 彼はステージで歌うつもりだったが、直前になって怖気づいた。
He was going to sing on stage, but he got **cold** feet at the last minute.

0681 花瓶を割ったことをお母さんに言いなさい。正直が一番だよ。
Tell your mom you broke the vase. Honesty is the best **policy** .

0682 傘がなかったので大きな葉っぱを使った。必要は発明の母だ。
We had no umbrella, so we used a big leaf. **Necessity** is the mother of invention.

0683 練習の後は筋肉が痛いが、苦労なくして得るものなしだ。
My muscles hurt after training, but no pain, no **gain** .

0684 昨夜、旧友から突然電話がかかってきた。
An old friend called me out of the **blue** last night.

0685 動画を見るまでその話を信じなかった。百聞は一見に如かずだ。
I didn't believe the story until I saw the video. **Seeing** is believing.

0686 彼が 5 回目の遅刻をしたとき、もう我慢の限界だった。
When he was late for the fifth time, it was the last **straw** .

0687 おじは毎年転職するが、転がる石には苔がつかないものだ。
My uncle changes jobs every year, but a rolling stone gathers no **moss** .

0688 業者が手を抜いたので、1 年で屋根が雨漏りし始めた。
The builders cut **corners** , so the roof started leaking after a year.

0689 いくつかの大学に出願しなさい。一つに賭けてはいけないよ。
Apply to several universities. Don't put all your eggs in one **basket** .

0690 スピーチコンテストで優勝して、彼女は有頂天だった。
She was on cloud **nine** after she won the speech contest.

0691 彼女は入試に見事合格した。
She passed the entrance exam with **flying** colors.

索引 熟語（be・one's などを除いた最初の語のアルファベット順）→ 問題番号

A

be about to do 0340
above all 0477
be absent from ~ 0359
Absolutely. 0623
be absorbed in ~ 0383
according to ~ 0398
account for ~ 0121
accuse A of B 0134
be accustomed to ~ 0367
Actions speak louder than words. 0653
add A to B 0235
add up to ~ 0040
be afraid of ~ 0331
after all 0421
agree with ~ 0157
all at once 0515
all of a sudden 0478
All one has to do is (to) do 0279
all over ~ 0516
be angry with ~ 0374
be anxious about ~ 0373
be anxious to do 0384
anything but ~ 0517
apologize to A for B 0236
apply for ~ 0158
approve of ~ 0237
Are you ready to order? 0607
arrive at ~ 0280
as ~ as possible 0479
as a matter of fact 0480
as a result 0406
as a result of ~ 0422
as far as ~ 0441
as for ~ 0481
as if ~ 0442
as long as ~ 0407
as soon as ~ 0393
as usual 0482
ask A for B 0189
associate A with B 0190
at first 0423
at last 0424
at least 0394
at once 0408
at the same time 0443
attribute A to B 0191
be aware of ~ 0333

B

B as well as A 0409
base A on B 0135
be based on ~ 0347
bear ~ in mind 0281
beat around the bush 0654
because of ~ 0399
before long 0483
believe in ~ 0192
belong to ~ 0159
benefit from ~ 0222
(It's) better (to be) safe than sorry. 0673
Better late than never. 0662
Birds of a feather flock together. 0663
blame A for B 0137
blame B on A 0282
a blessing in disguise 0661
borrow A from B 0238
both A and B 0484
bother to do 0283
be bound to do 0385
Break a leg! 0635
break down 0006
break into ~ 0073
break out 0020
break the ice 0644
break up 0074
bring about ~ 0011
bring up ~ 0002
burn the midnight oil 0664
be busy ~ing 0360
by ~（期限） 0438
by accident 0485
by chance 0444
by no means 0445
by oneself 0446
by the time ~ 0486
by the way 0425

C

call for ~ 0041
call it a day 0676
call off ~ 0026
call on ~ 0053
calm down 0075
Can I give you a hand? 0580
Can I take a message? 0549
Can I try it on? 0608
can't stand ~ 0239
cannot ~ too ... 0284
cannot afford to do 0240
cannot help ~ing 0117
cannot help but do 0241
be capable of ~ 0361
carry on with ~ 0051
carry out ~ 0003
catch sight of ~ 0242
catch up with ~ 0021
cause A to do 0193
Certainly. 0636
(The) chances are (that) S V 0513
change one's mind 0194
cheer up 0070
come about 0071
come across ~ 0007
come from ~ 0042
come to a conclusion 0285
come to an end 0195
come to do 0196
come true 0138
come up with ~ 0004
compare A to B 0223
compare A with B 0139
complain about ~ 0243
concentrate on ~ 0197
be concerned about ~ 0375
confuse A with B 0286
congratulate A on B 0160
Congratulations (on ~)! 0581
consider A (as) B 0287
consist of ~ 0122
contribute to ~ 0140
convince A of B 0244
cope with ~ 0161
cost an arm and a leg 0652
Could you say that again? 0591
Could you tell me the way to ~? 0568
a couple of ~ 0475
be covered with ~ 0362
criticize A for B 0288
be crowded with ~ 0368
cure A of B 0289
cut corners 0688
cut down on ~ 0022
cut off ~ 0076

D

deal with ~ 0008
depend on ~ 0103
be dependent on ~ 0363
deprive A of B 0162
devote A to B 0198
devote oneself to ~ 0245
die from ~ 0086
die out 0087
differ from ~ 0246
be different from ~ 0336
discourage A from ~ing 0290
distinguish A from B 0199
divide A into B 0247
do ~ good 0248
do ~ harm 0249

do A a favor 0291
do away with ~ 0043
do nothing but do 0292
do one's best 0163
do without ~ 0054
Do you have the time? 0609
Do you mind if I ~? 0540
Don't count your chickens before they hatch. 0677
Don't judge a book by its cover. 0678
Don't mention it. 0553
Don't put all your eggs in one basket. 0689
Don't worry about it. 0592
drop in on ~ 0077
drop out of ~ 0088
be due to ~ 0376

E

each other 0426
be eager to do 0369
either A or B 0427
enable A to do 0200
end up 0031
enjoy oneself 0293
~ enough to ... 0440
even if ~ 0428
even though ~ 0429
Every cloud has a silver lining. 0679
except for ~ 0487
exchange A for B 0201
explain A to B 0202
be exposed to ~ 0386

F

fall behind 0078
be familiar with ~ 0348
be famous for ~ 0337
Feel free to ~. 0554
feel like ~ing 0141
figure out ~ 0023
fill in ~ 0055
fill out ~ 0089
be filled with ~ 0349
find fault with ~ 0250
find out 0012
first of all 0488
focus on ~ 0164
be fond of ~ 0345
for a while 0518
for example 0391
for free 0519
for good 0489
for instance 0410
for the first time 0447
for the time being 0490
be forced to do 0221
forget ~ing 0203
forget to do 0165
A friend in need is a friend indeed. 0674
from ~ on 0470
from now on 0448
from time to time 0491
be full of ~ 0338

G

get A to do 0166
get along with ~ 0009
get cold feet 0680
get in touch with ~ 0167
get married (to ~) 0294
get over ~ 0013
get rid of ~ 0110
get to do 0295
get up 0079
get used to ~ing 0142
give A a hand 0296
give birth to ~ 0297
give in 0044
give off ~ 0090
give rise to ~ 0204
give up 0001
give way to ~ 0251
go off 0091
go on 0014
go out of one's way to do 0298
go over ~ 0056
go through ~ 0024
be good at ~ 0332
Good luck (with ~)! 0624
Got it. 0593
graduate from ~ 0252
be grateful to A for B 0377
a great deal (of ~) 0476
grow up 0032

H

had better do 0143
hand in ~ 0033
hand out ~ 0092
Hang in there. 0582
happen to do 0168
Haste makes waste. 0665
have ~ in common (with ...) 0253
have A do 0144
have a hard time ~ing 0254
have an effect on ~ 0169
have an influence on ~ 0255
have difficulty (in) ~ing 0123
have no choice but to do 0205
have nothing to do with ~ 0130
have only to do 0299
have something to do with ~ 0224
have trouble (in) ~ing 0206
have yet to do 0300
hear from ~ 0207
help A (to) do 0170
help A with B 0124
Help yourself (to ~). 0544
Here you are. 0545
hit the books 0655
hit the nail on the head 0656
hold on 0057
Hold on a second. 0558
Honesty is the best policy. 0681
How can I get to ~? 0594
How come ~? 0559
How come S V? 0301
How do you like ~? 0595
How have you been? 0610
How long does it take to ~? 0611
How's it going? 0612
hurry up 0080

I

I beg your pardon? 0562
I can't make it. 0613
I couldn't agree more. 0546
I don't feel well. 0637
I don't think so. 0614
I have no idea. 0583
I hope not. 0625
I hope you get well soon. 0626
I see. 0596
I'd appreciate it (if you would ~). 0638
I'd love to, but ~. 0563
I'll call you back. 0584
I'll take a rain check. 0615
I'll take it. 0597
I'm a stranger here (myself). 0627
I'm afraid I can't. 0628
I'm afraid not. 0564
I'm afraid so. 0598
I'm coming. 0639
I'm glad to hear that. 0616
I'm just looking. 0585
I'm on my way. 0569
I'm sorry to hear that. 0547
If S had + 過去分詞, S would have + 過去分詞 0449
if S should do 0450
if S were to do 0492
in addition 0451
in addition to ~ 0411
in advance 0452
in case ~ 0493
be in charge of ~ 0378
in fact 0395
in front of ~ 0494
in general 0430
in order to ~ 0402
in other words 0412
in particular 0453

in short 0454
in spite of ~ 0392
in terms of ~ 0455
in the end 0456
in the future 0457
in the long run 0495
in the middle of ~ 0496
in time 0497
be independent of ~ 0387
be inferior to ~ 0388
inform A of B 0208
insist on ~ 0131
instead of ~ 0396
be interested in ~ 0330
interfere with ~ 0302
introduce A to B 0256
involve A in B 0257
be involved in ~ 0379
Is this seat taken? 0629
It can't be helped. 0617
It costs A ~ to do 0258
It depends. 0640
It goes without saying that S V 0209
It is (high) time S + 過去形 0303
It is ~ that ... 0431
It is no use ~ing 0171
It is no use crying over spilt milk. 0657
It is not until ~ that ... 0520
It is true (that) ~, but ... 0471
It occurs to A that S V 0304
It seems [appears] (to A) that ... 0413
It takes (A) 時間 to do 0305
It's a piece of cake. 0586
It's been a while. 0641
It's on me. 0618
It's up to you. 0555

K

keep ~ in mind 0145
keep A from ~ing 0146
keep A waiting 0306
keep an eye on ~ 0210
keep in touch (with ~) 0172
Keep it up. 0599
keep on ~ing 0058
keep one's word 0307
Keep the change. 0630
keep up with ~ 0027
kill two birds with one stone 0646
be known as ~ 0350
be known for ~ 0351
be known to ~ 0352

L

a large number of ~ 0514
be late for ~ 0353
lead to ~ 0015
leave behind ~ 0093
leave out ~ 0081
lend A to B 0259
let A do 0173
let down ~ 0072
Let me know. 0619
let the cat out of the bag 0658
Let's keep in touch. 0600
be likely to do 0334
little by little 0498
live up to ~ 0059
Long time no see. 0560
look after ~ 0010
look back on ~ 0082
Look before you leap. 0666
look down on ~ 0039
look for ~ 0016
look forward to ~ 0005
look into ~ 0045
look on A as B 0260
look out (for ~) 0083
look over ~ 0094
look up ~ 0060
look up to ~ 0034
lose one's temper 0308
lose sight of ~ 0261

M

be made from ~ 0364
be made of ~ 0354
make a decision 0309
make a difference 0174
make a living 0262
make a mistake 0310
make a point of ~ing 0311
make an effort 0263
make friends (with ~) 0312
make fun of ~ 0175
make it a rule to do 0264
make oneself understood 0265
make out ~ 0084
make progress 0225
make room for ~ 0266
make sense 0125
make sense of ~ 0313
make sure (that) S V 0147
make the best of ~ 0226
make the most of ~ 0211
make up ~ 0046
make up for ~ 0035
make up one's mind 0118
make use of ~ 0148
Make yourself at home. 0601
manage to do 0132
may have + 過去分詞 0267
May I ask you a favor? 0587
May I help you? 0565
May I leave a message? 0570
May I speak to ~? 0602
may well do 0314
Me neither. 0561
mistake A for B 0176
must have done 0177
My pleasure. 0571

N

name A after B 0268
Necessity is the mother of invention. 0682
need ~ing 0315
need not have done 0269
needless to say 0521
neither A nor B 0432
Never mind. 0548
Nice to meet you. 0631
no longer 0414
no matter what / how ~ 0499
No pain, no gain. 0683
No problem. 0572
no sooner ~ than ... 0522
No way! 0556
(It is) no wonder (that) S V 0474
not ~ at all 0415
not ~ either 0500
not A but B 0458
not necessarily 0523
not only A but also B 0397
not to mention ~ 0524
nothing but ~ 0459
nothing is as ~ as A 0460
Nothing is more A than B. 0461
now and then 0525
now that ~ 0526
a number of ~ 0404

O

object to ~ 0156
occur to ~ 0316
of course 0400
Of course not. 0573
on ~ing 0501
on average 0527
on cloud nine 0690
on one's own 0528
on purpose 0433
on the contrary 0502
on the other hand 0403
on the way 0503
on the whole 0504
on time 0416
once in a blue moon 0667
one ~, the other ... 0505
only to do 0506
be opposed to ~ 0389
Out of sight, out of mind. 0668
out of the blue 0684

owe A to B 0270

P

participate in ~ 0178
pass away 0061
pay attention to ~ 0108
pay off (~) 0095
pick up ~ 0025
a piece of + 不可算名詞 0420
a piece of cake 0645
play a part in ~ 0227
play a role in ~ 0126
be pleased with ~ 0380
plenty of ~ 0472
point out ~ 0028
be popular with ~ 0370
Practice makes perfect. 0647
praise A for B 0317
prefer A to B 0127
prepare for ~ 0212
pretend to do 0228
prevent A from ~ing 0104
prohibit A from ~ing 0229
protect A from B 0271
be proud of ~ 0341
provide A with B 0105
provide B for A 0179
pull A's leg 0669
put ~ into practice 0318
put an end to ~ 0272
put off ~ 0017
put on ~ 0047
put out ~ 0062
put up with ~ 0018

Q

quite a few [little] ~ 0529
quite a few ~ 0462

R

rather than ~ 0463
be ready for ~ 0371
be ready to do 0365
recover from ~ 0213
refer to ~ 0149
refer to A as B 0230
refrain from ~ 0319
regard A as B 0111
regret ~ing / regret to do 0320
be related to ~ 0355
be reluctant to do 0381
rely on ~ 0119
remember ~ing 0180
remember to do 0188
remind A of B 0112
replace A with B 0181
reply to ~ 0321
respond to ~ 0214
be responsible for ~ 0335
result from ~ 0150
result in ~ 0113
right away 0473
right away [off] 0507
rob A of B 0151
A rolling stone gathers no moss. 0687
Rome wasn't built in a day. 0659
run into ~ 0048
run out 0085
run out of ~ 0019
run the risk of ~ing 0322

S

be said to do 0136
Same here. 0574
be satisfied with ~ 0342
see [watch] A ~ing 0231
see A as B 0273
see off ~ 0096
Seeing is believing. 0685
set off (~) 0097
set up ~ 0029
shake hands (with ~) 0274
Shall we ~? 0632
share A with B 0275
should [ought to] have done 0182
show up 0063
be similar to ~ 0343
so ~ that ... 0434
So do I. 0588
so far 0464
so that S can ~ 0417
sooner or later 0508
Sounds good. 0550
spend A ~ing 0215
spend A on B 0152
spill the beans 0670
stand for ~ 0049
stand out 0064
stop A from ~ing 0183
Strike while the iron is hot. 0671
substitute A for B 0232
succeed in ~ 0153
such ~ that ... 0530
such as ~ 0465
suffer from ~ 0154
suggest A to B 0323
be superior to ~ 0382
supply A with B 0216
be supposed to do 0339
be sure of ~ 0372
be sure to do 0366
be surprised at ~ 0344
suspect A of B 0324

T

take ~ for granted 0120
take ~ into account 0133
take advantage of ~ 0114
take after ~ 0036
take care of ~ 0109
take in ~ 0098
Take it easy. 0633
take it for granted that S V 0276
take off (~) 0037
take on ~ 0099
take one's time 0325
take over (~) 0065
take part in ~ 0106
take place 0107
take pride in ~ 0217
take the place of ~ 0233
take turns (~ing) 0326
take up ~ 0066
Take your time. 0566
talk A into ~ing 0234
tell A from B 0184
tend to do 0128
thank A for B 0129
thanks to ~ 0466
That is why ~ 0418
That makes sense. 0620
That's a shame. 0575
That's all right. 0589
That's not the point. 0642
That's too bad. 0576
That's very kind of you. 0634
the + 形容詞 0509
the + 比較級 ~, the + 比較級 ... 0467
The early bird catches the worm. 0660
the fact that ...（同格の that） 0531
the last person to do 0390
the last straw 0686
the number of ~ 0468
There is no ~ing 0327
There is no point in ~ing 0328
these days 0439
think of A as B 0218
This is ~ speaking. 0603
those who ~ 0435
throw away ~ 0067
Time flies. 0672
Time is money. 0648
be tired of ~ 0356
be to do 0187
to one's + 感情の名詞 0469
to one's surprise 0510
to some extent 0532
to tell the truth 0533
too ~ to ... 0419
translate A into B 0219

try to do / try ~ing 0185
turn A into B 0155
turn down ~ 0030
turn into ~ 0100
turn out 0038
turn to ~ 0101
turn up (~) 0068

U

under control 0534
under the weather 0649
unless ~ 0436
be up to ~ 0052
up to ~ 0511
be used to ~ing 0116
used to do 0115

V

a variety of ~ 0405

W

wait for ~ 0069
wear out (~) 0102
what ~ is 0535
What a shame! 0567
What do you mean? 0621
What do you say to ~ing? 0277
What do you think of ~? 0577
What is ~ like? 0329
what is called 0536
What's ~ like? 0643
What's the matter (with you)? 0590
What's up? 0578
What's wrong? 0604
When in Rome, do as the Romans do. 0650
when it comes to ~ 0401
Where there's a will, there's a way. 0651
whether to do 0537
a white lie 0675
Who's calling, please? 0622
Why don't we ~? 0605
Why don't you ~? 0551
Why not? 0557
be willing to do 0357
with ease 0538
with flying colors 0691
work out (~) 0050
be worried about ~ 0358
worry about ~ 0278
be worth ~ing 0346
would (often) do 0220
would rather A than B 0539
would rather do (than do) 0186
Would you do me a favor? 0552
Would you mind ~ing? 0542

Y

You can say that again. 0541
You can't miss it. 0606
You're kidding! 0579
You're welcome. 0543
比較級 + than any other ~ 0512
比較級 and 比較級 0437

原田英語の英熟語・イディオム問題集　Vol.1 基礎編（BASIC）

691 問（4 択）＋ 691 問（書き込み式）

2026 年 11 月　初版

著者・発行：原田英語　https://www.haradaeigo.com/eijukugo/

この PDF は個人の学習・学校の授業で自由に印刷して使えます。無断での転載・再配布・販売はできません。

問題・例文・解説はすべてオリジナルです。誤りを見つけたら、サイトからお知らせください。